

太宰府まちづくり市民意識調査

報 告 書

平成 27 年 3 月

太 宰 府 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
3. 調査項目	2
4. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果の分析	5
第1節 回答者の属性	5
1. 性別（問1）	5
2. 年齢（問2）	6
3. 世帯構成（問3）	7
4. 職業（問4）	8
5. 通勤・通学先（問4付問1）	9
6. 小学校区（問5）	10
7. 居住年数（問6）	11
8. 居住形態（問7）	12
第2節 住みやすさについて	13
1. 太宰府市の住みやすさ（問8）	13
2. 継続居住意向（問9）	14
3. 住み続けたい理由（問9付問1）	15
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）	17
第3節 日頃の暮らし、行動について	18
(1) 34施策の重要度	18
(2) 34施策の満足度	22
(3) 重要度と満足度の相関関係	26
(4) 重要度と満足度の領域別相関関係	27
2. 子育て支援の推進（問11）	29
3. 高齢者福祉の推進	30
(1) 生きがいの有無（問12）	30
(2) 高齢者福祉サービスの充実度（問13）	31
4. 障がい福祉の推進	32
(1) 障がい者福祉サービスの充実度（問14）	32
(2) 公共施設の配慮に対する意識（問15）	33
5. 地域福祉の推進（問16）	34
6. 生涯健康づくりの推進	35
(1) 健康状態（問17）	35
(2) 健康増進の取り組み状況（問18）	36

7. 防災・消防体制の整備充実（問 20）	38
8. 防犯・暴力追放運動の推進	40
(1) 防犯面の安心度（問 21）	40
(2) 防犯上危険と思う場所（問 21 付問 1）	41
9. 安全な消費生活の推進.....	43
(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況（問 22）	43
(2) 被害や不安に感じた内容（問 22 付問 1）	44
10. 人権を尊重するまちづくりの推進	45
(1) 人権侵害の経験と内容（問 23、付問 1）	45
(2) 人権問題への認識（問 24）	46
11. 男女共同参画の推進	47
(1) 固定的役割分担に対する考え方（問 25）	47
(2) 男女間の地位の平等感（問 26）	48
12. 生涯学習の推進	49
(1) 生涯学習活動の取り組み状況（問 27）	49
(2) 運動・スポーツの取り組み頻度（問 28）	50
13. 文化芸術の振興（問 29）	51
14. 生活環境の向上	52
(1) 自宅周辺の衛生環境（問 30）	52
(2) 環境マナーの順守状況（問 31）	53
(3) 美化活動への参加状況（問 32）	54
15. 自然共生社会の構築.....	55
(1) 自然の豊かさについて（問 33）	55
(2) 野鳥や昆虫などとのふれあう場所について（問 34）	56
16. 循環型社会の構築.....	57
(1) 生ごみ堆肥化への取り組み（問 35）	57
(2) 省エネルギー・省資源の活動について（問 36）	58
17. 環境教育・学習の推進（問 37）	59
18. 未来に伝える景観づくり.....	60
(1) 自然の美しさに対する評価（問 38）	60
(2) 歴史的景観の美しさへの評価（問 39）	61
(3) 居住地区のまちなみ評価（問 40）	62
19. 計画的なまちづくりの推進.....	63
(1) 住環境の快適さへの評価（問 41）	63
(2) 商業施設等の利便性に対する意識（問 42）	64
(3) 家の近くにあると便利な施設（問 42 付問 1）	65
20. 地域交通体系の整備.....	67
(1) バスの利便性に対する評価（問 43）	67
(2) コミュニティバスの利便性に対する評価（問 43 付問 1）	68

(3) 鉄道の利便性に対する評価 (問 44)	69
(4) 道路の円滑性に対する評価 (問 45)	70
(5) 外出時の移動手段 (問 46)	71
21. 産業の振興 (問 47)	72
22. 文化遺産の保存と活用 (問 48)	73
23. 観光基盤の整備充実	74
(1) 観光客の来訪についての評価 (問 49)	74
24. 国際交流・友好都市交流の推進	75
(1) 外国人との交流頻度 (問 50)	75
(2) 姉妹都市・友好都市の認知 (問 51)	76
(3) 外国人や留学生との交流方法 (問 52)	78
25. 市民参画の推進	79
(1) 自治会活動への参加状況 (問 53)	79
(2) ボランティア活動への参加状況 (問 54)	80
第4節 行政サービスについて	81
1. 情報の共有化と活用	81
(1) 市民と行政との情報の共有 (問 55)	81
(2) 行政情報の接触状況 (問 56)	82
(3) 「広報だざいふ」の閲読内容 (問 56 付問 1)	85
(4) 情報公開・提供に対する意識 (問 57)	87
(5) インターネット利用の有無 (問 58)	88
2. 市民のための行政運営	89
(1) 効果的な行政運営 (問 59)	89
(2) 市職員の応対や行動に対する満足度 (問 60)	90
(3) 市役所窓口の利用の有無 (問 61)	91
(4) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 61 付問 1)	92
(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 61 付問 2)	93
3. 広域連携の推進 (問 62)	94
第5節 まちづくりに対する自由意見	95
附属資料 使用した調査票	107

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に活かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1) 調査地域

太宰府市全域

(2) 調査対象

太宰府市内に居住する20歳以上の市民

(3) 調査対象者数

1,000 サンプル

(4) 抽出方法

住民基本台帳による単純無作為抽出法

(5) 調査方法

郵送法（お礼兼督促状1回郵送）

(6) 調査期間

配 布：平成27年2月5日（木）

投函締切：平成27年2月20日（金）

（ただし、2月27日到着分まで有効票とした）

(7) 回収状況

回 収 数：494件（回収率49.4%）

うち有効回収数：494件

3. 調査項目

1. 回答者の属性	問1	性別		
	問2	年齢		
	問3	世帯構成		
	問4	職業		
	問4付問1	通勤、通学先		
	問5	小学校校区		
	問6	居住年数		
2. 住みやすさについて	問7	居住形態		
	問8	太宰府市の住みやすさ		
	問9	継続居住意向		
3. 日頃の暮らし、行動について	問9付問1	住み続けたい理由		
	問9付問2	住み続けたくない理由		
	第5次総合計画前期基本計画の施策について	問10	総合計画前期基本計画の施策に対する考え方(全34項目)	
	子育て支援の推進	問11	子育てのしやすさ	
	高齢者福祉の推進	問12	生きがいの有無	
		問13	高齢者福祉サービスの充実度	
	障がい福祉の推進	問14	障がい者福祉サービスの充実度	
		問15	公共施設の配慮に対する意識	
	地域福祉の推進	問16	地域での福祉活動	
	生涯健康づくりの推進	問17	健康状態	
		問18	健康増進への取り組み状況	
		問19	健康診査の受診状況	
	防災・消防体制の整備充実	問20	災害への備え(全5項目)	
	防犯・暴力追放運動の推進	問21	防犯面の安心度	
		問21付問1	防犯上危険と思う場所	
	安全な消費生活の推進	問22	不当請求や不適正な取引行為の被害状況	
		問22付問1	被害や不安に感じた内容	
	人権を尊重するまちづくりの推進	問23	人権侵害の経験の有無	
		問23付問1	人権侵害の内容	
		問24	人権問題への認識	
	男女共同参画の推進	問25	固定的な役割分担に対する考え方	
		問26	男女間の地位に対する平等感	
	生涯学習の推進	問27	生涯学習活動への取り組み状況	
		問28	運動・スポーツへの取り組み頻度	
	文化芸術の振興	問29	文化芸術活動の実施頻度	
	生活環境の向上	問30	自宅周辺の衛生環境	
		問31	環境マナーの順守状況	
		問32	美化活動への参加状況	
	自然共生社会の構築	問33	自然の豊かさについて	
		問34	野鳥や昆虫とのふれあう場所について	
	循環型社会の構築	問35	生ごみ堆肥化への取り組み	
		問36	省エネ・省資源活動の実施	
	環境教育・学習の推進	問37	環境に関する学習会・講演会への参加	
	未来に伝える景観づくり	問38	自然の美しさへの評価	
		問39	歴史的景観の美しさへの評価	
		問40	居住地区のまちなみ評価	
	計画的なまちづくりの推進	問41	住環境の快適さへの評価	
		問42	商業施設等の利便性への評価	
		問42付問1	家の近くにあると便利な施設	
	地域交通体系の整備	問43	バスの利便性に対する評価	
		問43付問1	コミュニティバスの利便性に対する評価	
		問44	鉄道の利便性に対する評価	
		問45	道路の円滑性に対する評価	
		問46	外出時の移動手段	
	産業の振興	問47	買い物する場所	
	文化遺産の保存と活用	問48	歴史文化遺産の評価	
	観光基盤の整備充実	問49	観光客の来訪についての評価	
	国際交流・友好都市交流の推進	問50	外国人との交流頻度	
		問51	姉妹都市、友好都市の認知	
		問52	外国人や留学生との交流方法	
	市民参画の推進	問53	自治会活動への参加状況	
		問54	ボランティア活動への参加状況	
	4. 行政サービスについて	情報の共有化と活用	問55	市民と行政との情報共有
			問56	行政情報の接触状況
			問56付問1	「広報だざいふ」の閲読内容
			問57	情報公開・提供への評価
			問58	インターネット利用の有無
		市民のための行政運営	問59	効果的な行政運営への評価
			問60	市職員の対応や行動に対する満足度
			問61	市役所窓口利用の有無
			問61付問1	事務処理の迅速化に対する評価
			問61付問2	職員の対応や姿勢への満足度
広域連携の推進	問62	広域連携によるサービス向上に対する評価		
自由意見				

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。
N=標本全数
n=該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 過去の調査結果と比較検討が可能な設問については、図中ではH22年度調査、H23年度調査、H24年度調査、H25年度調査の表記で掲載している。なお、一部の質問文や選択肢では、過去の調査とは文言が変更になっているものもある。

第2章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性

1. 性別（問1）

●回答者の性別は「男性」が約4割、「女性」が約6割となっている。

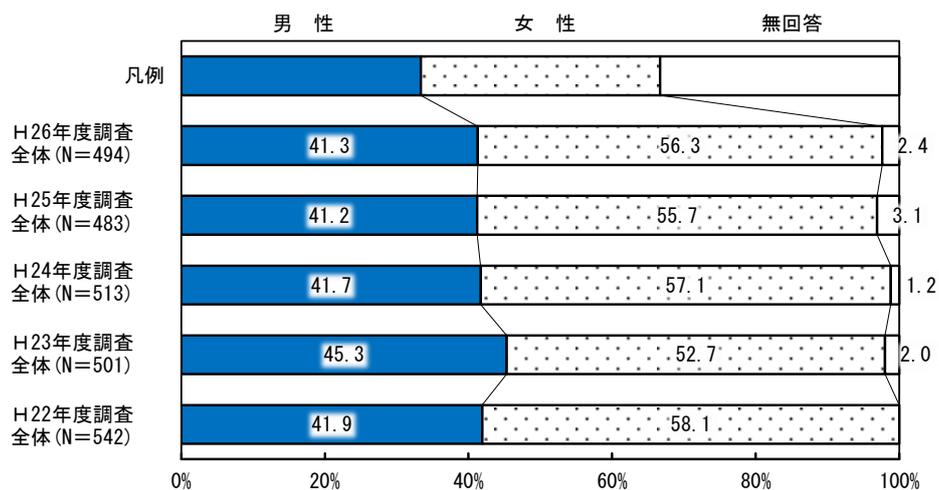
回答者は「男性」が41.3%、「女性」が56.3%で、女性の方が15.0ポイント高くなっている。

過去の調査結果をみると、「女性」の方が多い傾向は変わらない。

年代別にみると、20歳代と70歳以上を除いて「女性」の方が多く、30歳代、40歳代、50歳代は6割を超えている。

小学校区別にみると、水城小学校区は「男性」の割合が50.0%で、唯一男性が高くなっている。

問1. あなたの性別についてお選びください。



		標本数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		494	41.3	56.3	2.4
年代別	20歳代	35	51.4	48.6	-
	30歳代	71	39.4	60.6	-
	40歳代	75	40.0	60.0	-
	50歳代	70	38.6	61.4	-
	60歳代	142	38.7	59.9	1.4
	70歳以上	95	48.4	47.4	4.2
	無回答	6	-	-	100.0
	小学校区別	太宰府小学校区	83	37.3	62.7
太宰府東小学校区		34	41.2	55.9	2.9
太宰府南小学校区		31	48.4	48.4	3.2
水城小学校区		70	50.0	48.6	1.4
水城西小学校区		69	43.5	56.5	-
太宰府西小学校区		100	39.0	59.0	2.0
国分小学校区		70	38.6	60.0	1.4
わからない		28	42.9	57.1	-
無回答		9	11.1	22.2	66.7

2. 年齢（問2）

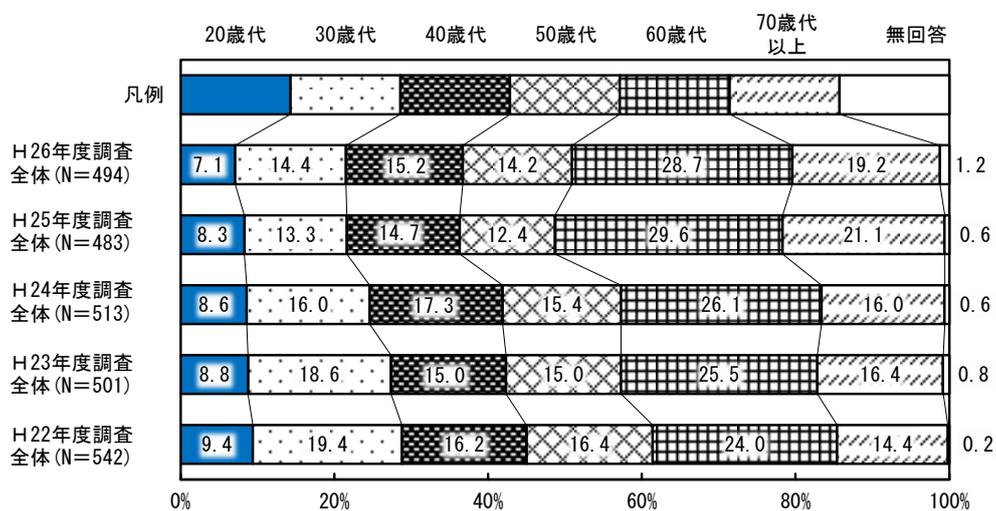
●回答者の年齢はこれまでの調査と同様、60歳代が最も多くなっている。

回答者の年齢は「60歳代」（28.7%）が最も高く、次いで「70歳代以上」（19.2%）、「40歳代」（15.2%）、「30歳代」（14.4%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、60歳以上の割合が高い傾向は変わらない。

小学校区別にみると、概ね「60歳代」の割合が高くなっているものの、水城小学校区は「30歳代」（22.9%）、水城西小学校区は「40歳代」（24.6%）、が最も高くなっている。なお、太宰府東小学校区は「60歳代」と「70歳代」（ともに29.4%）となり、「70歳代」が他の校区に比べて高くなっている。

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。（平成27年3月末時点で）



		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
全体		494	7.1	14.4	15.2	14.2	28.7	19.2	1.2
小学校区別	太宰府小学校区	83	13.3	10.8	12.0	16.9	30.1	16.9	-
	太宰府東小学校区	34	5.9	20.6	8.8	5.9	29.4	29.4	-
	太宰府南小学校区	31	3.2	9.7	12.9	19.4	41.9	12.9	-
	水城小学校区	70	8.6	22.9	20.0	12.9	18.6	17.1	-
	水城西小学校区	69	2.9	15.9	24.6	17.4	17.4	21.7	-
	太宰府西小学校区	100	3.0	8.0	10.0	12.0	41.0	26.0	-
	国分小学校区	70	7.1	12.9	17.1	14.3	34.3	14.3	-
	わからない	28	17.9	28.6	17.9	17.9	14.3	3.6	-
無回答	9	-	-	-	-	-	33.3	66.7	

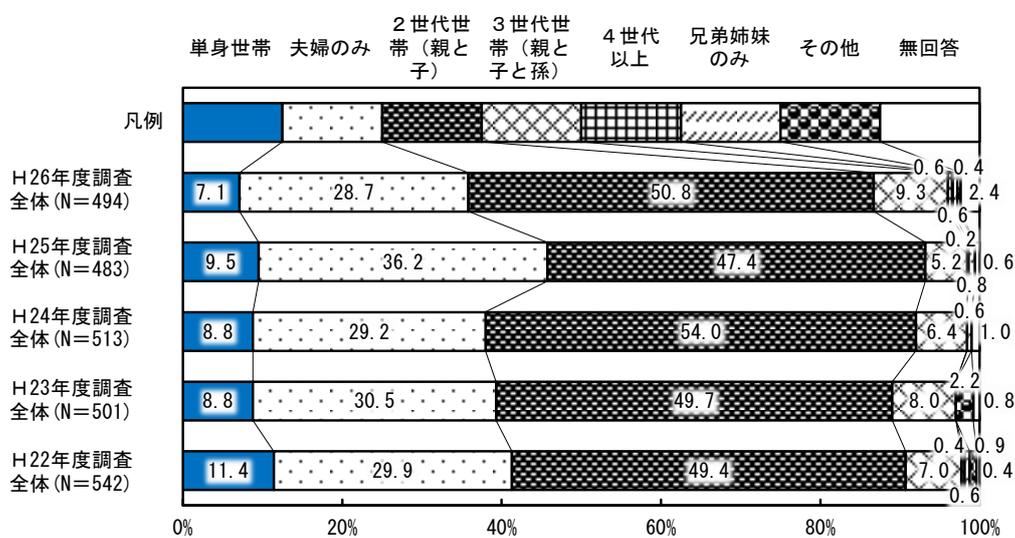
3. 世帯構成（問3）

- 「2世代世帯」が約5割、「夫婦のみ」の世帯が約3割となっている。
- 60歳代以上では「夫婦のみ」の世帯の割合が高く、特に70歳以上で高い。

「2世代世帯（親と子）」（50.8%）が最も高く、次いで「夫婦のみ」（28.7%）となっている。平成25年度調査（前回）の調査結果と比べると、「夫婦のみ」が大きく減少し、「2世代世帯（親と子）」が増加している。

年代別にみると、60歳代、70歳以上では「夫婦のみ」が高く、高齢夫婦世帯となっている。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	(2世代世帯 (親と子))	(3世代世帯 (親と子と孫))	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		494	35	142	251	46	3	3	2	12
		100.0	7.1	28.7	50.8	9.3	0.6	0.6	0.4	2.4
性別	男性	204	6.9	28.4	51.5	8.3	1.5	1.0	-	2.5
	女性	278	7.2	28.8	52.2	10.4	-	0.4	0.7	0.4
	無回答	12	8.3	33.3	8.3	-	-	-	-	50.0
年代別	20歳代	35	11.4	2.9	77.1	8.6	-	-	-	-
	30歳代	71	5.6	4.2	77.5	12.7	-	-	-	-
	40歳代	75	8.0	13.3	70.7	8.0	-	-	-	-
	50歳代	70	7.1	18.6	61.4	11.4	-	1.4	-	-
	60歳代	142	7.0	46.5	34.5	7.7	2.1	0.7	0.7	0.7
	70歳以上	95	6.3	51.6	25.3	9.5	-	1.1	1.1	5.3
	無回答	6	-	-	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	28.9	51.8	12.0	1.2	-	1.2	1.2
	太宰府東小学校区	34	8.8	35.3	44.1	11.8	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	31	3.2	41.9	41.9	9.7	3.2	-	-	-
	水城小学校区	70	7.1	22.9	57.1	8.6	-	1.4	1.4	1.4
	水城西小学校区	69	4.3	21.7	58.0	10.1	-	2.9	-	2.9
	太宰府西小学校区	100	5.0	41.0	44.0	7.0	1.0	-	-	2.0
	国分小学校区	70	7.1	21.4	60.0	11.4	-	-	-	-
	わからない	28	32.1	21.4	42.9	3.6	-	-	-	-
	無回答	9	11.1	-	22.2	-	-	-	-	66.7

4. 職業（問4）

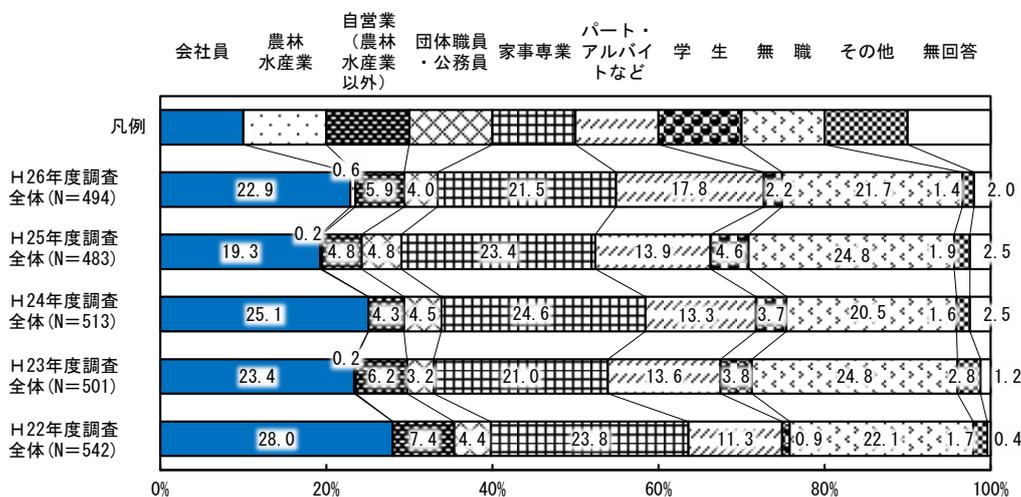
●職業は「会社員」（22.9%）、「無職」（21.7%）、「家事専業」（21.5%）が主である。

回答者の職業は、「会社員」（22.9%）で最も高く、次いで「無職」（21.7%）、「家事専業」（21.5%）、の順となっている。

過去の調査結果と比較すると、「パート・アルバイト」の割合が概ね増加傾向となっている。なお、「会社員」は前回減少したが、今回は増加している。

性別にみると、男性は「会社員」（36.8%）、「無職」（30.9%）の順となっている。一方、女性は「家事専業」（37.8%）、「パート・アルバイトなど」（24.1%）の順となっている。

問4. あなたのご職業を次の中から選びください。（2つ以上あるときは主なもの1つ）



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	公務員・団体職員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		494	113	3	29	20	106	88	11	107	7	10
性別	男性	204	36.8	1.5	9.8	7.4	-	10.3	2.0	30.9	1.5	-
	女性	278	13.3	-	3.2	1.8	37.8	24.1	2.5	14.4	1.4	1.4
	無回答	12	8.3	-	-	-	8.3	-	-	33.3	-	50.0
性別・年代別	男性:20歳代	18	44.4	5.6	5.6	-	-	16.7	11.1	16.7	-	-
	男性:30歳代	28	53.6	-	14.3	3.6	-	10.7	7.1	7.1	3.6	-
	男性:40歳代	30	56.7	3.3	3.3	23.3	-	10.0	-	3.3	-	-
	男性:50歳代	27	59.3	-	7.4	14.8	-	3.7	-	7.4	7.4	-
	男性:60歳代	55	30.9	-	14.5	3.6	-	12.7	-	38.2	-	-
	男性:70歳代以上	46	4.3	2.2	8.7	2.2	-	8.7	-	73.9	-	-
	女性:20歳代	17	23.5	-	-	5.9	5.9	23.5	41.2	-	-	-
	女性:30歳代	43	23.3	-	2.3	-	30.2	39.5	-	2.3	-	2.3
	女性:40歳代	45	20.0	-	2.2	4.4	24.4	35.6	-	6.7	4.4	2.2
	女性:50歳代	43	16.3	-	14.0	4.7	16.3	34.9	-	9.3	4.7	-
女性:60歳代	85	8.2	-	1.2	-	60.0	15.3	-	15.3	-	-	
女性:70歳代以上	45	-	-	-	-	48.9	4.4	-	42.2	-	4.4	
無回答	12	8.3	-	-	-	8.3	-	-	33.3	-	50.0	
小学校区別	太宰府小学校区	83	24.1	-	7.2	-	22.9	21.7	3.6	19.3	1.2	-
	太宰府東小学校区	34	23.5	-	5.9	2.9	23.5	23.5	-	20.6	-	-
	太宰府南小学校区	31	29.0	-	3.2	-	19.4	19.4	-	25.8	3.2	-
	水城小学校区	70	20.0	-	7.1	7.1	14.3	25.7	2.9	20.0	-	2.9
	水城西小学校区	69	20.3	1.4	1.4	7.2	18.8	15.9	2.9	27.5	4.3	-
	太宰府西小学校区	100	17.0	1.0	9.0	2.0	30.0	15.0	2.0	22.0	-	2.0
	国分小学校区	70	30.0	-	4.3	10.0	24.3	8.6	-	21.4	1.4	-
	わからない	28	35.7	3.6	7.1	-	10.7	21.4	7.1	10.7	3.6	-
無回答	9	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7	

5. 通勤・通学先（問4付問1）

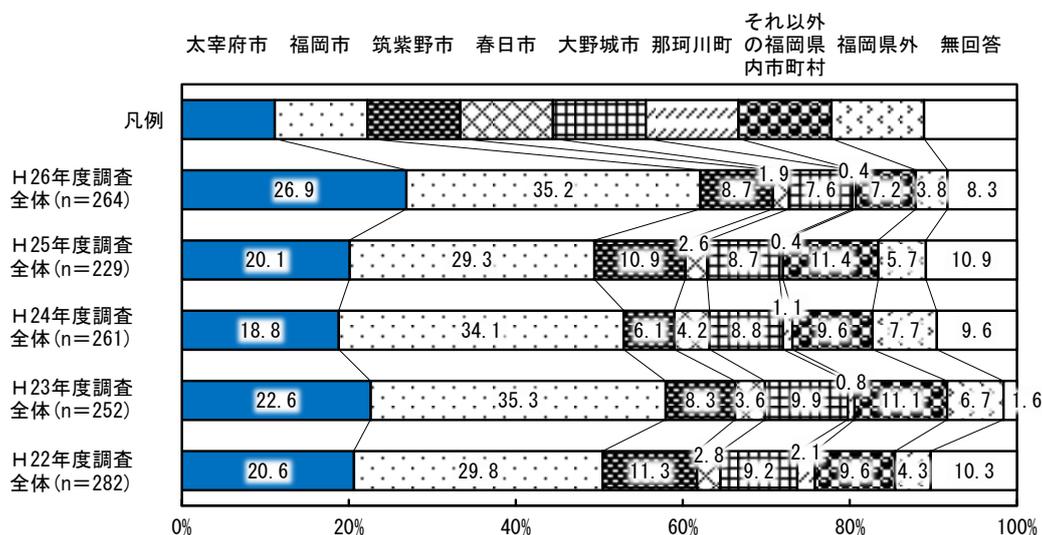
●通勤・通学先は「福岡市」が35.2%、「太宰府市」が26.9%となっている。

通勤・通学先は「福岡市」（35.2%）が最も高く、次いで「太宰府市」（26.9%）、「筑紫野市」（8.7%）となっている。

過去の調査結果と比べると、「太宰府市」と「福岡市」の割合が増加し、特に「太宰府市」は、22年度からの調査の中で最も高くなっている。

性別にみると、男性は「福岡市」（42.8%）、女性は「太宰府市」（35.2%）が、それぞれ最も高くなっている。

問4付問1.【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	内市福以町岡以外	福岡県外	無回答
全体		264 100.0	71 26.9	93 35.2	23 8.7	5 1.9	20 7.6	1 0.4	19 7.2	10 3.8	22 8.3
性別	男性	138	18.8	42.8	7.2	2.2	4.3	-	8.7	5.1	10.9
	女性	125	35.2	27.2	10.4	1.6	11.2	0.8	5.6	2.4	5.6
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	31	19.4	45.2	9.7	-	-	3.2	6.5	-	16.1
	30歳代	53	30.2	32.1	9.4	1.9	5.7	-	5.7	9.4	5.7
	40歳代	57	24.6	36.8	8.8	-	8.8	-	10.5	7.0	3.5
	50歳代	53	28.3	26.4	5.7	3.8	15.1	-	7.5	-	13.2
	60歳代	55	27.3	38.2	12.7	3.6	5.5	-	7.3	1.8	3.6
	70歳以上	15	33.3	40.0	-	-	6.7	-	-	-	20.0
	小学校区別	太宰府小学校区	47	34.0	31.9	8.5	2.1	2.1	-	4.3	6.4
太宰府東小学校区	19	31.6	31.6	15.8	-	5.3	-	5.3	5.3	5.3	
太宰府南小学校区	16	18.8	31.3	12.5	-	6.3	-	18.8	12.5	-	
水城小学校区	44	31.8	29.5	9.1	4.5	2.3	-	9.1	2.3	11.4	
水城西小学校区	34	26.5	44.1	2.9	-	11.8	-	2.9	8.8	2.9	
太宰府西小学校区	46	23.9	32.6	13.0	2.2	10.9	-	2.2	-	15.2	
国分小学校区	37	18.9	40.5	5.4	2.7	13.5	2.7	10.8	-	5.4	
わからない	21	23.8	42.9	4.8	-	9.5	-	14.3	-	4.8	

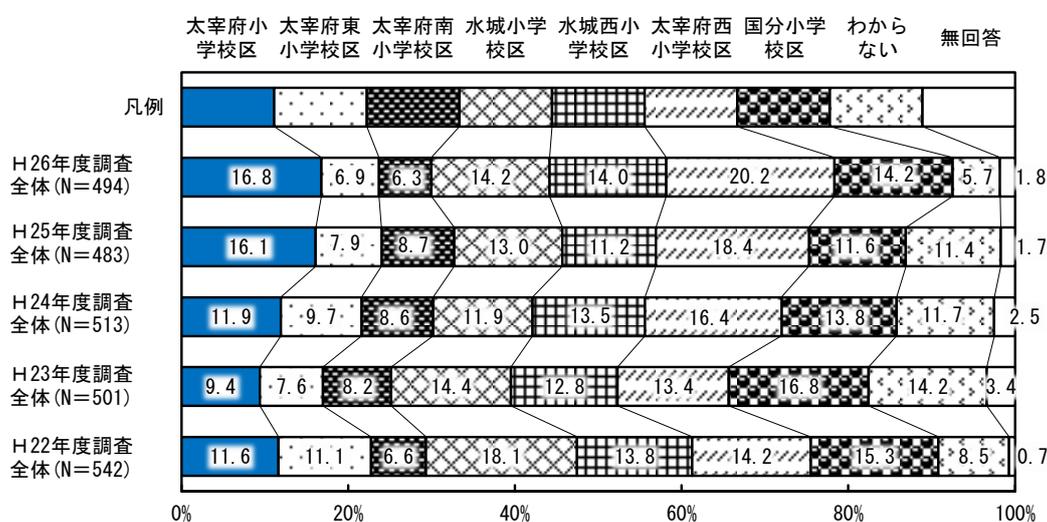
6. 小学校区（問5）

●住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」（20.2%）と「太宰府小学校区」（16.8%）が多くなっている。

回答者の住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」（20.2%）が最も高く、次いで「太宰府小学校区」（16.8%）、「水城小学校区」と「国分小学校区」（ともに14.2%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「太宰府小学校区」、「太宰府西小学校区」は平成23年度からの増加傾向が続いている。

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。



		標 本 数	学太 校宰 区府 小	小太 学宰 校府 区東	小太 学宰 校府 区南	校水 区城 小 学	学水 校城 区西 小	小太 学宰 校府 区西	校国 区分 小 学	いわ から な	無 回 答
全 体		494	83	34	31	70	69	100	70	28	9
		100.0	16.8	6.9	6.3	14.2	14.0	20.2	14.2	5.7	1.8
性 別	男 性	204	15.2	6.9	7.4	17.2	14.7	19.1	13.2	5.9	0.5
	女 性	278	18.7	6.8	5.4	12.2	14.0	21.2	15.1	5.8	0.7
	無回答	12	-	8.3	8.3	8.3	-	16.7	8.3	-	50.0
年 代 別	20歳代	35	31.4	5.7	2.9	17.1	5.7	8.6	14.3	14.3	-
	30歳代	71	12.7	9.9	4.2	22.5	15.5	11.3	12.7	11.3	-
	40歳代	75	13.3	4.0	5.3	18.7	22.7	13.3	16.0	6.7	-
	50歳代	70	20.0	2.9	8.6	12.9	17.1	17.1	14.3	7.1	-
	60歳代	142	17.6	7.0	9.2	9.2	8.5	28.9	16.9	2.8	-
	70歳以上	95	14.7	10.5	4.2	12.6	15.8	27.4	10.5	1.1	3.2
	無回答	6	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

7. 居住年数（問6）

- 居住年数が「25年以上」が4割を占めている。
- これまでの調査と比べ、居住年数が年々長くなる傾向がみられる。

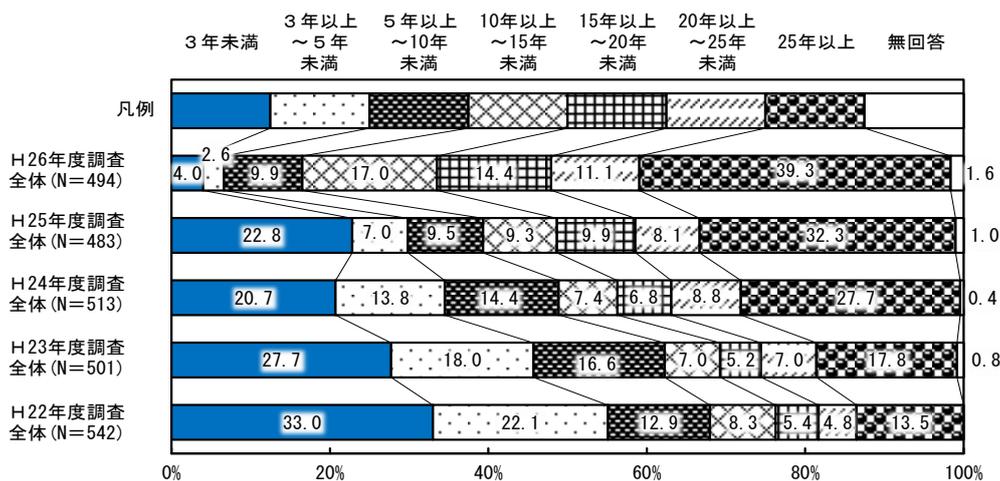
回答者の居住年数は「25年以上」（39.3%）が4割を占め最も高くなっている。次いで「10年以上～15年未満」（17.0%）、「15年以上～20年未満」（14.4%）と続く。

過去の調査結果と比べると、26年度調査（今回）は「3年未満」（18.8ポイント減）が大きく減少し、「3年以上～5年未満」（4.4ポイント減）も減少している影響が、『5年以上』の各区分の増加につながっていると思われる。

年代別にみると、20歳代は「3年未満」の割合が最も高く、一方、70歳代以上は「25年以上」（63.2%）が6割、60歳代も同様に54.2%と5割を超えて高くなっている。

小学校区別にみると、どの校区も「25年以上」の割合が最も高い。

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。（平成27年3月末時点で）次の中から選びください。



		標本数	3年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答	
全体		494	20	13	49	84	71	55	194	8
		100.0	4.0	2.6	9.9	17.0	14.4	11.1	39.3	1.6
性別	男性	204	5.4	4.9	6.4	13.7	14.2	10.3	45.1	-
	女性	278	2.9	0.7	12.9	19.8	15.1	11.9	36.0	0.7
	無回答	12	8.3	8.3	-	8.3	-	8.3	16.7	50.0
年代別	20歳代	35	25.7	5.7	11.4	14.3	14.3	11.4	17.1	-
	30歳代	71	9.9	-	19.7	35.2	8.5	2.8	23.9	-
	40歳代	75	-	-	20.0	34.7	10.7	9.3	25.3	-
	50歳代	70	2.9	4.3	4.3	18.6	30.0	18.6	21.4	-
	60歳代	142	-	2.1	6.3	2.1	18.3	16.9	54.2	-
	70歳以上	95	2.1	5.3	4.2	12.6	5.3	5.3	63.2	2.1
	無回答	6	-	-	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	1.2	13.3	13.3	7.2	15.7	44.6	1.2
	太宰府東小学校区	34	5.9	-	14.7	20.6	14.7	8.8	35.3	-
	太宰府南小学校区	31	-	3.2	-	12.9	22.6	19.4	41.9	-
	水城小学校区	70	5.7	1.4	10.0	21.4	20.0	11.4	30.0	-
	水城西小学校区	69	1.4	2.9	10.1	26.1	15.9	10.1	33.3	-
	太宰府西小学校区	100	2.0	1.0	4.0	12.0	13.0	10.0	58.0	-
	国分小学校区	70	2.9	2.9	11.4	12.9	18.6	10.0	41.4	-
	わからない	28	21.4	17.9	25.0	25.0	7.1	3.6	-	-
	無回答	9	-	-	-	11.1	-	-	11.1	77.8

8. 居住形態（問7）

●「持ち家・分譲マンション」が78.9%で、割合が年々増加している。

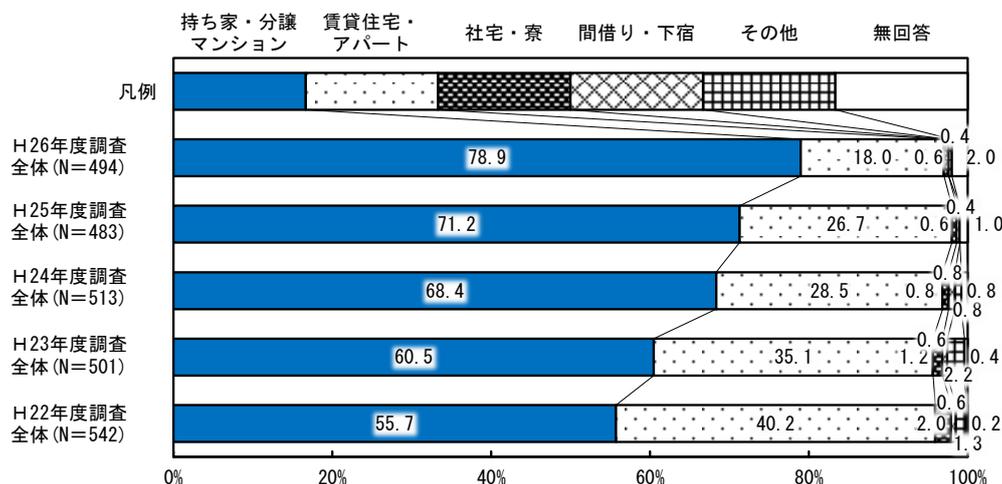
居住形態は「持ち家・分譲マンション」が78.9%で最も高く、次いで「賃貸住宅・アパート」の18.0%となっている。

過去の調査結果と比べると、「持ち家・分譲マンション」の割合が年々増加している一方、「賃貸住宅・アパート」の割合が減少している。

年代別にみると、どの年代も「持ち家・分譲マンション」の割合が最も高くなっている。50歳代以上では8割を超えており、特に60歳代では約9割を占めている。

小学校区別にみると、いずれも「持ち家・分譲マンション」の割合が最も高いものの、水城小学校区は「賃貸住宅・アパート」（35.7%）も他の小学校区に比べて高くなっている。

問7. あなたのお住まいを次の中から選びください。



		標本数	シ分持 ヨ譲ち ンマ家 ン・	ア賃 パ貸 ー住 ト宅	社宅 ・寮	下間 宿借 り・	その他	無回答
全体		494	390	89	3	-	2	10
性別	男性	204	80.4	18.1	0.5	-	0.5	0.5
	女性	278	80.2	17.6	0.7	-	0.4	1.1
	無回答	12	25.0	25.0	-	-	-	50.0
年代別	20歳代	35	51.4	42.9	5.7	-	-	-
	30歳代	71	66.2	32.4	-	-	1.4	-
	40歳代	75	73.3	26.7	-	-	-	-
	50歳代	70	80.0	17.1	1.4	-	-	1.4
	60歳代	142	91.5	7.7	-	-	-	0.7
	70歳以上	95	88.4	8.4	-	-	1.1	2.1
	無回答	6	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	83.1	14.5	2.4	-	-	-
	太宰府東小学校区	34	94.1	5.9	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	31	90.3	6.5	-	-	3.2	-
	水城小学校区	70	61.4	35.7	-	-	-	2.9
	水城西小学校区	69	81.2	17.4	-	-	-	1.4
	太宰府西小学校区	100	91.0	9.0	-	-	-	-
	国分小学校区	70	87.1	11.4	-	-	1.4	-
	わからない	28	32.1	64.3	3.6	-	-	-
	無回答	9	11.1	11.1	-	-	-	77.8

第2節 住みやすさについて

1. 太宰府市の住みやすさ（問8）

●太宰府市の住みやすさについて『満足派』は70.2%、『不満派』は11.3%となっている。

太宰府市の住みやすさについて、『満足派』（「住みやすい」（27.5%）と「どちらかといえば住みやすい」（42.7%）の合計）の割合は70.2%、一方、『不満派』（「住みにくい」（3.4%）と「どちらかといえば住みにくい」（7.9%）の合計）は11.3%で、『満足派』が7割を占めて高くなっている。

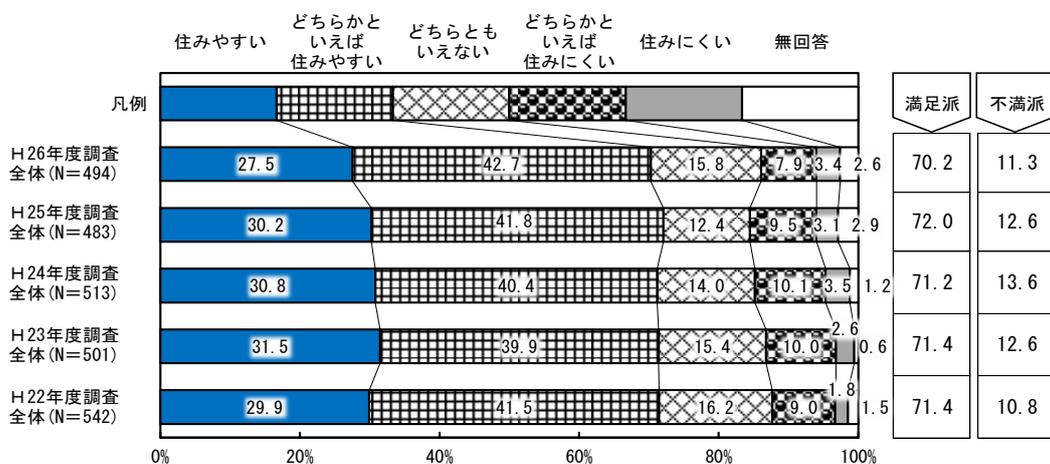
過去の調査結果と比べると、『満足派』が7割を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『満足派』は男性（72.1%）の方が女性（69.4%）よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が6割を超えている。なお、『満足派』が最も高いのは30歳代（74.6%）となっている。

小学校区別にみると、件数が少ない太宰府南小学校区を除くと、いずれも『満足派』が6割を超えている。同様に件数が少ないので参考ではあるが、『満足派』が最も高いのは太宰府東小学校区（79.4%）となっている。

問8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）



		標本数	住みやすい	やいど すえち らば いばら 住か みと	いど えち なら な い と も	にいど くえち らば いばら 住か みと	住 み に く い	無 回 答	満 足 派	不 満 派
全 体		494	136	211	78	39	17	13	347	56
		100.0	27.5	42.7	15.8	7.9	3.4	2.6	70.2	11.3
性 別	男 性	204	29.9	42.2	14.7	6.9	2.5	3.9	72.1	9.4
	女 性	278	25.9	43.5	15.8	9.0	4.3	1.4	69.4	13.3
	無回答	12	25.0	33.3	33.3	-	-	8.3	58.3	-
年 代 別	20歳代	35	20.0	48.6	14.3	5.7	8.6	2.9	68.6	14.3
	30歳代	71	23.9	50.7	8.5	9.9	5.6	1.4	74.6	15.5
	40歳代	75	28.0	44.0	13.3	8.0	4.0	2.7	72.0	12.0
	50歳代	70	21.4	48.6	20.0	7.1	-	2.9	70.0	7.1
	60歳代	142	32.4	36.6	16.9	8.5	3.5	2.1	69.0	12.0
	70歳以上	95	28.4	40.0	18.9	7.4	2.1	3.2	68.4	9.5
	無回答	6	50.0	16.7	16.7	-	-	16.7	66.7	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	83	26.5	37.3	13.3	12.0	6.0	4.8	63.8	18.0
	太宰府東小学校区	34	20.6	58.8	14.7	-	-	5.9	79.4	-
	太宰府南小学校区	31	29.0	25.8	25.8	6.5	9.7	3.2	54.8	16.2
	水城小学校区	70	27.1	45.7	17.1	7.1	2.9	-	72.8	10.0
	水城西小学校区	69	24.6	53.6	14.5	1.4	1.4	4.3	78.2	2.8
	太宰府西小学校区	100	30.0	43.0	15.0	7.0	3.0	2.0	73.0	10.0
	国分小学校区	70	28.6	40.0	14.3	15.7	1.4	-	68.6	17.1
	わからない	28	28.6	39.3	14.3	10.7	7.1	-	67.9	17.8
	無回答	9	44.4	11.1	33.3	-	-	11.1	55.5	-

2. 継続居住意向（問9）

●「住み続けたい」は62.1%、「住み続けたくない」は13.0%となっている。

太宰府市に今後も「住み続けたい」と答えた人は62.1%で、「住み続けたくない」（13.0%）を大きく上回っている。

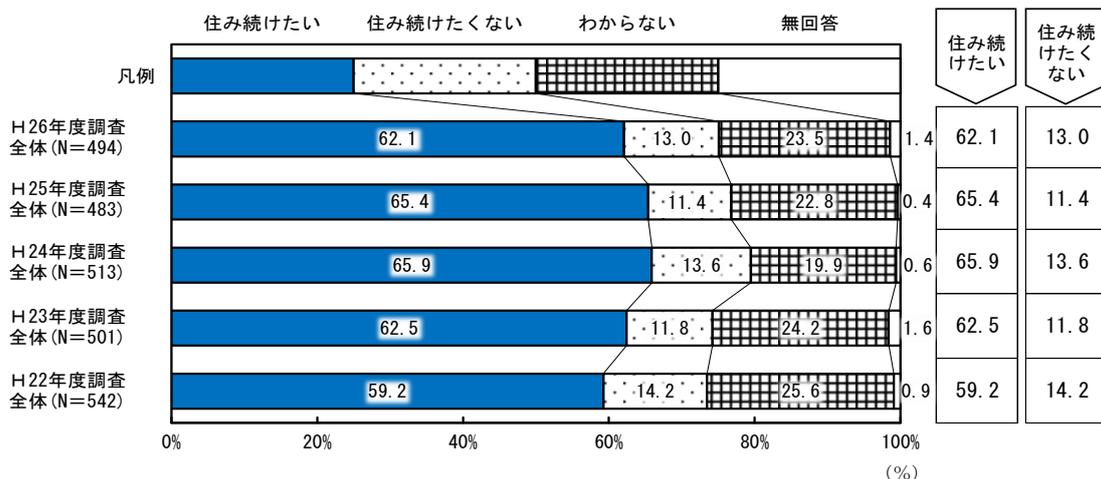
過去の調査結果と比べると、「住み続けたい」の割合は6割で、大きな差はない。

年代別にみると、「住み続けたい」の割合が最も高いのは70歳以上（73.7%）、一方、「住み続けたくない」の割合が最も高いのは30歳代（22.5%）となっている。

小学校区別にみると、「住み続けたい」の割合が最も高いのは水城西小学校区（73.9%）、一方、「住み続けたくない」の割合が最も高いのは太宰府南小学校区（16.1%）となっている。

住みやすさ別にみると、住みやすいと感じている人の9割、どちらかといえば住みやすいと感じている人の7割が、それぞれ「住み続けたい」意向を持っている。

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）



	標本数	住み続けたい (%)	住み続けたくない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体	494	62.1	13.0	23.5	1.4
性別					
男性	204	63.7	13.2	23.0	-
女性	278	61.2	12.2	24.1	2.5
無回答	12	58.3	25.0	16.7	-
年代別					
20歳代	35	34.3	20.0	45.7	-
30歳代	71	57.7	22.5	19.7	-
40歳代	75	69.3	9.3	20.0	1.3
50歳代	70	57.1	8.6	32.9	1.4
60歳代	142	62.0	12.7	22.5	2.8
70歳以上	95	73.7	9.5	15.8	1.1
無回答	6	66.7	16.7	16.7	-
小学校区別					
太宰府小学校区	83	63.9	12.0	21.7	2.4
太宰府東小学校区	34	67.6	5.9	26.5	-
太宰府南小学校区	31	48.4	16.1	32.3	3.2
水城小学校区	70	60.0	14.3	25.7	-
水城西小学校区	69	73.9	8.7	17.4	-
太宰府西小学校区	100	64.0	14.0	19.0	3.0
国分小学校区	70	57.1	15.7	25.7	1.4
わからない	28	46.4	17.9	35.7	-
無回答	9	66.7	11.1	22.2	-
住みやすさ別					
住みやすい	136	90.4	1.5	8.1	-
どちらかといえば住みやすい	211	69.7	4.7	24.2	1.4
どちらともいえない	78	25.6	16.7	55.1	2.6
どちらかといえば住みにくい	39	23.1	61.5	12.8	2.6
住みにくい	17	5.9	88.2	5.9	-
無回答	13	53.8	-	38.5	7.7

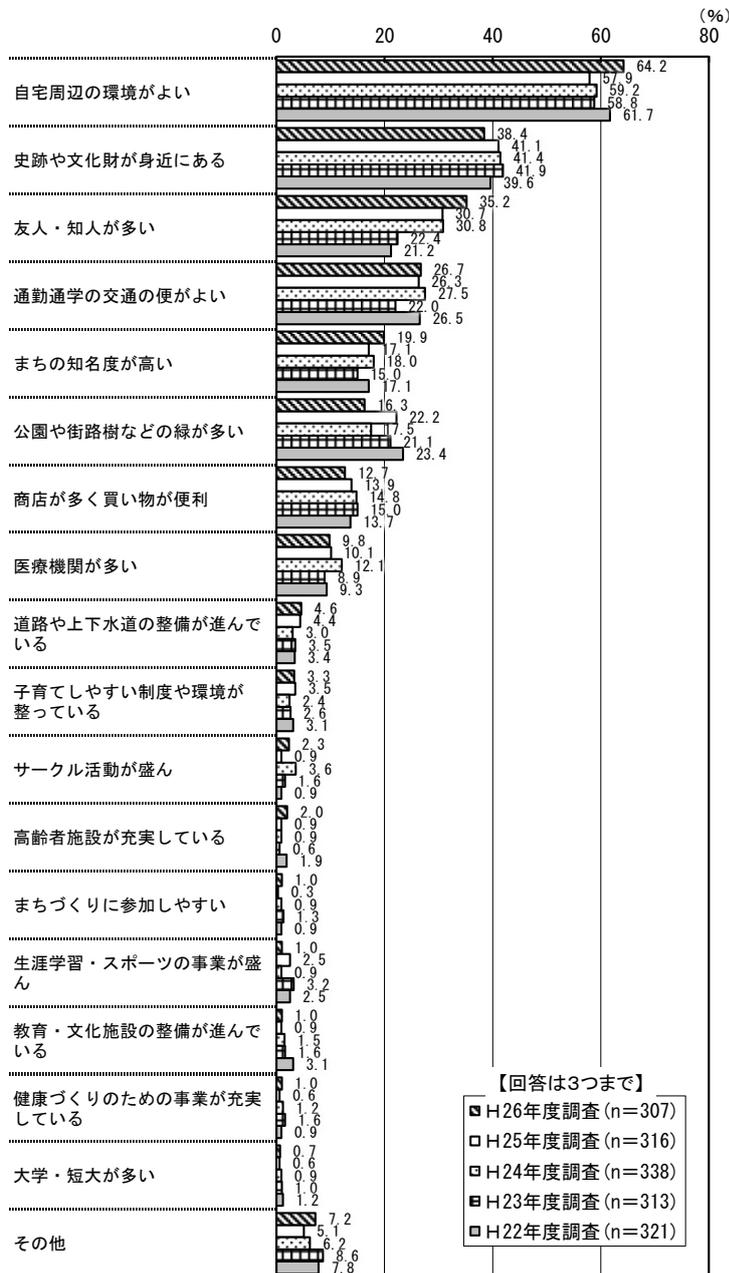
3. 住み続けたい理由（問9付問1）

●住み続けたい理由は、「自宅周辺の環境がよい」（64.2%）が最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」（38.4%）、「友人・知人が多い」（35.2%）などの順となっている。

「住み続けたい」と回答した理由をみると、「自宅周辺の環境がよい」（64.2%）が最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」（38.4%）、「友人・知人が多い」（35.2%）と続く。

過去の調査結果と比べると、「自宅周辺の環境がよい」と「友人・知人が多い」が増加している。

問9付問1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。（〇は3つまで）



性別にみると、男女ともに1位になっている「自宅周辺の環境がよい」は男性64.6%に対して女性64.7%で、男女の差がなくなっている。一方、同3位の「友人・知人が多い」は男性25.4%、女性42.9%で、女性の方が男性よりも17.5ポイント上回っている。

年代別にみると、サンプル数が少ない20歳代を除き、30歳代以上はいずれの年代も「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。他の年代の特色としては、30歳代は「通勤通学の交通の便がよい」(43.9%)、40歳代は「まちの知名度が高い」(28.8%)、50歳代は「史跡や文化財が身近にある」(47.5%)が、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

(%)

	標本数	自宅周辺の環境がよい	史跡や文化財が身近にある	友人・知人が多い	よ通 通 通 学 の 交 通 の 便 が	ま ち の 知 名 度 が 高 い	が 多 い 公 園 や 街 路 樹 な ど の 緑	利 商 店 が 多 く 買 い 物 が 便	医 療 機 関 が 多 い	が 道 路 や 上 下 水 道 の 整 備	環 境 が 整 つ て い る 制 度 や	子 育 て し や す い な い 制 度 や	サ ー ク ル 活 動 が 盛 ん	高 齢 者 施 設 が 充 実 し て い る	ま ち づ く り に 参 加 し や す い	事 業 が 盛 ん ス ポ ー ツ の	生 涯 学 習 ・ ス ポ ー ツ の	教 育 ・ 文 化 施 設 の 整 備	業 が 充 実 し て い る	健 康 づ く り の た め の 事	大 学 ・ 短 大 が 多 い	そ の 他	無 回 答
全体	307 100.0	197 64.2	118 38.4	108 35.2	82 26.7	61 19.9	50 16.3	39 12.7	30 9.8	14 4.6	10 3.3	7 2.3	6 2.0	3 1.0	3 1.0	3 1.0	3 1.0	3 1.0	2 0.7	22 7.2	3 1.0		
性別																							
男性	130	64.6	43.1	25.4	26.9	23.8	11.5	11.5	10.8	3.1	0.8	1.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.6	1.2	7.7	0.8	
女性	170	64.7	35.3	42.9	27.1	17.6	20.6	13.5	9.4	4.7	5.3	2.4	2.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	0.6	1.2	5.9	1.2	
無回答	7	42.9	28.6	28.6	14.3	-	-	14.3	-	28.6	-	14.3	-	-	-	-	-	-	14.3	-	28.6	-	
年代別																							
20歳代	12	58.3	33.3	25.0	50.0	25.0	25.0	8.3	-	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	8.3	-	
30歳代	41	58.5	34.1	41.5	43.9	9.8	7.3	7.3	7.3	-	9.8	-	-	2.4	2.4	2.4	2.4	-	-	-	7.3	-	
40歳代	52	73.1	34.6	36.5	26.9	28.8	11.5	9.6	-	-	5.8	5.8	3.8	1.9	1.9	1.9	1.9	-	-	-	1.9	-	
50歳代	40	55.0	47.5	32.5	27.5	22.5	12.5	7.5	5.0	2.5	2.5	-	-	-	2.5	2.5	2.5	-	-	-	15.0	5.0	
60歳代	88	67.0	43.2	35.2	23.9	17.0	22.7	14.8	8.0	8.0	1.1	3.4	2.3	1.1	-	-	-	-	-	1.1	6.8	1.1	
70歳以上	70	64.3	35.7	35.7	15.7	21.4	18.6	18.6	25.7	5.7	-	-	2.9	-	-	-	1.4	1.4	1.4	1.4	5.7	-	
無回答	4	50.0	-	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-	
小学校区別																							
太宰府小学校区	53	64.2	43.4	30.2	30.2	20.8	11.3	17.0	9.4	1.9	3.8	-	1.9	-	1.9	1.9	1.9	-	-	1.9	3.8	1.9	
太宰府東小学校区	23	60.9	52.2	39.1	17.4	-	17.4	-	4.3	4.3	8.7	-	-	-	4.3	-	-	-	-	-	4.3	4.3	
太宰府南小学校区	15	66.7	26.7	26.7	26.7	40.0	13.3	-	6.7	20.0	20.0	-	-	6.7	-	-	-	-	-	6.7	20.0	-	
水城小学校区	42	71.4	47.6	26.2	33.3	16.7	16.7	23.8	11.9	7.1	2.4	-	2.4	-	-	-	-	-	-	-	7.1	2.4	
水城西小学校区	51	47.1	29.4	39.2	45.1	19.6	23.5	9.8	13.7	-	3.9	5.9	2.0	-	-	3.9	-	-	-	-	5.9	-	
太宰府西小学校区	64	68.8	29.7	50.0	12.5	18.8	21.9	14.1	14.1	6.3	-	3.1	3.1	3.1	1.6	-	3.1	-	-	-	7.8	-	
国分小学校区	40	77.5	47.5	35.0	17.5	27.5	10.0	7.5	5.0	-	-	2.5	2.5	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	
わからない	13	53.8	38.5	7.7	38.5	30.8	7.7	15.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.4	-	
無回答	6	50.0	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	-	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	

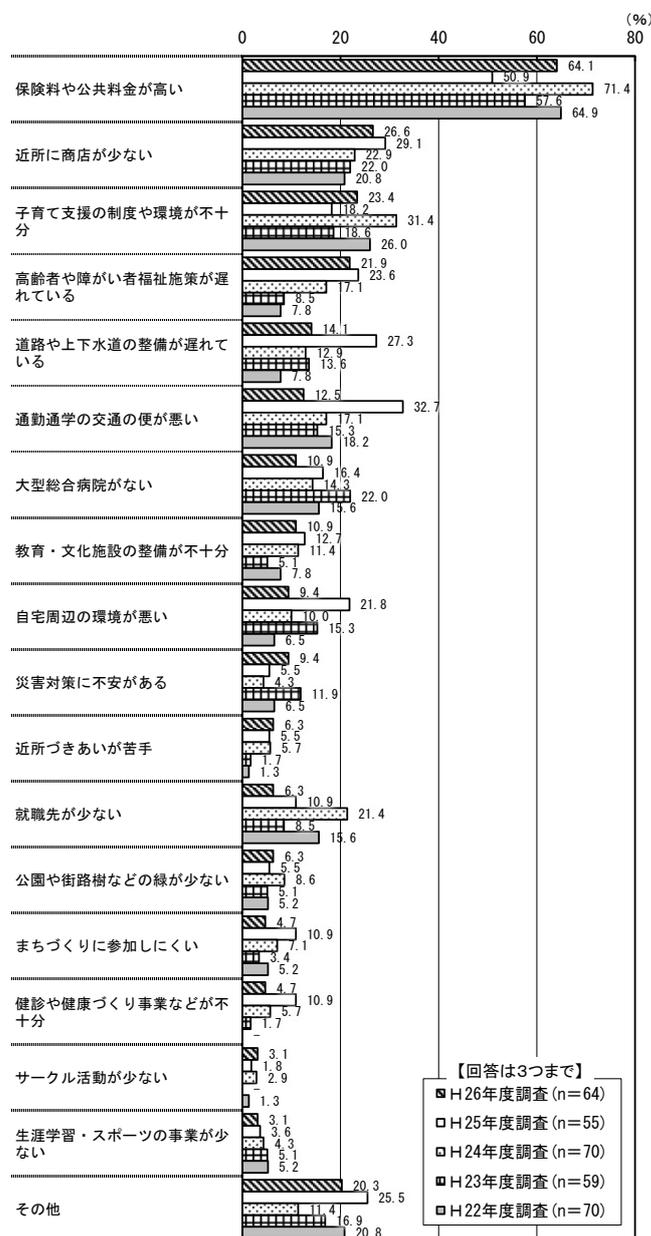
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）

●住み続けたくない理由は、「保険料や公共料金が高い」（64.1%）が最も高い。

一方、「住み続けたくない」理由としては、「保険料や公共料金が高い」（64.1%）が最も高く、次いで「近所に商店が少ない」（26.6%）、「子育て支援の制度や環境が不十分」（23.4%）、「高齢者や障がい者福祉施策が遅れている」（21.9%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、前回に比べて「保険料や公共料金が低い」（13.2ポイント増）や「子育て支援の制度や環境が不十分」（5.2ポイント増）が増加している一方、「通勤通学の交通の便が悪い」（20.2ポイント減）や「道路や上下水道の整備が遅れている」（13.2ポイント減）が大きく減少している。

問9付問2.【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。（〇は3つまで）



第3節 日頃の暮らし、行動について

(1) 34 施策の重要度

●「施策 25 良質な水道水の安定供給」「施策 06 社会保障の適正な運営」「施策 07 防災・消防体制の整備・充実」などで「重要」の割合が高い。

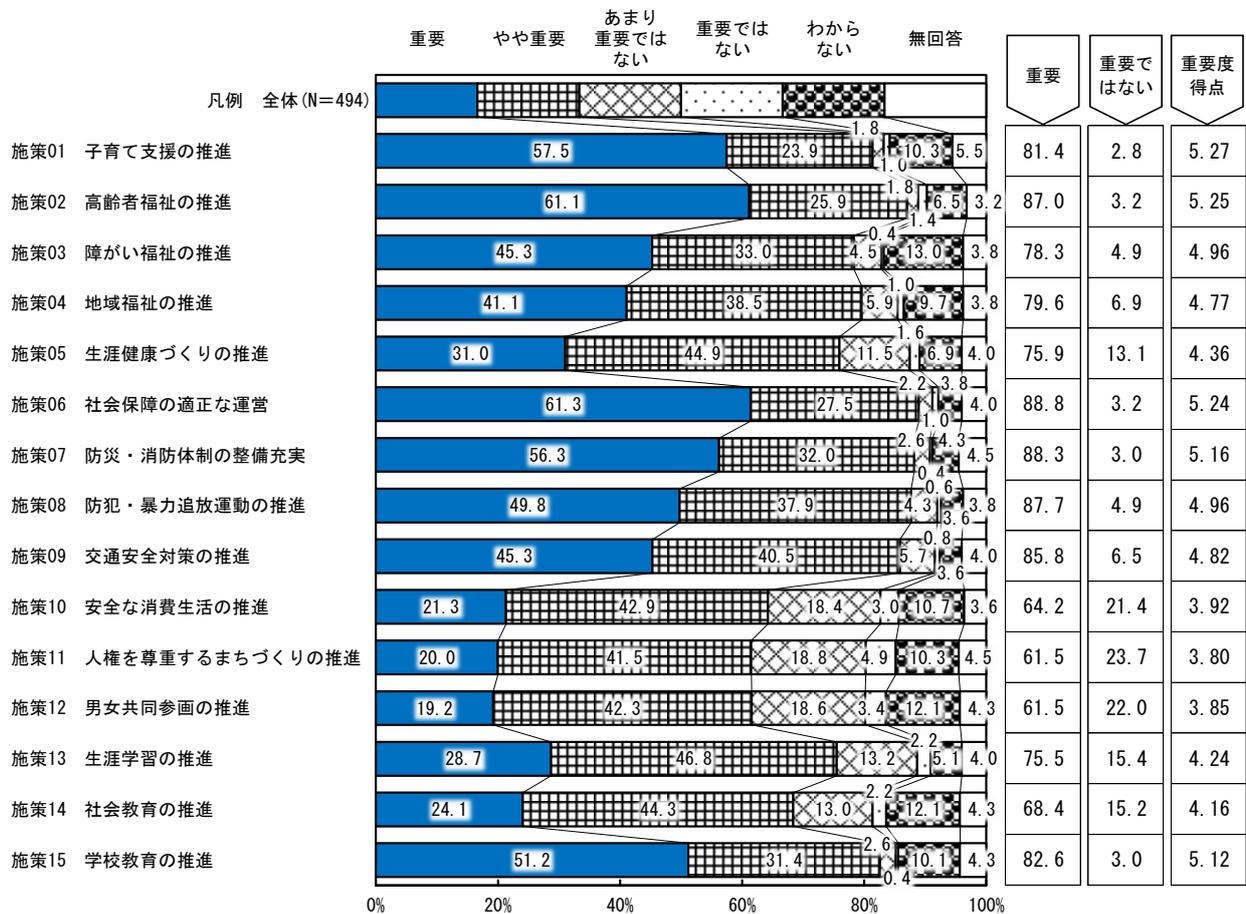
第五次太宰府市総合計画前期基本計画の施策に掲げた 34 項目への取り組みについて、『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）と考えている割合が高いのは「施策 25 良質な水道水の安定供給」（91.5%）、「施策 06 社会保障の適正な運営」（88.8%）、「施策 07 防災・消防体制の整備充実」（88.3%）、「施策 08 防犯・暴力追放運動の推進」（87.7%）、「施策 02 高齢者福祉の推進」「施策 26 下水道の整備と普及促進」（ともに 87.0%）などがある。

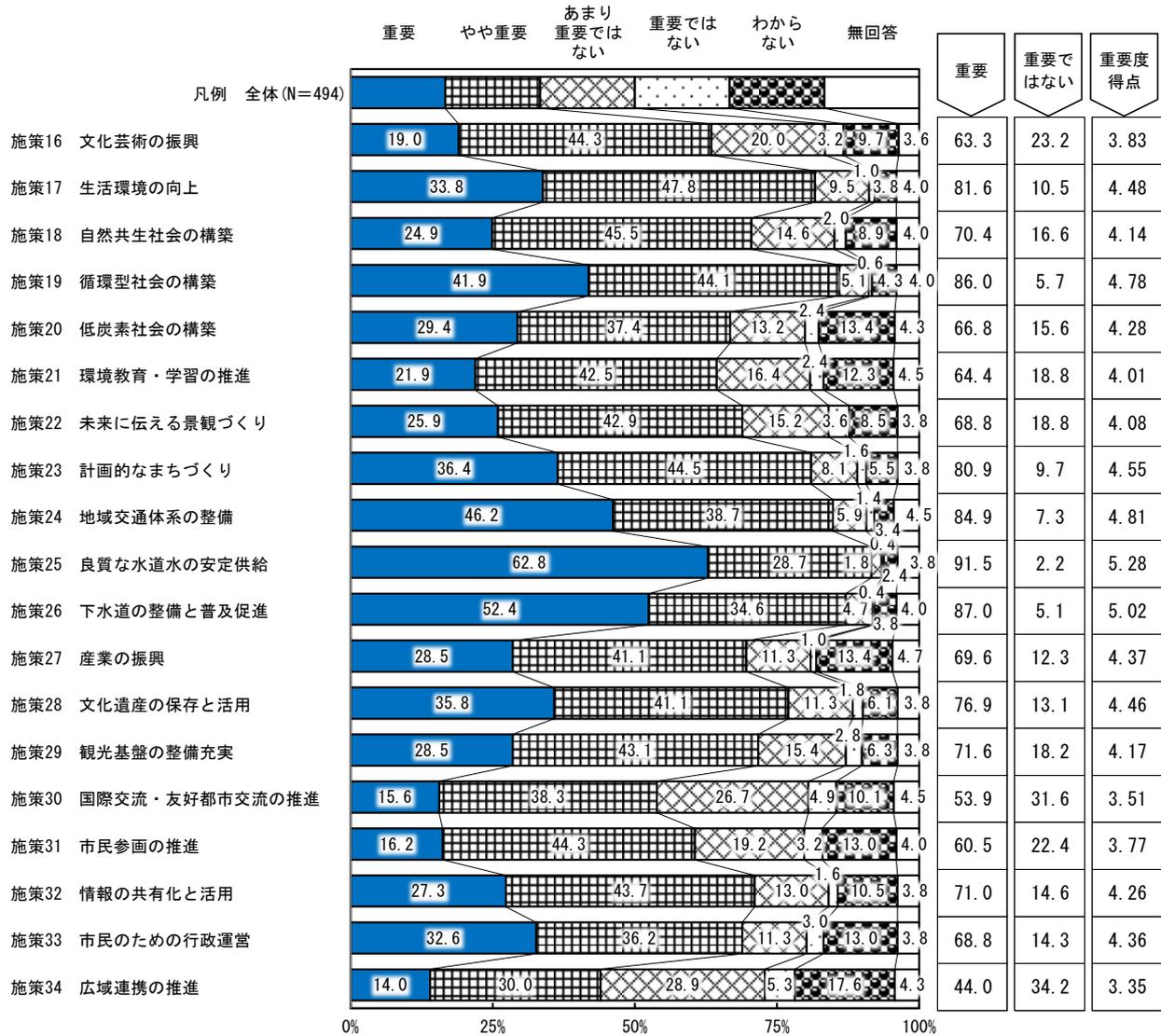
一方、『重要度』が低い施策としては、「施策 34 広域連携の推進」（44.0%）や「施策 30 国際交流・友好都市交流の推進」（53.9%）などがあげられる。

問 10. 太宰府市では、市民ニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで太宰府市が行っている次の 1～34 の施策についてお尋ねします。

(A) あなたは、この施策がどの程度重要だと思いますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。





■重要度の得点化の手順

重要度	得点
1. 重要	6点
2. やや重要	4点
3. あまり重要ではない	2点
4. 重要ではない	0点
5. わからない (無回答)	欠損値 (得点計算の対象外)

$$\text{重要度得点} = \frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4の回答者数})}$$

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要ではない』	わからない	重要度 得点	順位
施策25 良質な水道水の安定供給	91.5	2.2	2.4	5.28	1
施策01 子育て支援の推進	81.4	2.8	10.3	5.27	2
施策02 高齢者福祉の推進	87.0	3.2	6.5	5.25	3
施策06 社会保障の適正な運営	88.8	3.2	3.8	5.24	4
施策07 防災・消防体制の整備充実	88.3	3.0	4.3	5.16	5
施策15 学校教育の推進	82.6	3.0	10.1	5.12	6
施策26 下水道の整備と普及促進	87.0	5.1	3.8	5.02	7
施策03 障がい福祉の推進	78.3	4.9	13.0	4.96	8
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	87.7	4.9	3.6	4.96	8
施策09 交通安全対策の推進	85.8	6.5	3.6	4.82	10
施策24 地域交通体系の整備	84.9	7.3	3.4	4.81	11
施策19 循環型社会の構築	86.0	5.7	4.3	4.78	12
施策04 地域福祉の推進	79.6	6.9	9.7	4.77	13
施策23 計画的なまちづくり	80.9	9.7	5.5	4.55	14
施策17 生活環境の向上	81.6	10.5	3.8	4.48	15
施策28 文化遺産の保存と活用	76.9	13.1	6.1	4.46	16
施策27 産業の振興	69.6	12.3	13.4	4.37	17
施策05 生涯健康づくりの推進	75.9	13.1	6.9	4.36	18
施策33 市民のための行政運営	68.8	14.3	13.0	4.36	18
施策20 低炭素社会の構築	66.8	15.6	13.4	4.28	20
施策32 情報の共有化と活用	71.0	14.6	10.5	4.26	21
施策13 生涯学習の推進	75.5	15.4	5.1	4.24	22
施策29 観光基盤の整備充実	71.6	18.2	6.3	4.17	23
施策14 社会教育の推進	68.4	15.2	12.1	4.16	24
施策18 自然共生社会の構築	70.4	16.6	8.9	4.14	25
施策22 未来に伝える景観づくり	68.8	18.8	8.5	4.08	26
施策21 環境教育・学習の推進	64.4	18.8	12.3	4.01	27
施策10 安全な消費生活の推進	64.2	21.4	10.7	3.92	28
施策12 男女共同参画の推進	61.5	22.0	12.1	3.85	29
施策16 文化芸術の振興	63.3	23.2	9.7	3.83	30
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	61.5	23.7	10.3	3.80	31
施策31 市民参画の推進	60.5	22.4	13.0	3.77	32
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	53.9	31.6	10.1	3.51	33
施策34 広域連携の推進	44.0	34.2	17.6	3.35	34

重要度【平均値】
4.45

『重要』 = 「重要」 + 「やや重要」
『重要ではない』 = 「あまり重要ではない」 + 「重要ではない」

各施策について、第五次総合計画に掲げた市民意識調査による重要度評価を整理する。

①性別

男性は、「15. 学校教育の推進」「23. 計画的なまちづくり」「17. 生活環境の向上」「28. 文化遺産の保存と活用」「27. 産業の振興」「33. 市民のための行政運営」「29. 観光基盤の整備充実」「22. 未来に伝える景観づくり」「12. 男女共同参画の推進」「11. 人権を尊重するまちづくりの推進」「30. 国際交流・友好都市交流の推進」の計 11 項目で女性より重要度得点が高い。

重要度の平均値は 4.45 となり、その内訳をみると男性が 4.42 に対し女性は 4.49 で、大きな差はみられない。男女差で 0.3 以上ある項目はなかった。

②年齢別

第 1 位をみると、20～30 歳代は「01. 子育て支援の推進」、40 歳代は「25. 良質な水道水の安定供給」、50 歳代は「02. 高齢者福祉の推進」、60～70 歳以上は「06. 社会保障の適正な運営」となり、年代による特色が表れている。

③地域別

第 1 位をみると、太宰府と太宰府東、太宰府南の 3 小学校区は「01. 子育て支援の推進」、水城と水城西の 2 小学校区は「25. 良質な水道水の安定供給」、太宰府西小学校区は「高齢者福祉の推進」、国分小学校区は「社会保障の適正な運営」となっている。なお、太宰府小学校区は「社会保障の適正な運営」についても第 1 位の得点となっている。

第3節 日頃の暮らし、行動について

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
施策25 良質な水道水の安定供給	5.28 1	5.26 1	5.30 3	5.38 3	5.15 4	5.28 1	5.42 2	5.29 3	5.24 3
施策01 子育て支援の推進	5.27 2	5.26 1	5.29 4	5.63 1	5.61 1	5.22 2	5.15 5	5.18 4	5.14 6
施策02 高齢者福祉の推進	5.25 3	5.13 4	5.34 1	4.62 13	5.28 3	5.15 6	5.43 1	5.37 2	5.21 4
施策06 社会保障の適正な運営	5.24 4	5.13 4	5.33 2	4.57 16	5.14 5	5.22 2	5.29 3	5.41 1	5.27 1
施策07 防災・消防体制の整備充実	5.16 5	5.06 6	5.24 5	5.40 2	5.13 6	5.18 4	5.19 4	5.04 7	5.25 2
施策15 学校教育の推進	5.12 6	5.14 3	5.10 6	4.93 7	5.34 2	5.16 5	4.86 11	5.14 5	5.17 5
施策26 下水道の整備と普及促進	5.02 7	4.95 7	5.06 8	4.88 9	4.88 10	4.99 8	5.11 6	5.11 6	4.98 7
施策03 障がい福祉の推進	4.96 8	4.83 9	5.08 7	4.52 17	5.02 9	4.97 9	5.02 8	5.02 8	4.93 9
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	4.96 8	4.88 8	5.01 9	5.25 4	4.87 11	5.04 7	4.98 9	4.89 9	4.90 10
施策09 交通安全対策の推進	4.82 10	4.70 11	4.91 10	5.16 5	5.10 7	4.62 12	4.76 12	4.75 13	4.78 11
施策24 地域交通体系の整備	4.81 11	4.76 10	4.85 12	4.88 9	5.06 8	4.60 13	4.89 10	4.82 11	4.68 13
施策19 循環型社会の構築	4.78 12	4.68 12	4.85 12	4.91 8	4.78 12	4.56 14	4.62 13	4.85 10	4.94 8
施策04 地域福祉の推進	4.77 13	4.63 13	4.89 11	4.86 11	4.78 12	4.72 11	5.03 7	4.78 12	4.56 16
施策23 計画的なまちづくり	4.55 14	4.58 14	4.54 14	4.71 12	4.76 14	4.38 16	4.58 15	4.68 14	4.25 21
施策17 生活環境の向上	4.48 15	4.49 16	4.48 15	4.94 6	4.71 15	4.52 15	4.49 18	4.42 19	4.22 22
施策28 文化遺産の保存と活用	4.46 16	4.54 15	4.41 17	4.61 15	4.26 21	4.74 10	4.54 16	4.52 15	4.21 23
施策27 産業の振興	4.37 17	4.39 18	4.35 20	4.41 20	4.52 16	4.22 19	4.61 14	4.27 23	4.32 19
施策05 生涯健康づくりの推進	4.36 18	4.31 19	4.42 16	4.07 24	4.12 23	4.28 17	4.49 18	4.43 17	4.59 15
施策33 市民のための行政運営	4.36 18	4.43 17	4.31 21	4.00 27	4.39 18	4.00 23	4.53 17	4.43 17	4.61 14
施策20 低炭素社会の構築	4.28 20	4.18 22	4.37 18	3.93 30	4.07 25	4.18 20	3.90 27	4.49 16	4.71 12
施策32 情報の共有化と活用	4.26 21	4.15 24	4.37 18	4.00 27	4.29 20	4.18 20	4.26 21	4.37 20	4.31 20
施策13 生涯学習の推進	4.24 22	4.18 22	4.29 22	4.52 17	4.26 21	4.23 18	4.15 23	4.28 22	4.18 24
施策29 観光基盤の整備充実	4.17 23	4.31 19	4.04 25	4.44 19	4.32 19	4.14 22	4.22 22	4.09 27	3.97 26
施策14 社会教育の推進	4.16 24	4.10 25	4.21 24	4.07 24	3.87 29	4.00 23	4.33 20	4.21 24	4.39 17
施策18 自然共生社会の構築	4.14 25	4.08 26	4.23 23	4.00 27	4.40 17	3.83 28	4.00 26	4.20 25	4.34 18
施策22 未来に伝える景観づくり	4.08 26	4.22 21	3.96 28	4.62 13	3.75 31	3.80 29	4.10 24	4.32 21	3.95 27
施策21 環境教育・学習の推進	4.01 27	4.01 27	4.02 26	4.13 23	4.10 24	3.97 25	3.63 33	4.12 26	4.06 25
施策10 安全な消費生活の推進	3.92 28	3.87 29	3.97 27	4.34 21	3.93 27	3.86 27	4.07 25	3.79 31	3.95 27
施策12 男女共同参画の推進	3.85 29	3.89 28	3.85 31	4.07 24	3.97 26	3.78 30	3.87 28	3.85 30	3.78 31
施策16 文化芸術の振興	3.83 30	3.77 31	3.87 29	3.81 31	3.88 28	3.61 32	3.69 32	3.95 28	3.92 29
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.80 31	3.85 30	3.79 32	4.20 22	3.87 29	3.89 26	3.77 30	3.77 32	3.66 32
施策31 市民参画の推進	3.77 32	3.65 32	3.87 29	3.67 32	3.73 32	3.64 31	3.71 31	3.92 29	3.79 30
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.51 33	3.56 33	3.48 33	3.39 33	3.45 33	3.51 33	3.43 34	3.65 33	3.49 33
施策34 広域連携の推進	3.35 34	3.27 34	3.43 34	3.38 34	3.45 33	2.95 34	3.82 29	3.36 34	3.25 34
平均	4.45	4.42	4.43	4.48	4.48	4.37	4.47	4.49	4.44

	全体	太宰府小学校区	太宰府東小学校区	太宰府南小学校区	水城小学校区	水城西小学校区	太宰府西小学校区	国分小学校区	わからない
施策25 良質な水道水の安定供給	5.28 1	5.25 3	5.13 5	5.31 4	5.51 1	5.55 1	5.20 3	5.20 3	4.80 7
施策01 子育て支援の推進	5.27 2	5.31 1	5.47 1	5.52 1	5.47 3	5.28 4	5.17 4	5.14 4	4.86 6
施策02 高齢者福祉の推進	5.25 3	5.04 3	5.23 2	5.45 2	5.48 2	5.27 5	5.41 1	5.08 5	5.00 3
施策06 社会保障の適正な運営	5.24 4	5.31 1	5.10 6	5.27 6	5.30 5	5.31 3	5.31 2	5.29 1	4.48 13
施策07 防災・消防体制の整備充実	5.16 5	5.18 4	5.07 7	5.29 5	5.37 4	5.37 2	5.08 5	4.93 7	4.92 5
施策15 学校教育の推進	5.12 6	5.12 6	5.16 4	5.23 7	5.29 6	5.23 6	4.93 7	5.21 2	4.67 9
施策26 下水道の整備と普及促進	5.02 7	5.08 8	4.97 8	5.11 9	5.08 8	5.20 7	4.86 8	4.90 9	5.04 2
施策03 障がい福祉の推進	4.96 8	4.84 13	4.96 9	5.33 3	4.93 11	5.15 8	4.95 6	4.93 7	4.67 9
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	4.96 8	5.12 6	4.67 13	4.97 11	5.09 7	5.15 8	4.64 11	4.96 6	5.08 1
施策09 交通安全対策の推進	4.82 10	5.01 10	4.48 17	5.10 10	5.00 9	4.95 10	4.62 12	4.78 10	4.38 18
施策24 地域交通体系の整備	4.81 11	5.14 5	5.23 2	4.90 12	4.73 13	4.71 14	4.67 9	4.76 12	4.33 19
施策19 循環型社会の構築	4.78 12	4.86 12	4.84 10	4.76 14	4.90 12	4.78 12	4.66 10	4.67 14	4.96 4
施策04 地域福祉の推進	4.77 13	4.97 11	4.48 17	5.20 8	4.94 10	4.85 11	4.57 13	4.73 13	4.61 11
施策23 計画的なまちづくり	4.55 14	4.61 15	4.81 11	4.50 16	4.53 17	4.58 18	4.38 15	4.78 10	4.17 21
施策17 生活環境の向上	4.48 15	4.51 17	4.65 15	4.38 17	4.53 17	4.54 21	4.38 15	4.39 15	4.80 7
施策28 文化遺産の保存と活用	4.46 16	4.68 14	4.33 25	4.15 21	4.55 16	4.77 13	4.36 17	4.22 20	4.56 12
施策27 産業の振興	4.37 17	4.56 16	4.22 27	4.80 13	4.57 15	4.55 20	4.10 21	4.20 22	4.00 22
施策05 生涯健康づくりの推進	4.36 18	4.03 27	4.47 19	4.64 15	4.53 17	4.65 16	4.40 14	4.27 18	4.00 22
施策33 市民のための行政運営	4.36 18	4.42 19	4.81 11	4.00 26	4.52 20	4.45 22	4.30 18	4.28 17	3.90 28
施策20 低炭素社会の構築	4.28 20	4.31 20	4.59 16	4.15 21	4.58 14	4.00 26	4.30 18	4.09 23	4.45 14
施策32 情報の共有化と活用	4.26 21	4.24 23	4.37 23	4.15 21	4.38 22	4.57 19	4.16 20	4.25 19	3.83 29
施策13 生涯学習の推進	4.24 22	4.11 24	4.67 13	3.64 32	4.09 24	4.69 15	4.08 22	4.36 16	4.42 16
施策29 観光基盤の整備充実	4.17 23	4.27 21	4.20 29	4.23 19	4.21 23	4.16 23	4.02 23	4.21 21	3.92 27
施策14 社会教育の推進	4.16 24	4.00 28	4.46 20	4.23 19	4.06 25	4.60 17	4.02 23	4.06 24	4.00 22
施策18 自然共生社会の構築	4.14 25	4.26 22	4.43 21	3.92 27	4.51 21	4.03 24	3.93 25	3.97 25	4.42 16
施策22 未来に伝える景観づくり	4.08 26	4.43 18	4.36 24	4.07 25	3.85 30	4.03 24	3.87 27	3.97 25	4.45 14
施策21 環境教育・学習の推進	4.01 27	4.06 25	4.43 21	4.15 21	4.03 26	3.96 27	3.93 25	3.97 25	3.64 31
施策10 安全な消費生活の推進	3.92 28	4.06 25	4.22 27	3.92 27	4.00 27	3.87 29	3.72 30	3.94 28	4.00 22
施策12 男女共同参画の推進	3.85 29	3.80 32	3.85 31	3.92 27	3.93 29	3.87 29	3.87 27	3.77 29	4.00 22
施策16 文化芸術の振興	3.83 30	3.97 29	4.28 26	3.92 27	3.72 32	3.73 32	3.74 29	3.64 32	4.19 20
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.80 31	3.88 30	3.68 33	4.24 18	3.84 31	3.90 28	3.72 30	3.67 31	3.81 30
施策31 市民参画の推進	3.77 32	3.85 31	4.08 30	3.44 33	3.97 28	3.87 29	3.61 32	3.70 30	3.58 32
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.51 33	3.73 33	3.70 32	3.69 31	3.55 33	3.51 33	3.23 34	3.57 33	3.39 33
施策34 広域連携の推進	3.35 34	3.44 34	3.36 34	3.22 34	3.41 34	3.42 34	3.37 33	3.38 34	2.74 34
平均	4.45	4.51	4.55	4.49	4.54	4.55	4.34	4.39	4.30

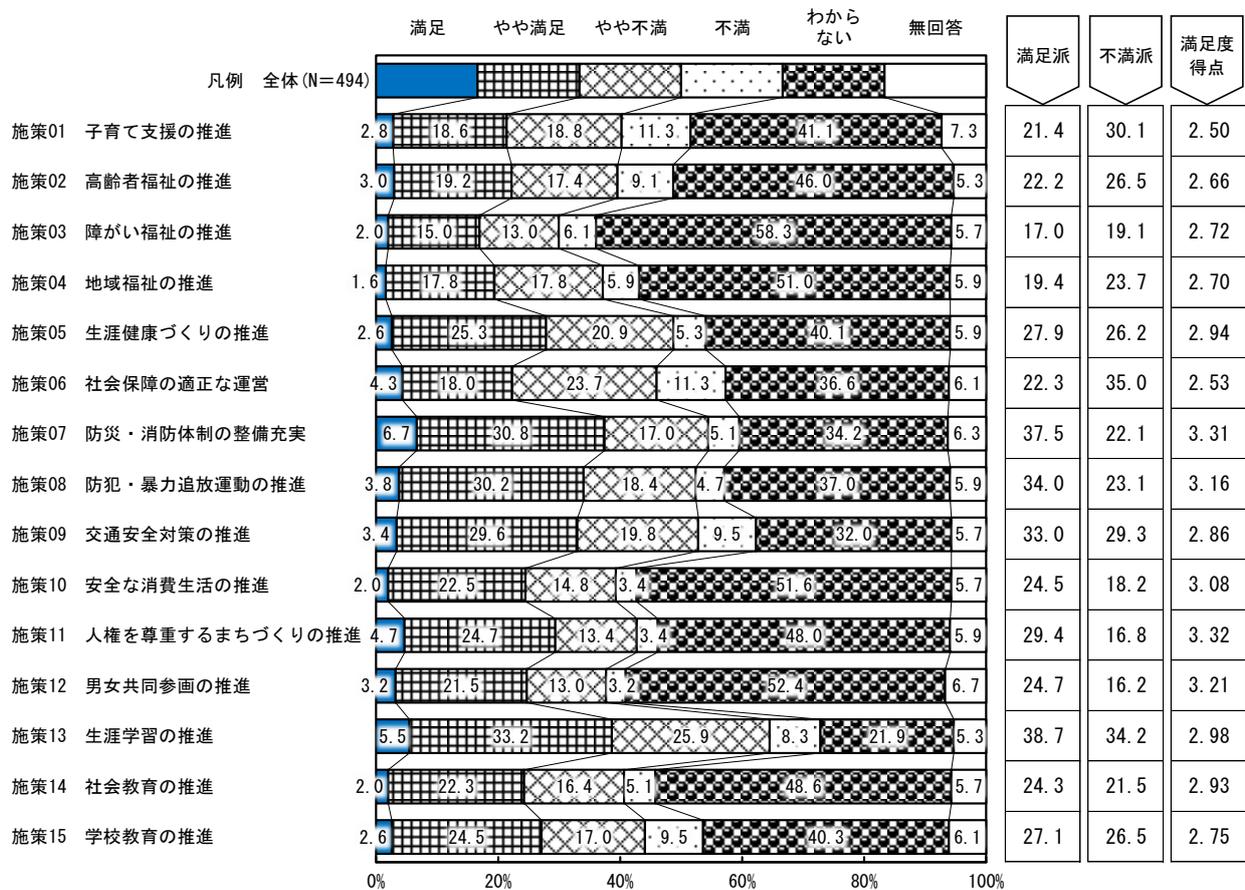
(2) 34 施策の満足度

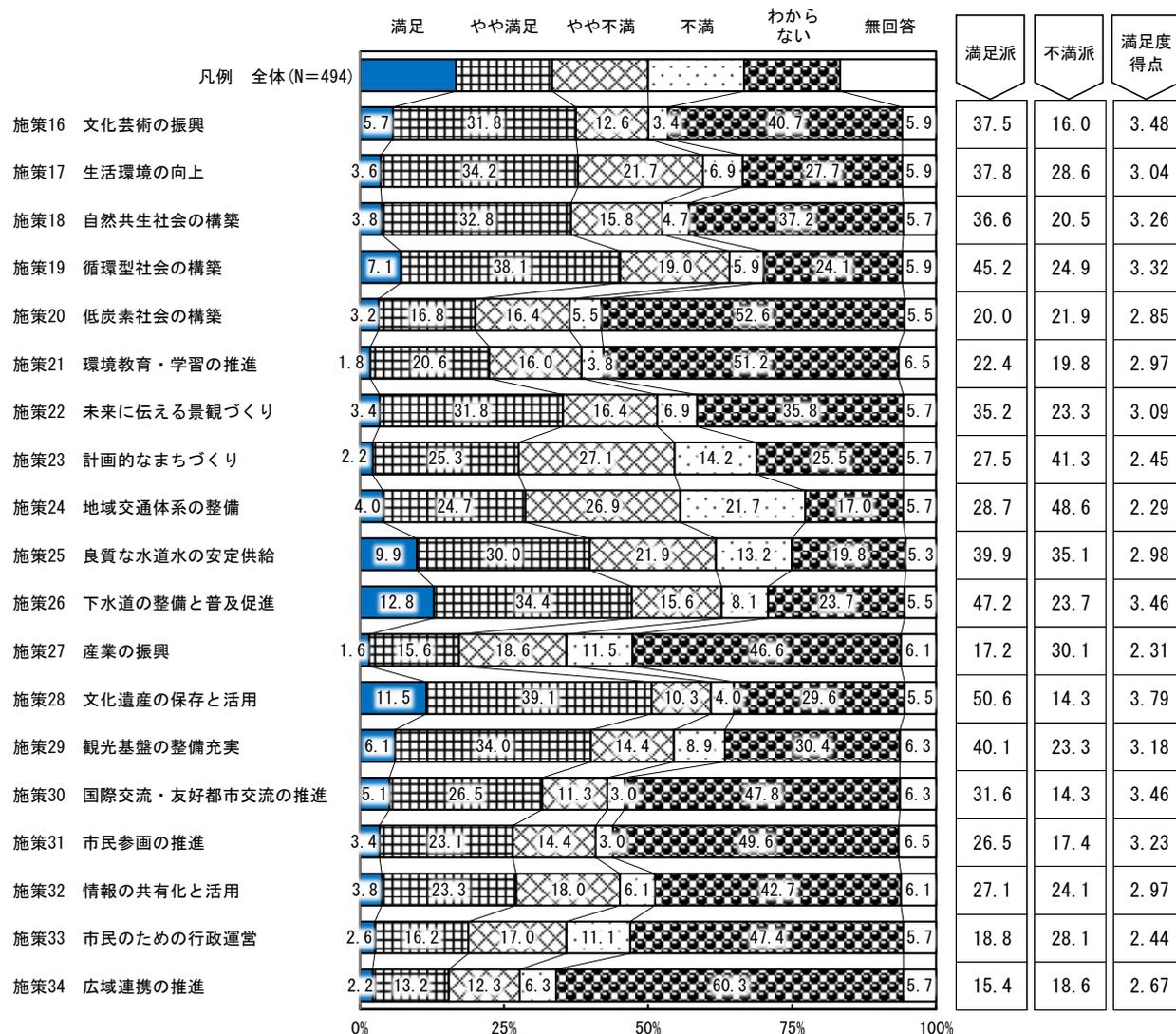
●「施策 28 文化遺産の保存と活用」「施策 26 下水道の整備と普及促進」「施策 19 循環型社会の構築」「施策 29 観光基盤の整備充実」などで『満足派』の割合が高い。

第五次太宰府市総合計画前期基本計画の施策に掲げた 34 項目への取り組みについて、『満足派』（「満足」と「やや満足」の合計）と考えている割合が高いのは「施策 28 文化遺産の保存と活用」（50.6%）、「施策 26 下水道の整備と普及促進」（47.2%）、「施策 19 循環型社会の構築」（45.2%）、「施策 29 観光基盤の整備充実」（40.1%）などがある。

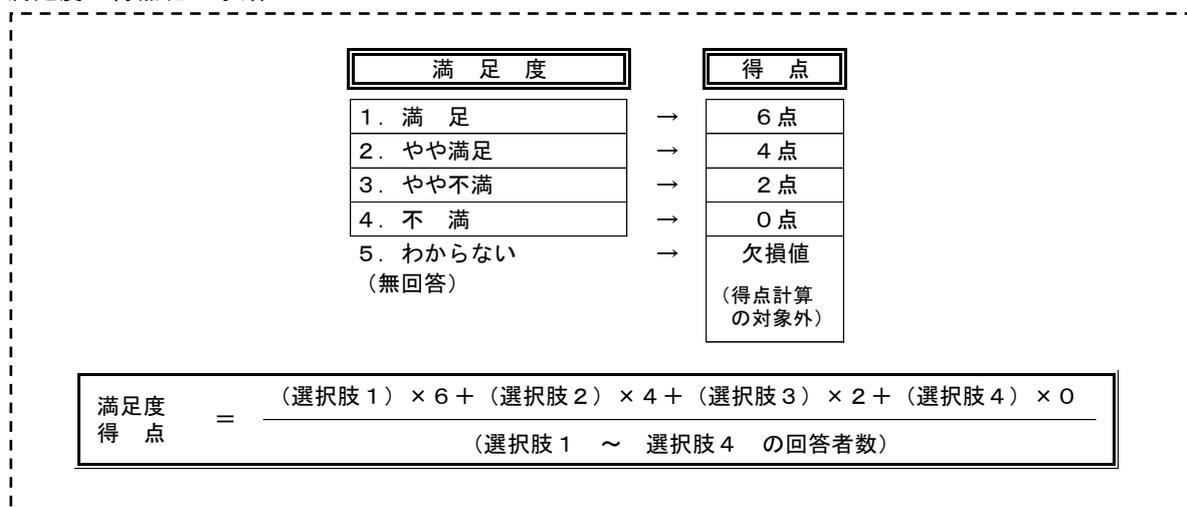
一方、『満足派』の割合が低い施策としては、「施策 34 広域連携の推進」（15.4%）や「施策 03 障がい福祉の推進」（17.0%）、「施策 27 商業の振興」（17.2%）、「施策 33 市民のための行政運営」（18.8%）、「施策 04 地域福祉の推進」（19.4%）などがあげられる。

問 10. 太宰府市では、市民ニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで太宰府市が行っている次の 1～34 の施策についてお尋ねします。
 (B) あなたは、この施策についてどの程度満足していますか。
 あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。





■ 満足度の得点化の手順



	回答者の割合(%)			満足度	
	『満足』	『不満』	わからない	満足度 得点	順位
施策28 文化遺産の保存と活用	50.6	14.3	29.6	3.79	1
施策16 文化芸術の振興	37.5	16.0	40.7	3.48	2
施策26 下水道の整備と普及促進	47.2	23.7	23.7	3.46	3
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	31.6	14.3	47.8	3.46	3
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	29.4	16.8	48.0	3.32	5
施策19 循環型社会の構築	45.2	24.9	24.1	3.32	5
施策07 防災・消防体制の整備充実	37.5	22.1	34.2	3.31	7
施策18 自然共生社会の構築	36.6	20.5	37.2	3.26	8
施策31 市民参画の推進	26.5	17.4	49.6	3.23	9
施策12 男女共同参画の推進	24.7	16.2	52.4	3.21	10
施策29 観光基盤の整備充実	40.1	23.3	30.4	3.18	11
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	34.0	23.1	37.0	3.16	12
施策22 未来に伝える景観づくり	35.2	23.3	35.8	3.09	13
施策10 安全な消費生活の推進	24.5	18.2	51.6	3.08	14
施策17 生活環境の向上	37.8	28.6	27.7	3.04	15
施策13 生涯学習の推進	38.7	34.2	21.9	2.98	16
施策25 良質な水道水の安定供給	39.9	35.1	19.8	2.98	16
施策21 環境教育・学習の推進	22.4	19.8	51.2	2.97	18
施策32 情報の共有化と活用	27.1	24.1	42.7	2.97	18
施策05 生涯健康づくりの推進	27.9	26.2	40.1	2.94	20
施策14 社会教育の推進	24.3	21.5	48.6	2.93	21
施策09 交通安全対策の推進	33.0	29.3	32.0	2.86	22
施策20 低炭素社会の構築	20.0	21.9	52.6	2.85	23
施策15 学校教育の推進	27.1	26.5	40.3	2.75	24
施策03 障がい福祉の推進	17.0	19.1	58.3	2.72	25
施策04 地域福祉の推進	19.4	23.7	51.0	2.70	26
施策34 広域連携の推進	15.4	18.6	60.3	2.67	27
施策02 高齢者福祉の推進	22.2	26.5	46.0	2.66	28
施策06 社会保障の適正な運営	22.3	35.0	36.6	2.53	29
施策01 子育て支援の推進	21.4	30.1	41.1	2.50	30
施策23 計画的なまちづくり	27.5	41.3	25.5	2.45	31
施策33 市民のための行政運営	18.8	28.1	47.4	2.44	32
施策27 産業の振興	17.2	30.1	46.6	2.31	33
施策24 地域交通体系の整備	28.7	48.6	17.0	2.29	34

満足度【平均値】
2.97

『満足』 = 「満足」 + 「やや満足」

『不満』 = 「やや不満」 + 「不満」

● 『満足』 『不満』 『わからない』のうち、各項目で最も割合が高いものを太字で示している

各施策について、第五次総合計画に掲げた市民意識調査による満足度評価を整理する。

①性別

男性は、「16. 文化芸術の振興」「26. 下水道の整備と普及促進」「25. 良質な水道水の安定供給」「03. 障がい福祉の推進」「34. 広域連携の推進」の5項目で女性より満足度得点が高い。

満足度の平均値は2.97となり、その内訳をみると男性が2.87に対し女性は3.05で、大きな差はみられない。男女差で0.3以上ある項目には、「18. 自然共生社会の構築」「17. 生活環境の向上」「32. 情報の共有化と活用」「14. 社会教育の推進」「09. 交通対策の推進」「15. 学校教育の推進」「01. 子育て支援の推進」「33. 市民のための行政運営」がある。

②年齢別

第1位をみると、20歳代と70歳以上は「26. 下水道の整備と普及促進」、30歳代は「30. 国際交流・友好都市交流の推進」、40～60歳代は「28. 文化遺産の保存と活用」となっている。

③地域別

第1位をみると、太宰府と水城西、太宰府西、国分の4小学校区は「28. 文化遺産の保存と活用」、太宰府東小学校区は「11. 人権を尊重するまちづくりの推進」、太宰府南小学校区は「下水道の整備と普及促進」、水城小学校区は「文化芸術の振興」となっている。

第3節 日頃の暮らし、行動について

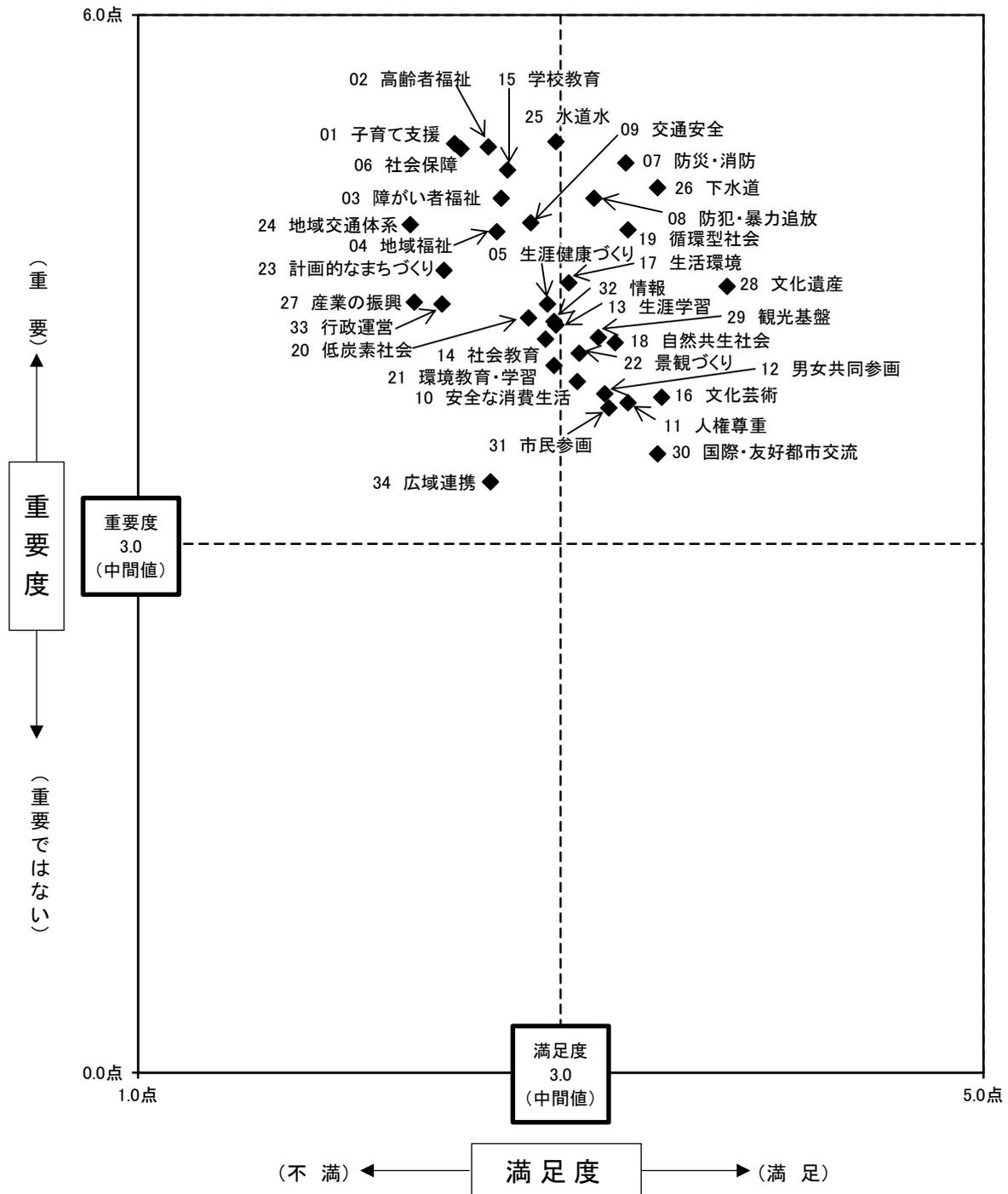
(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
施策28 文化遺産の保存と活用	3.79 1	3.63 1	3.92 1	4.11 2	3.75 4	4.04 1	3.60 1	3.64 1	3.86 2
施策16 文化芸術の振興	3.48 2	3.50 3	3.49 3	3.87 4	4.00 2	3.63 3	3.17 2	3.23 5	3.53 5
施策26 下水道の整備と普及促進	3.46 3	3.62 2	3.33 8	4.21 1	3.32 14	3.09 15	3.10 5	3.48 2	3.88 1
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.46 3	3.36 4	3.58 2	3.50 12	4.15 1	3.42 4	3.17 2	3.39 4	3.47 6
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.32 5	3.19 6	3.44 5	3.33 17	3.60 8	3.68 2	3.03 7	3.22 6	3.27 11
施策19 循環型社会の構築	3.32 5	3.22 5	3.39 7	3.68 10	3.70 5	3.08 17	2.79 20	3.20 7	3.71 3
施策07 防災・消防体制の整備充実	3.31 7	3.19 6	3.40 6	3.88 3	3.06 18	3.38 6	3.02 10	3.41 3	3.30 10
施策18 自然共生社会の構築	3.26 8	3.02 13	3.47 4	3.75 6	3.79 3	3.33 8	2.86 15	2.94 13	3.46 7
施策31 市民参画の推進	3.23 9	3.16 9	3.33 8	3.85 5	3.64 6	3.37 7	3.03 7	2.96 11	3.17 14
施策12 男女共同参画の推進	3.21 10	3.17 8	3.24 13	3.47 14	3.58 9	3.41 5	3.03 7	2.96 11	3.22 13
施策29 観光基盤の整備充実	3.18 11	3.07 11	3.27 11	3.40 15	3.40 12	3.28 9	3.14 4	2.88 17	3.27 11
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	3.16 12	3.00 14	3.27 11	3.00 26	3.13 17	3.25 11	2.81 19	3.13 8	3.36 9
施策22 未来に伝える景観づくり	3.09 13	3.08 10	3.08 17	3.14 23	3.55 11	3.11 14	2.91 13	2.89 16	3.13 18
施策10 安全な消費生活の推進	3.08 14	3.05 12	3.16 15	3.54 11	3.37 13	3.24 13	2.91 13	3.05 9	2.96 23
施策17 生活環境の向上	3.04 15	2.86 18	3.18 14	3.05 25	3.56 10	2.75 25	2.94 11	2.90 15	3.14 16
施策13 生涯学習の推進	2.98 16	2.87 16	3.08 17	3.25 20	3.18 16	2.63 28	3.10 5	2.86 18	3.14 16
施策25 良質な水道水の安定供給	2.98 16	2.98 15	2.94 23	3.71 8	2.80 23	2.46 30	2.63 24	2.94 13	3.58 4
施策21 環境教育・学習の推進	2.97 18	2.83 19	3.06 19	3.33 17	3.22 15	3.09 15	2.94 11	2.63 23	3.04 21
施策32 情報の共有化と活用	2.97 18	2.67 25	3.30 10	3.38 16	3.06 18	3.25 11	2.78 21	2.59 24	3.40 8
施策05 生涯健康づくりの推進	2.94 20	2.87 16	2.97 22	2.92 27	2.83 22	3.00 19	2.85 17	2.81 20	3.16 15
施策14 社会教育の推進	2.93 21	2.71 22	3.14 16	3.73 7	2.92 20	3.03 18	2.65 23	2.75 21	3.06 20
施策09 交通安全対策の推進	2.86 22	2.68 24	3.03 20	2.21 34	2.73 25	2.98 20	2.60 25	2.99 10	3.07 19
施策20 低炭素社会の構築	2.85 23	2.76 21	2.90 24	3.69 9	3.64 6	2.73 26	2.71 22	2.52 26	2.78 26
施策15 学校教育の推進	2.75 24	2.41 29	3.01 21	3.18 22	2.67 26	2.39 31	2.84 18	2.85 19	2.77 27
施策03 障がい福祉の推進	2.72 25	2.78 20	2.67 27	3.33 17	2.78 24	2.88 22	2.50 27	2.50 27	2.85 24
施策04 地域福祉の推進	2.70 26	2.67 25	2.73 25	2.86 28	2.92 20	2.88 22	2.50 27	2.35 30	3.04 21
施策34 広域連携の推進	2.67 27	2.69 23	2.62 30	3.20 21	2.57 28	2.90 21	2.86 15	2.39 29	2.63 33
施策02 高齢者福祉の推進	2.66 28	2.67 25	2.68 26	2.62 30	2.56 30	2.80 24	2.53 26	2.59 24	2.80 25
施策06 社会保障の適正な運営	2.53 29	2.49 28	2.58 31	3.08 24	2.57 28	2.73 26	2.00 34	2.45 28	2.75 29
施策01 子育て支援の推進	2.50 30	2.33 31	2.64 29	2.57 31	2.00 33	2.55 29	2.37 30	2.72 22	2.77 27
施策23 計画的なまちづくり	2.45 31	2.38 30	2.51 32	2.82 29	2.62 27	2.32 32	2.47 29	2.25 32	2.69 30
施策33 市民のための行政運営	2.44 32	2.29 32	2.66 28	2.43 32	2.28 32	3.27 10	2.34 31	1.97 34	2.68 31
施策27 産業の振興	2.31 33	2.27 33	2.30 34	3.50 12	1.61 34	2.20 33	2.15 33	2.33 31	2.65 32
施策24 地域交通体系の整備	2.29 34	2.20 34	2.33 33	3.23 33	2.42 31	2.07 34	2.21 32	2.23 33	2.47 34
平均	2.97	2.87	3.05	3.29	3.09	3.01	2.78	2.82	3.12

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからない
施策28 文化遺産の保存と活用	3.79 1	3.80 1	3.79 2	3.41 2	3.60 2	3.87 1	3.89 1	3.96 1	3.50 4
施策16 文化芸術の振興	3.48 2	3.71 2	3.58 5	3.33 4	3.68 1	3.33 7	3.29 11	3.45 3	3.82 3
施策26 下水道の整備と普及促進	3.46 3	3.24 7	3.45 9	3.47 1	3.36 5	3.18 13	3.83 2	3.40 5	3.83 2
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.46 3	3.03 13	3.29 12	3.07 14	3.28 6	3.80 2	3.66 3	3.59 2	4.40 1
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.32 5	3.60 3	4.00 1	3.33 4	3.46 4	2.81 22	3.39 9	3.06 18	2.67 25
施策19 循環型社会の構築	3.32 5	3.28 5	3.46 8	3.08 12	3.24 8	3.22 10	3.41 7	3.42 4	3.43 6
施策07 防災・消防体制の整備充実	3.31 7	2.96 16	3.68 3	2.86 20	3.07 12	3.49 4	3.63 4	3.20 10	3.50 4
施策18 自然共生社会の構築	3.26 8	3.32 4	3.26 13	2.89 19	3.47 3	3.22 10	3.17 16	3.28 7	3.27 11
施策31 市民参画の推進	3.23 9	3.21 8	3.09 18	3.08 12	3.28 6	3.38 5	3.12 17	3.29 6	3.33 9
施策12 男女共同参画の推進	3.21 10	3.00 15	3.60 4	3.13 8	3.15 11	3.33 7	3.29 11	3.13 15	3.00 14
施策29 観光基盤の整備充実	3.18 11	3.14 10	3.10 17	3.20 6	2.78 20	3.53 3	3.47 5	2.94 21	3.00 14
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	3.16 12	3.02 14	3.26 13	2.82 22	3.05 13	3.07 14	3.41 7	3.16 12	3.00 14
施策22 未来に伝える景観づくり	3.09 13	3.17 9	3.30 11	3.41 2	3.05 13	3.00 16	2.92 19	3.07 17	3.20 12
施策10 安全な消費生活の推進	3.08 14	3.26 6	3.00 19	2.67 25	3.17 10	2.97 18	3.24 15	2.97 20	3.33 9
施策17 生活環境の向上	3.04 15	3.04 12	3.00 19	2.84 21	3.19 9	2.73 25	3.10 18	3.15 13	3.13 13
施策13 生涯学習の推進	2.98 16	2.89 19	3.52 6	3.10 10	3.05 13	2.67 28	2.91 22	3.14 14	2.82 23
施策25 良質な水道水の安定供給	2.98 16	2.82 22	2.96 23	3.09 11	2.87 18	2.65 30	3.43 6	2.60 25	3.43 6
施策21 環境教育・学習の推進	2.97 18	2.88 20	3.33 10	3.20 6	2.76 21	3.23 9	2.90 23	2.83 23	2.00 32
施策32 情報の共有化と活用	2.97 18	2.39 30	3.25 15	3.06 17	2.58 23	3.37 6	3.25 14	3.17 11	2.86 21
施策05 生涯健康づくりの推進	2.94 20	2.70 24	3.00 19	3.07 14	2.82 19	3.06 15	2.92 19	3.23 9	2.57 28
施策14 社会教育の推進	2.93 21	2.91 17	3.47 7	3.07 14	2.91 17	2.76 24	2.88 24	2.91 22	3.00 14
施策09 交通安全対策の推進	2.86 22	2.40 29	2.73 26	2.53 30	2.48 25	2.95 19	3.31 10	3.13 15	3.00 14
施策20 低炭素社会の構築	2.85 23	2.76 23	2.57 28	2.67 25	2.61 22	3.00 16	2.74 25	3.24 8	3.43 6
施策15 学校教育の推進	2.75 24	2.83 21	3.00 19	2.63 27	2.24 32	2.67 28	3.26 13	2.58 29	2.25 31
施策03 障がい福祉の推進	2.72 25	2.91 17	2.89 25	2.91 18	2.23 33	2.89 21	2.62 29	3.05 19	2.67 25
施策04 地域福祉の推進	2.70 26	2.51 27	2.92 24	3.11 9	2.40 27	2.77 23	2.92 19	2.60 25	3.00 14
施策34 広域連携の推進	2.67 27	2.54 26	2.25 32	2.17 34	3.00 16	2.91 20	2.74 25	2.50 30	2.00 32
施策02 高齢者福祉の推進	2.66 28	3.13 11	2.56 29	2.62 28	2.38 28	2.71 26	2.60 30	2.59 27	2.29 30
施策06 社会保障の適正な運営	2.53 29	2.59 25	2.70 27	2.59 29	2.33 30	3.19 12	2.25 34	2.44 31	2.67 25
施策01 子育て支援の推進	2.50 30	2.26 31	3.13 16	2.71 24	2.26 31	2.36 33	2.65 28	2.79 24	1.14 34
施策23 計画的なまちづくり	2.45 31	2.16 32	2.17 33	2.76 23	2.56 24	2.49 32	2.68 27	2.23 32	2.91 20
施策33 市民のための行政運営	2.44 32	2.42 28	2.29 30	2.43 32	2.47 26	2.69 27	2.55 31	2.06 34	2.86 21
施策27 産業の振興	2.31 33	2.11 33	2.00 34	2.43 32	1.91 34	2.65 30	2.38 32	2.59 27	2.33 29
施策24 地域交通体系の整備	2.29 34	2.03 34	2.29 30	2.48 31	2.36 29	2.36 33	2.33 33	2.14 33	2.71 24
平均	2.97	2.88	3.06	2.92	2.85	3.01	3.06	2.97	2.95

(3) 重要度と満足度の相関関係

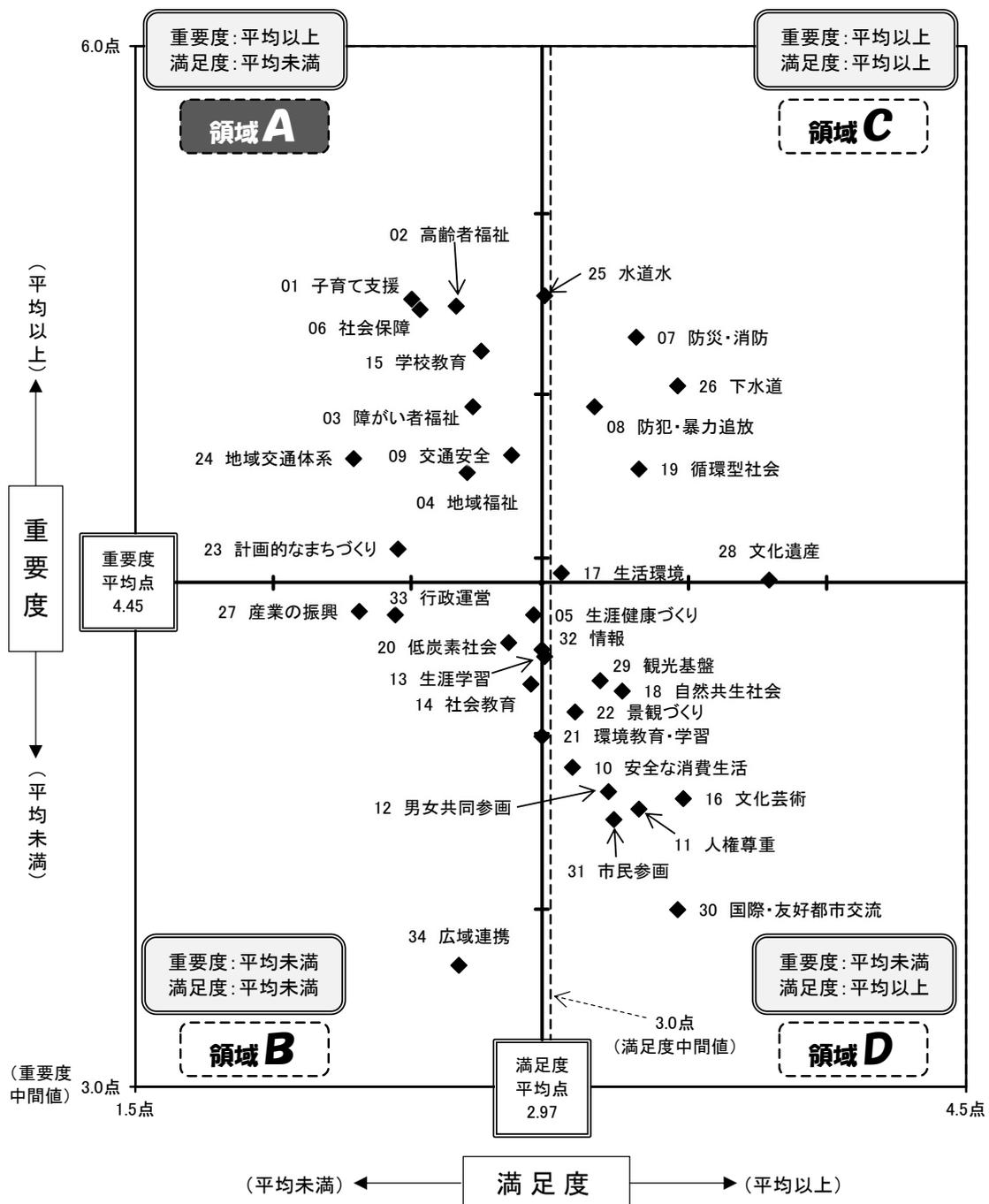
縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関関係をみると、重要度はすべての項目で中間値(3.0)を上回っている。一方、満足度が中間値(3.0)を上回っているのは、「07 防災・消防」「26 下水道」「08 防犯・暴力追放」「19 循環型社会」「17 生活環境」「28 文化遺産」「29 環境基盤」「18 自然共生社会」「22 景観づくり」「10 安全な消費生活」「12 男女共同参画」「16 文化芸術」「11 人権尊重」「31 市民参画」「30 国際・友好都市交流」の15施策となっている。



(4) 重要度と満足度の領域別相関関係

重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高くかつ満足度が低い【領域A.】に入る施策が早急に対応すべき優先度が高い項目となり、その施策は「01 子育て支援」「06 社会保障」「02 高齢者福祉」「24 地域交通体系」「15 学校教育」「03 障がい者福祉」「23 計画的なまちづくり」「04 地域福祉」「09 交通安全」の9施策となっている。

各領域 該当項目 の特徴	【領域A】	重要度・高 満足度・低	今後改善の優先度が高い（行政的ニーズが高い）。
	【領域B】	重要度・低 満足度・低	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度をあげていく必要がある。
	【領域C】	重要度・高 満足度・高	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	【領域D】	重要度・低 満足度・高	重要度が低く、満足度が高いもので、今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。



2. 子育て支援の推進（問11）

●『子育てがしやすい派』は68.4%、『子育てがしにくい派』は31.5%となっている。

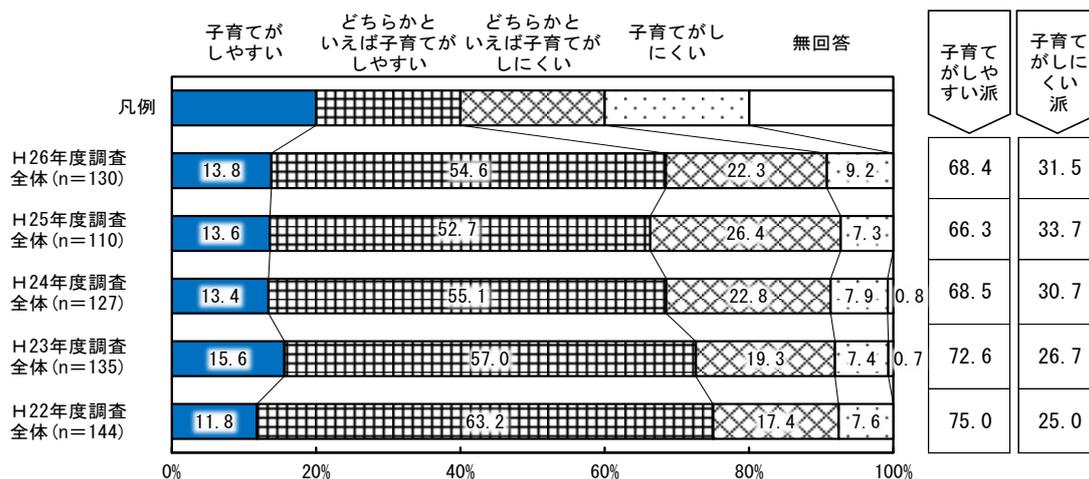
中学生以下の子どもがいる130人を対象にした質問で、子育てがしやすいと思う『子育てがしやすい派』（「子育てがしやすい」（13.8%）と「どちらかと言えば子育てがしやすい」（54.6%）の合計）は68.4%、一方、『子育てがしにくい派』（「子育てがしにくい」（9.2%）と「どちらかと言えば子育てがしにくい」（22.3%）の合計）は31.5%で、『子育てがしやすい派』の方が『子育てがしにくい派』よりも36.9ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『子育てがしやすい派』の割合は前回まで減少傾向がみられたが今回は増加した。

性別にみると、『子育てがしやすい派』は男性（73.4%）の方が女性（66.2%）よりも7.2ポイント高くなっている。

【中学生までの子どもをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問11. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	子育てがしやすい (%)	どちらかと言えば子育てがしやすい (%)	どちらかと言えば子育てがしにくい (%)	子育てがしにくい (%)	子育てがしやすい派 (%)	子育てがしにくい派 (%)
全体		130	13.8	54.6	22.3	9.2	68.4	31.5
性別	男性	45	15.6	57.8	15.6	11.1	73.4	26.7
	女性	83	12.0	54.2	25.3	8.4	66.2	33.7
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0
年代別	20歳代	6	33.3	50.0	-	16.7	83.3	16.7
	30歳代	40	10.0	50.0	25.0	15.0	60.0	40.0
	40歳代	41	12.2	58.5	22.0	7.3	70.7	29.3
	50歳代	23	13.0	60.9	26.1	-	73.9	26.1
	60歳代	10	20.0	50.0	20.0	10.0	70.0	30.0
	70歳以上	8	12.5	62.5	12.5	12.5	75.0	25.0
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	17	11.8	41.2	35.3	11.8	53.0	47.1
	太宰府東小学校区	11	9.1	72.7	9.1	9.1	81.8	18.2
	太宰府南小学校区	8	12.5	62.5	-	25.0	75.0	25.0
	水城小学校区	21	9.5	66.7	14.3	9.5	76.2	23.8
	水城西小学校区	30	23.3	43.3	26.7	6.7	66.6	33.4
	太宰府西小学校区	19	15.8	52.6	31.6	-	68.4	31.6
	国分小学校区	21	4.8	66.7	14.3	14.3	71.5	28.6
	わからない	1	-	-	100.0	-	-	100.0
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0

3. 高齢者福祉の推進

(1) 生きがいの有無 (問 12)

●生きがいを感じている『充実派』は79.2%となっている。

65 歳以上 (173 人) を対象に生きがいの有無をたずねたところ、『充実派』(「とても感じている」(26.6%)と「どちらかといえば感じている」(52.6%)の合計)は79.2%で、約8割が『充実』を感じている。一方、『不満派』(「全く感じていない」(1.2%)と「どちらかといえば感じていない」(15.0%)の合計)は16.2%で、『充実派』は『不満派』の約5倍と高くなっている。

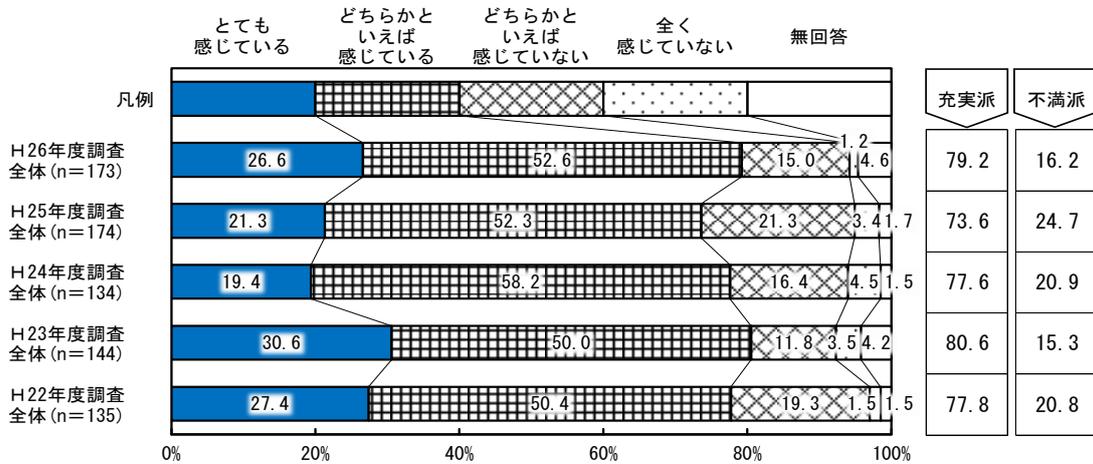
過去の調査結果と比べると、「とても感じている」は前回よりも5.3ポイント増加している。

性別にみると、生きがいを「とても感じている」は男性が3割、女性が2割となり、男性の方が高い。『充実派』の割合をみてもその差が7.1ポイントで男性が高くなっている。

年代別にみると、60歳代(78.2%)と70歳以上(80.0%)で差はみられない。

【65歳以上の方だけにおたずねします。】

問 12. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)



		標本数	とても感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	全く感じていない	無回答	充実派	不満派
全体		173	46	91	26	2	8	137	28
		100.0	26.6	52.6	15.0	1.2	4.6	79.2	16.2
性別	男性	81	32.1	50.6	13.6	1.2	2.5	82.7	14.8
	女性	86	23.3	52.3	16.3	1.2	7.0	75.6	17.5
	無回答	6	-	83.3	16.7	-	-	83.3	16.7
年代別	60歳代	78	24.4	53.8	16.7	1.3	3.8	78.2	18.0
	70歳以上	95	28.4	51.6	13.7	1.1	5.3	80.0	14.8
小学校区別	太宰府小学校区	27	25.9	44.4	22.2	-	7.4	70.3	22.2
	太宰府東小学校区	16	25.0	50.0	12.5	6.3	6.3	75.0	18.8
	太宰府南小学校区	12	16.7	83.3	-	-	-	100.0	-
	水城小学校区	19	15.8	52.6	26.3	-	5.3	68.4	26.3
	水城西小学校区	21	19.0	57.1	14.3	-	9.5	76.1	14.3
	太宰府西小学校区	50	34.0	50.0	10.0	2.0	4.0	84.0	12.0
	国分小学校区	21	28.6	52.4	19.0	-	-	81.0	19.0
	わからない	4	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-
無回答	3	66.7	-	33.3	-	-	66.7	33.3	

(2) 高齢者福祉サービスの充実度 (問 13)

●高齢者福祉サービスについて『充実派』は 17.6%、『不足派』は 29.0%となっている。

高齢者福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」(2.6%)と「ややそう思う」(15.0%)の合計)は 17.6%、一方、『不足派』(「そう思わない」(7.1%)と「あまりそう思わない」(21.9%)の合計)は 29.0%で、『不足派』の方が『充実派』よりも高くなっている。

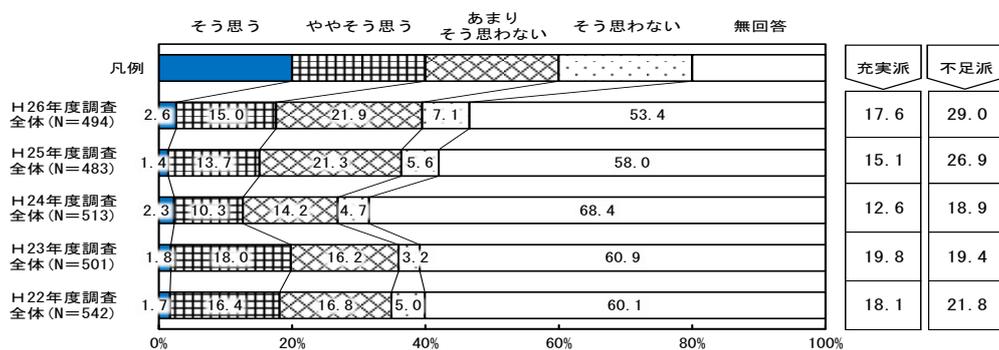
過去の調査結果と比べると、『充実派』は前回調査(15.1%)より 2.5 ポイント増加しているものの、平成 23 年度の 19.8%までは戻っていない。一方『不足派』は、前回調査(26.9%)よりも 2.1 ポイント増加しており、H24 年度調査からは『不足派』『充実派』ともに増加傾向がみられる。

性別にみると、『充実派』は男性(24.0%)の方が女性(13.3%)よりも高い。また、『不足派』も男性(30.8%)の方が女性(26.6%)よりも高くなっている。

年齢別にみると、『充実派』は 70 歳以上で 39.0%と高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区を除く全ての校区で『不足派』の方が『充実派』よりも高く、特に太宰府南と太宰府西、太宰府東の 3 小学校区は『不満派』が 4 割近くになっている。なお、太宰府西小学校区は『不足派』『充実派』のどちらも高くなっている。

問 13. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		494	2.6	15.0	21.9	7.1	53.4	17.6	29.0
性別	男性	204	2.9	21.1	23.0	7.8	45.1	24.0	30.8
	女性	278	2.5	10.8	20.1	6.5	60.1	13.3	26.6
	無回答	12	-	8.3	41.7	8.3	41.7	8.3	50.0
年代別	20歳代	35	5.7	8.6	5.7	-	80.0	14.3	5.7
	30歳代	71	-	7.0	7.0	2.8	83.1	7.0	9.8
	40歳代	75	-	6.7	13.3	-	80.0	6.7	13.3
	50歳代	70	1.4	8.6	10.0	2.9	77.1	10.0	12.9
	60歳代	142	2.1	17.6	28.9	13.4	38.0	19.7	42.3
	70歳以上	95	7.4	31.6	44.2	12.6	4.2	39.0	56.8
	無回答	6	-	-	16.7	-	83.3	-	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	2.4	19.3	21.7	6.0	50.6	21.7	27.7
	太宰府東小学校区	34	-	17.6	26.5	8.8	47.1	17.6	35.3
	太宰府南小学校区	31	-	3.2	35.5	3.2	58.1	3.2	38.7
	水城小学校区	70	2.9	17.1	24.3	2.9	52.9	20.0	27.2
	水城西小学校区	69	5.8	11.6	14.5	2.9	65.2	17.4	17.4
	太宰府西小学校区	100	4.0	19.0	24.0	13.0	40.0	23.0	37.0
	国分小学校区	70	1.4	14.3	18.6	7.1	58.6	15.7	25.7
	わからない	28	-	7.1	14.3	7.1	71.4	7.1	21.4
	無回答	9	-	-	22.2	22.2	55.6	-	44.4

4. 障がい福祉の推進

(1) 障がい者福祉サービスの充実度 (問 14)

●障がい者福祉サービスについて『不足派』は29.0%で、『充実派』(17.4%)よりも高い。

障がい者福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」(4.0%)と「ややそう思う」(13.4%)の合計)は17.4%、『不足派』(「そう思わない」(7.5%)と「あまりそう思わない」(21.5%)の合計)は29.0%で、『不足派』の方が『充実派』よりも高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『充実派』『不足派』ともに大幅な減少がみられる。なお、27年度は新たに「障がい者福祉サービスの内容を知らない」の項目が追加されたため、評価に大きな変動がみられる結果となった。なお、サービスを知らない割合は5割近くを占める。

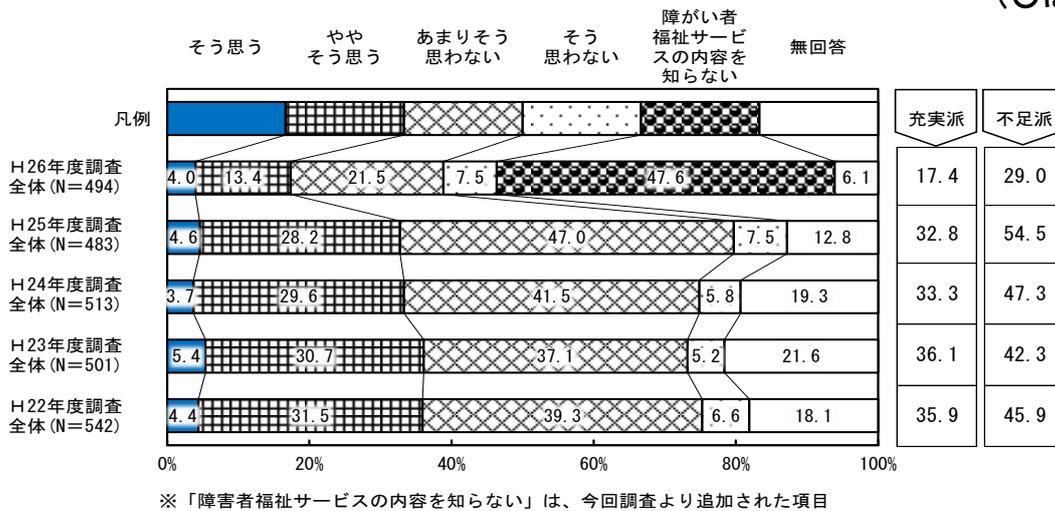
性別にみると、『充実派』は男性(20.1%)の方が女性(15.8%)よりも高くなっている。

年代別にみると、50～60歳代は『不足派』が3割以上と高くなっている。30～40歳代は『不足派』と『充実派』で大きな差はみられない。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『不足派』の方が『充実派』よりも高くなっている。

問 14. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。

(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	障がい者福祉サービスの内容を知らない	無回答	充実派	不足派
全体		494	20	66	106	37	235	30	86	143
性別	男性	204	5.4	14.7	26.0	8.8	40.2	4.9	20.1	34.8
	女性	278	3.2	12.6	18.0	6.5	53.6	6.1	15.8	24.5
	無回答	12	-	8.3	25.0	8.3	33.3	25.0	8.3	33.3
年代別	20歳代	35	11.4	8.6	25.7	2.9	51.4	-	20.0	28.6
	30歳代	71	4.2	9.9	12.7	4.2	62.0	7.0	14.1	16.9
	40歳代	75	5.3	17.3	20.0	6.7	44.0	6.7	22.6	26.7
	50歳代	70	1.4	12.9	30.0	8.6	42.9	4.3	14.3	38.6
	60歳代	142	2.1	10.6	23.9	9.9	49.3	4.2	12.7	33.8
	70歳以上	95	5.3	20.0	16.8	7.4	41.1	9.5	25.3	24.2
	無回答	6	-	-	33.3	16.7	16.7	33.3	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	1.2	12.0	19.3	6.0	53.0	8.4	13.2	25.3
	太宰府東小学校区	34	-	11.8	14.7	8.8	55.9	8.8	11.8	23.5
	太宰府南小学校区	31	3.2	9.7	25.8	3.2	58.1	-	12.9	29.0
	水城小学校区	70	5.7	10.0	24.3	8.6	47.1	4.3	15.7	32.9
	水城西小学校区	69	8.7	14.5	26.1	4.3	37.7	8.7	23.2	30.4
	太宰府西小学校区	100	6.0	19.0	23.0	9.0	38.0	5.0	25.0	32.0
	国分小学校区	70	2.9	12.9	21.4	7.1	54.3	1.4	15.8	28.5
	わからない	28	-	14.3	7.1	7.1	60.7	10.7	14.3	14.2
	無回答	9	-	-	22.2	33.3	22.2	22.2	-	55.5

(2) 公共施設の配慮に対する意識 (問 15)

●公共施設の配慮について『否定派』は49.0%で、『肯定派』(44.4%)よりも高い。

公共施設が高齢者や障がい者などに配慮されているかどうかについてみると、配慮されているという『肯定派』(「そう思う」(5.7%)と「ややそう思う」(38.7%)の合計)は44.4%、一方、『否定派』(「そう思わない」(9.1%)と「あまりそう思わない」(39.9%)の合計)は49.0%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

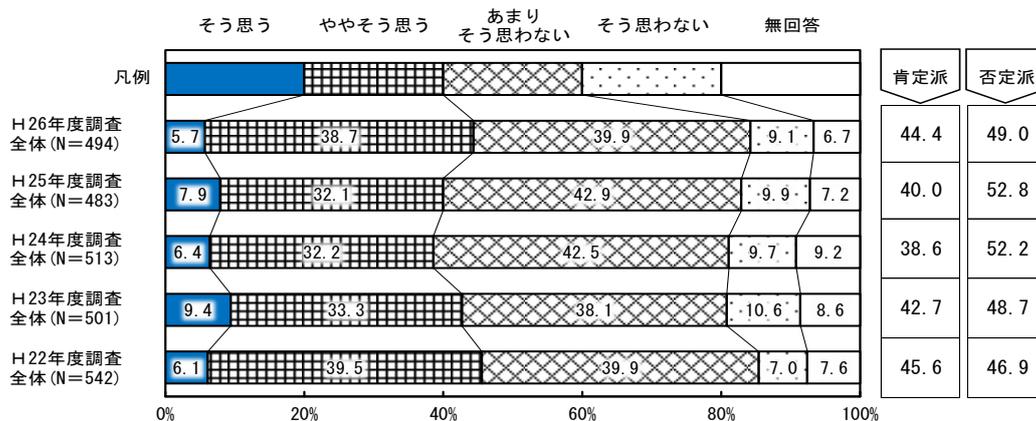
過去の調査結果と比べると、平成22年度から減少傾向にあった『肯定派』が前回から増加に転じ、『否定派』との差は4.6ポイントになっている。

性別にみると、男性は『肯定派』、女性は『否定派』が高く、男女間で違いがみられる。

年代別にみると、20～40歳代と70歳以上は『肯定派』が高く、50～60歳代は『否定派』が高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区を除いて『肯定派』が『否定派』よりも上回っているのは、太宰府、国分、水城の3小学校区となっている。

問 15. あなたは市内の公共施設(駅、市役所等)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	5.7	38.7	39.9	9.1	6.7	44.4	49.0
性別	男性	204	5.9	42.2	39.2	7.4	5.4	48.1	46.6
	女性	278	5.4	36.7	39.9	10.8	7.2	42.1	50.7
	無回答	12	8.3	25.0	50.0	-	16.7	33.3	50.0
年代別	20歳代	35	11.4	42.9	40.0	5.7	-	54.3	45.7
	30歳代	71	4.2	45.1	33.8	9.9	7.0	49.3	43.7
	40歳代	75	4.0	45.3	37.3	8.0	5.3	49.3	45.3
	50歳代	70	2.9	35.7	47.1	5.7	8.6	38.6	52.8
	60歳代	142	3.5	33.8	40.8	14.1	7.7	37.3	54.9
	70歳以上	95	10.5	38.9	38.9	6.3	5.3	49.4	45.2
	無回答	6	16.7	-	50.0	-	33.3	16.7	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	4.8	45.8	31.3	7.2	10.8	50.6	38.5
	太宰府東小学校区	34	5.9	35.3	52.9	-	5.9	41.2	52.9
	太宰府南小学校区	31	6.5	35.5	45.2	6.5	6.5	42.0	51.7
	水城小学校区	70	2.9	45.7	38.6	7.1	5.7	48.6	45.7
	水城西小学校区	69	5.8	39.1	34.8	14.5	5.8	44.9	49.3
	太宰府西小学校区	100	5.0	32.0	48.0	10.0	5.0	37.0	58.0
	国分小学校区	70	11.4	40.0	37.1	8.6	2.9	51.4	45.7
	わからない	28	-	35.7	32.1	21.4	10.7	35.7	53.5
	無回答	9	11.1	11.1	55.6	-	22.2	22.2	55.6

5. 地域福祉の推進（問 16）

●地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』が57.5%で、『肯定派』（39.1%）よりも高い。

地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われているかどうかについて、『肯定派』（「そう思う」(9.5%)と「ややそう思う」(29.6%)の合計)は39.1%、一方、『否定派』（「そう思わない」(14.4%)と「あまりそう思わない」(43.1%)の合計)は57.5%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

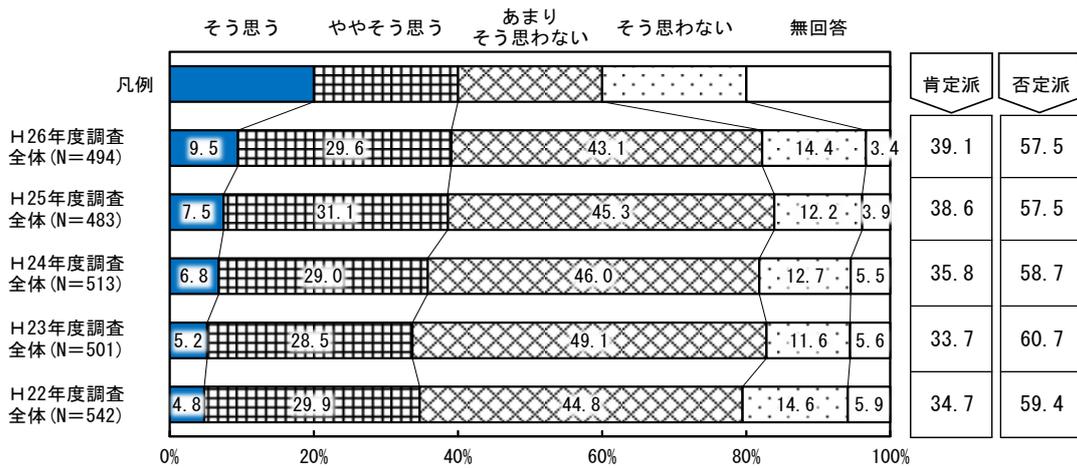
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は平成23年度から増加傾向が続いている。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに約4割となっており、差はみられない。

年代別にみると、70歳以上は『肯定派』が5割となり、他の年代に比べて高くなっている。なお、30歳代の『肯定派』は28.1%で最も低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区は『肯定派』が5割を超え、他の小学校区に比べて高くなっている。

問 16. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	47	146	213	71	17	193	284
		100.0	9.5	29.6	43.1	14.4	3.4	39.1	57.5
性別	男性	204	9.8	28.4	40.7	18.6	2.5	38.2	59.3
	女性	278	9.7	30.6	44.2	11.5	4.0	40.3	55.7
	無回答	12	-	25.0	58.3	8.3	-	25.0	66.6
年代別	20歳代	35	5.7	34.3	37.1	22.9	-	40.0	60.0
	30歳代	71	7.0	21.1	52.1	15.5	4.2	28.1	67.6
	40歳代	75	8.0	38.7	41.3	9.3	2.7	46.7	50.6
	50歳代	70	7.1	22.9	47.1	17.1	5.7	30.0	64.2
	60歳代	142	9.2	28.9	42.3	16.9	2.8	38.1	59.2
	70歳以上	95	16.8	33.7	36.8	9.5	3.2	50.5	46.3
	無回答	6	-	16.7	66.7	-	16.7	16.7	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	8.4	20.5	48.2	18.1	4.8	28.9	66.3
	太宰府東小学校区	34	8.8	32.4	44.1	11.8	2.9	41.2	55.9
	太宰府南小学校区	31	9.7	32.3	38.7	16.1	3.2	42.0	54.8
	水城小学校区	70	5.7	18.6	51.4	20.0	4.3	24.3	71.4
	水城西小学校区	69	13.0	34.8	36.2	13.0	2.9	47.8	49.2
	太宰府西小学校区	100	13.0	40.0	36.0	8.0	3.0	53.0	44.0
	国分小学校区	70	10.0	31.4	42.9	15.7	-	41.4	58.6
	わからない	28	3.6	21.4	50.0	17.9	7.1	25.0	67.9
	無回答	9	-	33.3	55.6	-	11.1	33.3	55.6

6. 生涯健康づくりの推進

(1) 健康状態 (問 17)

●ここ数週間の健康状態は『健康』は80.7%、『不調』は17.4%となっている。

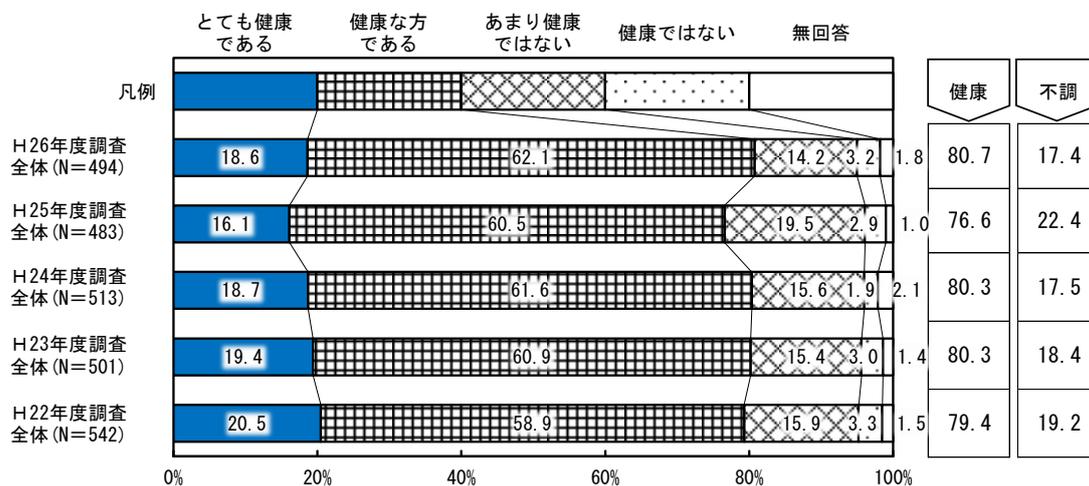
ここ数週間の健康状態について、『健康』（「とても健康である」（18.6%）と「健康な方である」（62.1%）の合計）は80.7%、一方、『不調』（「健康ではない」（3.2%）と「あまり健康ではない」（14.2%）の合計）は17.4%で、『健康』が8割を超えて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『健康』は前回調査よりも4.1ポイント増加、反対に『不調』は5.0ポイント減少しており、24年度までの割合と同程度になっている。

性別にみると、『健康』は男性（81.8%）と女性（80.2%）で差はみられない。

年代別にみると、『健康』は50歳代以下で8割を超えて高くなっている。

問 17. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)



		標本数	とても健康である (%)	健康な方である (%)	あまり健康ではない (%)	健康ではない (%)	無回答 (%)	健康 (%)	不調 (%)
全体		494	18.6	62.1	14.2	3.2	1.8	80.7	17.4
性別	男性	204	19.1	62.7	12.3	4.4	1.5	81.8	16.7
	女性	278	18.7	61.5	15.5	2.5	1.8	80.2	18.0
	無回答	12	8.3	66.7	16.7	-	8.3	75.0	16.7
年代別	20歳代	35	31.4	57.1	11.4	-	-	88.5	11.4
	30歳代	71	22.5	59.2	11.3	2.8	4.2	81.7	14.1
	40歳代	75	24.0	61.3	12.0	2.7	-	85.3	14.7
	50歳代	70	15.7	71.4	10.0	2.9	-	87.1	12.9
	60歳代	142	16.2	59.2	19.7	3.5	1.4	75.4	23.2
	70歳以上	95	13.7	64.2	13.7	5.3	3.2	77.9	19.0
	無回答	6	-	66.7	16.7	-	16.7	66.7	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	16.9	63.9	16.9	1.2	1.2	80.8	18.1
	太宰府東小学校区	34	14.7	73.5	8.8	-	2.9	88.2	8.8
	太宰府南小学校区	31	22.6	58.1	19.4	-	-	80.7	19.4
	水城小学校区	70	15.7	58.6	17.1	7.1	1.4	74.3	24.2
	水城西小学校区	69	24.6	60.9	7.2	4.3	2.9	85.5	11.5
	太宰府西小学校区	100	22.0	60.0	14.0	1.0	3.0	82.0	15.0
	国分小学校区	70	20.0	64.3	14.3	1.4	-	84.3	15.7
	わからない	28	7.1	64.3	17.9	10.7	-	71.4	28.6
	無回答	9	-	55.6	11.1	22.2	11.1	55.6	33.3

(2) 健康増進の取り組み状況 (問 18)

●健康増進のために取り組んでいるものが「ある」は57.3%で、毎年5割で推移している。

健康増進のために日頃から取り組んでいるものが「ある」と答えた人の割合は57.3%、「ない」は40.9%で、「ある」が「ない」よりも高くなっている。

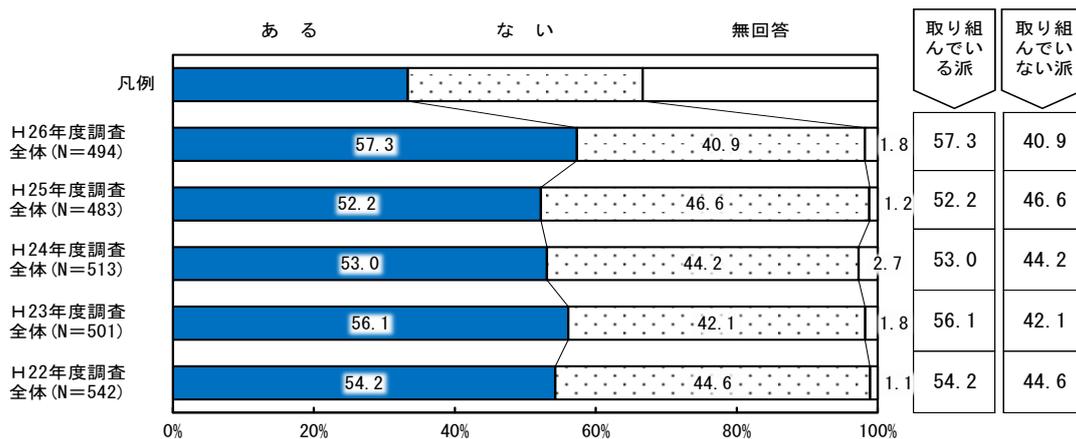
過去の調査結果と比べると、平成23年度以降『取り組んでいる派』の減少傾向と『取り組んでいない派』の増加傾向がみられたが、今回は「ある」が過去5年間で最も高い割合となっている。

性別にみると、「ある」と答えた人の割合は男性(57.8%)と女性(56.8%)で差はみられない。

年代別にみると、年齢が高くなるほど「ある」は概ね増加の傾向がみられ、70歳以上は「ある」が69.5%で最も高くなっている。

健康状態別にみると、健康な人ほど『取り組んでいる派』の割合が高く、健康状態と健康増進の取り組みで関連性がみられる。

問 18. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(〇は1つ)



		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		494	57.3	40.9	1.8
性別	男性	204	57.8	40.7	1.5
	女性	278	56.8	41.4	1.8
	無回答	12	58.3	33.3	8.3
年代別	20歳代	35	28.6	71.4	-
	30歳代	71	42.3	53.5	4.2
	40歳代	75	57.3	42.7	-
	50歳代	70	55.7	44.3	-
	60歳代	142	64.1	33.8	2.1
	70歳以上	95	69.5	28.4	2.1
	無回答	6	66.7	16.7	16.7
健康状態別	とても健康である	92	68.5	31.5	-
	健康な方である	307	59.3	40.1	0.7
	あまり健康でない	70	47.1	52.9	-
	健康ではない	16	31.3	68.8	-
	無回答	9	-	22.2	77.8
小学校区別	太宰府小学校区	83	55.4	42.2	2.4
	太宰府東小学校区	34	58.8	38.2	2.9
	太宰府南小学校区	31	64.5	35.5	-
	水城小学校区	70	54.3	44.3	1.4
	水城西小学校区	69	52.2	46.4	1.4
	太宰府西小学校区	100	64.0	34.0	2.0
	国分小学校区	70	58.6	40.0	1.4
	わからない	28	42.9	57.1	-
	無回答	9	66.7	22.2	11.1

(3) 健康診査の受診状況 (問 19)

●この一年間の健康診査の受診率は7割近くとなっているが、20～30歳代の男女の受診率は他の年代に比べ低い。

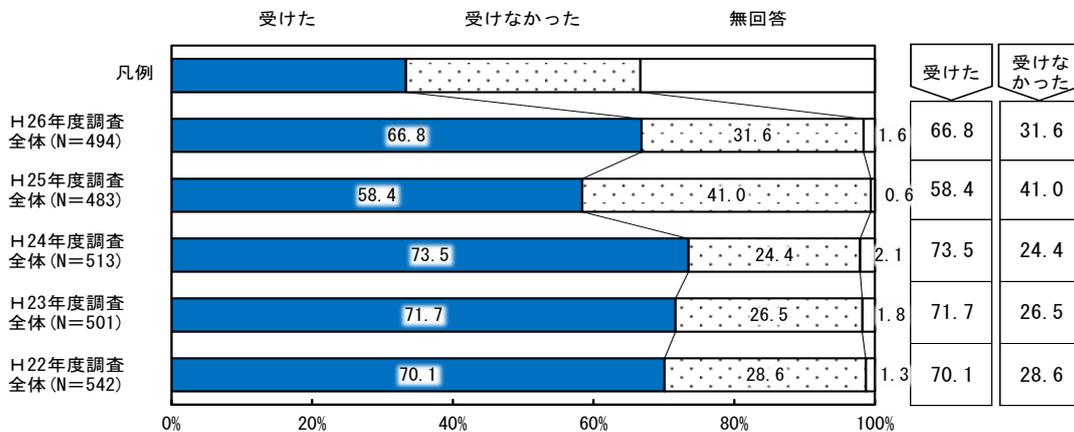
この一年間の健康診査の受診状況をみると、「受けた」が66.8%、「受けなかった」は31.6%で、2：1の割合となっている。

過去の調査結果と比べると、「受けた」は前回よりも8.4ポイント増加している。

性別・年代別にみると、受診率は概ね男性の方が女性よりも高くなっている。

健康状態別に受診率をみると、健康な人の方が健康でない人よりも受診率が高くなっている。

問 19. あなたはこの一年間に、「健康診査」(がん検診、人間ドッグを含む)を受けましたか。(〇は1つ)



		標本数	受けた (%)	か受つた (%)	無回答 (%)
全体		494	66.8	31.6	1.6
性別・年代別	男性:20歳代	18	44.4	55.6	-
	男性:30歳代	28	57.1	35.7	7.1
	男性:40歳代	30	83.3	16.7	-
	男性:50歳代	27	77.8	22.2	-
	男性:60歳代	55	83.6	14.5	1.8
	男性:70歳代以上	46	78.3	19.6	2.2
	女性:20歳代	17	41.2	58.8	-
	女性:30歳代	43	53.5	44.2	2.3
	女性:40歳代	45	62.2	37.8	-
	女性:50歳代	43	76.7	23.3	-
健康状態別	とても健康である	92	69.6	30.4	-
	健康な方である	307	70.7	29.0	0.3
	あまり健康でない	70	51.4	48.6	-
	健康ではない	16	68.8	31.3	-
無回答	9	22.2	-	77.8	
小学校区別	太宰府小学校区	83	67.5	31.3	1.2
	太宰府東小学校区	34	61.8	35.3	2.9
	太宰府南小学校区	31	77.4	22.6	-
	水城小学校区	70	58.6	40.0	1.4
	水城西小学校区	69	69.6	29.0	1.4
	太宰府西小学校区	100	67.0	30.0	3.0
	国分小学校区	70	75.7	24.3	-
	わからない	28	53.6	46.4	-
無回答	9	55.6	33.3	11.1	

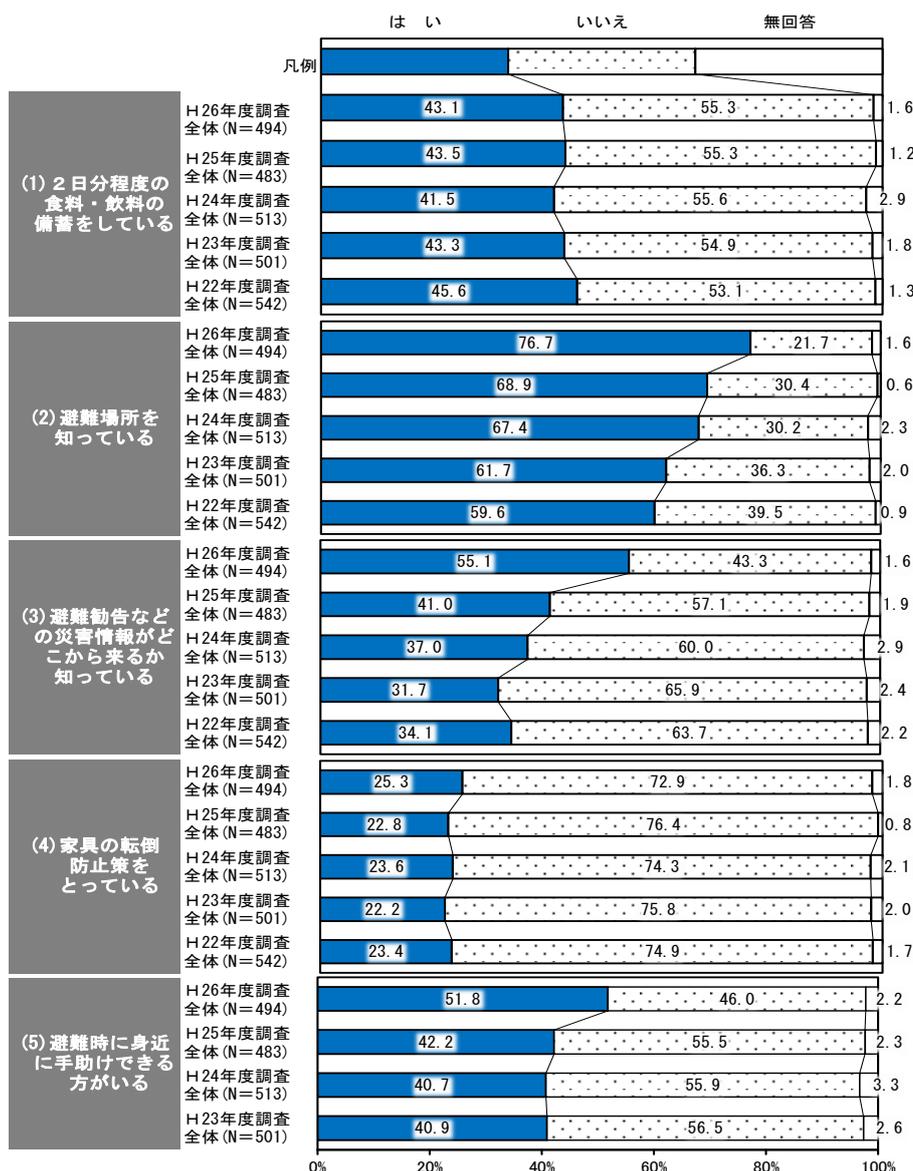
7. 防災・消防体制の整備充実（問 20）

●日頃の災害に対する備えができていないのは「(2) 避難場所を知っている」、「(3) 災害情報源の認知」、「(5) 避難時に身近に手助けできる方がいる」、「(1) 食料の備蓄」、「(4) 家具の転倒防止策」の順となっている。

日頃の災害に対する備えについて実施率（「はい」の割合）をみると「(2) 避難場所を知っている」（76.7%）が最も高く、次いで「(3) 災害情報源の認知」（55.1%）、「(5) 避難時に身近に手助けできる方がいる」（51.8%）、「(1) 食料の備蓄」（43.1%）、「(4) 家具の転倒防止策」（25.3%）の順である。なお、備えができていない人（「いいえ」と回答した人）ができていない人（「はい」）より高いのは、「(1) 食料の備蓄」（55.3%）と「(4) 家具の転倒防止策」（72.9%）の2項目である。

過去の調査結果と比べると、実施率は「(2) 避難場所を知っている」、「(3) 災害情報源の認知」、「(5) 避難時に身近に手助けできる方がいる」で増加傾向がみられる。

問 20. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。（○はそれぞれ1つ）



性別にみると、男女間で大きな差はみられない。

年代別にみると、70歳以上は「(3) 災害情報源の認知」で他の年代よりも高く、「(4) 家具の転倒防止策をとっている」を除いて、概ね年代が上の層において実施率が高くなっている。

小学校区別にみると、「(2) 避難場所を知っている」はすべての小学校区が7～8割と高くなっている。一方、「(4) 家具の転倒防止策をとっている」はすべての小学校区で最も低くなっている。

(%)

	標本数	(1)2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている			(2)避難場所を知っている			(3)避難勧告などの災害情報がどこから来るか知っている			
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体	494 100.0	213 43.1	273 55.3	8 1.6	379 76.7	107 21.7	8 1.6	272 55.1	214 43.3	8 1.6	
性別	男性	204	40.7	58.3	1.0	74.5	24.5	1.0	57.8	41.2	1.0
	女性	278	45.7	52.5	1.8	78.8	19.4	1.8	53.6	44.6	1.8
	無回答	12	25.0	66.7	8.3	66.7	25.0	8.3	41.7	50.0	8.3
年代別	20歳代	35	37.1	62.9	-	65.7	34.3	-	48.6	51.4	-
	30歳代	71	40.8	56.3	2.8	64.8	32.4	2.8	45.1	52.1	2.8
	40歳代	75	37.3	62.7	-	81.3	18.7	-	46.7	53.3	-
	50歳代	70	41.4	57.1	1.4	78.6	20.0	1.4	57.1	42.9	-
	60歳代	142	47.9	50.7	1.4	83.1	15.5	1.4	57.7	40.8	1.4
	70歳以上	95	48.4	49.5	2.1	75.8	22.1	2.1	67.4	29.5	3.2
	無回答	6	-	83.3	16.7	66.7	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	39.8	60.2	-	77.1	22.9	-	55.4	44.6	-
	太宰府東小学校区	34	61.8	35.3	2.9	76.5	20.6	2.9	61.8	35.3	2.9
	太宰府南小学校区	31	41.9	58.1	-	80.6	19.4	-	58.1	41.9	-
	水城小学校区	70	40.0	58.6	1.4	75.7	22.9	1.4	50.0	48.6	1.4
	水城西小学校区	69	43.5	55.1	1.4	76.8	21.7	1.4	44.9	53.6	1.4
	太宰府西小学校区	100	39.0	58.0	3.0	81.0	16.0	3.0	64.0	32.0	4.0
	国分小学校区	70	47.1	52.9	-	88.6	11.4	-	65.7	34.3	-
	わからない 無回答	28 9	53.6 11.1	42.9 77.8	3.6 11.1	32.1 66.7	64.3 22.2	3.6 11.1	25.0 44.4	75.0 44.4	- 11.1

	標本数	(4)家具の転倒防止策をとっている			(5)避難時に身近に手助けできる方がいる			
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体	494 100.0	125 25.3	360 72.9	9 1.8	256 51.8	227 46.0	11 2.2	
性別	男性	204	27.5	71.6	1.0	52.5	46.6	1.0
	女性	278	24.1	73.7	2.2	51.8	45.3	2.9
	無回答	12	16.7	75.0	8.3	41.7	50.0	8.3
年代別	20歳代	35	28.6	71.4	-	62.9	37.1	-
	30歳代	71	18.3	78.9	2.8	47.9	49.3	2.8
	40歳代	75	37.3	62.7	-	49.3	49.3	1.3
	50歳代	70	18.6	78.6	2.9	45.7	52.9	1.4
	60歳代	142	24.6	73.2	2.1	56.3	41.5	2.1
	70歳以上	95	27.4	71.6	1.1	50.5	46.3	3.2
	無回答	6	-	83.3	16.7	50.0	33.3	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	19.3	80.7	-	55.4	44.6	-
	太宰府東小学校区	34	35.3	58.8	5.9	41.2	55.9	2.9
	太宰府南小学校区	31	25.8	74.2	-	54.8	41.9	3.2
	水城小学校区	70	22.9	74.3	2.9	41.4	55.7	2.9
	水城西小学校区	69	24.6	73.9	1.4	50.7	46.4	2.9
	太宰府西小学校区	100	32.0	66.0	2.0	59.0	38.0	3.0
	国分小学校区	70	25.7	74.3	-	58.6	41.4	-
	わからない 無回答	28 9	21.4 -	75.0 88.9	3.6 11.1	35.7 55.6	60.7 33.3	3.6 11.1

8. 防犯・暴力追放運動の推進

(1) 防犯面の安心度 (問 21)

●防犯面について『安心派』は65.3%、『不安派』は33.6%となっている。

市内の防犯面について、『安心派』（「とても安心している」(3.4%)と「どちらかといえば安心している」(61.9%)の合計)は65.3%、一方、『不安派』（「とても不安である」(4.0%)と「どちらかといえば不安である」(29.6%)の合計)は33.6%で、『安心派』の方が『不安派』よりも高くなっている。

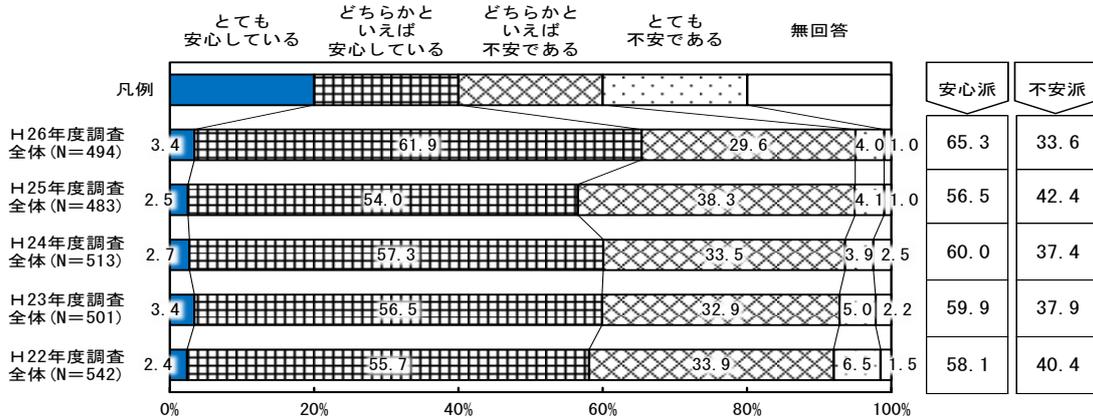
過去の調査結果と比べると、『安心派』は前回調査よりも8.8ポイント増加、反対に『不安派』は8.8ポイント減少しており、『安心派』と『不安派』の差がこれまでで最も大きくなっている。

性別にみると、『安心派』は男女ともに6割を超えており、差はみられない。

年代別にみると、『安心派』は60～70歳以上で7割を超え、他の年代と比べて高くなっている。

小学校区別にみると、『安心派』が7割を超えて高くなっているのは太宰府東、太宰府西の2小学校区となっている。

問 21. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していますか。(○は1つ)



		標本数	とても安心している (%)	どちらかといえば安心している (%)	どちらかといえば不安である (%)	とても不安である (%)	無回答 (%)	安心派 (%)	不安派 (%)
全体		494	3.4	61.9	29.6	4.0	1.0	65.3	33.6
性別	男性	204	4.9	63.7	26.0	4.4	1.0	68.6	30.4
	女性	278	2.5	59.7	32.7	4.0	1.1	62.2	36.7
	無回答	12	-	83.3	16.7	-	-	83.3	16.7
年代別	20歳代	35	2.9	42.9	45.7	8.6	-	45.8	54.3
	30歳代	71	1.4	57.7	39.4	1.4	-	59.1	40.8
	40歳代	75	4.0	56.0	29.3	9.3	1.3	60.0	38.6
	50歳代	70	1.4	55.7	38.6	4.3	-	57.1	42.9
	60歳代	142	2.8	69.7	23.9	2.8	0.7	72.5	26.7
	70歳以上	95	7.4	68.4	18.9	2.1	3.2	75.8	21.0
	無回答	6	-	83.3	16.7	-	-	83.3	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	57.8	34.9	2.4	1.2	61.4	37.3
	太宰府東小学校区	34	-	76.5	23.5	-	-	76.5	23.5
	太宰府南小学校区	31	6.5	54.8	29.0	9.7	-	61.3	38.7
	水城小学校区	70	1.4	60.0	31.4	5.7	1.4	61.4	37.1
	水城西小学校区	69	4.3	59.4	27.5	5.8	2.9	63.7	33.3
	太宰府西小学校区	100	4.0	69.0	25.0	2.0	-	73.0	27.0
	国分小学校区	70	4.3	58.6	32.9	2.9	1.4	62.9	35.8
	わからない	28	3.6	53.6	32.1	10.7	-	57.2	42.8
	無回答	9	-	77.8	22.2	-	-	77.8	22.2

(2) 防犯上危険と思う場所(問21付問1)

校区	性別	年齢	防犯上危険と思われる場所:その他
太宰府	男性	20歳代	家までの道のりが暗い。家の横の太宰府市の山が少し崩れてる。
太宰府	男性	30歳代	防犯カメラを増設して下さい。
太宰府	男性	50歳代	外灯の数が少ないように思う。
太宰府	男性	60歳代	筑紫野、古賀線で夜間暴走バイクが走り危険。
太宰府	男性	60歳代	観世音寺及びその裏の道路、街灯が少なく暗い。
太宰府	男性	60歳代	3号線バイパスの側道が暗くて不気味である。
太宰府	男性	60歳代	駅から自宅までの道中。夜間の照明が暗い。
太宰府	男性	60歳代	防犯灯の数が少ない。夜道がこわい。
太宰府	女性	20歳代	御笠5丁目近辺の街灯が少ないが増えない。
太宰府	女性	20歳代	五条駅周辺、どんかん通り。
太宰府	女性	20歳代	外灯が少ないので暗い。
太宰府	女性	20歳代	全体的に街灯の色をもっと明るくしてほしい。オレンジ色みたいなのでまったく遠くは見えないし、逆に不気味である。
太宰府	女性	30歳代	バスの帰り道、街灯が少なく真っ暗。学生さんなどは特に危ない。
太宰府	女性	30歳代	太宰府市役所前の横断歩道が、信号がなく、スピードを出してくるので、なかなか渡れず、危ないので、押しボタン式信号をつけてほしい。
太宰府	女性	40歳代	住宅地でも街灯が少ない。
太宰府	女性	40歳代	太宰府小校門近くの広場?カップめんの食べた後、ビールの空缶等が散らかっている時があり、たまり場になっているのか不安。あとは、空家が多いので、不審者や火災など心配です。
太宰府	女性	50歳代	西鉄ストアの裏から線路沿いが暗い。夜になると人が少なくこわい。
太宰府	女性	50歳代	あいさつ通り。
太宰府	女性	50歳代	五条駅周辺。
太宰府	女性	70歳代	暗い道がある。
太宰府	女性	70歳代	私の住んでいる所はマンションじゃないので、(一戸建て)それでも隣は何をする人ぞ!で、もう少し絆が欲しいですね。
太宰府	女性	70歳代	街灯を増やしてほしい。三条区朝近神社。
太宰府東	男性	20歳代	公園(木村ストア横の公園)変なおじさんが子どもを見つめている時がある。
太宰府東	男性	40歳代	特定の場所はないが、街灯が少ない。
太宰府東	男性	70歳代	太宰府東小、中学校周辺、公園周辺。
太宰府東	女性	30歳代	星ヶ丘保育所前信号を付けるべき。東中周辺が暗すぎる。
太宰府南	男性	40歳代	太宰府東中学校付近は街灯が少なくとても暗い。
太宰府南	男性	60歳代	太宰府高校南側~高雄台へ通じる市道。
太宰府南	女性	30歳代	高雄公園、奥まった所で人が通らない。
太宰府南	女性	60歳代	空家が多い。
水城	男性	20歳代	街灯が少ない場所、死角、(暗闇)。
水城	男性	20歳代	全体的に外灯が少ない。
水城	男性	30歳代	坂本3丁目、都府楼の杜(新興住宅地)周辺の街灯が少ない。
水城	男性	40歳代	空家が多く、昼中人がいない。
水城	男性	40歳代	西鉄二日市駅北方旧操車場あたり。
水城	男性	40歳代	西鉄都府楼駅周辺、街灯がなくなると暗い場所が多い。
水城	男性	50歳代	街灯がない。
水城	女性	30歳代	坂本公園のトイレ周辺(夜は暗いし、影が出来る)夏場は花火が酷い。
水城	女性	40歳代	都府楼駅横にあるトンネル。
水城	女性	50歳代	家の前や細い道など電灯がついてなかったり、暗かったりして危ないと感じる。
水城	女性	60歳代	アパート暮らし(1人で暮らしているので)。
水城	女性	60歳代	通古賀地域の川周辺が暗く人通りが少ない。
水城	女性	60歳代	外灯の明かりが暗い。
水城西	男性	20歳代	夜、暗い所が多い。街灯があっても切れているなど。
水城西	男性	30歳代	大佐野台裏の地域(大佐野浄水場周辺)。
水城西	男性	40歳代	駅前に交番がなく、住宅地の治安に不安。
水城西	男性	40歳代	以前、市内のアパート(1F)に入居していたが、窃盗にあった為、セキュリティを考慮し、マンションを購入した。
水城西	男性	50歳代	夜間の榎社境内、都府楼南駅(JR)沿いの公園一ヶ所。
水城西	男性	60歳代	鷺田川を挟み、都府楼団地側辺(雑草多し)土手。
水城西	男性	70歳代	路上の照明が不足。
水城西	女性	30歳代	川が近い、小学校が避難所から橋を渡らなくてはならない。
水城西	女性	30歳代	前田公園・夕方になると男子高校生が集まり通るのが怖い。パーベキューをしてゴミも食べ物も散らかしたままという事もある。
水城西	女性	40歳代	吉松、高速道路橋下(御笠川)。
水城西	女性	40歳代	空家、外灯不備。
水城西	女性	40歳代	3号線、洗出交差点~西鉄都府楼前駅の車道と歩道の間の植え込みの背が高すぎて、車からも歩道が見えない。夜道などで何かあっても誰も目撃者がいないので、とても恐くて危険です。もっとひんぱんに剪定して下さい。
水城西	女性	50歳代	農業用水路の跡、死角になっている。
水城西	女性	70歳代	となりの空家。
水城西	女性	70歳代	住宅街など、夕方等、子供や生徒の一人歩き心配。

第2章 調査結果の分析

校区	性別	年齢	防犯上危険と思われる場所:その他
太宰府西	男性	40歳代	暗い道や公園。
太宰府西	男性	40歳代	歴史スポーツ公園(青葉台)。
太宰府西	男性	50歳代	ハローデイ大佐野店の裏駐車場、夏場は若い人達のたまり場になっている時がある。幸い大きな被害にはなっていないが。
太宰府西	男性	50歳代	高速道路下のトンネル。
太宰府西	男性	60歳代	団地内の道路の電灯が暗い。
太宰府西	男性	60歳代	深夜のマンガ倉庫。
太宰府西	男性	70歳代	公園、お宮。
太宰府西	男性	70歳代	特にないが、今回起きた和歌山の事件の容疑者の存在が判らないから、不安な面がある。
太宰府西	女性	20歳代	歴史スポーツ公園。
太宰府西	女性	30歳代	大佐野6丁目つつじヶ丘遊歩道。
太宰府西	女性	30歳代	歴史スポーツ公園。
太宰府西	女性	40歳代	この周辺は人をあまりみかけない。留守宅で引っ越しのようにみせて根こそぎ持っていかれたという話を聞きました。小型の自転車を一日で持っていかれました。チェーンを付けてなかった落ち度はありますが。
太宰府西	女性	40歳代	西小学校下の大池公園の周囲。
太宰府西	女性	60歳代	夜間の歴史スポーツ公園。
太宰府西	女性	60歳代	道路下の地下道。
太宰府西	女性	60歳代	木や草がおいしげっている。
太宰府西	女性	60歳代	歴史スポーツ公園、水城跡の西のきれ目のところ。
太宰府西	女性	70歳代	歴史スポーツ公園の北側、街灯が少ない。
太宰府西	女性	70歳代	東京No.で週に3~4回半年以上電話が入った。
国分	男性	50歳代	国分から水城三差路までの裏道が少しさびしい。
国分	男性	60歳代	空地、飼い犬は多く、鳴くが、不審者か否か、区別がつかない。
国分	女性	20歳代	洗出から少し北側の地下道を、国分小の児童が通学しているのが心配。
国分	女性	30歳代	筑紫医師会周囲の街灯が消えており、夜間とても暗い。
国分	女性	30歳代	お店もなく、夜は道路も暗い(国分、水城)。
国分	女性	30歳代	市役所近くの川沿いは夜暗くて危ない。
国分	女性	40歳代	地下道。
国分	女性	50歳代	家の周辺、車上荒らし、どろぼう。
国分	女性	60歳代	水路を暗渠にアンダーパスが暗い。
不明	男性	20歳代	公園、トンネル、裏道。
不明	女性	20歳代	人通りの少ない場所。
不明	女性	50歳代	土井踏切、道幅が狭い。水城跡(下大利四丁目11の所の太宰府市の方)が街灯が暗い。
不明	不明	不明	西鉄二日市駅東口から南体育館方面の道が暗いが、車の通行が多く、歩行時に不安感がある。

9. 安全な消費生活の推進

(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況 (問 22)

●不当請求や不適正な取引行為の被害を受けたのは 2.8%、被害はないが不安を感じたのは 15.6%となっている。

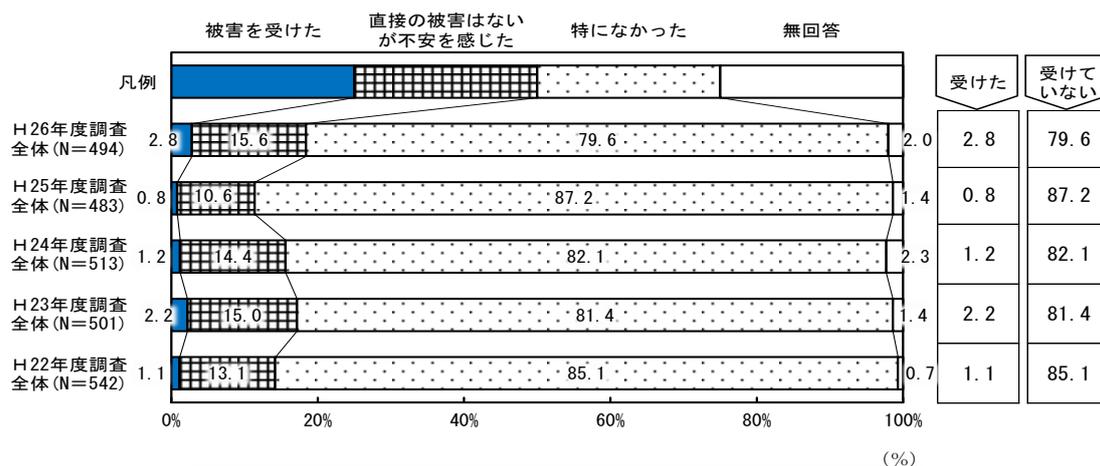
この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為の「被害を受けた」は2.8%、「直接の被害はないが不安を感じた」は15.6%となっている。なお、「特になかった」は79.6%であった。

過去の調査結果と比べると、今回「特になかった」は8割を割り、前回から7.6ポイント減少している。

性別・年代別にみると、「被害を受けた」は男性では60歳代、女性では40～50歳代で比較的高い。

小学校区別にみると、水城小学校区と太宰府小学校区で被害を受けた人がみられる。

問 22. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。(○は1つ)



		標本数	被害を受けた	直接の被害はないが不安を感じた	特になかった	無回答
全体		494	14	77	393	10
		100.0	2.8	15.6	79.6	2.0
性別	男性	204	2.0	18.1	78.9	1.0
	女性	278	3.6	14.4	79.5	2.5
	無回答	12	-	-	91.7	8.3
性別・年代別	男性:20歳代	18	5.6	22.2	72.2	-
	男性:30歳代	28	3.6	17.9	78.6	-
	男性:40歳代	30	-	20.0	80.0	-
	男性:50歳代	27	-	22.2	77.8	-
	男性:60歳代	55	3.6	9.1	85.5	1.8
	男性:70歳代以上	46	-	23.9	73.9	2.2
	女性:20歳代	17	17.6	17.6	64.7	-
	女性:30歳代	43	-	14.0	86.0	-
	女性:40歳代	45	6.7	13.3	77.8	2.2
	女性:50歳代	43	7.0	18.6	72.1	2.3
	女性:60歳代	85	1.2	12.9	83.5	2.4
女性:70歳代以上	45	-	13.3	80.0	6.7	
無回答	12	-	-	91.7	8.3	
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	19.3	77.1	-
	太宰府東小学校区	34	2.9	8.8	79.4	8.8
	太宰府南小学校区	31	-	29.0	71.0	-
	水城小学校区	70	5.7	14.3	77.1	2.9
	水城西小学校区	69	1.4	13.0	81.2	4.3
	太宰府西小学校区	100	1.0	17.0	82.0	-
	国分小学校区	70	2.9	12.9	82.9	1.4
	わからない	28	7.1	10.7	82.1	-
無回答	9	-	11.1	77.8	11.1	

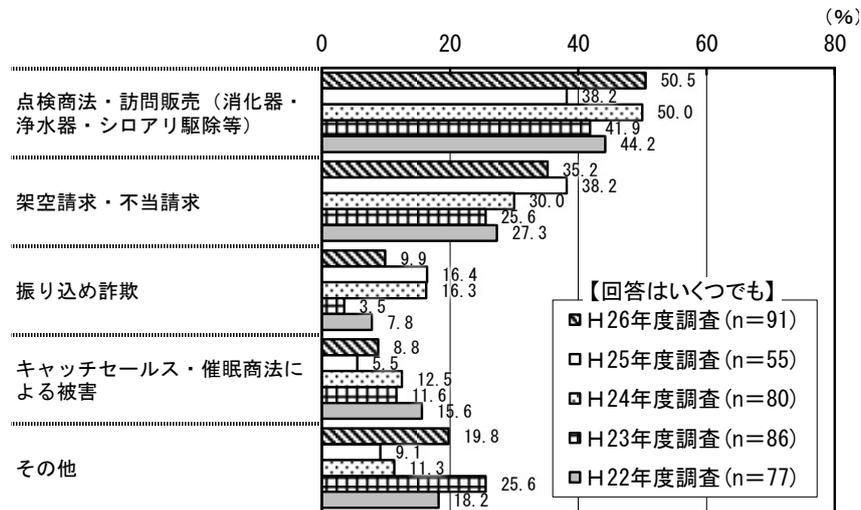
(2) 被害や不安に感じた内容 (問 22 付問 1)

●「点検商法・訪問販売」の被害や不安が最も多い。

実際に被害を受けたり不安を感じた内容をみると、「点検商法・訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）」(50.5%)が最も高く、次いで「架空請求・不当請求」(35.2%)、「振り込め詐欺」(9.9%)が続いている。

過去の調査結果と比べると、「点検商法・訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）」が12.3ポイント増加し、増加傾向だった「架空請求・不当請求」や「振り込め詐欺」は減少した。

問 22 付問 1. 【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安ですか。(〇はいくつでも)



		標本数	シロアリ駆除・点検商法・訪問販売 (消火器・浄水器)	架空請求・不当請求	振り込め詐欺	催眠・キャッチセールスによる被害	その他	無回答
全体		91	46	32	9	8	18	2
		100.0	50.5	35.2	9.9	8.8	19.8	2.2
性別	男性	41	63.4	31.7	12.2	14.6	19.5	-
	女性	50	40.0	38.0	8.0	4.0	20.0	4.0
年代別	20歳代	11	36.4	54.5	-	18.2	9.1	-
	30歳代	12	58.3	41.7	8.3	16.7	16.7	-
	40歳代	15	33.3	40.0	13.3	-	33.3	-
	50歳代	17	64.7	41.2	17.6	17.6	23.5	-
	60歳代	19	47.4	31.6	15.8	5.3	10.5	-
	70歳以上	17	58.8	11.8	-	-	23.5	11.8
小学校区別	太宰府小学校区	19	36.8	31.6	10.5	10.5	21.1	5.3
	太宰府東小学校区	4	75.0	25.0	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	9	66.7	22.2	11.1	22.2	22.2	-
	水城小学校区	14	50.0	42.9	21.4	7.1	28.6	-
	水城西小学校区	10	60.0	40.0	-	10.0	10.0	-
	太宰府西小学校区	18	44.4	38.9	16.7	-	11.1	5.6
	国分小学校区	11	45.5	18.2	-	9.1	36.4	-
	わからない	5	60.0	80.0	-	20.0	20.0	-
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	

10. 人権を尊重するまちづくりの推進

(1) 人権侵害の経験と内容 (問 23、付問 1)

●人権を侵害されたことが「ある」は2.8%となっている。

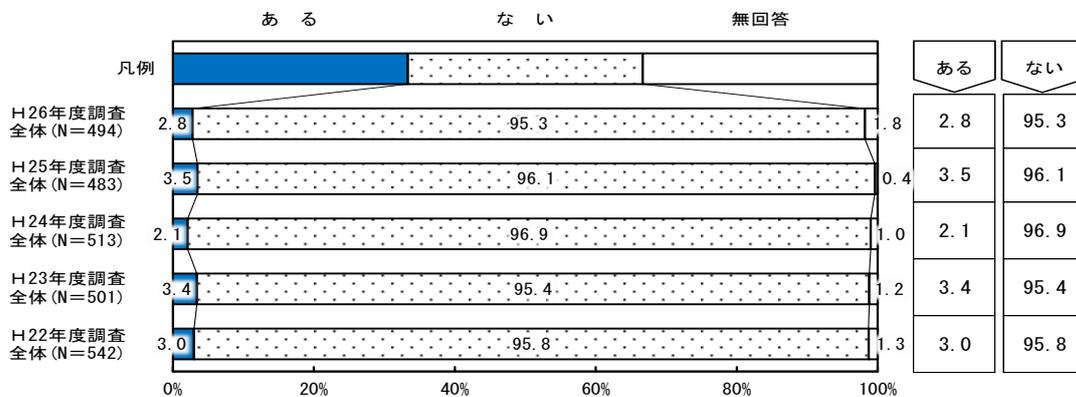
この1年間に人権を侵害されたことについては、「ない」と答えた人が95.3%と大半を占めている。なお、「ある」と答えた人は2.8%となっている。

過去の調査結果と比べると、「ない」と答えた人が9割を超えている傾向は変わらない。

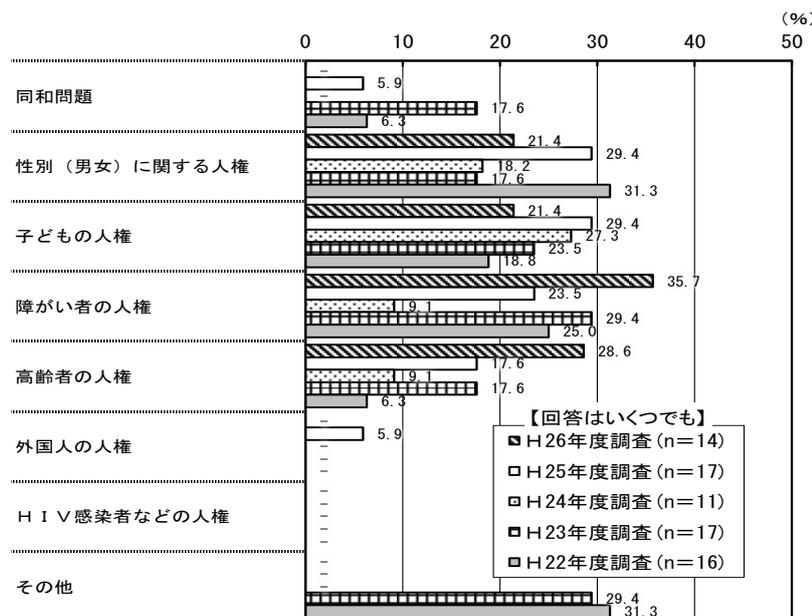
人権を侵害されたその内容をみると、「障がい者の人権」が最も高く、以下、「高齢者の人権」、「性別（男女）に関する人権」、「子どもの人権」と続いている。

過去の調査結果と比べると、増加した項目としては、「障がい者の人権」、「高齢者の人権」がある。また今回は「外国人への人権」、「同和問題」などを挙げた人はいない。

問 23. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。



問 23 付問 1. 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。(〇はいくつでも)



(2) 人権問題への認識 (問 24)

●人権が『尊重されている派』は 77.8%、『尊重されていない派』は 14.1%となっている。

同和問題をはじめとするあらゆる人権の尊重意識について、『尊重されている派』（「尊重されている」(13.0%)と「どちらかといえば尊重されている」(64.8%)の合計)は 77.8%、一方で『尊重されていない派』（「尊重されていない」(3.2%)と「どちらかといえば尊重されていない」(10.9%)の合計)は 14.1%で、『尊重されている派』が 8割近くを占めている。

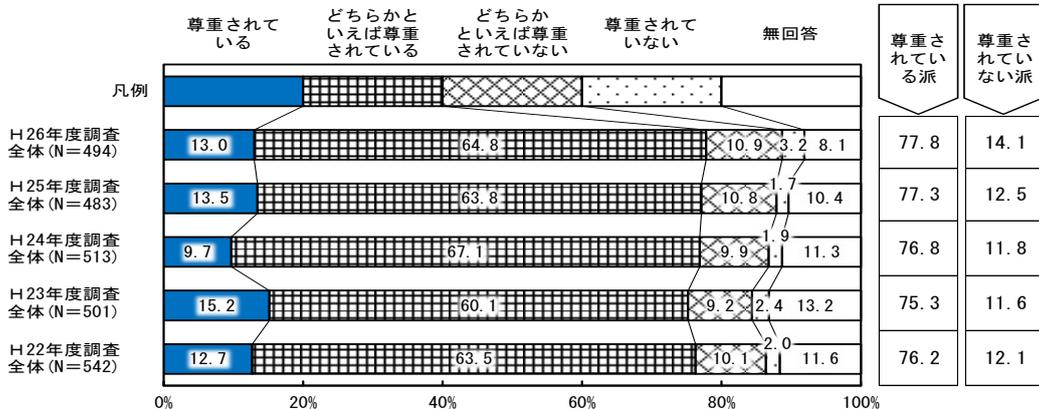
過去の調査結果と比べると、『尊重されている派』が 7割を超えている傾向は変わらない。

性別にみると、『尊重されている派』は男女ともに 7割を超え、特に男性(84.3%)は女性(72.7%)に比べて 11.6ポイント高くなっている

年代別にみると、50歳代は『尊重されている派』が 68.6%で、他の年代に比べて低くなっている。

小学校区別にみると、『尊重されている派』が最も高いのは水城西小学校区(84.1%)、一方、最も低いのは太宰府小学校区(71.0%)となっている。

問 24. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	尊重されている (%)	どちらかといえば尊重されている (%)	どちらかといえば尊重されていない (%)	尊重されていない (%)	無回答 (%)	尊重されている派 (%)	尊重されていない派 (%)
全体		494	64	320	54	16	40	384	70
性別	男性	204	15.2	69.1	8.8	2.5	4.4	84.3	11.3
	女性	278	11.2	61.5	12.6	3.6	11.2	72.7	16.2
	無回答	12	16.7	66.7	8.3	8.3	-	83.4	16.6
年代別	20歳代	35	11.4	74.3	8.6	5.7	-	85.7	14.3
	30歳代	71	9.9	63.4	12.7	8.5	5.6	73.3	21.2
	40歳代	75	6.7	76.0	12.0	1.3	4.0	82.7	13.3
	50歳代	70	8.6	60.0	14.3	2.9	14.3	68.6	17.2
	60歳代	142	14.8	62.7	11.3	2.1	9.2	77.5	13.4
	70歳以上	95	21.1	61.1	6.3	1.1	10.5	82.2	7.4
	無回答	6	16.7	50.0	16.7	16.7	-	66.7	33.4
小学校区別	太宰府小学校区	83	12.0	59.0	12.0	7.2	9.6	71.0	19.2
	太宰府東小学校区	34	8.8	64.7	14.7	2.9	8.8	73.5	17.6
	太宰府南小学校区	31	19.4	58.1	9.7	3.2	9.7	77.5	12.9
	水城西小学校区	70	14.3	68.6	11.4	1.4	4.3	82.9	12.8
	水城西小学校区	69	11.6	72.5	7.2	2.9	5.8	84.1	10.1
	太宰府西小学校区	100	13.0	71.0	8.0	2.0	6.0	84.0	10.0
	国分小学校区	70	14.3	60.0	11.4	2.9	11.4	74.3	14.3
	わからない	28	10.7	60.7	14.3	-	14.3	71.4	14.3
	無回答	9	11.1	33.3	33.3	11.1	11.1	44.4	44.4

11. 男女共同参画の推進

(1) 固定的役割分担に対する考え方 (問 25)

● 固定的な役割分担に『非同感派』が64.4%で、『同感派』(34.2%)よりも高い。

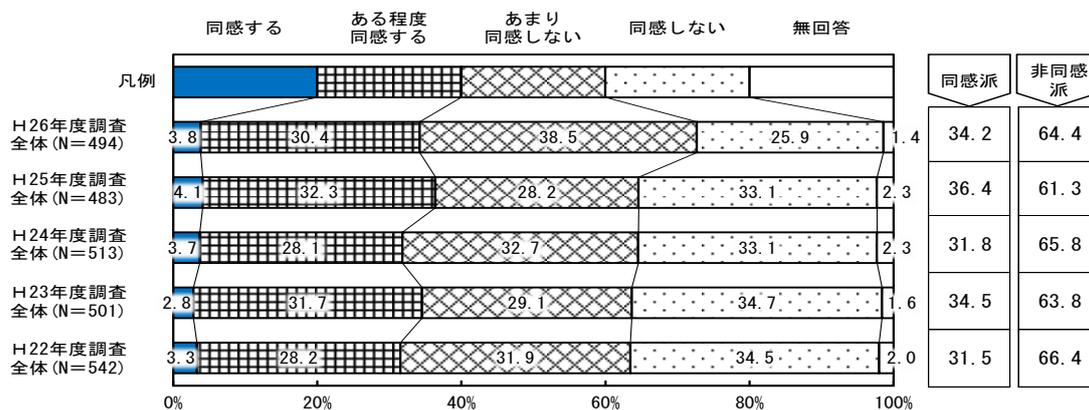
「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識について、『同感派』(「同感する」(3.8%)と「ある程度同感する」(30.4%)の合計は34.2%、一方、『非同感派』(「同感しない」(25.9%)と「あまり同感しない」(38.5%)の合計)は64.4%で、『非同感派』の方が『同感派』よりも高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『同感派』は前回調査よりも2.2ポイント減少している。

性別・年代別にみると、『同感派』は男性の60～70歳以上でともに4割を超えており、他の性・年代に比べて高い。

小学校区別にみると、『非同感派』が高いのは国分小学校区で7割を占めている。

問 25. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は1つ)



		標本数	同感する	ある程度同感する	あまり同感しない	同感しない	無回答	同感派	非同感派
全体		494	19	150	190	128	7	169	318
		100.0	3.8	30.4	38.5	25.9	1.4	34.2	64.4
性別	男性	204	4.4	33.3	37.3	23.5	1.5	37.7	60.8
	女性	278	3.6	27.3	39.6	28.1	1.4	30.9	67.7
	無回答	12	-	50.0	33.3	16.7	-	50.0	50.0
性別×年代別	男性:20歳代	18	5.6	27.8	38.9	22.2	5.6	33.4	61.1
	男性:30歳代	28	10.7	28.6	35.7	25.0	-	39.3	60.7
	男性:40歳代	30	6.7	16.7	46.7	30.0	-	23.4	76.7
	男性:50歳代	27	7.4	29.6	29.6	33.3	-	37.0	62.9
	男性:60歳代	55	-	41.8	32.7	23.6	1.8	41.8	56.3
	男性:70歳以上	46	2.2	41.3	41.3	13.0	2.2	43.5	54.3
	女性:20歳代	17	5.9	29.4	47.1	17.6	-	35.3	64.7
	女性:30歳代	43	4.7	34.9	23.3	37.2	-	39.6	60.5
	女性:40歳代	45	4.4	20.0	53.3	22.2	-	24.4	75.5
	女性:50歳代	43	4.7	18.6	37.2	39.5	-	23.3	76.7
	女性:60歳代	85	2.4	31.8	43.5	21.2	1.2	34.2	64.7
女性:70歳以上	45	2.2	26.7	33.3	31.1	6.7	28.9	64.4	
無回答	12	-	50.0	33.3	16.7	-	50.0	50.0	
小学校区別	太宰府小学校区	83	4.8	32.5	33.7	26.5	2.4	37.3	60.2
	太宰府東小学校区	34	-	41.2	38.2	17.6	2.9	41.2	55.8
	太宰府南小学校区	31	3.2	29.0	51.6	16.1	-	32.2	67.7
	水城小学校区	70	8.6	31.4	25.7	32.9	1.4	40.0	58.6
	水城西小学校区	69	1.4	27.5	44.9	23.2	2.9	28.9	68.1
	太宰府西小学校区	100	3.0	33.0	42.0	22.0	-	36.0	64.0
	国分小学校区	70	4.3	22.9	41.4	30.0	1.4	27.2	71.4
	わからない	28	3.6	17.9	39.3	39.3	-	21.5	78.6
	無回答	9	-	55.6	22.2	22.2	-	55.6	44.4

(2) 男女間の地位の平等感 (問 26)

●男女の地位の平等感は、『男性優位』意識が74.9%と高い。

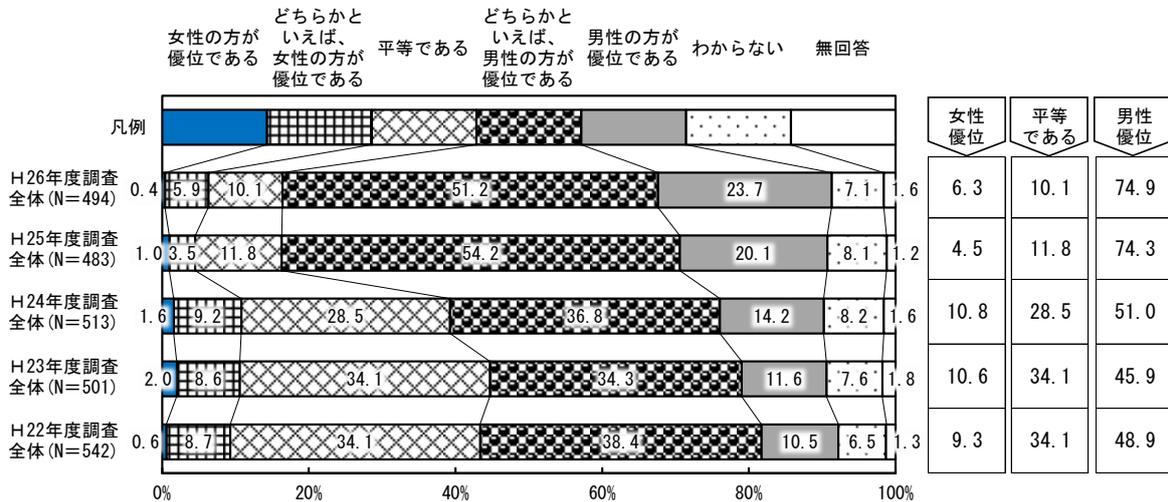
普段の生活の中で感じる男女間の地位の平等について、『女性優位』（「女性の方が優位である」(0.4%)と「どちらかといえば、女性の方が優位である」(5.9%)の合計)は6.3%、一方、『男性優位』（「男性の方が優位である」(23.7%)と「どちらかといえば、男性の方が優位である」(51.2%)の合計)は74.9%で、『男性優位』が7割を超えている。

過去の調査結果と比べると、前回から『女性優位』（1.8ポイント増）、『平等である』（1.7ポイント減）、『男性優位』（0.6ポイント増）と大きな変化はみられない。

性別・年代別にみると、女性の60歳代は『女性優位』の意識が他の性別・年代別よりも低くなっている。

問 26. あなたは社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(○は1つ)



		標本数	優女性の方が	優女性の方が	どちらかといえば、女性の方が	平等である	優男性の方が	優男性の方が	どちらかといえば、男性の方が	わからない	無回答	女性優位	男性優位
全体		494	2	29	50	253	117	35	8	31	370	6.3	74.9
性別×年代別	男性:20歳代	18	-	33.3	11.1	22.2	16.7	16.7	-	33.3	38.9	7.1	78.5
	男性:30歳代	28	-	7.1	10.7	46.4	32.1	3.6	-	7.1	78.5	13.3	53.3
	男性:40歳代	30	-	13.3	10.0	43.3	10.0	20.0	3.3	3.7	74.1	5.5	76.3
	男性:50歳代	27	-	3.7	18.5	63.0	11.1	3.7	-	4.3	73.9	4.6	79.1
	男性:60歳代	55	-	5.5	14.5	61.8	14.5	1.8	1.8	5.5	76.3	4.4	73.4
	男性:70歳以上	46	-	4.3	15.2	56.5	17.4	4.3	2.2	4.3	73.9	2.3	86.1
	女性:20歳代	17	-	5.9	17.6	35.3	35.3	5.9	-	5.9	70.6	1.2	87.1
	女性:30歳代	43	2.3	2.3	4.7	44.2	34.9	11.6	-	4.6	79.1	8.9	68.9
	女性:40歳代	45	-	4.4	11.1	37.8	35.6	11.1	-	4.4	73.4	16.6	66.7
	女性:50歳代	43	-	2.3	2.3	44.2	41.9	9.3	-	2.3	86.1	1.2	87.1
女性:60歳代	85	-	1.2	5.9	62.4	24.7	4.7	1.2	1.2	87.1	8.9	68.9	
女性:70歳以上	45	-	8.9	8.9	57.8	11.1	4.4	8.9	8.9	68.9	-	16.6	66.7
無回答	12	8.3	8.3	16.7	50.0	16.7	-	-	-	16.6	66.7		
小学校区別	太宰府小学校区	83	-	10.8	9.6	44.6	25.3	8.4	1.2	10.8	69.9		
	太宰府東小学校区	34	-	-	11.8	61.8	14.7	8.8	2.9	-	76.5		
	太宰府南小学校区	31	-	6.5	12.9	51.6	16.1	12.9	-	6.5	67.7		
	水城小学校区	70	-	7.1	10.0	37.1	34.3	11.4	-	7.1	71.4		
	水城西小学校区	69	-	4.3	7.2	56.5	21.7	5.8	4.3	4.3	78.2		
	太宰府西小学校区	100	1.0	3.0	8.0	59.0	26.0	3.0	-	4.0	85.0		
	国分小学校区	70	-	5.7	12.9	60.0	12.9	4.3	4.3	5.7	72.9		
	わからない	28	-	7.1	7.1	39.3	35.7	10.7	-	7.1	75.0		
無回答	9	11.1	11.1	33.3	22.2	22.2	-	-	22.2	44.4			

12. 生涯学習の推進

(1) 生涯学習活動の取り組み状況 (問 27)

●生涯学習の『週1回以上の実施率』は15.0%となっている。

生涯学習活動の取り組みをみると、『週1回以上の実施率』（「ほぼ毎日取り組んでいる」（7.3%）と「週に1回程度取り組んでいる」（7.7%）の合計）は15.0%となっている。一方、「ほとんど取り組んでいない」は63.6%で、6割以上を占めている。

過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は15～17%で推移しており、特に変化はみられない。

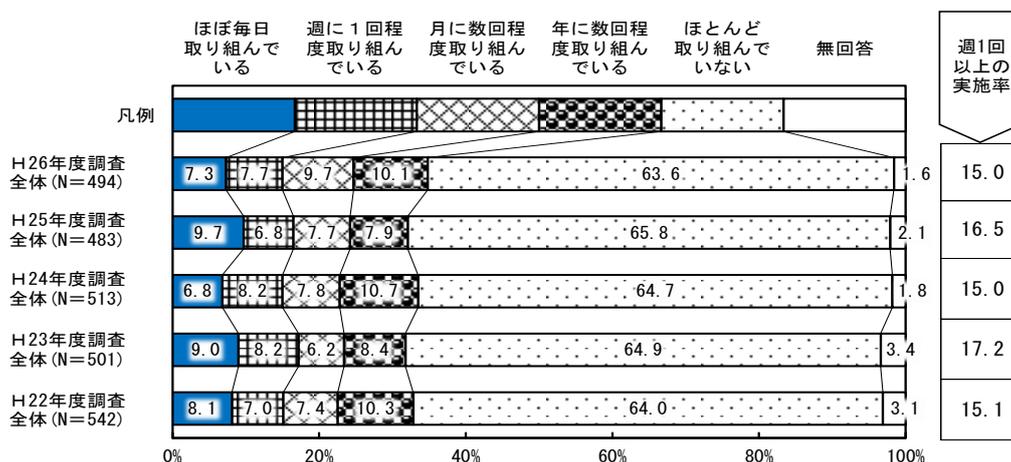
性別にみると、『週1回以上の実施率』は男女ともに15%程度で差がみられない。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は20～30歳代で低くなっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』は太宰府東小学校区で若干高くなっている。

問 27. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。

(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日 取り組んでいる	週に1回 程度取り組んでいる	月に数回 程度取り組んでいる	年に数回 程度取り組んでいる	ほとんど 取り組んでいない	無回答	週1回以上の 実施率
全体		494	36	38	48	50	314	8	74
性別	男性	204	6.4	7.8	10.3	10.8	63.2	1.5	14.2
	女性	278	7.9	7.6	9.0	10.1	64.0	1.4	15.5
	無回答	12	8.3	8.3	16.7	-	58.3	8.3	16.6
年代別	20歳代	35	8.6	2.9	8.6	11.4	65.7	2.9	11.5
	30歳代	71	2.8	5.6	11.3	7.0	73.2	-	8.4
	40歳代	75	9.3	10.7	5.3	10.7	64.0	-	20.0
	50歳代	70	7.1	7.1	4.3	10.0	71.4	-	14.2
	60歳代	142	9.2	7.7	8.5	14.1	59.2	1.4	16.9
	70歳以上	95	6.3	8.4	17.9	6.3	55.8	5.3	14.7
	無回答	6	-	16.7	16.7	-	66.7	-	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	8.4	3.6	13.3	68.7	2.4	12.0
	太宰府東小学校区	34	11.8	11.8	5.9	8.8	58.8	2.9	23.6
	太宰府南小学校区	31	9.7	3.2	6.5	12.9	67.7	-	12.9
	水城小学校区	70	7.1	2.9	15.7	7.1	65.7	1.4	10.0
	水城西小学校区	69	4.3	11.6	5.8	2.9	72.5	2.9	15.9
	太宰府西小学校区	100	11.0	6.0	14.0	11.0	58.0	-	17.0
	国分小学校区	70	10.0	8.6	7.1	15.7	55.7	2.9	18.6
	わからない	28	-	10.7	14.3	10.7	64.3	-	10.7
無回答	9	-	11.1	33.3	-	55.6	-	11.1	

(2) 運動・スポーツの取り組み頻度 (問 28)

●運動・スポーツの『週1回以上の実施率』は43.3%で、60歳代以上は5割を超えている。

運動・スポーツを行う頻度について、『週に1回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」（10.9%）と「週に3回程度行っている」（14.2%）、「週に1回程度行っている」（18.2%）の合計）は43.3%となっている。

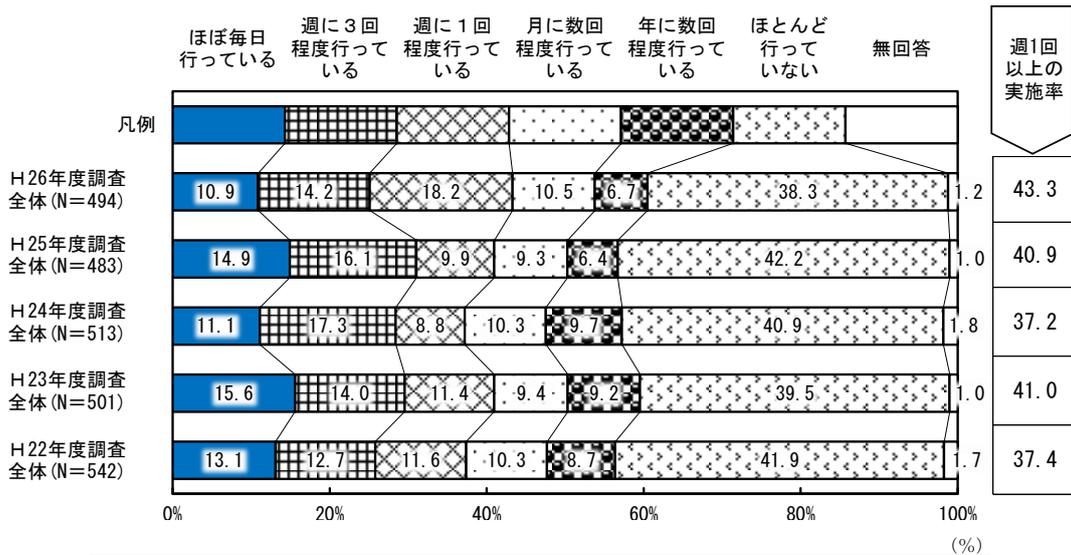
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は約4割で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は男性（48.5%）の方が女性（38.9%）よりも高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は70歳以上が54.7%で最も高く、次いで60歳代（52.1%）の順で、60歳以上は5割を超えている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府西小学校区（50.0%）、一方、最も低いのは水城小学校区（34.3%）となっている。

問 28. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)



	標本数	ほぼ毎日行っている	週に3回程度行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	率上週の1回以上
全体	494	54	70	90	52	33	189	6	214
性別									
男性	204	11.3	14.2	23.0	11.8	7.8	30.9	1.0	48.5
女性	278	11.2	14.0	13.7	9.4	6.1	44.6	1.1	38.9
無回答	12	-	16.7	41.7	16.7	-	16.7	8.3	58.4
年代別									
20歳代	35	5.7	-	20.0	17.1	11.4	45.7	-	25.7
30歳代	71	7.0	1.4	23.9	14.1	8.5	45.1	-	32.3
40歳代	75	8.0	9.3	21.3	14.7	5.3	41.3	-	38.6
50歳代	70	7.1	11.4	14.3	8.6	7.1	51.4	-	32.8
60歳代	142	14.1	23.2	14.8	7.7	4.9	34.5	0.7	52.1
70歳以上	95	16.8	21.1	16.8	7.4	7.4	25.3	5.3	54.7
無回答	6	-	16.7	50.0	16.7	-	16.7	-	66.7
小学校区別									
太宰府小学校区	83	8.4	14.5	16.9	4.8	9.6	44.6	1.2	39.8
太宰府東小学校区	34	11.8	14.7	20.6	11.8	-	38.2	2.9	47.1
太宰府南小学校区	31	9.7	19.4	12.9	9.7	12.9	35.5	-	42.0
水城小学校区	70	4.3	15.7	14.3	12.9	8.6	42.9	1.4	34.3
水城西小学校区	69	10.1	10.1	27.5	5.8	7.2	36.2	2.9	47.7
太宰府西小学校区	100	21.0	14.0	15.0	11.0	7.0	32.0	-	50.0
国分小学校区	70	5.7	17.1	20.0	14.3	2.9	38.6	1.4	42.8
わからない	28	17.9	7.1	10.7	17.9	3.6	42.9	-	35.7
無回答	9	-	11.1	44.4	22.2	-	22.2	-	55.5

13. 文化芸術の振興（問 29）

●文化芸術活動について「ほとんど行っていない」が5割を占めており、実施していても「年に数回程度」が中心である。

日頃から文化芸術活動をしているかどうかをたずねたところ、『月数回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」（1.8%）と「週に1回程度行っている」（4.5%）、「月に数回程度行っている」（8.7%）の合計）は15.0%となっている。なお、「年に数回程度行っている」は34.0%、「ほとんど行っていない」は49.0%となっている。

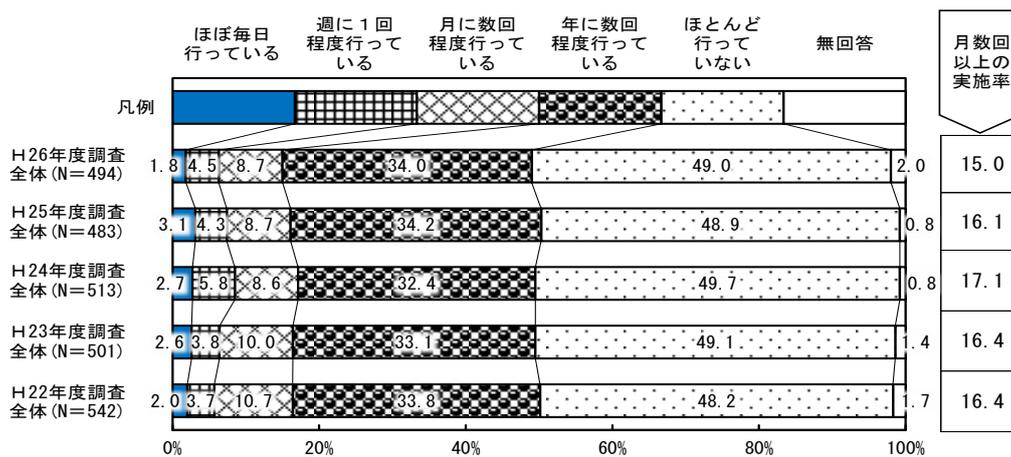
過去の調査結果と比べると、『月数回以上の実施率』は16～17%で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『月数回以上の実施率』は男性（15.2%）、女性（14.1%）で差はみられない。

年代別にみると、70歳以上で『月数回以上の実施率』が2割を超えて高くなっている。

小学校区別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは水城西小学校区（21.6%）となっている。

問 29. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	月数回以上の実施率
全体		494	1.8	4.5	8.7	34.0	49.0	2.0	15.0
性別	男性	204	2.0	4.9	8.3	34.8	48.0	2.0	15.2
	女性	278	1.8	4.0	8.3	34.5	50.0	1.4	14.1
	無回答	12	-	8.3	25.0	8.3	41.7	16.7	33.3
年代別	20歳代	35	5.7	2.9	2.9	37.1	51.4	-	11.5
	30歳代	71	1.4	2.8	9.9	25.4	60.6	-	14.1
	40歳代	75	2.7	2.7	5.3	33.3	56.0	-	10.7
	50歳代	70	1.4	2.9	5.7	31.4	58.6	-	10.0
	60歳代	142	1.4	4.2	8.5	38.0	45.1	2.8	14.1
	70歳以上	95	1.1	9.5	14.7	37.9	31.6	5.3	25.3
	無回答	6	-	-	16.7	-	66.7	16.7	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	1.2	1.2	7.2	39.8	48.2	2.4	9.6
	太宰府東小学校区	34	-	11.8	5.9	44.1	38.2	-	17.7
	太宰府南小学校区	31	-	-	3.2	51.6	45.2	-	3.2
	水城西小学校区	70	2.9	1.4	12.9	30.0	51.4	1.4	17.2
	水城西小学校区	69	1.4	13.0	7.2	27.5	47.8	2.9	21.6
	太宰府西小学校区	100	3.0	4.0	11.0	30.0	50.0	2.0	18.0
	国分小学校区	70	2.9	2.9	10.0	34.3	47.1	2.9	15.8
	わからない	28	-	3.6	3.6	32.1	60.7	-	7.2
無回答	9	-	-	11.1	11.1	66.7	11.1	11.1	

14. 生活環境の向上

(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 30)

●自宅周辺の衛生環境について『肯定派』は81.8%、『否定派』は16.6%となっている。

自宅周辺の環境が清潔で衛生的であるかどうかについて、『肯定派』(「そう思う」(30.2%)と「ややそう思う」(51.6%)の合計)は81.8%、一方、『否定派』(「そう思わない」(4.7%)と「あまりそう思わない」(11.9%)の合計)は16.6%で、『肯定派』が8割を占めて高くなっている。

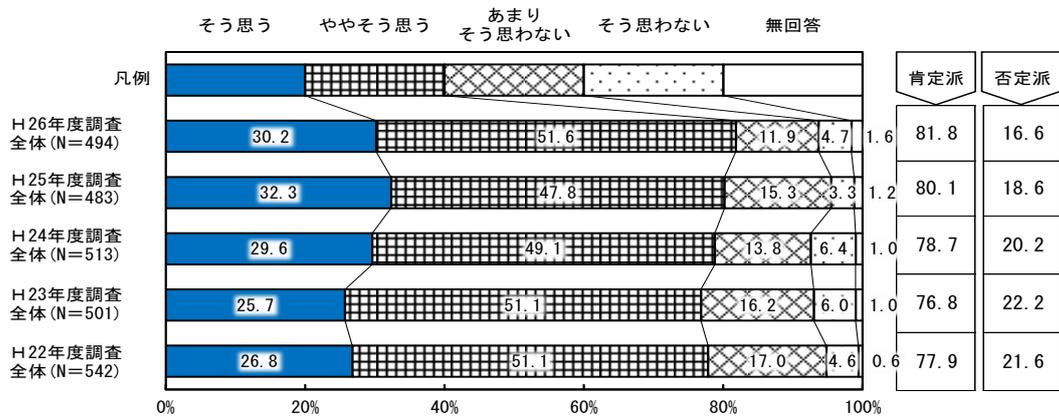
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査に比べて1.7ポイント増加、一方、『否定派』は2.0ポイント減少しており、『肯定派』の割合が過去最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに8割で、差はみられない。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは30歳代(84.5%)、一方、『否定派』が最も高いのは40歳代(20.0%)となっている。なお、20歳代は件数が少ないため割愛した。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』が7割を超えている。なお、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区(89.0%)、最も低いのは水城西小学校区(72.5%)となっている。

問 30. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	30.2	51.6	11.9	4.7	1.6	81.8	16.6
性別	男性	204	27.5	53.4	11.8	5.4	2.0	80.9	17.2
	女性	278	31.7	50.7	12.2	4.3	1.1	82.4	16.5
	無回答	12	41.7	41.7	8.3	-	8.3	83.4	8.3
年代別	20歳代	35	20.0	60.0	11.4	8.6	-	80.0	20.0
	30歳代	71	32.4	52.1	8.5	7.0	-	84.5	15.5
	40歳代	75	33.3	46.7	13.3	6.7	-	80.0	20.0
	50歳代	70	21.4	62.9	15.7	-	-	84.3	15.7
	60歳代	142	32.4	49.3	9.9	5.6	2.8	81.7	15.5
	70歳以上	95	31.6	49.5	13.7	2.1	3.2	81.1	15.8
	無回答	6	50.0	16.7	16.7	-	16.7	66.7	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	32.5	50.6	9.6	4.8	2.4	83.1	14.4
	太宰府東小学校区	34	17.6	67.6	11.8	2.9	-	85.2	14.7
	太宰府南小学校区	31	19.4	61.3	12.9	6.5	-	80.7	19.4
	水城西小学校区	70	28.6	51.4	14.3	5.7	-	80.0	20.0
	水城西小学校区	69	23.2	49.3	20.3	5.8	1.4	72.5	26.1
	太宰府西小学校区	100	45.0	44.0	6.0	3.0	2.0	89.0	9.0
	国分小学校区	70	31.4	52.9	11.4	1.4	2.9	84.3	12.8
	わからない	28	10.7	64.3	10.7	14.3	-	75.0	25.0
	無回答	9	44.4	22.2	22.2	-	11.1	66.6	22.2

(2) 環境マナーの順守状況 (問 31)

●地域の環境マナーについて『守られている』は72.3%、『守られていない』は25.9%となっている。

地域での環境マナーについて、『守られている』(「かなり守られている」(15.6%)と「ある程度守られている」(56.7%)の合計)は72.3%、一方、『守られていない』(「ほとんど守られていない」(5.5%)と「あまり守られていない」(20.4%)の合計)は25.9%で、『守られている』が『守られていない』を46.4ポイント上回っている。

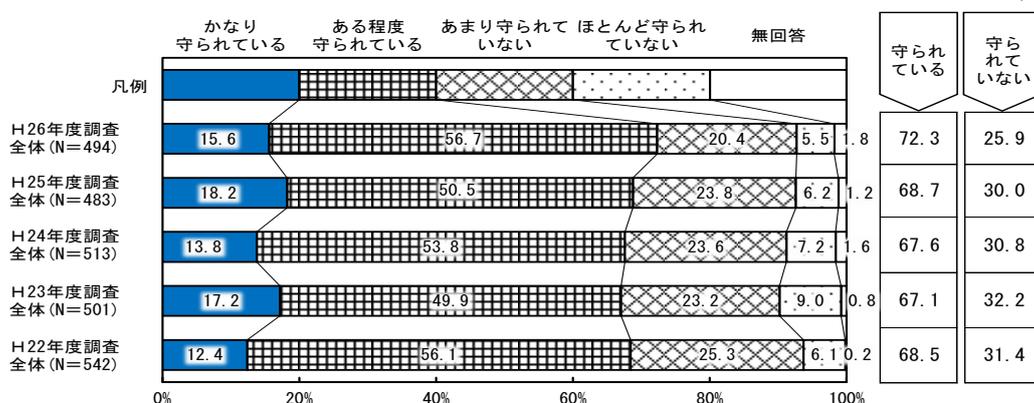
過去の調査結果と比べると、『守られている』は前回(68.7%)から今回(72.3%)へと3.6ポイント増加している。

性別にみると、『守られている』は男女ともに7割程度で、大きな差はみられない。

年代別にみると、『守られている』が最も高いのは40歳代(77.3%)、一方、『守られていない』が最も高いのは70歳以上(30.6%)となっている。

小学校区別にみると、『守られている』が最も高いのは国分小学校区(78.5%)、一方、『守られていない』が最も高いのは件数が少ない太宰府東と太宰府南の2小学校区を除くと、水城小学校区(32.8%)となっている。

問 31. あなたがお住まいの地域では環境マナー(ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など)が守られていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	るらか れな てり い守	い守あ るる れ程 て度	ならあ いれ ま てり い守	い守ほ なら と いれ ん ど	無 回 答	い 守 ら れ て	い 守 ら れ て い な い
全体		494	77	280	101	27	9	357	128
		100.0	15.6	56.7	20.4	5.5	1.8	72.3	25.9
性別	男性	204	15.2	59.8	18.1	4.9	2.0	75.0	23.0
	女性	278	15.5	54.7	22.3	6.1	1.4	70.2	28.4
	無回答	12	25.0	50.0	16.7	-	8.3	75.0	16.7
年代別	20歳代	35	8.6	65.7	11.4	14.3	-	74.3	25.7
	30歳代	71	7.0	64.8	23.9	4.2	-	71.8	28.1
	40歳代	75	17.3	60.0	14.7	8.0	-	77.3	22.7
	50歳代	70	11.4	62.9	24.3	1.4	-	74.3	25.7
	60歳代	142	19.0	53.5	19.0	4.9	3.5	72.5	23.9
	70歳以上	95	20.0	46.3	25.3	5.3	3.2	66.3	30.6
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	-	16.7	66.6	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	14.5	63.9	16.9	2.4	2.4	78.4	19.3
	太宰府東小学校区	34	5.9	52.9	35.3	5.9	-	58.8	41.2
	太宰府南小学校区	31	19.4	54.8	22.6	3.2	-	74.2	25.8
	水城小学校区	70	7.1	60.0	21.4	11.4	-	67.1	32.8
	水城西小学校区	69	13.0	53.6	27.5	4.3	1.4	66.6	31.8
	太宰府西小学校区	100	26.0	51.0	15.0	5.0	3.0	77.0	20.0
	国分小学校区	70	17.1	61.4	15.7	2.9	2.9	78.5	18.6
	わからない	28	10.7	60.7	17.9	10.7	-	71.4	28.6
無回答	9	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1	44.4	44.4	

(3) 美化活動への参加状況 (問 32)

●地域の清掃活動に『参加している派』は74.9%で、年齢が上がるほど参加率が高い。

地域一斉の清掃活動への参加について、『参加している派』（「いつも参加している」(58.1%)と「たまに参加している」(16.8%)の合計)は74.9%、一方、「参加していない」は23.1%で、『参加している派』が7割を超えて高くなっている。

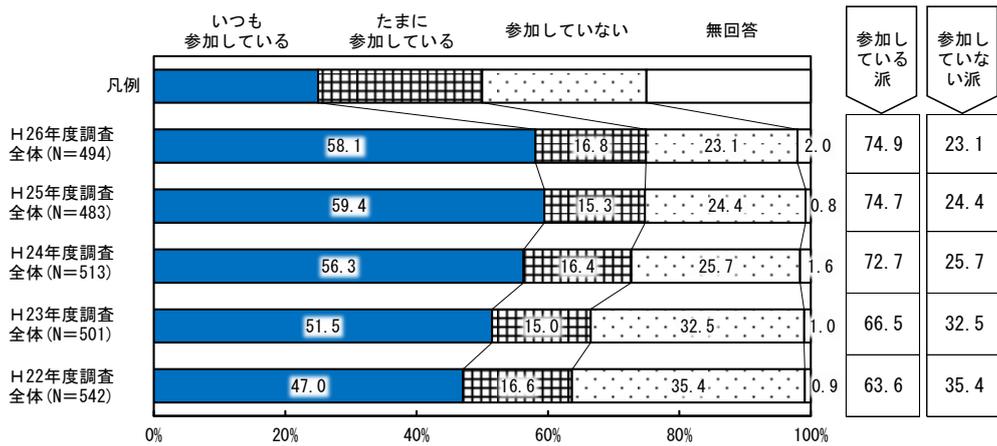
過去の調査結果で比べると、『参加している派』は増加傾向となっている。

性別にみると、『参加している派』は女性(79.9%)が男性(68.7%)より高くなっている。

年代別にみると、年齢が高い層で『参加している派』の割合が高く、50歳以上は参加率が8割を超えている。参考までに、20歳代は『参加している派』が31.4%で最も低い。

小学校区別にみると、『参加している派』が最も高いのは国分小学校区(85.7%)、一方、『参加していない派』が最も高いのは水城小学校区(35.7%)となっている。

問 32. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(〇は1つ)



		標本数	いつも参加している (%)	たまに参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)	参加している派 (%)	参加していない派 (%)
全体		494	58.1	16.8	23.1	2.0	74.9	23.1
性別	男性	204	52.5	16.2	28.9	2.5	68.7	28.9
	女性	278	62.6	17.3	18.7	1.4	79.9	18.7
	無回答	12	50.0	16.7	25.0	8.3	66.7	25.0
年代別	20歳代	35	14.3	17.1	68.6	-	31.4	68.6
	30歳代	71	29.6	22.5	46.5	1.4	52.1	46.5
	40歳代	75	49.3	25.3	25.3	-	74.6	25.3
	50歳代	70	64.3	17.1	18.6	-	81.4	18.6
	60歳代	142	77.5	10.6	9.2	2.8	88.1	9.2
	70歳以上	95	69.5	15.8	10.5	4.2	85.3	10.5
	無回答	6	50.0	-	33.3	16.7	50.0	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	83	49.4	15.7	32.5	2.4	65.1	32.5
	太宰府東小学校区	34	70.6	8.8	20.6	-	79.4	20.6
	太宰府南小学校区	31	64.5	22.6	12.9	-	87.1	12.9
	水城小学校区	70	42.9	21.4	35.7	-	64.3	35.7
	水城西小学校区	69	47.8	31.9	17.4	2.9	79.7	17.4
	太宰府西小学校区	100	74.0	11.0	13.0	2.0	85.0	13.0
	国分小学校区	70	75.7	10.0	10.0	4.3	85.7	10.0
	わからない	28	21.4	17.9	60.7	-	39.3	60.7
無回答	9	66.7	-	22.2	11.1	66.7	22.2	

15. 自然共生社会の構築

(1) 自然の豊かさについて (問 33)

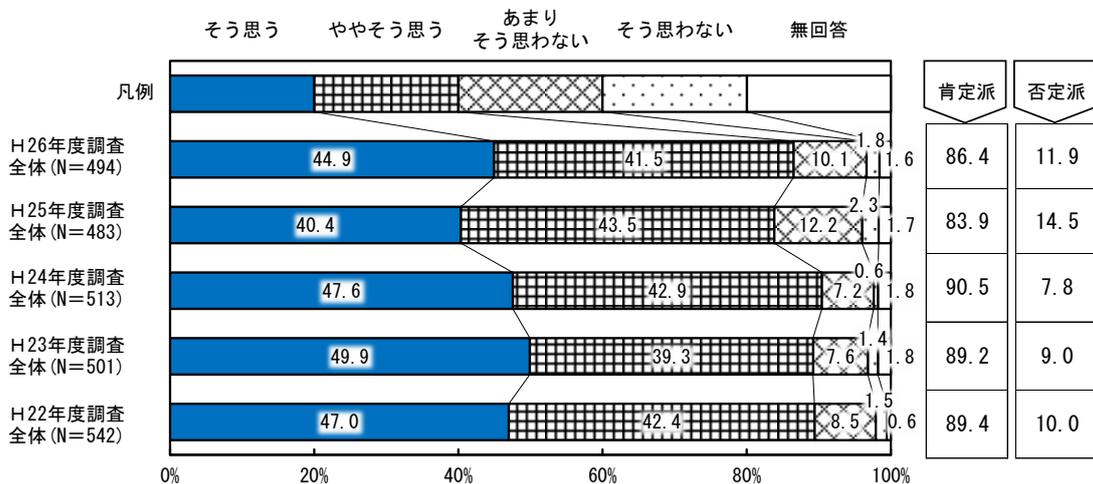
●自然の豊かさについて『肯定派』は86.4%、『否定派』は11.9%となっている。

太宰府市内の自然は豊かであるかどうかについて、『肯定派』（「そう思う」(44.9%)と「ややそう思う」(41.5%)の合計）は86.4%、一方、『否定派』（「そう思わない」(1.8%)と「あまりそう思わない」(10.1%)の合計）は11.9%で、『肯定派』が8割を超えて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査（83.9%）から2.5ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性（87.2%）の方が女性（85.6%）よりも高くなっている。年代別にみると、いずれも『肯定派』は8割を超え、40～50歳代では9割を超えている。小学校区別にみると、いずれも『肯定派』が8割を超えている。

問 33. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	44.9	41.5	10.1	1.8	1.6	86.4	11.9
性別	男性	204	44.6	42.6	8.8	2.0	2.0	87.2	10.8
	女性	278	45.7	39.9	11.5	1.8	1.1	85.6	13.3
	無回答	12	33.3	58.3	-	-	8.3	91.6	-
年代別	20歳代	35	40.0	45.7	14.3	-	-	85.7	14.3
	30歳代	71	43.7	43.7	11.3	1.4	-	87.4	12.7
	40歳代	75	54.7	37.3	5.3	2.7	-	92.0	8.0
	50歳代	70	44.3	45.7	10.0	-	-	90.0	10.0
	60歳代	142	45.1	40.1	9.2	2.8	2.8	85.2	12.0
	70歳以上	95	41.1	40.0	13.7	2.1	3.2	81.1	15.8
	無回答	6	33.3	50.0	-	-	16.7	83.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	51.8	37.3	8.4	-	2.4	89.1	8.4
	太宰府東小学校区	34	44.1	47.1	8.8	-	-	91.2	8.8
	太宰府南小学校区	31	32.3	51.6	6.5	9.7	-	83.9	16.2
	水城小学校区	70	51.4	37.1	11.4	-	-	88.5	11.4
	水城西小学校区	69	37.7	52.2	8.7	-	1.4	89.9	8.7
	太宰府西小学校区	100	42.0	39.0	14.0	3.0	2.0	81.0	17.0
	国分小学校区	70	57.1	32.9	4.3	2.9	2.9	90.0	7.2
	わからない	28	21.4	53.6	21.4	3.6	-	75.0	25.0
	無回答	9	44.4	33.3	11.1	-	11.1	77.7	11.1

(2) 野鳥や昆虫などとのふれあう場所について (問 34)

●市内で野鳥や昆虫などを「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」は48.8%となっている。

太宰府市内で野鳥や昆虫などを「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」と答えた人の割合は48.8%となっている。なお、「観察したり、ふれあう場所がわからない」は43.1%、「観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う」は5.3%となっている。

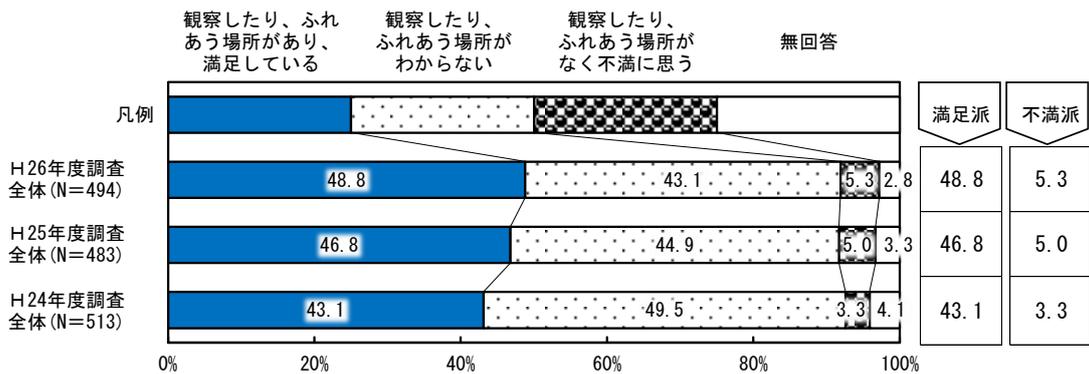
性別にみると、男女の差はみられない。

年代別にみると、「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」は40歳代(56.0%)や60歳代(54.9%)で5割を超えて高くなっている

小学校区別にみると、「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」が最も高いのは水城小学校区(58.6%)となっている。件数が少ないが参考までに、太宰府東小学校区や太宰府南小学校区は「観察したり、ふれあう場所がわからない」が高くなっている。

問 34. あなたは市内で、野鳥や昆虫などを観察したり、ふれあう場所がありますか。

(○は1つ)



		標本数	観察したり、ふれあう場所があり、満足している (%)	観察したり、ふれあう場所がわからない (%)	観察したり、ふれあう場所がなく不満に思う (%)	無回答 (%)	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		494	48.8	43.1	5.3	2.8	48.8	5.3
性別	男性	204	48.5	42.6	5.9	2.9	48.5	5.9
	女性	278	49.6	42.8	5.0	2.5	49.6	5.0
	無回答	12	33.3	58.3	-	8.3	33.3	-
年代別	20歳代	35	34.3	60.0	5.7	-	34.3	5.7
	30歳代	71	45.1	50.7	4.2	-	45.1	4.2
	40歳代	75	56.0	37.3	6.7	-	56.0	6.7
	50歳代	70	42.9	50.0	2.9	4.3	42.9	2.9
	60歳代	142	54.9	37.3	4.9	2.8	54.9	4.9
	70歳以上	95	47.4	38.9	7.4	6.3	47.4	7.4
	無回答	6	33.3	50.0	-	16.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	49.4	41.0	4.8	4.8	49.4	4.8
	太宰府東小学校区	34	44.1	52.9	-	2.9	44.1	-
	太宰府南小学校区	31	35.5	58.1	3.2	3.2	35.5	3.2
	水城小学校区	70	58.6	32.9	5.7	2.9	58.6	5.7
	水城西小学校区	69	47.8	46.4	4.3	1.4	47.8	4.3
	太宰府西小学校区	100	52.0	38.0	8.0	2.0	52.0	8.0
	国分小学校区	70	50.0	42.9	4.3	2.9	50.0	4.3
	わからない	28	39.3	50.0	10.7	-	39.3	10.7
	無回答	9	22.2	66.7	-	11.1	22.2	-

16. 循環型社会の構築

(1) 生ごみ堆肥化への取り組み (問 35)

●生ごみ堆肥化への取り組みについて『実践派』は 21.4%で、『非実践派』(76.6%)の方が多い。

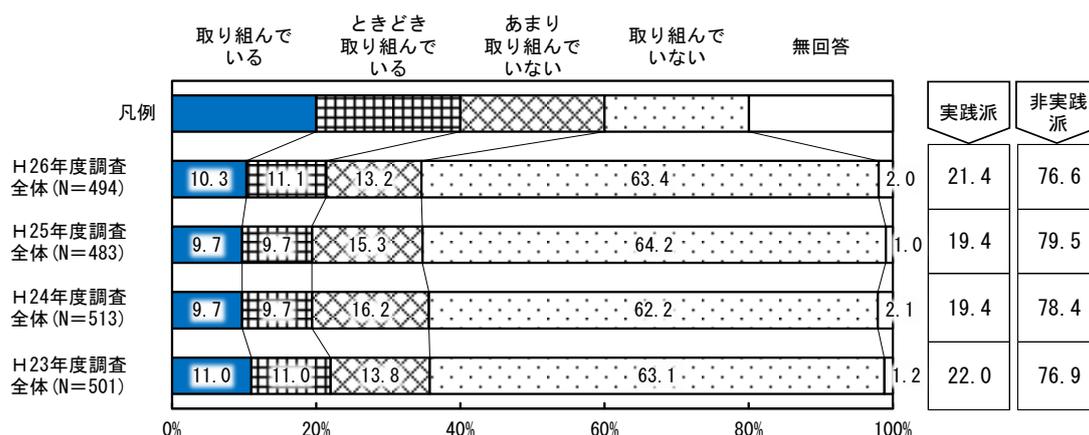
日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいるかについて、『実践派』(「取り組んでいる」(10.3%)と「ときどき取り組んでいる」(11.1%)の合計)は 21.4%、一方、『非実践派』(「取り組んでいない」(63.4%)と「あまり取り組んでいない」(13.2%)の合計)は 76.6%で、『非実践派』が8割近くを占めて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『実践派』は2割程度で推移しており、特に変化はみられない。性別にみると、『実践派』は男女ともに2割程度で、差はみられない。

年代別にみると、いずれも『非実践派』が6割を超えている。なお、『実践派』が最も高いのは70歳以上(34.8%)、次いで60歳代(21.9%)となっている。

小学校区別にみると、サンプル数が少ない太宰府東と太宰府南を除くと『非実践派』が最も高いのは太宰府小学校区で79.6%を占めている。

問 35. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(○は1つ)



		標本数	取り組んでいる	ときどき取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答	実践派	非実践派
全体		494	10.3	11.1	13.2	63.4	2.0	21.4	76.6
性別	男性	204	12.3	7.8	12.3	65.7	2.0	20.1	78.0
	女性	278	9.4	12.9	14.0	61.9	1.8	22.3	75.9
	無回答	12	-	25.0	8.3	58.3	8.3	25.0	66.6
年代別	20歳代	35	2.9	17.1	5.7	74.3	-	20.0	80.0
	30歳代	71	7.0	4.2	9.9	78.9	-	11.2	88.8
	40歳代	75	6.7	10.7	9.3	70.7	2.7	17.4	80.0
	50歳代	70	12.9	5.7	11.4	70.0	-	18.6	81.4
	60歳代	142	12.7	9.2	19.0	57.0	2.1	21.9	76.0
	70歳以上	95	13.7	21.1	14.7	46.3	4.2	34.8	61.0
	無回答	6	-	16.7	-	66.7	16.7	16.7	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	8.4	6.0	14.5	65.1	6.0	14.4	79.6
	太宰府東小学校区	34	5.9	8.8	14.7	70.6	-	14.7	85.3
	太宰府南小学校区	31	16.1	19.4	12.9	51.6	-	35.5	64.5
	水城小学校区	70	8.6	12.9	11.4	67.1	-	21.5	78.5
	水城西小学校区	69	13.0	8.7	14.5	62.3	1.4	21.7	76.8
	太宰府西小学校区	100	9.0	15.0	16.0	58.0	2.0	24.0	74.0
	国分小学校区	70	14.3	10.0	11.4	62.9	1.4	24.3	74.3
	わからない	28	7.1	7.1	7.1	78.6	-	14.2	85.7
	無回答	9	11.1	22.2	-	55.6	11.1	33.3	55.6

(2) 省エネルギー・省資源の活動について (問 36)

●省エネルギー・省資源の活動について『実践派』は83.0%、『非実践派』は15.2%となっている。

節電や節水、エコバックや簡易包装を日頃からこころがけているかについて、『実践派』（「行っている」(36.4%)と「ある程度行っている」(46.6%)の合計)は83.0%、一方、『非実践派』（「ほとんど行っていない」(4.5%)と「あまり行っていない」(10.7%)の合計)は15.2%で、『実践派』が8割を超えて高くなっている。

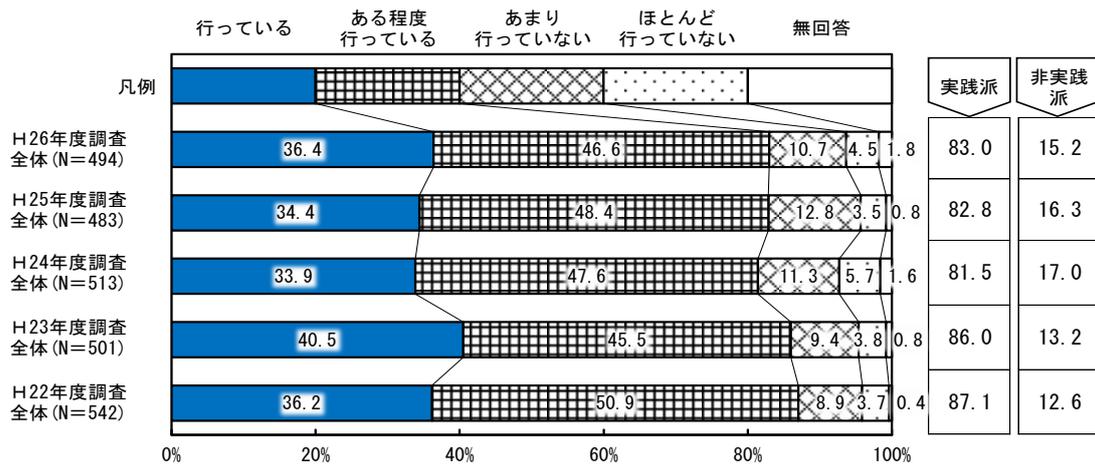
過去の調査結果と比べると、『実践派』が8割を超える傾向は変わらない。

性別にみると、『実践派』は女性(87.4%)の方が男性(78.4%)よりも高くなっている。

年代別にみると、年齢が高い層で『実践派』の割合が概ね高く、50歳代と60歳代は9割程度になっている。

小学校区別にみると、いずれも『実践派』が7割を超えている。

問 36. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。(〇は1つ)



		標本数	行っている (%)	ある程度行っている (%)	あまり行っていない (%)	ほとんど行っていない (%)	無回答 (%)	実践派 (%)	非実践派 (%)
全体		494	36.4	46.6	10.7	4.5	1.8	83.0	15.2
性別	男性	204	34.8	43.6	13.7	4.9	2.9	78.4	18.6
	女性	278	38.5	48.9	8.3	3.6	0.7	87.4	11.9
	無回答	12	16.7	41.7	16.7	16.7	8.3	58.4	33.4
年代別	20歳代	35	28.6	48.6	14.3	8.6	-	77.2	22.9
	30歳代	71	36.6	42.3	16.9	4.2	-	78.9	21.1
	40歳代	75	38.7	40.0	14.7	5.3	1.3	78.7	20.0
	50歳代	70	30.0	58.6	7.1	4.3	-	88.6	11.4
	60歳代	142	40.1	47.2	8.5	2.1	2.1	87.3	10.6
	70歳以上	95	36.8	46.3	7.4	5.3	4.2	83.1	12.7
	無回答	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	33.4
小学校区別	太宰府小学校区	83	33.7	45.8	12.0	6.0	2.4	79.5	18.0
	太宰府東小学校区	34	20.6	52.9	17.6	5.9	2.9	73.5	23.5
	太宰府南小学校区	31	19.4	71.0	9.7	-	-	90.4	9.7
	水城小学校区	70	41.4	44.3	12.9	1.4	-	85.7	14.3
	水城西小学校区	69	40.6	46.4	10.1	1.4	1.4	87.0	11.5
	太宰府西小学校区	100	42.0	42.0	5.0	8.0	3.0	84.0	13.0
	国分小学校区	70	32.9	52.9	12.9	-	1.4	85.8	12.9
	わからない	28	53.6	21.4	10.7	14.3	-	75.0	25.0
	無回答	9	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	66.6	22.2

17. 環境教育・学習の推進（問 37）

●環境に関する学習会や講習会に参加したことがある人は 15.1%となっている。

環境に関する学習会や講習会への参加状況について、『参加率』（「年に 2 回以上参加している」(3.6%) と「年に 1 回程度は参加している」(11.5%) の合計) は 15.1%で、全体の 1 割程度にとどまる。なお、「参加したことはない」は 83.0%となっている。

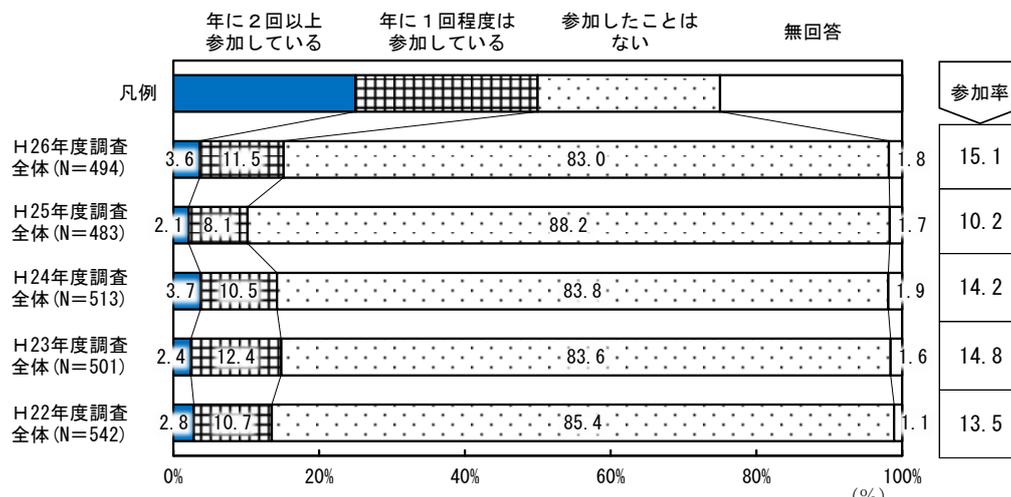
過去の調査結果と比べると、『参加率』は 1 割程度で推移しているが、今回は前回に比べて 4.9 ポイント増加している。

性別にみると、『参加率』は男性が 19.1%、女性が 13.0%となっている。

年代別にみると、70 歳以上 (31.6%) が 3 割を超えて最も高くなっている。

小学校区別にみると、『参加率』が最も高いのは太宰府西小学校区 (23.0%)、一方、最も低いのは水城西小学校区 (8.6%) となっている。

問 37. あなたはこの 1 年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。
(○は 1 つ)



		標本数	い上年る参に 加 2 し回 て以	て度年 いはに る参 1 加回 し程	と参 は加 ない たこ	無 回 答	参 加 率
全 体		494	18	57	410	9	75
		100.0	3.6	11.5	83.0	1.8	15.1
性 別	男 性	204	3.9	15.2	78.9	2.0	19.1
	女 性	278	3.6	9.4	85.6	1.4	13.0
	無回答	12	-	-	91.7	8.3	-
年 代 別	20歳代	35	2.9	8.6	88.6	-	11.5
	30歳代	71	1.4	5.6	93.0	-	7.0
	40歳代	75	4.0	13.3	82.7	-	17.3
	50歳代	70	1.4	2.9	95.7	-	4.3
	60歳代	142	4.9	9.2	83.8	2.1	14.1
	70歳以上	95	5.3	26.3	63.2	5.3	31.6
	無回答	6	-	-	83.3	16.7	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	83	2.4	10.8	83.1	3.6	13.2
	太宰府東小学校区	34	2.9	11.8	85.3	-	14.7
	太宰府南小学校区	31	6.5	9.7	83.9	-	16.2
	水城小学校区	70	2.9	10.0	87.1	-	12.9
	水城西小学校区	69	1.4	7.2	89.9	1.4	8.6
	太宰府西小学校区	100	4.0	19.0	75.0	2.0	23.0
	国分小学校区	70	7.1	12.9	78.6	1.4	20.0
	わからない	28	3.6	3.6	92.9	-	7.2
	無回答	9	-	-	77.8	22.2	-

18. 未来に伝える景観づくり

(1) 自然の美しさに対する評価 (問 38)

●市内の自然が美しいと感じている人は85.2%となっている。

市内の自然は美しいと思うかどうかについて、『肯定派』(「そう思う」(28.5%)と「どちらかといえばそう思う」(56.7%)の合計)は85.2%、一方、『否定派』(「そう思わない」(3.4%)と「どちらかといえばそう思わない」(9.7%)の合計)は13.1%で、『肯定派』が8割以上を占めて高くなっている。

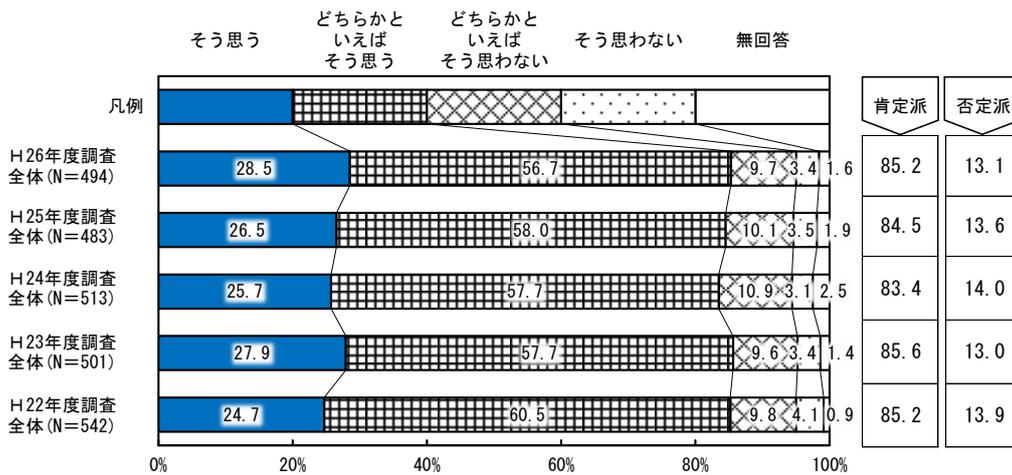
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が約8割で変化はみられない。

性別にみると、『肯定派』は男性(86.8%)の方が女性(84.5%)よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』が8割を超えている。

小学校区別にみると、サンプル数の少ない太宰府東と太宰府南の2小学校区を除くと、いずれの小学校区も概ね8~9割あり、肯定派となっている。なお、『肯定派』が最も高いのは水城西小学校区(94.2%)となっている。

問 38. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思いど うえち ばら そか うと	思いど わえち なばら いそか うと	いそ う思 わな	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		494	141	280	48	17	8	421	65
		100.0	28.5	56.7	9.7	3.4	1.6	85.2	13.1
性別	男性	204	25.0	61.8	7.4	3.9	2.0	86.8	11.3
	女性	278	30.9	53.6	11.2	3.2	1.1	84.5	14.4
	無回答	12	33.3	41.7	16.7	-	8.3	75.0	16.7
年代別	20歳代	35	20.0	60.0	14.3	5.7	-	80.0	20.0
	30歳代	71	29.6	60.6	5.6	4.2	-	90.2	9.8
	40歳代	75	34.7	56.0	6.7	2.7	-	90.7	9.4
	50歳代	70	25.7	60.0	11.4	2.9	-	85.7	14.3
	60歳代	142	26.1	54.9	12.0	4.2	2.8	81.0	16.2
	70歳以上	95	31.6	54.7	8.4	2.1	3.2	86.3	10.5
	無回答	6	33.3	33.3	16.7	-	16.7	66.6	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	34.9	51.8	7.2	3.6	2.4	86.7	10.8
	太宰府東小学校区	34	32.4	52.9	8.8	5.9	-	85.3	14.7
	太宰府南小学校区	31	22.6	51.6	16.1	9.7	-	74.2	25.8
	水城小学校区	70	34.3	52.9	11.4	-	1.4	87.2	11.4
	水城西小学校区	69	21.7	72.5	2.9	1.4	1.4	94.2	4.3
	太宰府西小学校区	100	25.0	54.0	15.0	4.0	2.0	79.0	19.0
	国分小学校区	70	31.4	57.1	7.1	2.9	1.4	88.5	10.0
	わからない	28	21.4	64.3	7.1	7.1	-	85.7	14.2
	無回答	9	22.2	44.4	22.2	-	11.1	66.6	22.2

(2) 歴史的景観の美しさへの評価 (問 39)

●歴史的な景観が美しいと感じている人は91.7%となっている。

市内の歴史的な景観は美しいと思うかについて、『肯定派』(「そう思う」(43.5%)と「どちらかといえばそう思う」(48.2%)の合計)は91.7%、一方、『否定派』(「そう思わない」(1.8%)と「どちらかといえばそう思わない」(4.9%)の合計)は6.7%で、『肯定派』が9割を占めて高くなっている。

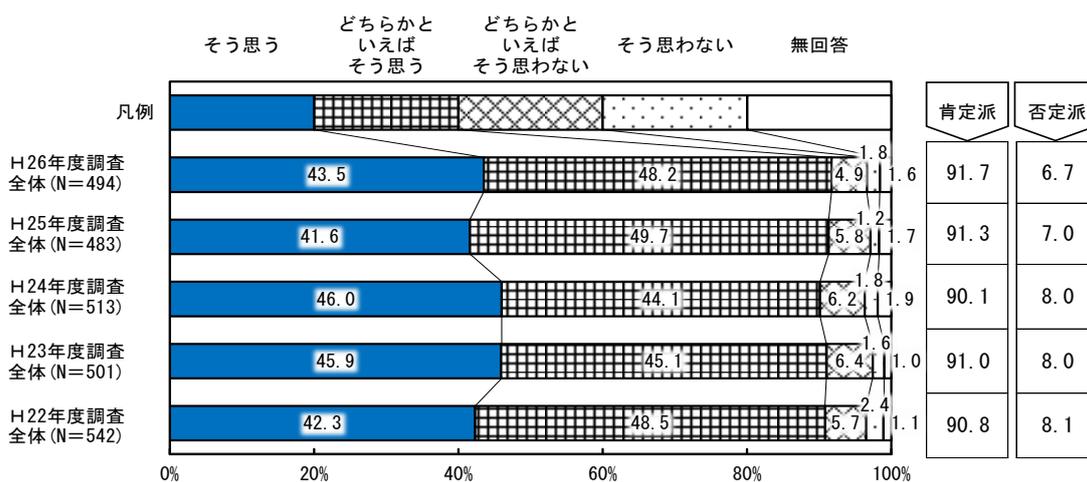
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が9割を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに91.7%である。

年代別にみると、60歳代(88.7%)を除き、いずれも『肯定派』が9割以上を占めている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区(86.0%)を除き、いずれも『肯定派』が9割以上を占めている。

問 39. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	215	238	24	9	8	453	33
		100.0	43.5	48.2	4.9	1.8	1.6	91.7	6.7
性別	男性	204	40.2	51.5	4.4	2.0	2.0	91.7	6.4
	女性	278	45.7	46.0	5.4	1.8	1.1	91.7	7.2
	無回答	12	50.0	41.7	-	-	8.3	91.7	-
年代別	20歳代	35	40.0	57.1	-	2.9	-	97.1	2.9
	30歳代	71	52.1	42.3	4.2	1.4	-	94.4	5.6
	40歳代	75	45.3	46.7	5.3	2.7	-	92.0	8.0
	50歳代	70	42.9	51.4	5.7	-	-	94.3	5.7
	60歳代	142	40.1	48.6	5.6	2.8	2.8	88.7	8.4
	70歳以上	95	41.1	49.5	5.3	1.1	3.2	90.6	6.4
	無回答	6	66.7	16.7	-	-	16.7	83.4	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	41.0	50.6	3.6	2.4	2.4	91.6	6.0
	太宰府東小学校区	34	44.1	52.9	2.9	-	-	97.0	2.9
	太宰府南小学校区	31	35.5	54.8	3.2	6.5	-	90.3	9.7
	水城小学校区	70	48.6	42.9	5.7	1.4	1.4	91.5	7.1
	水城西小学校区	69	47.8	49.3	1.4	-	1.4	97.1	1.4
	太宰府西小学校区	100	43.0	43.0	11.0	1.0	2.0	86.0	12.0
	国分小学校区	70	41.4	51.4	2.9	2.9	1.4	92.8	5.8
	わからない	28	42.9	50.0	3.6	3.6	-	92.9	7.2
	無回答	9	44.4	44.4	-	-	11.1	88.8	-

(3) 居住地区のまちなみ評価 (問 40)

●住んでいる地区のまちなみは良好だと思える人は 83.8%となっている。

住んでいる地区のまちなみが良好だと思えるかについて、『肯定派』(「そう思う」(27.5%)と「どちらかといえばそう思う」56.3%)の合計は 83.8%、一方、『否定派』(「そう思わない」(4.9%)と「どちらかといえばそう思わない」(9.3%)の合計)は 14.2%で、『肯定派』が8割以上を占めて高くなっている。

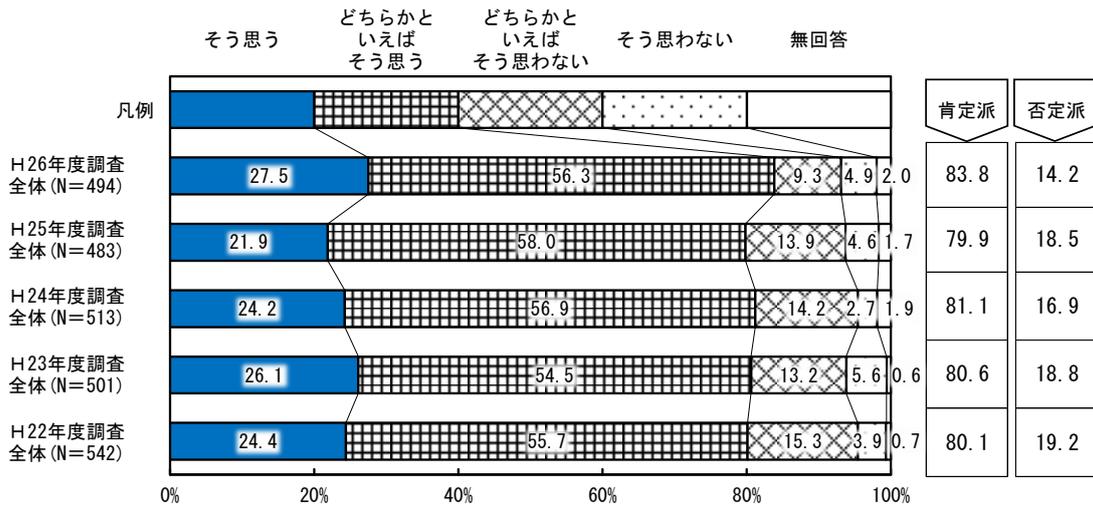
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が約8割を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに8割となっており、差はみられない。

年代別にみると、50歳代(78.5%)を除き、いずれも『肯定派』が8割を超えている。

小学校区別にみると、サンプル数の少ない太宰府東小学校区を除くと、いずれも『肯定派』が8割を超えている。なお、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区(90.0%)となっている。

問 40. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	136	278	46	24	10	83.8	14.2
性別	男性	204	27.5	53.9	10.3	6.9	1.5	81.4	17.2
	女性	278	27.3	57.6	9.0	3.6	2.5	84.9	12.6
	無回答	12	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	35	31.4	54.3	11.4	2.9	-	85.7	14.3
	30歳代	71	31.0	54.9	9.9	4.2	-	85.9	14.1
	40歳代	75	30.7	53.3	9.3	6.7	-	84.0	16.0
	50歳代	70	21.4	57.1	17.1	2.9	1.4	78.5	20.0
	60歳代	142	23.2	61.3	4.9	7.7	2.8	84.5	12.6
	70歳以上	95	31.6	51.6	9.5	2.1	5.3	83.2	11.6
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	28.9	51.8	10.8	6.0	2.4	80.7	16.8
	太宰府東小学校区	34	20.6	52.9	14.7	5.9	5.9	73.5	20.6
	太宰府南小学校区	31	16.1	64.5	9.7	9.7	-	80.6	19.4
	水城小学校区	70	30.0	54.3	8.6	2.9	4.3	84.3	11.5
	水城西小学校区	69	29.0	56.5	13.0	1.4	-	85.5	14.4
	太宰府西小学校区	100	38.0	52.0	4.0	4.0	2.0	90.0	8.0
	国分小学校区	70	21.4	60.0	12.9	4.3	1.4	81.4	17.2
	わからない	28	10.7	71.4	3.6	14.3	-	82.1	17.9
	無回答	9	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-

19. 計画的なまちづくりの推進

(1) 住環境の快適さへの評価 (問 41)

●都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は 73.0%となっている。

住まい周辺の道路や公園などの都市基盤が整備され快適な住環境であるかどうかについて、『肯定派』(「そう思う」(19.4%)と「どちらかといえばそう思う」(53.6%)の合計)は73.0%、一方、『否定派』(「そう思わない」(8.7%)と「どちらかといえばそう思わない」(16.0%)の合計)は24.7%で、『肯定派』が約7割を占めて高くなっている。

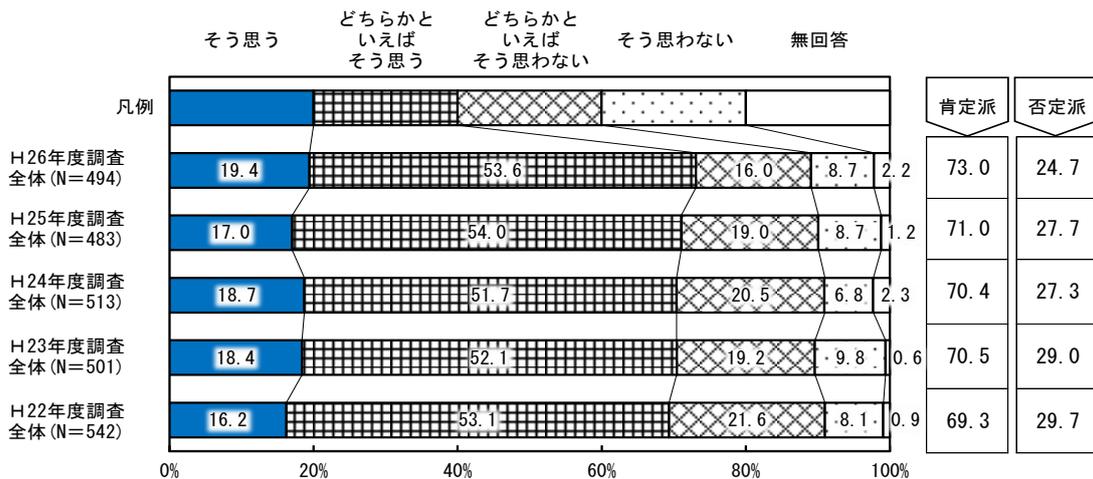
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が7割程度を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『肯定派』は女性(74.1%)の方が男性(70.1%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは70歳以上(77.9%)、一方、『否定派』が最も高いのは40歳代(32.0%)となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区(87.0%)で、肯定的な「そう思う」と答えた人の割合も31.0%も、他の小学校区に比べて高くなっている。

問 41. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う (%)	どちらかといえばそう思う (%)	どちらかといえばそう思わない (%)	そう思わない (%)	無回答 (%)	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		494	19.4	53.6	16.0	8.7	2.2	73.0	24.7
性別	男性	204	19.6	50.5	16.7	11.8	1.5	70.1	28.5
	女性	278	19.1	55.0	16.2	6.8	2.9	74.1	23.0
	無回答	12	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	35	25.7	45.7	20.0	5.7	2.9	71.4	25.7
	30歳代	71	14.1	56.3	19.7	9.9	-	70.4	29.6
	40歳代	75	21.3	45.3	21.3	10.7	1.3	66.6	32.0
	50歳代	70	11.4	61.4	18.6	8.6	-	72.8	27.2
	60歳代	142	18.3	55.6	12.7	10.6	2.8	73.9	23.3
	70歳以上	95	26.3	51.6	11.6	5.3	5.3	77.9	16.9
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	8.4	61.4	16.9	9.6	3.6	69.8	26.5
	太宰府東小学校区	34	14.7	52.9	14.7	11.8	5.9	67.6	26.5
	太宰府南小学校区	31	12.9	45.2	29.0	12.9	-	58.1	41.9
	水城小学校区	70	22.9	54.3	15.7	2.9	4.3	77.2	18.6
	水城西小学校区	69	26.1	44.9	18.8	10.1	-	71.0	28.9
	太宰府西小学校区	100	31.0	56.0	5.0	6.0	2.0	87.0	11.0
	国分小学校区	70	15.7	50.0	22.9	10.0	1.4	65.7	32.9
	わからない	28	3.6	60.7	21.4	14.3	-	64.3	35.7
無回答	9	33.3	55.6	-	11.1	-	88.9	11.1	

(2) 商業施設等の利便性に対する意識 (問 42)

●商業施設等が周辺にあり、生活をするうえで便利と感じている人は70.4%となっている。

商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思うかについて、『肯定派』(「そう思う」(26.1%)と「どちらかといえばそう思う」(44.3%)の合計)は70.4%、一方、『否定派』(「そう思わない」(10.9%)と「どちらかといえばそう思わない」(17.2%)の合計)は28.1%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査(66.7%)から3.7ポイント増加しており、24年度調査時の割合に戻っている。

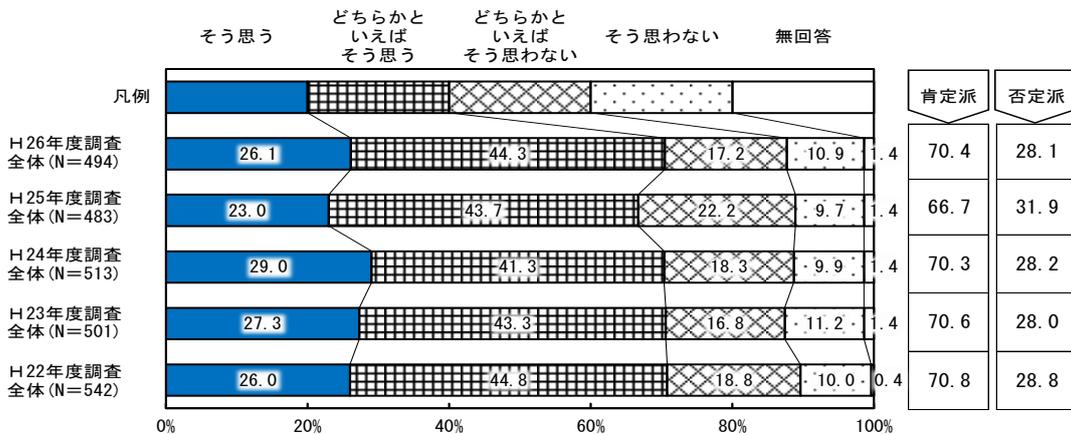
性別にみると、『肯定派』は男性(71.1%)の方が女性(68.7%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは30歳代(76.1%)、一方、『否定派』が最も高いのは50歳代(35.7%)となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、件数が少ない太宰府東と太宰府南の2小学校区を除いて水城西小学校区(82.6%)が最も高い。一方、『否定派』が最も高いのは国分小学校区(41.5%)となっている。

問 42. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。

(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	129	219	85	54	7	348	139
		100.0	26.1	44.3	17.2	10.9	1.4	70.4	28.1
性別	男性	204	26.5	44.6	17.2	9.8	2.0	71.1	27.0
	女性	278	25.5	43.2	18.0	12.2	1.1	68.7	30.2
	無回答	12	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	35	17.1	48.6	25.7	2.9	5.7	65.7	28.6
	30歳代	71	33.8	42.3	12.7	11.3	-	76.1	24.0
	40歳代	75	25.3	50.7	16.0	8.0	-	76.0	24.0
	50歳代	70	17.1	47.1	17.1	18.6	-	64.2	35.7
	60歳代	142	27.5	45.1	14.1	12.0	1.4	72.6	26.1
	70歳以上	95	28.4	34.7	24.2	9.5	3.2	63.1	33.7
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	30.1	34.9	19.3	15.7	-	65.0	35.0
	太宰府東小学校区	34	26.5	58.8	11.8	-	2.9	85.3	11.8
	太宰府南小学校区	31	16.1	41.9	29.0	9.7	3.2	58.0	38.7
	水城西小学校区	70	27.1	48.6	11.4	8.6	4.3	75.7	20.0
	水城西小学校区	69	31.9	50.7	11.6	5.8	-	82.6	17.4
	太宰府西小学校区	100	29.0	42.0	19.0	9.0	1.0	71.0	28.0
	国分小学校区	70	17.1	40.0	22.9	18.6	1.4	57.1	41.5
	わからない	28	21.4	46.4	14.3	17.9	-	67.8	32.2
	無回答	9	22.2	55.6	11.1	11.1	-	77.8	22.2

(3) 家の近くにあると便利な施設(問42付問1)

家の近くにあると 便利だと思う施設	男性							女性							不明	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	不明		
【商業施設:70件】																
スーパー	28		3	1	3	3	1		1	3	2	0	7	3		1
コンビニ	14	1	1			3			2	3	3		1			
商店	8					2					1	2	1	2		
書店	3									1	2					
マルキョウ	2						1				1					
マミーズ	2		1								1					
複合商業施設	1		1													
ゆめタウン	1				1											
イオン	1		1													
マミーズ	1									1						
西鉄ストア	1									1						
都府楼前駅(西鉄)前の 商店	1										1					
レンタルビデオ店	1									1						
100円ショップ	1										1					
ツタヤ	1			1												
店舗	1				1											
商店街	1						1									
ユニクロ	1		1													
三トリ	1		1													
【医療施設:25件】																
病院	14	2		1	1	2	1			2		3	2			
総合病院	4				1	1				1			1			
大型総合病院	2										1		1			
内科病院	2											1		1		
レベルの高い病院	1						1									
救急病院	1				1											
小児科	1										1					
【文化施設16件:]																
図書館	9		1			1				2	3		1	1		
いきいき情報センター	2		1									1				
ふれあい館(子どもたち の学習の場になる)	1									1						
大野城市のようなコミュ ニティセンター	1										1					
文化ふれあい館	1												1			
複合施設(スポーツジム や図書館など)	1	1														
文化施設(図書館等)	1					1										
【福祉関連施設:16件】																
地域の公民館	5						2						2	1		
独居高齢者が相談や遊 びに行ける場所	3					1	1						1			
コミュニティサロンのよう な場所	1												1			
子育て支援センター	1									1						
子育て支援施設(児童 館のような)	1									1						
保育園	1		1													
児童館	1									1						
トラブル回避相談ができ るところ	1				1											
災害時の適切な避難場 所	1													1		
避難する場所(防災上)	1													1		

第2章 調査結果の分析

家の近くにあると 便利だと思う施設	男性							女性							不明
	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	不明	
【公共交通関連:15件】															
バス停	3								2			1			
駅	3	1		1							1				
まほろば号のバス停	2										1	1			
バス停(西鉄下大利行き、天神方面行き)	1									1					
JR	1									1					
西鉄駅	1									1					
電車	1									1					
病院直行バス(日赤に朝行き、帰りはタクシー)	1					1									
交通機関(バス等)	1					1									
鉄道のJR駅	1		1												
【公園・スポーツ施設:15件】															
太宰府市(歴史)スポーツ公園	4		1	2										1	
トレーニングマシン等使えるスポーツ施設	3		1							1		1			
安心して遊べる公園	2									1	1				
体育館	2											1	1		
プール	2				2										
遊歩道、ジョギングコース	1				1										
水辺公園(川辺の緑地帯)	1				1										
【金融機関等:12件】															
銀行	6	1	1						1		1		1	1	
郵便局	5					1				2			1	1	
銀行ATM	1									1					
【学校:6件】															
小学校	2	1								1					
学校	2				1	1									
学校(小学~大学)	1			1											
太宰府中学校	1									1					
【薬局・薬店:5件】															
ドラッグストア(モリを含む)			1	1		1									
薬局									1		1				
【飲食関連:5件】															
食堂	1				1										
パン屋	1	1													
外食の出来る所	1										1				
飲食店	1									1					
居酒屋	1		1												
【その他:6件】															
市役所	3				1					1			1		
交番	1	1													
道路	1			1											
ドッグラン	1											1			

20. 地域交通体系の整備

(1) バスの利便性に対する評価 (問 43)

●バスの利便性について『肯定派』は43.1%、『否定派』は26.1%となっている。

市内のバスは便利だと思うかについて、『肯定派』(「そう思う」(17.8%)と「どちらかといえばそう思う」(25.3%)の合計)は43.1%、一方、『否定派』(「そう思わない」(14.6%)と「どちらかといえばそう思わない」(11.5%)の合計)は26.1%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、「バスを利用しないのでわからない」は29.4%となっている。

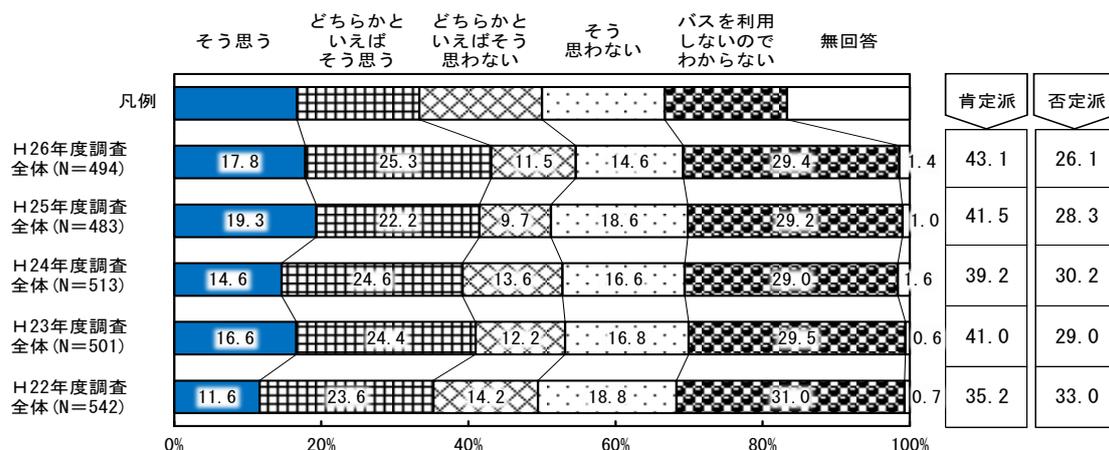
過去の調査結果と比べると、平成23年度以降、『肯定派』が4割程度、『否定派』が3割程度で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『肯定派』は男性(46.1%)の方が女性(40.3%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは70歳以上(57.9%)となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は件数が少ない太宰府東と太宰府南の2小学校区を除いて、太宰府西小学校区(57.0%)が最も高く、一方、『否定派』が最も高いのは水城西小学校区(39.1%)で、水城西小学校区は『肯定派』(28.9%)よりも『否定派』が高い。

問 43. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か 思 と う い	な えど ばち そう か 思 と わ い	そう 思 わ な い	か し バ ス を 利 用 し な い の で わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		494	17.8	25.3	11.5	14.6	29.4	1.4	43.1	26.1
性別	男性	204	15.7	30.4	10.8	14.2	27.5	1.5	46.1	25.0
	女性	278	19.4	20.9	12.6	15.1	30.9	1.1	40.3	27.7
	無回答	12	16.7	41.7	-	8.3	25.0	8.3	58.4	8.3
年代別	20歳代	35	22.9	25.7	8.6	8.6	34.3	-	48.6	17.2
	30歳代	71	16.9	31.0	8.5	14.1	29.6	-	47.9	22.6
	40歳代	75	12.0	17.3	8.7	21.3	32.0	-	29.3	38.6
	50歳代	70	10.0	21.4	12.9	20.0	35.7	-	31.4	32.9
	60歳代	142	17.6	24.6	10.6	14.8	31.0	1.4	42.2	25.4
	70歳以上	95	26.3	31.6	11.6	7.4	17.9	5.3	57.9	19.0
	無回答	6	33.3	16.7	-	16.7	33.3	-	50.0	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	18.1	25.3	3.6	10.8	41.0	1.2	43.4	14.4
	太宰府東小学校区	34	14.7	23.5	11.8	14.7	32.4	2.9	38.2	26.5
	太宰府南小学校区	31	25.8	35.5	22.6	6.5	9.7	-	61.3	29.1
	水城西小学校区	70	15.7	17.1	12.9	12.9	37.1	4.3	32.8	25.8
	水城西小学校区	69	13.0	15.9	14.5	24.6	30.4	1.4	28.9	39.1
	太宰府西小学校区	100	23.0	34.0	14.0	15.0	13.0	1.0	57.0	29.0
	国分小学校区	70	17.1	27.1	10.0	15.7	30.0	-	44.2	25.7
	わからない	28	7.1	25.0	10.7	7.1	50.0	-	32.1	17.8
無回答	9	33.3	22.2	-	22.2	22.2	-	55.5	22.2	

(2) コミュニティバスの利便性に対する評価 (問 43 付問 1)

●コミュニティバスの利便性について『肯定派』は49.0%、『否定派』は19.6%となっている。

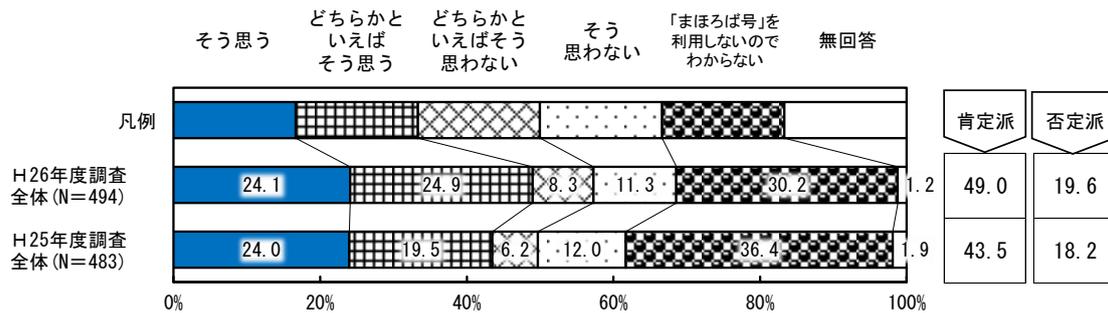
コミュニティバスまほろば号は便利だと思うかについて、『肯定派』(「そう思う」(24.1%)と「どちらかといえばそう思う」(24.9%)の合計)は49.0%、一方、『否定派』(「そう思わない」(11.3%)と「どちらかといえばそう思わない」(8.3%)の合計)は19.6%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男女ともに4割を超えている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が『否定派』よりも上回っている。『肯定派』が最も高いのは70歳以上(64.2%)となっている。

小学校区別にみると、サンプル数が少ない太宰府東と太宰府南の2小学校区を除き、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも上回っている。『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区(56.0%)である。

問 43 付問 1. 市内のバスの中でコミュニティバスまほろば号についておたずねします。
まほろば号は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そら うか 思と うい	な えど ばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	で を わ か ら な い の	「ま ほ ろ ば 号」 を 利 用 し な い の で わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		494	119	123	41	56	149	6	242	97	
		100.0	24.1	24.9	8.3	11.3	30.2	1.2	49.0	19.6	
性別	男性	204	19.1	28.4	7.4	13.2	30.4	1.5	47.5	20.6	
	女性	278	27.3	22.7	9.4	10.4	29.5	0.7	50.0	19.8	
	無回答	12	33.3	16.7	-	-	41.7	8.3	50.0	-	
年代別	20歳代	35	17.1	22.9	5.7	8.6	45.7	-	40.0	14.3	
	30歳代	71	23.9	26.8	9.9	12.7	26.8	-	50.7	22.6	
	40歳代	75	17.3	22.7	14.7	14.7	30.7	-	40.0	29.4	
	50歳代	70	15.7	24.3	8.6	20.0	31.4	-	40.0	28.6	
	60歳代	142	26.8	21.8	7.0	9.9	33.1	1.4	48.6	16.9	
	70歳以上	95	33.7	30.5	5.3	5.3	21.1	4.2	64.2	10.6	
	無回答	6	33.3	33.3	-	-	33.3	-	66.6	-	
小学校区別	太宰府小学校区	83	28.9	26.5	4.8	7.2	32.5	-	55.4	12.0	
	太宰府東小学校区	34	14.7	26.5	-	14.7	38.2	5.9	41.2	14.7	
	太宰府南小学校区	31	12.9	6.5	12.9	9.7	58.1	-	19.4	22.6	
	水城小学校区	70	25.7	25.7	4.3	11.4	28.6	4.3	51.4	15.7	
	水城西小学校区	69	31.9	17.4	13.0	17.4	20.3	-	49.3	30.4	
	太宰府西小学校区	100	23.0	33.0	13.0	12.0	18.0	1.0	56.0	25.0	
	国分小学校区	70	24.3	30.0	8.6	10.0	27.1	-	54.3	18.6	
	わからない	28	10.7	10.7	7.1	7.1	64.3	-	21.4	14.2	
	無回答	9	33.3	33.3	-	11.1	22.2	-	66.6	11.1	

(3) 鉄道の利便性に対する評価 (問 44)

●鉄道の利便性について『肯定派』は72.2%となっており、利便性はコミュニティバス(49.0%)よりも高い。

市内の鉄道が便利かどうかについて、『肯定派』(「そう思う」(35.0%)と「どちらかといえばそう思う」(37.2%)の合計)は72.2%、一方、『否定派』(「そう思わない」(10.7%)と「どちらかといえばそう思わない」(8.5%)の合計)は19.2%で、『肯定派』が7割を占めて高くなっている。

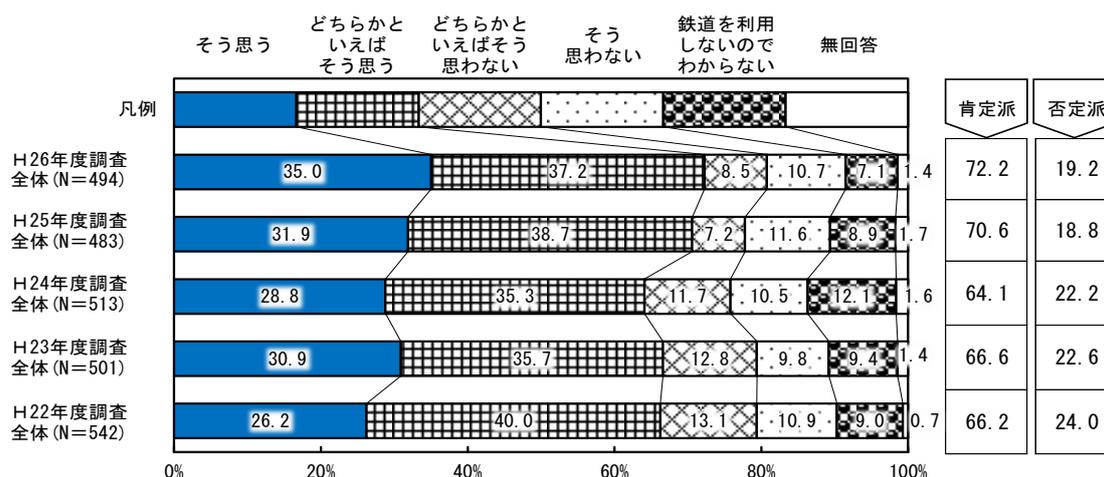
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は24年度調査から増加傾向がみられる。一方、『否定派』も前回より若干ではあるが増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性の74.1%に対して男性は69.6%で、女性の方が高い。

年代別にみると、『肯定派』はいずれも6割を超えており、最も高いのは、件数の少ない20歳代を除き、30歳代(83.1%)となっている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは水城小学校区(85.7%)である。

問 44. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	鉄道を利用しないのでわからない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	173	184	42	53	35	7	357	95
		100.0	35.0	37.2	8.5	10.7	7.1	1.4	72.2	19.2
性別	男性	204	36.3	33.3	9.8	11.8	6.4	2.5	69.6	21.6
	女性	278	33.8	40.3	7.9	9.7	7.6	0.7	74.1	17.6
	無回答	12	41.7	33.3	-	16.7	8.3	-	75.0	16.7
年代別	20歳代	35	48.6	37.1	5.7	2.9	5.7	-	85.7	8.6
	30歳代	71	45.1	38.0	9.9	5.6	1.4	-	83.1	15.5
	40歳代	75	46.7	30.7	8.0	10.7	4.0	-	77.4	18.7
	50歳代	70	34.3	41.4	10.0	8.6	5.7	-	75.7	18.6
	60歳代	142	26.1	39.4	9.9	13.4	9.2	2.1	65.5	23.3
	70歳以上	95	25.3	36.8	6.3	14.7	12.6	4.2	62.1	21.0
	無回答	6	66.7	16.7	-	16.7	-	-	83.4	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	45.8	33.7	7.2	6.0	7.2	-	79.5	13.2
	太宰府東小学校区	34	29.4	38.2	8.8	8.8	11.8	2.9	67.6	17.6
	太宰府南小学校区	31	29.0	35.5	9.7	6.5	16.1	3.2	64.5	16.2
	水城小学校区	70	37.1	48.6	4.3	2.9	4.3	2.9	85.7	7.2
	水城西小学校区	69	37.7	36.2	10.1	8.7	5.8	1.4	73.9	18.8
	太宰府西小学校区	100	22.0	34.0	12.0	22.0	8.0	2.0	56.0	34.0
	国分小学校区	70	30.0	38.6	10.0	17.1	4.3	-	68.6	27.1
	わからない	28	60.7	28.6	3.6	-	7.1	-	89.3	3.6
	無回答	9	44.4	44.4	-	11.1	-	-	88.8	11.1

(4) 道路の円滑性に対する評価 (問 45)

●道路の円滑性について『否定派』が63.1%で、『肯定派』(32.6%)よりも高い。

市内の道路は渋滞もなく円滑に移動できるかについて、『肯定派』(「そう思う」(3.2%)と「どちらかといえばそう思う」(29.4%)の合計)は32.6%、一方、『否定派』(「そう思わない」(35.2%)と「どちらかといえばそう思わない」(27.9%)の合計)は63.1%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

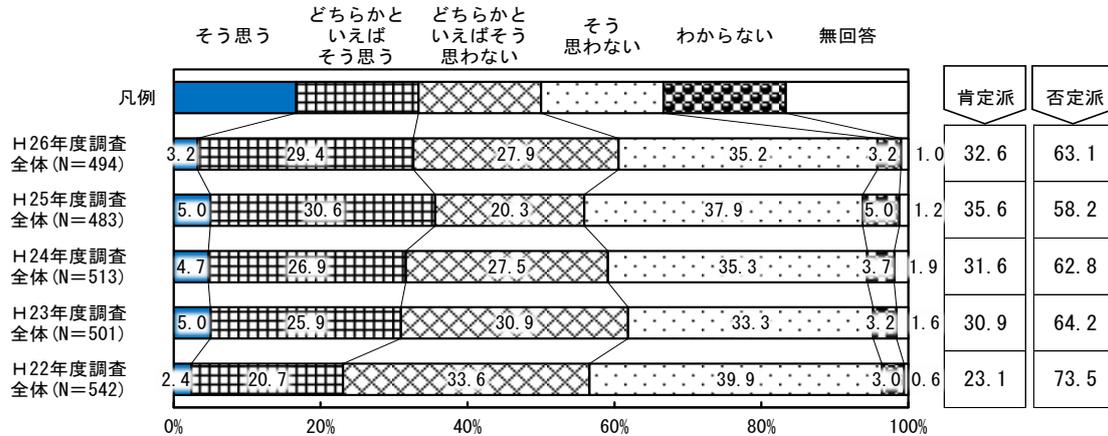
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回まで増加傾向であったが、今回は3.0ポイントの減少がみられる。

性別にみると、男女ともに『否定派』が『肯定派』を上回っている。

年代別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』よりも上回っている。なお、『肯定派』が最も高いのは30歳代(40.8%)となっている。

小学校区別にみると、件数の少ない太宰府東と太宰府南の2小学校区を除き、いずれも『否定派』の方が『肯定派』よりも上回っている。なお、『否定派』が最も高いのは太宰府小学校区(80.7%)である。

問 45. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	えどち ばち そら うか とい	な えど ち そら うか とい	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		494	16	145	138	174	16	5	161	312
		100.0	3.2	29.4	27.9	35.2	3.2	1.0	32.6	63.1
性別	男性	204	4.4	31.4	25.5	34.8	2.0	2.0	35.8	60.3
	女性	278	2.2	27.3	29.9	36.0	4.3	0.4	29.5	65.9
	無回答	12	8.3	41.7	25.0	25.0	-	-	50.0	50.0
年代別	20歳代	35	5.7	20.0	28.6	42.9	2.9	-	25.7	71.5
	30歳代	71	5.6	35.2	21.1	36.6	1.4	-	40.8	57.7
	40歳代	75	4.0	29.3	32.0	30.7	4.0	-	33.3	62.7
	50歳代	70	1.4	18.6	37.1	40.0	1.4	1.4	20.0	77.1
	60歳代	142	2.8	29.6	26.8	37.3	2.8	0.7	32.4	64.1
	70歳以上	95	1.1	36.8	24.2	28.4	6.3	3.2	37.9	52.6
	無回答	6	16.7	16.7	33.3	33.3	-	-	33.4	66.6
小学校区別	太宰府小学校区	83	6.0	10.8	26.5	54.2	2.4	-	16.8	80.7
	太宰府東小学校区	34	2.9	35.3	26.5	26.5	5.9	2.9	38.2	53.0
	太宰府南小学校区	31	6.5	41.9	12.9	35.5	3.2	-	48.4	48.4
	水城小学校区	70	-	30.0	25.7	37.1	4.3	2.9	30.0	62.8
	水城西小学校区	69	2.9	34.8	27.5	30.4	4.3	-	37.7	57.9
	太宰府西小学校区	100	2.0	31.0	39.0	25.0	2.0	1.0	33.0	64.0
	国分小学校区	70	2.9	32.9	27.1	31.4	4.3	1.4	35.8	58.5
	わからない	28	3.6	39.3	14.3	42.9	-	-	42.9	57.2
無回答	9	11.1	11.1	44.4	33.3	-	-	22.2	77.7	

(5) 外出時の移動手段 (問 46)

●日頃の外出時の交通手段は「自家用車」(58.1%)が最も高い。

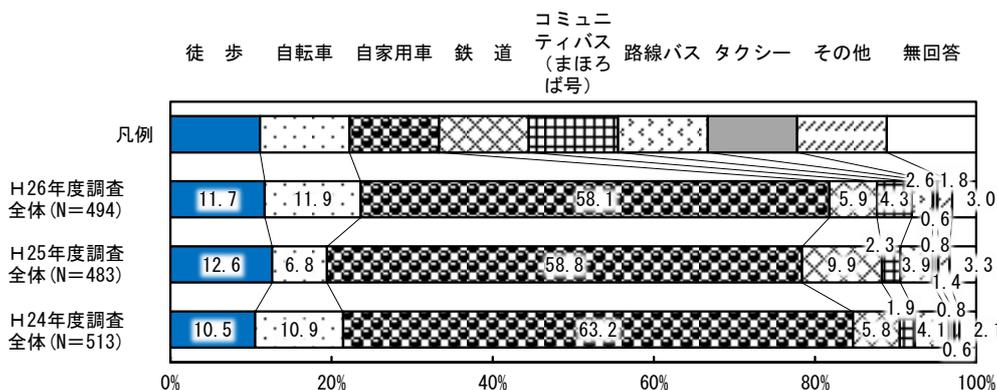
日頃の外出時における交通手段は、「自家用車」が 58.1%で最も高い。次いで「自転車」(11.9%)、「徒歩」(11.7%)、「鉄道」(5.9%)、「コミュニティバス(まほろば号)」(4.3%)の順となっている。

性別にみると、男女ともに「自家用車」が最も高いが、男性は 61.3%、女性は 55.8%と差がみられる。

年代別にみると、いずれも「自家用車」が最も高く、特に 40 歳代と 50 歳代は約 7 割の利用がみられる。

小学校区別にみると、いずれも「自家用車」が最も高いが、水城西小学校区(42.0%)は比較的lowく、その代替として「徒歩」(24.6%)の利用がみられる。

問 46. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(○は1つ)



		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	コミュニティバス(まほろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全体		494	58	59	287	29	21	13	3	9	15
性別	男性	204	10.8	10.3	61.3	6.4	2.0	3.4	0.5	2.5	2.9
	女性	278	12.6	12.6	55.8	5.4	6.1	2.2	0.7	1.4	3.2
	無回答	12	8.3	25.0	58.3	8.3	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	35	17.1	25.7	34.3	17.1	-	-	-	-	5.7
	30歳代	71	14.1	16.9	53.5	7.0	2.8	2.8	-	1.4	1.4
	40歳代	75	9.3	10.7	70.7	4.0	-	1.3	-	1.3	2.7
	50歳代	70	11.4	12.9	67.1	2.9	1.4	-	-	-	4.3
	60歳代	142	9.9	7.0	64.1	5.6	4.2	3.5	1.4	2.1	2.1
	70歳以上	95	12.6	10.5	45.3	4.2	12.6	5.3	1.1	4.2	4.2
	無回答	6	16.7	16.7	50.0	16.7	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	9.6	13.3	55.4	9.6	8.4	-	1.2	1.2	1.2
	太宰府東小学校区	34	20.6	8.8	52.9	-	2.9	8.8	-	2.9	2.9
	太宰府南小学校区	31	9.7	9.7	67.7	3.2	-	9.7	-	-	-
	水城小学校区	70	11.4	17.1	51.4	10.0	2.9	1.4	-	1.4	4.3
	水城西小学校区	69	24.6	14.5	42.0	7.2	5.8	1.4	1.4	1.4	1.4
	太宰府西小学校区	100	2.0	8.0	71.0	2.0	3.0	5.0	-	4.0	5.0
	国分小学校区	70	8.6	10.0	67.1	1.4	4.3	-	1.4	1.4	5.7
	わからない	28	21.4	14.3	50.0	14.3	-	-	-	-	-
	無回答	9	11.1	11.1	55.6	11.1	11.1	-	-	-	-

21. 産業の振興（問 47）

●日頃買い物する場所は「太宰府市」（67.6%）が最も高い。

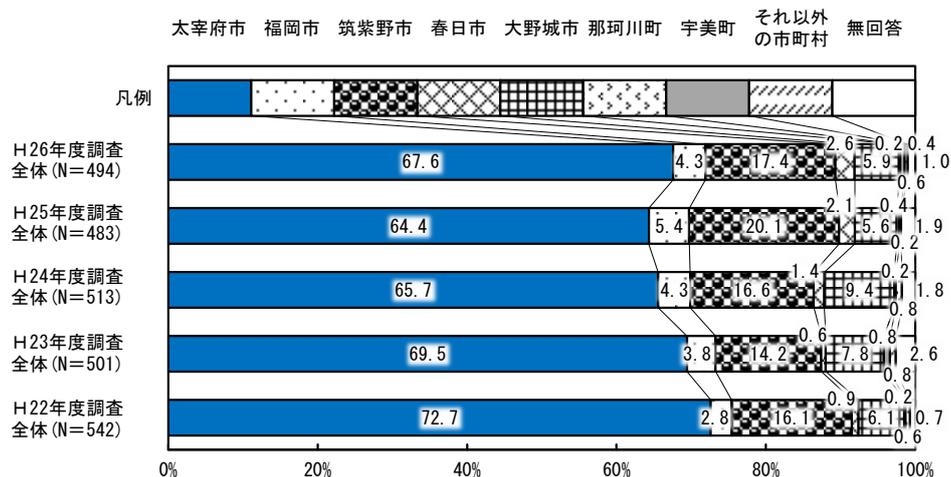
日頃主に買い物する場所については、「太宰府市」が 67.6%で最も高く、全体の 7 割近くを占めている。次いで「筑紫野市」（17.4%）、「大野城市」（5.9%）、「福岡市」（4.3%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、減少傾向が続いていた「太宰府市」は今回 3.2 ポイント増となった。

年代別でみると、いずれも「太宰府市」が最も高くなっているものの、若い年代では「福岡市」、40 歳代は「筑紫野市」が比較的高くなっている。

小学校区別にみると、件数が少ないため参考ながら、太宰府南小学校区は「筑紫野市」が最も高くなっている。

問 47. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。（〇は 1 つ）



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	宇美町	のそ市れ町以外	無回答
全体		494	67.6	4.3	17.4	2.6	5.9	0.2	0.6	0.4	1.0
性別	男性	204	63.7	4.9	19.6	3.9	4.9	-	0.5	1.0	1.5
	女性	278	70.1	4.0	15.8	1.8	6.5	0.4	0.7	-	0.7
	無回答	12	75.0	-	16.7	-	8.3	-	-	-	-
年代別	20歳代	35	60.0	11.4	20.0	-	5.7	2.9	-	-	-
	30歳代	71	60.6	11.3	15.5	4.2	4.2	-	1.4	2.8	-
	40歳代	75	60.0	6.7	24.0	2.7	5.3	-	1.3	-	-
	50歳代	70	65.7	2.9	18.6	4.3	5.7	-	1.4	-	1.4
	60歳代	142	70.4	0.7	16.9	2.8	8.5	-	-	-	0.7
	70歳以上	95	78.9	1.1	12.6	1.1	3.2	-	-	-	3.2
	無回答	6	66.7	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	75.9	2.4	18.1	-	-	-	3.6	-	-
	太宰府東小学校区	34	58.8	5.9	29.4	-	-	-	-	2.9	2.9
	太宰府南小学校区	31	32.3	6.5	58.1	-	-	-	-	3.2	-
	水城小学校区	70	67.1	4.3	22.9	1.4	1.4	-	-	-	2.9
	水城西小学校区	69	76.8	4.3	10.1	1.4	5.8	-	-	-	1.4
	太宰府西小学校区	100	70.0	3.0	3.0	9.0	14.0	-	-	-	1.0
	国分小学校区	70	71.4	1.4	12.9	2.9	10.0	1.4	-	-	-
	わからない	28	53.6	17.9	21.4	-	7.1	-	-	-	-
無回答	9	66.7	-	22.2	-	11.1	-	-	-	-	

22. 文化遺産の保存と活用（問 48）

●市の歴史文化遺産を誇りに思っている人は93.9%となっている。

市の歴史文化遺産を誇りに思うかについて、『肯定派』（「そう思う」（61.5%）と「どちらかといえばそう思う」（32.4%）の合計）は93.9%、一方、『否定派』（「そう思わない」（2.2%）と「どちらかといえばそう思わない」（2.6%）の合計）は4.8%で、『肯定派』が9割を占めて高くなっている。

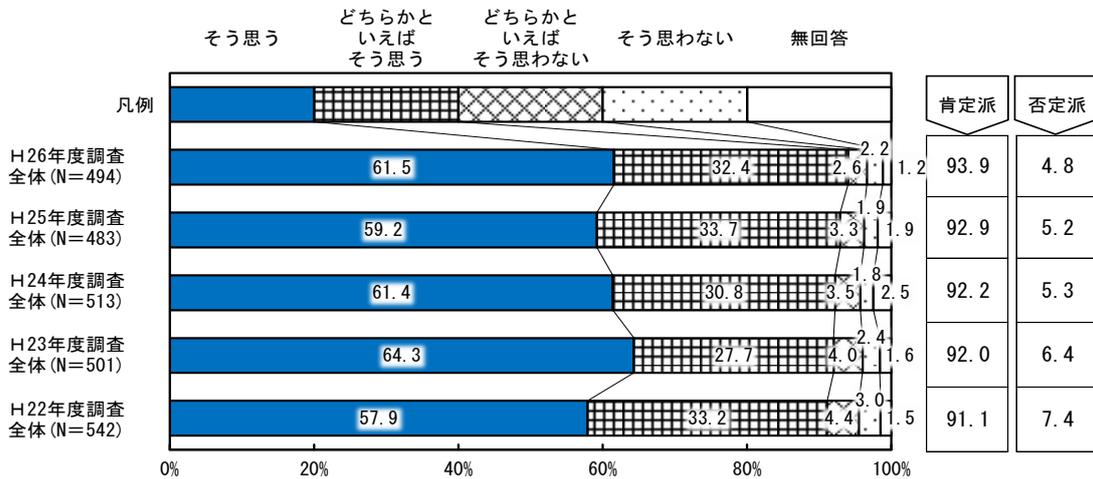
過去の調査結果と比べると、『肯定派』の割合は増加傾向が続いている。

性別にみると、男女ともに『肯定派』が9割を占めている。

年代別にみると、70歳以上（89.4%）を除き、いずれも『肯定派』が9割を超えている。

小学校区別にみると、『肯定派』は国分小学校区（98.6%）が最も高く、他の校区も水城小学校区を除き9割を超えている。一方、最も低い水城小学校区は88.6%である。

問 48. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		494	304	160	13	11	6	93.9	4.8
性別	男性	204	60.3	32.4	2.0	3.4	2.0	92.7	5.4
	女性	278	61.9	32.7	3.2	1.4	0.7	94.6	4.6
	無回答	12	75.0	25.0	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	35	57.1	37.1	5.7	-	-	94.2	5.7
	30歳代	71	63.4	32.4	2.8	1.4	-	95.8	4.2
	40歳代	75	66.7	25.3	2.7	5.3	-	92.0	8.0
	50歳代	70	67.1	30.0	1.4	1.4	-	97.1	2.8
	60歳代	142	59.2	35.9	2.8	1.4	0.7	95.1	4.2
	70歳以上	95	56.8	32.6	2.1	3.2	5.3	89.4	5.3
	無回答	6	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	66.3	26.5	3.6	2.4	1.2	92.8	6.0
	太宰府東小学校区	34	58.8	35.3	-	2.9	2.9	94.1	2.9
	太宰府南小学校区	31	51.6	38.7	-	9.7	-	90.3	9.7
	水城小学校区	70	54.3	34.3	5.7	2.9	2.9	88.6	8.6
	水城西小学校区	69	62.3	34.8	1.4	-	1.4	97.1	1.4
	太宰府西小学校区	100	64.0	31.0	3.0	1.0	1.0	95.0	4.0
	国分小学校区	70	62.9	35.7	1.4	-	-	98.6	1.4
	わからない	28	64.3	25.0	3.6	7.1	-	89.3	10.7
	無回答	9	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-

23. 観光基盤の整備充実

(1) 観光客の来訪についての評価 (問 49)

●観光客の来訪について好ましいと思っている人は84.4%となっている。

観光客が訪れることをどのように思うかについて、『好ましい』(「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」(51.0%)と「どちらかといえば好ましいと思う」(33.4%)の合計)は84.4%で8割を超え、一方、『好ましくない』(「ごみや渋滞などが発生し、好ましくない」(6.7%)と「どちらかといえば好ましくない」(4.9%)の合計)は11.6%と1割となっている。

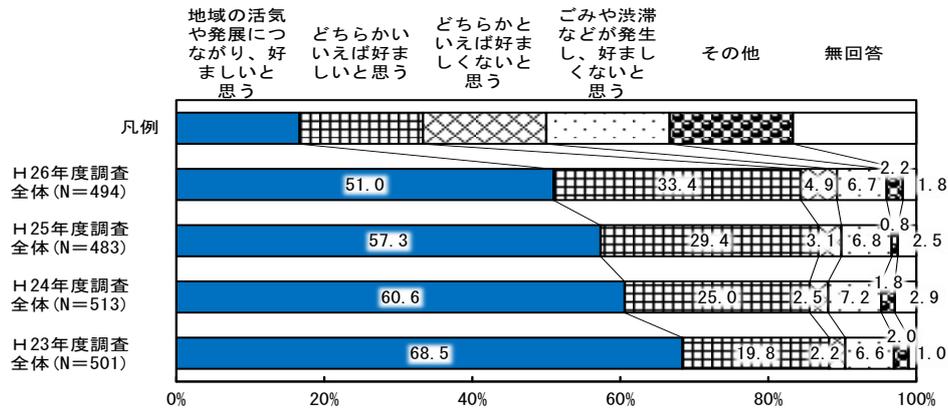
過去の調査結果と比べると、『好ましい』が8割を超えている傾向は変わらないものの、最も肯定的な「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」の割合は年々減少している。

性別にみると、『好ましい』は男女で差がみられない。

年代別にみると、いずれも『好ましい』が8割を超えている。

学校区別にみると、『好ましい』が最も高いのは国分小学校区(91.4%)で9割を超えている。なお、最も肯定的な「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」の割合は太宰府西小学校区(56.0%)が最も高くなっている。

問 49. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについてどのように思いますか。(〇は1つ)



		標本数	まなや地 しりが発 いり展の 'に活 好つ気	しいど いえち ばら 好か ま	しいど くえち なばら い好 か ま	い好が ま発 し生 くし な、 渋 滞	その他	無 回 答
全体		494	252	165	24	33	11	9
		100.0	51.0	33.4	4.9	6.7	2.2	1.8
性別	男性	204	52.0	32.8	5.4	6.4	2.5	1.0
	女性	278	50.0	33.5	4.7	7.2	2.2	2.5
	無回答	12	58.3	41.7	-	-	-	-
年代別	20歳代	35	37.1	45.7	5.7	8.6	2.9	-
	30歳代	71	62.0	22.5	8.5	4.2	2.8	-
	40歳代	75	57.3	26.7	4.0	4.0	5.3	2.7
	50歳代	70	48.6	35.7	5.7	7.1	2.9	-
	60歳代	142	46.5	38.0	2.8	7.7	1.4	3.5
	70歳以上	95	51.6	32.6	5.3	8.4	-	2.1
	無回答	6	50.0	50.0	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	41.0	36.1	3.6	15.7	2.4	1.2
	太宰府東小学校区	34	44.1	38.2	5.9	5.9	2.9	2.9
	太宰府南小学校区	31	45.2	45.2	3.2	3.2	3.2	-
	水城小学校区	70	52.9	31.4	4.3	4.3	5.7	1.4
	水城西小学校区	69	52.2	33.3	2.9	8.7	-	2.9
	太宰府西小学校区	100	56.0	29.0	6.0	3.0	2.0	4.0
	国分小学校区	70	55.7	35.7	4.3	2.9	1.4	-
	わからない	28	53.6	21.4	14.3	10.7	-	-
	無回答	9	66.7	33.3	-	-	-	-

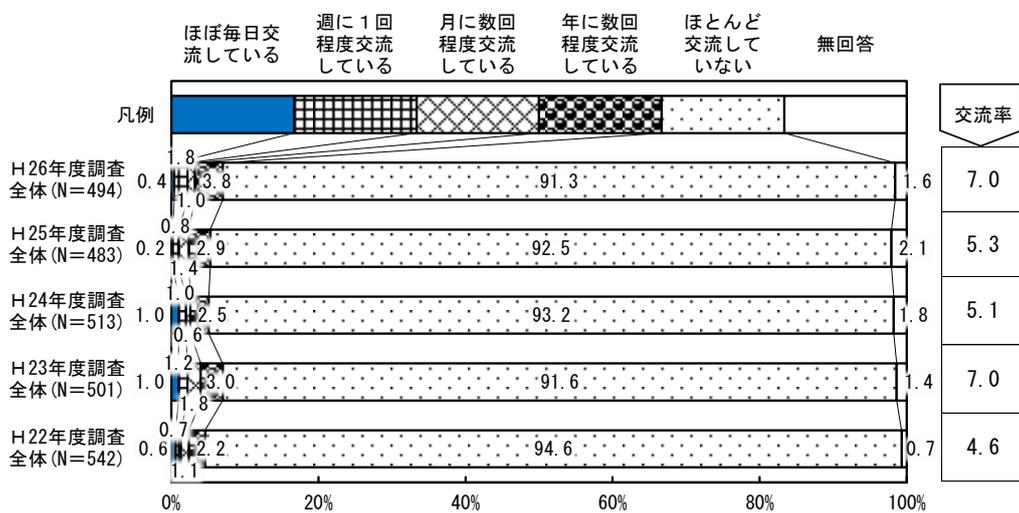
24. 国際交流・友好都市交流の推進

(1) 外国人との交流頻度 (問 50)

●市内在住の外国人との交流は、9割以上が「ほとんどしていない」。

市内在住の外国人との交流について、『交流率』（「年に数回程度交流している」以上の交流頻度の合計）は7.0%と低く、「ほとんど交流していない」が91.3%と高くなっている。過去の調査結果と比べると、『交流率』は5~7%で推移しており、特に変化はみられない。性別にみると、『交流率』は男性9.4%、女性5.8%で、ともに1割未満となっている。年代別にみると、件数の少ない20歳代を除き、大きな差はみられない。小学校区別にみると、『交流率』が最も高いのは水城西小学校区（10.1%）となっている。

問 50. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日交流している	週に1回程度交流している	月に数回程度交流している	年に数回程度交流している	ほとんど交流していない	無回答	交流率
全体		494	0.4	1.8	3.8	19	91.3	8	35
性別	男性	204	0.5	1.0	1.5	6.4	89.7	1.0	9.4
	女性	278	0.4	2.5	0.7	2.2	92.1	2.2	5.8
	無回答	12	-	-	-	-	100.0	-	-
年代別	20歳代	35	2.9	5.7	8.6	2.9	80.0	-	20.1
	30歳代	71	-	2.8	-	4.2	93.0	-	7.0
	40歳代	75	-	2.7	1.3	5.3	89.3	1.3	9.3
	50歳代	70	-	2.9	1.4	4.3	91.4	-	8.6
	60歳代	142	0.7	0.7	-	2.1	93.7	2.8	3.5
	70歳以上	95	-	-	-	5.3	91.6	3.2	5.3
	無回答	6	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	2.4	2.4	-	1.2	91.6	2.4	6.0
	太宰府東小学校区	34	-	2.9	-	2.9	91.2	2.9	5.8
	太宰府南小学校区	31	-	-	-	6.5	90.3	3.2	6.5
	水城西小学校区	70	-	-	1.4	5.7	92.9	-	7.1
	水城西小学校区	69	-	2.9	2.9	4.3	88.4	1.4	10.1
	太宰府西小学校区	100	-	2.0	-	3.0	92.0	3.0	5.0
	国分小学校区	70	-	1.4	1.4	4.3	92.9	-	7.1
	わからない	28	-	3.6	3.6	3.6	89.3	-	10.8
	無回答	9	-	-	-	11.1	88.9	-	11.1

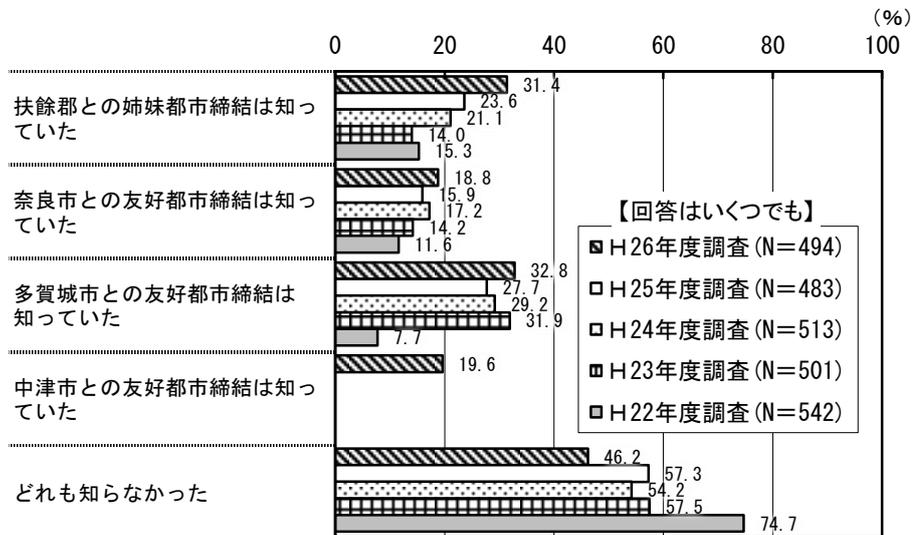
(2) 姉妹都市・友好都市の認知 (問 51)

●太宰府市の姉妹都市・友好都市締結については約 4 割が「どれも知らなかった」と回答している。

太宰府市の姉妹都市・友好都市締結の認知度について、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は 31.4%、「奈良市との友好都市締結は知っていた」は 18.8%、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は 32.8%となっている。今回新たに加わった「中津市との友好都市締結は知っていた」は 19.6%となっている。なお、「どれも知らなかった」は 46.2%となっている。

過去の調査結果と比べると、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(7.8 ポイント増)は平成 23 年度から増加している。また、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(5.1 ポイント増)、「奈良市との友好都市締結は知っていた」(2.9 ポイント増)もそれぞれ増加している。

問 51. あなたは太宰府市が大韓民国の扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。
(○はいくつでも)



※「中津市との友好都市締結は知っていた」は、今回調査より追加された項目

年代別にみると、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は60歳代、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は50歳代で、それぞれ高くなっている。なお、70歳以上はすべての項目で比較的高くなっている。

小学校区別にみると、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は太宰府西小学校区、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は水城小学校区で、それぞれ高くなっている。一方、「どれも知らなかった」は水城西小学校区で比較的高い。

(%)

		標本数	い結姉扶 たは妹餘 知都郡 つ市と て締の	い結友奈 たは好良 知都市 つ市と て締の	て締の多 い結友賀 たは好城 知都市 つ市と	い結友中 たは好津 知都市 つ市と て締の	など かれ つも た 知ら	無 回 答
全体		494 100.0	155 31.4	93 18.8	162 32.8	97 19.6	228 46.2	8 1.6
性別	男性	204	32.8	23.0	38.2	25.5	44.6	1.0
	女性	278	30.6	14.7	29.1	15.1	47.1	2.2
	無回答	12	25.0	41.7	25.0	25.0	50.0	-
年代別	20歳代	35	11.4	5.7	8.6	8.6	74.3	-
	30歳代	71	16.9	16.9	21.1	21.1	60.6	-
	40歳代	75	26.7	20.0	32.0	20.0	45.3	1.3
	50歳代	70	24.3	15.7	40.0	15.7	52.9	-
	60歳代	142	44.4	21.1	38.0	20.4	34.5	2.1
	70歳以上 無回答	95 6	38.9 33.3	22.1 33.3	38.9 16.7	24.2 16.7	37.9 50.0	4.2 -
小学校区別	太宰府小学校区	83	24.1	18.1	38.6	19.3	48.2	2.4
	太宰府東小学校区	34	26.5	23.5	35.3	20.6	47.1	2.9
	太宰府南小学校区	31	32.3	22.6	25.8	25.8	48.4	-
	水城小学校区	70	21.4	22.9	40.0	24.3	42.9	-
	水城西小学校区	69	33.3	20.3	27.5	15.9	55.1	1.4
	太宰府西小学校区	100	57.0	14.0	38.0	21.0	28.0	3.0
	国分小学校区	70	24.3	20.0	32.9	17.1	48.6	-
	わからない 無回答	28 9	7.1 22.2	10.7 22.2	3.6 11.1	10.7 22.2	82.1 44.4	- 11.1

(3) 外国人や留学生との交流方法 (問 52)

●外国人や留学生との交流を希望する内容は「語学講座」「スポーツ交流」「意見交換会」。

外国人や留学生と交流してみたい内容については、「語学講座」が 38.7%で最も高く、以下「スポーツ交流」(20.2%)、「意見交換会」(19.4%)、「ホームステイ」(9.7%)の順となっている。

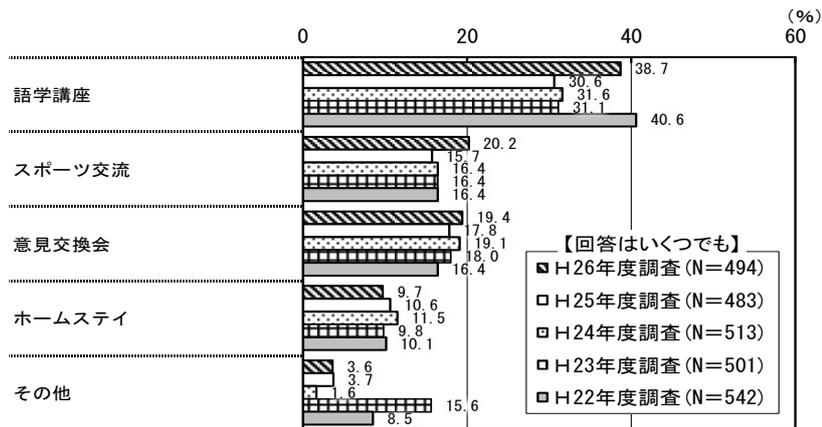
過去の調査結果と比べると、上位の3項目は全て前回よりも増加している。

性別にみると、「語学講座」は男女ともに1位となっている。特に「語学講座」は女性の希望が高く、その他は男性が高くなっている。

年代別にみると、「語学講座」と「スポーツ交流」は比較的若い年代で、一方、「意見交換会」は40歳代からの希望が比較的高くなっている。

小学校区別にみると、「語学講座」は水城西小学校区、「スポーツ交流」は水城小学校区、「意見交換」「ホームステイ」は国分小学校区が、それぞれ他の小学校区に比べて高くなっている。参考として、件数の少ない太宰府南小学校区は「語学講座」の希望が高い。

問 52. あなたは外国人や留学生とどのような交流をしたいですか。(〇はいくつでも)



		標本数	語学講座 (%)	スポーツ交流 (%)	意見交換 (%)	ホームステイ (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		494	38.7	20.2	19.4	9.7	3.6	28.1
性別	男性	204	31.9	22.1	25.0	10.3	4.4	25.0
	女性	278	43.9	19.1	15.8	9.7	3.2	29.5
	無回答	12	33.3	16.7	8.3	-	-	50.0
年代別	20歳代	35	40.0	22.9	11.4	17.1	2.9	25.7
	30歳代	71	54.9	36.6	16.9	15.5	5.6	8.5
	40歳代	75	48.0	26.7	21.3	10.7	4.0	16.0
	50歳代	70	48.6	21.4	20.0	10.0	4.3	22.9
	60歳代	142	33.8	12.0	22.5	5.6	3.5	35.9
	70歳以上	95	18.9	12.6	18.9	8.4	2.1	44.2
	無回答	6	33.3	33.3	-	-	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	36.1	13.3	22.9	9.6	7.2	31.3
	太宰府東小学校区	34	35.3	17.6	17.6	8.8	-	35.3
	太宰府南小学校区	31	61.3	9.7	19.4	12.9	3.2	12.9
	水城小学校区	70	42.9	28.6	18.6	7.1	7.1	24.3
	水城西小学校区	69	47.8	18.8	11.6	8.7	-	33.3
	太宰府西小学校区	100	29.0	21.0	23.0	9.0	3.0	32.0
	国分小学校区	70	38.6	21.4	25.7	15.7	-	18.6
	わからない	28	32.1	32.1	10.7	7.1	7.1	25.0
無回答	9	22.2	22.2	-	-	11.1	55.6	

25. 市民参画の推進

(1) 自治会活動への参加状況 (問 53)

●自治会活動に参加しているのは63.5%で、増加傾向がみられる。
 ●若い年代、特に20歳代は他の年代に比べて参加率が極めて低い。

自治会活動について、『参加派』(「積極的に参加している」(27.9%)と「どちらかといえば参加している」(35.6%)の合計)は63.5%、一方、『不参加派』(「参加していない」(20.4%)と「どちらかといえば参加していない」(13.8%)の合計)は34.2%で、『参加派』の方が『不参加派』よりも高くなっている。

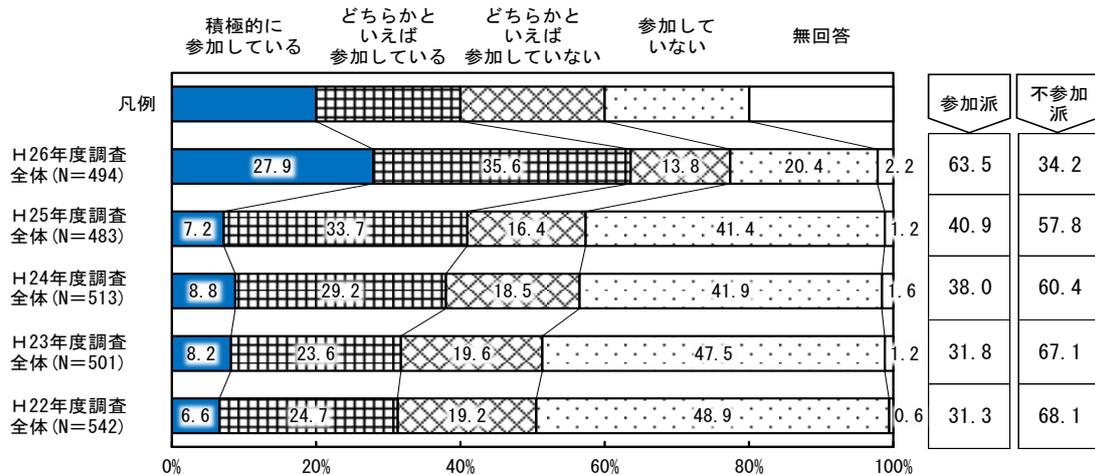
過去の調査結果と比べると、『参加派』は増加傾向がみられ、特に前回と比べて22.6ポイントと大きく増加している。

性別にみると、『参加派』は女性が約7割、男性は約6割と約1割の差となっている。

年代別にみると、年齢が高くなるにつれて『参加派』の割合が高くなる傾向がみられ、60～70歳以上では約7割となっている。

小学校区別にみると、件数が少ないため参考ではあるが、太宰府南小学校区(80.6%)は『参加派』が8割と高い。また、国分小学校区(78.6%)も高くなっている

問 53. あなたは自治会活動(クリーンデー、夏祭りなど)に参加していますか。(〇は1つ)



		標本数	積極的に参加している	どちらかといえば参加している	どちらかといえば参加していない	参加していない	無回答	参加派	不参加派
全体		494	138	176	68	101	11	314	169
性別	男性	204	25.0	32.8	15.2	25.0	2.0	57.8	40.2
	女性	278	30.6	37.4	12.9	16.5	2.5	68.0	29.4
	無回答	12	16.7	41.7	8.3	33.3	-	58.4	41.6
年代別	20歳代	35	5.7	20.0	20.0	54.3	-	25.7	74.3
	30歳代	71	25.4	28.2	14.1	32.4	-	53.6	46.5
	40歳代	75	33.3	32.0	13.3	20.0	1.3	65.3	33.3
	50歳代	70	28.6	40.0	12.9	17.1	1.4	68.6	30.0
	60歳代	142	30.3	40.1	14.1	13.4	2.1	70.4	27.5
	70歳以上	95	31.6	38.9	11.6	11.6	6.3	70.5	23.2
	無回答	6	-	50.0	16.7	33.3	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	20.5	33.7	13.3	28.9	3.6	54.2	42.2
	太宰府東小学校区	34	29.4	47.1	5.9	14.7	2.9	76.5	20.6
	太宰府南小学校区	31	29.0	51.6	3.2	16.1	-	80.6	19.3
	水城小学校区	70	27.1	28.6	21.4	22.9	-	55.7	44.3
	水城西小学校区	69	33.3	29.0	15.9	17.4	4.3	62.3	33.3
	太宰府西小学校区	100	29.0	40.0	16.0	12.0	3.0	69.0	28.0
	国分小学校区	70	40.0	38.6	7.1	14.3	-	78.6	21.4
	わからない	28	7.1	21.4	21.4	50.0	-	28.5	71.4
	無回答	9	11.1	33.3	11.1	33.3	11.1	44.4	44.4

(2) ボランティア活動への参加状況 (問 54)

●ボランティア活動に参加しているのは19.1%となっている。
 ●40歳代と70歳以上では2割以上がボランティア活動に参加している。

ボランティア活動への参加について、『参加派』(「積極的に参加している」(5.7%)と「どちらかと言えば参加している」(13.4%)の合計)は19.1%、一方、『不参加派』(「参加していない」(66.8%)と「どちらかと言えば参加していない」(12.1%)の合計)は78.9%で、『不参加派』が8割近くを占めている。

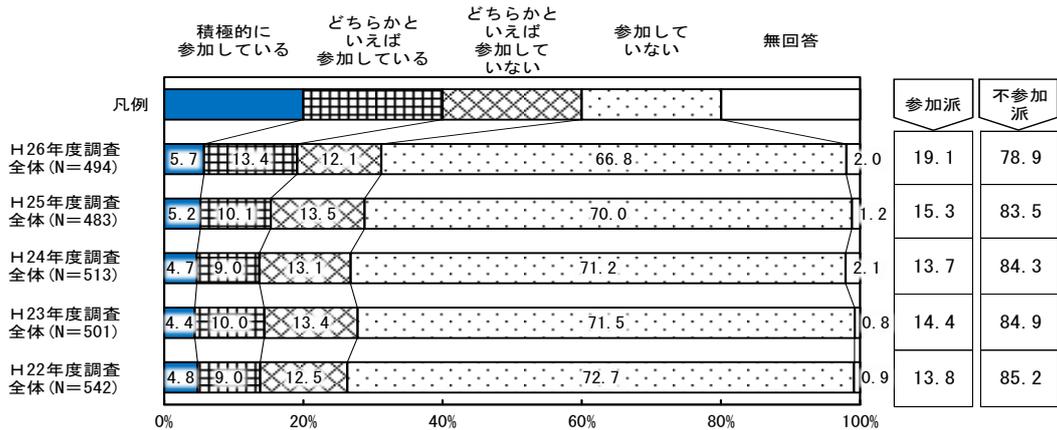
過去の調査結果と比べると、『参加派』は14~15%で推移していたが、今回は前回に比べ3.8ポイント増となっている。

性別にみると、『参加派』は男性(22.6%)の方が女性(16.5%)に比べ、若干高い。

年代別にみると、『参加派』は70歳以上(23.1%)と40歳代(22.6%)で高くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』が最も高いのは太宰府西小学校区(24.0%)となっている。

問 54. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	積極的に参加している (%)	どちらかと言えば参加している (%)	どちらかと言えば参加していない (%)	参加していない (%)	無回答 (%)	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		494	5.7	13.4	12.1	66.8	2.0	19.1	78.9
性別	男性	204	7.4	15.2	11.3	65.2	1.0	22.6	76.5
	女性	278	4.3	12.2	11.9	68.7	2.9	16.5	80.6
	無回答	12	8.3	8.3	33.3	50.0	-	16.6	83.3
年代別	20歳代	35	-	14.3	8.6	77.1	-	14.3	85.7
	30歳代	71	2.8	16.9	11.3	69.0	-	19.7	80.3
	40歳代	75	9.3	13.3	5.3	69.3	2.7	22.6	74.6
	50歳代	70	5.7	5.7	10.0	78.6	-	11.4	88.6
	60歳代	142	4.9	14.1	14.1	64.8	2.1	19.0	78.9
	70歳以上	95	8.4	14.7	16.8	54.7	5.3	23.1	71.5
	無回答	6	-	16.7	33.3	50.0	-	16.7	83.3
小学校区別	太宰府小学校区	83	6.0	8.4	9.6	72.3	3.6	14.4	81.9
	太宰府東小学校区	34	-	11.8	11.8	70.6	5.9	11.8	82.4
	太宰府南小学校区	31	12.9	9.7	12.9	64.5	-	22.6	77.4
	水城小学校区	70	5.7	17.1	10.0	67.1	-	22.8	77.1
	水城西小学校区	69	5.8	11.6	13.0	66.7	2.9	17.4	79.7
	太宰府西小学校区	100	8.0	16.0	10.0	63.0	3.0	24.0	73.0
	国分小学校区	70	4.3	15.7	20.0	60.0	-	20.0	80.0
	わからない	28	-	10.7	7.1	82.1	-	10.7	89.2
	無回答	9	-	22.2	22.2	55.6	-	22.2	77.8

第4節 行政サービスについて

1. 情報の共有化と活用

(1) 市民と行政との情報の共有（問 55）

●市民と行政の情報の共有ができていないかについて『否定派』が 64.8%で、『肯定派』（29.1%）よりも多い。『肯定派』は年々減少傾向がみられる。

市民と行政の情報の共有ができていないかについて、『肯定派』（「そう思う」（3.0%）と「どちらかといえばそう思う」（26.1%）の合計）は 29.1%、一方、『否定派』（「そう思わない」（24.3%）と「どちらかといえばそう思わない」（40.5%）の合計）は 64.8%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

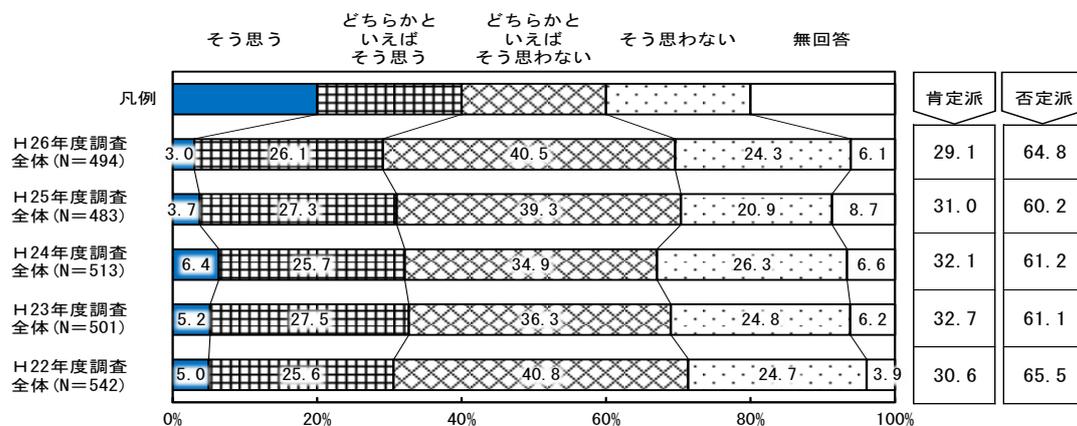
過去の調査結果と比べると、概ね『肯定派』は3割、『否定派』は6割で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、男女ともに『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっており、差はみられない。

年代別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

問 55. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	思いど うえち らばそ うと	思いど えちら ばそ うと	いそ う思 わな	無回 答	肯定 派	否定 派
全体		494	15	129	200	120	30	144	320
		100.0	3.0	26.1	40.5	24.3	6.1	29.1	64.8
性別	男性	204	3.4	24.5	41.7	27.5	2.9	27.9	69.2
	女性	278	2.5	27.7	39.2	22.3	8.3	30.2	61.5
	無回答	12	8.3	16.7	50.0	16.7	8.3	25.0	66.7
年代別	20歳代	35	-	14.3	48.6	34.3	2.9	14.3	82.9
	30歳代	71	2.8	22.5	43.7	28.2	2.8	25.3	71.9
	40歳代	75	4.0	32.0	40.0	21.3	2.7	36.0	61.3
	50歳代	70	1.4	31.4	41.4	24.3	1.4	32.8	65.7
	60歳代	142	2.1	26.1	37.3	26.8	7.7	28.2	64.1
	70歳以上	95	6.3	25.3	38.9	15.8	13.7	31.6	54.7
	無回答	6	-	16.7	50.0	33.3	-	16.7	83.3
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	16.9	42.2	28.9	8.4	20.5	71.1
	太宰府東小学校区	34	2.9	17.6	50.0	23.5	5.9	20.5	73.5
	太宰府南小学校区	31	6.5	29.0	38.7	25.8	-	35.5	64.5
	水城小学校区	70	4.3	24.3	44.3	24.3	2.9	28.6	68.6
	水城西小学校区	69	2.9	27.5	34.8	26.1	8.7	30.4	60.9
	太宰府西小学校区	100	2.0	36.0	39.0	16.0	7.0	38.0	55.0
	国分小学校区	70	1.4	27.1	40.0	25.7	5.7	28.5	65.7
	わからない	28	-	25.0	39.3	32.1	3.6	25.0	71.4
	無回答	9	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	33.3	55.5

(2) 行政情報の接触状況 (問 56)

「広報だざいふ」

● 「広報だざいふ」の閲読率は82.0%となっている。

「広報だざいふ」について、『閲読率』(「いつも読んでいる」(51.6%)と「たまに読んでいる」(30.4%)の合計)は82.0%、一方、『非閲読率』(「読まない」(7.9%)と「ほとんど読まない」(7.9%)の合計)は15.8%で、『閲読率』は8割を超えて高い。

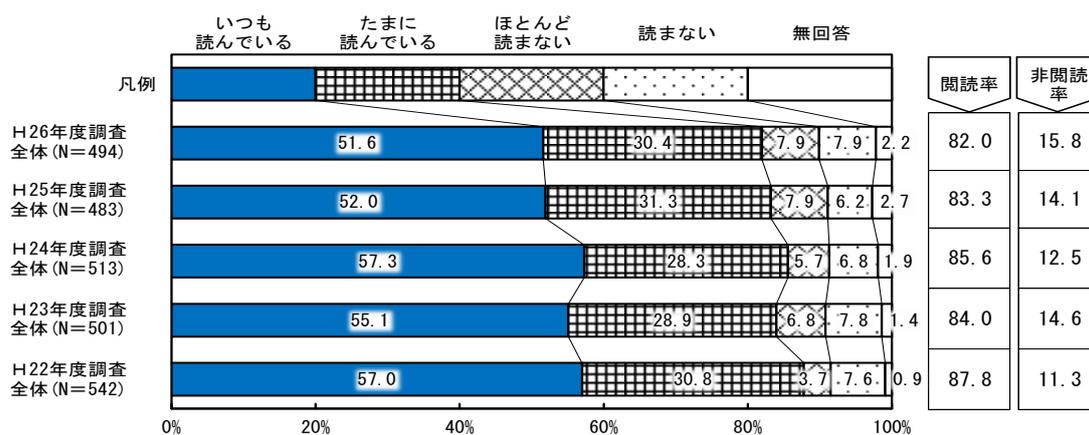
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は前回調査(83.3%)から1.3ポイント減少しており、25年度から若干の減少傾向がみられる。

性別にみると、『閲読率』は女性(87.4%)の方が男性(76.0%)よりも高くなっている。

年代別にみると、件数の少ない20歳代を除いて『閲読率』は8割を超えている。

小学校区別にみると、水城小学校区(77.1%)を除き、いずれも『閲読率』は8割を超えている。

問 56. あなたは「広報だざいふ」を読んでいますか。(○は1つ)



		標本数	い つ も 読 ん で い る	た ま に 読 ん で い る	ほ と ん ど 読 ま な い	読 ま な い	無 回 答	閲 読 率	非 閲 読 率
全体		494	255	150	39	39	11	405	78
性別	男性	204	49.5	26.5	10.8	11.3	2.0	76.0	22.1
	女性	278	54.3	33.1	5.4	5.0	2.2	87.4	10.4
	無回答	12	25.0	33.3	16.7	16.7	8.3	58.3	33.4
年代別	20歳代	35	14.3	37.1	14.3	34.3	-	51.4	48.6
	30歳代	71	40.8	40.8	11.3	7.0	-	81.6	18.3
	40歳代	75	53.3	30.7	8.0	6.7	1.3	84.0	14.7
	50歳代	70	51.4	32.9	8.6	7.1	-	84.3	15.7
	60歳代	142	63.4	23.9	4.2	3.5	4.9	87.3	7.7
	70歳以上	95	57.9	26.3	6.3	6.3	3.2	84.2	12.6
	無回答	6	-	50.0	33.3	16.7	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	54.2	33.7	4.8	6.0	1.2	87.9	10.8
	太宰府東小学校区	34	50.0	35.3	8.8	2.9	2.9	85.3	11.7
	太宰府南小学校区	31	54.8	35.5	-	6.5	3.2	90.3	6.5
	水城小学校区	70	50.0	27.1	8.6	14.3	-	77.1	22.9
	水城西小学校区	69	55.1	27.5	8.7	5.8	2.9	82.6	14.5
	太宰府西小学校区	100	57.0	28.0	7.0	4.0	4.0	85.0	11.0
	国分小学校区	70	60.0	21.4	11.4	4.3	2.9	81.4	15.7
	わからない	28	10.7	46.4	10.7	32.1	-	57.1	42.8
	無回答	9	11.1	55.6	22.2	11.1	-	66.7	33.3

「議会だより」

●「議会だより」の閲読率は60.1%となっている。

「議会だより」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」（22.7%）と「たまに読んでいる」（37.4%）の合計）は60.1%、一方、『非閲読率』（「読まない」（16.0%）と「ほとんど読まない」（16.2%）の合計）は32.2%となっており、『閲読率』は6割を超えている。

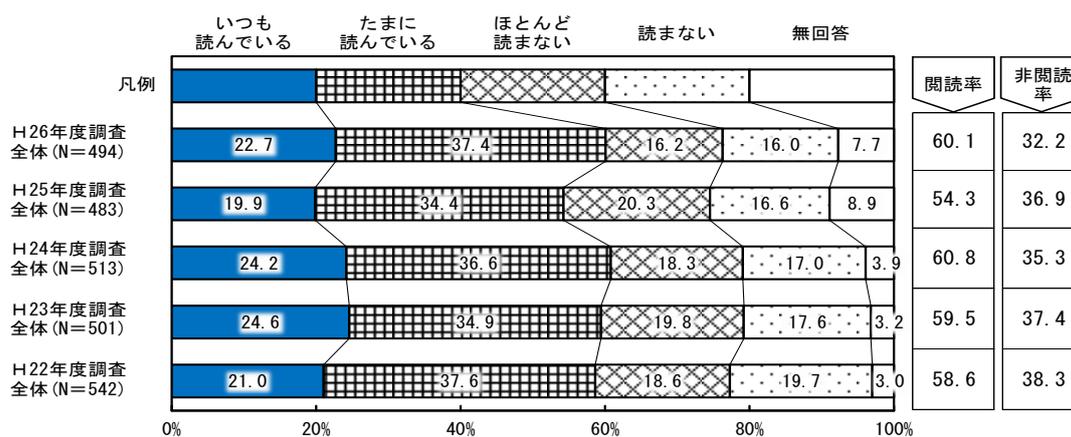
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は前回調査（54.3%）から5.8ポイント増加している。

性別にみると、『閲読率』は女性（62.9%）の方が男性（56.9%）よりも高くなっている。

年代別にみると、50歳以上の年齢が高い層で『閲読率』が高くなっており、最も高いのは60歳代（66.9%）となっている。

小学校区別にみると、『閲読率』が最も高いのは水城西小学校区（71.0%）、一方、『非閲読率』が最も高いのは水城小学校区（40.0%）となっている。

問56. あなたは「太宰府市議会だより」を読んでいますか。（○は1つ）



		標本数	い づ れ も 読 む	た ま に 読 む	ほ と ん ど 読 ま ない	読 ま ない	無 回 答	閲 読 率	非 閲 読 率
全 体		494	112	185	80	79	38	297	159
性 別	男 性	204	29.9	27.0	17.6	17.2	8.3	56.9	34.8
	女 性	278	18.3	44.6	15.1	14.7	7.2	62.9	29.8
	無回答	12	-	50.0	16.7	25.0	8.3	50.0	41.7
年 代 別	20歳代	35	5.7	14.3	20.0	54.3	5.7	20.0	74.3
	30歳代	71	22.5	31.0	18.3	25.4	2.8	53.5	43.7
	40歳代	75	18.7	42.7	18.7	12.0	8.0	61.4	30.7
	50歳代	70	28.6	37.1	15.7	17.1	1.4	65.7	32.8
	60歳代	142	22.5	44.4	14.8	7.0	11.3	66.9	21.8
	70歳以上	95	29.5	36.8	12.6	9.5	11.6	66.3	22.1
	無回答	6	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	66.6
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	83	28.9	34.9	13.3	13.3	9.6	63.8	26.6
	太宰府東小学校区	34	26.5	29.4	26.5	11.8	5.9	55.9	38.3
	太宰府南小学校区	31	22.6	25.8	25.8	12.9	12.9	48.4	38.7
	水城小学校区	70	24.3	32.9	15.7	24.3	2.9	57.2	40.0
	水城西小学校区	69	18.8	52.2	10.1	11.6	7.2	71.0	21.7
	太宰府西小学校区	100	21.0	43.0	16.0	12.0	8.0	64.0	28.0
	国分小学校区	70	25.7	37.1	15.7	12.9	8.6	62.8	28.6
	わからない	28	7.1	25.0	17.9	42.9	7.1	32.1	60.8
	無回答	9	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	44.4	44.4

「太宰府市ホームページ」

● 「太宰府市ホームページ」の閲覧率は27.8%で、紙媒体に比べて低くなっている。

「太宰府市ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」（5.9%）と「たまに見ている」（21.9%）の合計）は27.8%、一方、『非閲覧率』（「見ていない」（29.8%）と「ほとんど見ていない」（20.2%）、「見る事ができない」（12.8%）の合計）は62.8%で、『閲覧率』は3割程度となっている。紙媒体である「広報だざいふ」（82.0%）に比べて1/3の割合で低い。

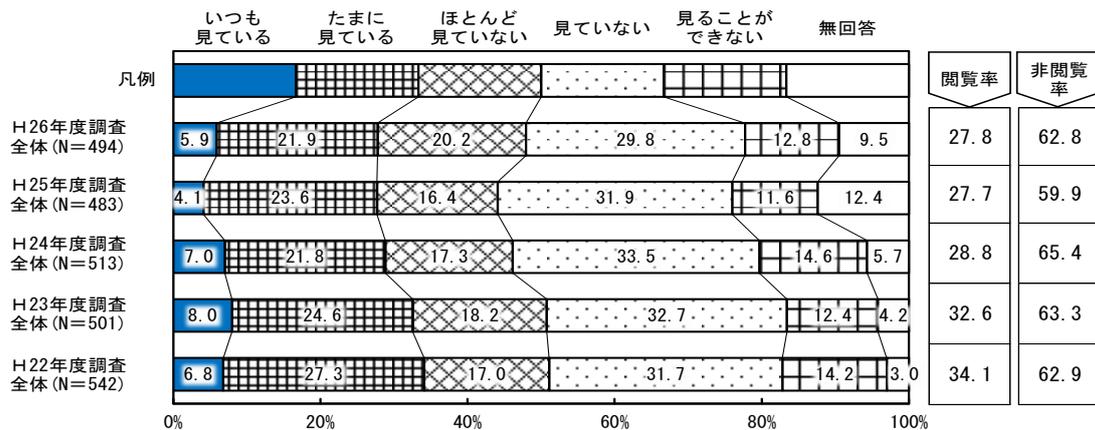
過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は前回調査（27.7%）とかわらない。

性別にみると、『閲覧率』は男性（30.9%）の方が女性（25.6%）よりも高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』は70歳以上が4割と高く、件数の少ない20歳代を除くと、30歳代は1割台と低い。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは太宰府小学区校区（34.9%）、一方、『非閲覧率』が最も高いのは水城小学校区（70.0%）となっている。

問 56. あなたは「太宰府市ホームページ」を見ていますか。（○は1つ）



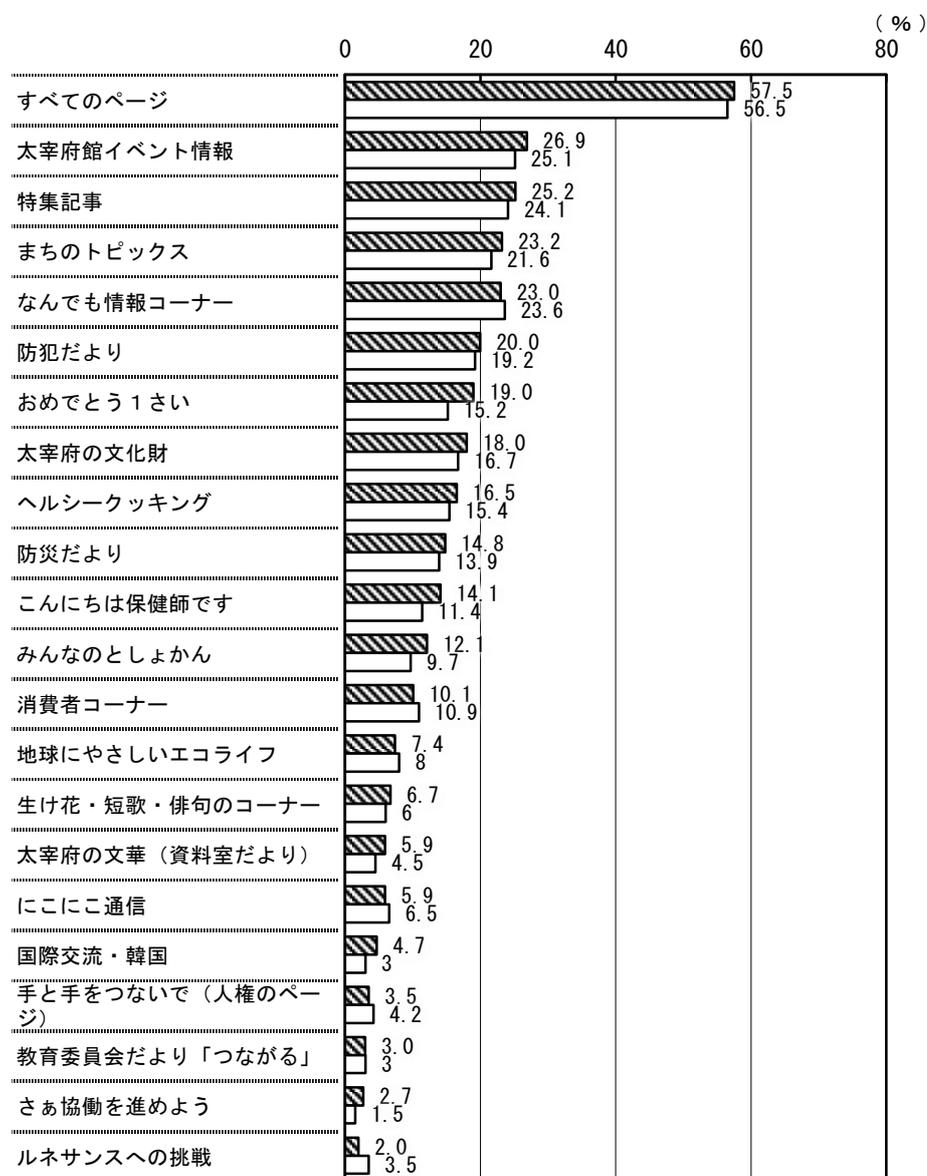
		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見ていない	見る事ができない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		494	5.9	21.9	20.2	29.8	12.8	9.5	27.8	62.8
性別	男性	204	5.4	25.5	21.1	28.9	10.3	8.8	30.9	60.3
	女性	278	5.8	19.8	19.4	30.6	14.0	10.4	25.6	64.0
	無回答	12	16.7	8.3	25.0	25.0	25.0	-	25.0	75.0
年代別	20歳代	35	-	17.1	17.1	54.3	5.7	5.7	17.1	77.1
	30歳代	71	2.8	16.9	36.6	35.2	5.6	2.8	19.7	77.4
	40歳代	75	2.7	20.0	32.0	32.0	5.3	8.0	22.7	69.3
	50歳代	70	2.9	24.3	21.4	37.1	10.0	4.3	27.2	68.5
	60歳代	142	7.7	21.8	16.2	23.2	18.3	12.7	29.5	57.7
	70歳以上	95	11.6	28.4	4.2	18.9	20.0	16.8	40.0	43.1
	無回答	6	16.7	-	33.3	33.3	16.7	-	16.7	83.3
小学校区別	太宰府小学校区	83	6.0	28.9	13.3	32.5	9.6	9.6	34.9	55.4
	太宰府東小学校区	34	5.9	17.6	20.6	35.3	11.8	8.8	23.5	67.7
	太宰府南小学校区	31	6.5	25.8	16.1	25.8	12.9	12.9	32.3	54.8
	水城小学校区	70	7.1	17.1	25.7	31.4	12.9	5.7	24.2	70.0
	水城西小学校区	69	4.3	23.2	23.2	26.1	10.1	13.0	27.5	59.4
	太宰府西小学校区	100	7.0	22.0	18.0	27.0	16.0	10.0	29.0	61.0
	国分小学校区	70	4.3	22.9	24.3	27.1	14.3	7.1	27.2	65.7
	わからない	28	3.6	10.7	21.4	42.9	14.3	7.1	14.3	78.6
	無回答	9	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	55.5

(3) 「広報だざいふ」の閲読内容（問56付問1）

- 「広報だざいふ」のすべてのページを閲読している人は57.5%となっている。
- 「太宰府館イベント情報」、「特集記事」、「まちのトピックス」、「なんでも情報コーナー」、「防犯だより」などの内容が多く読まれている。

「広報だざいふ」を閲読している内容については、「すべてのページ」が57.5%で最も高くなっている。内容別では「太宰府館イベント情報」(26.9%)、「特集記事」(25.2%)、「まちのトピックス」(23.2%)「なんでも情報コーナー」(23.0%)、と続いている。

問56付問1. 「広報だざいふ」を【いつも読んでいる・たまに読んでいる】と答えた方におたずねします。どのページを読みますか。（○はいくつでも）



第2章 調査結果の分析

性別にみると、「すべてのページ」は男性の6割以上、女性の5割以上となっている。なお、男性は「まちのトピックス」(26.5%)や「太宰府の文化財」(22.6%)など、女性は「太宰府館イベント情報」(31.3%)、「おめでとう1さい」(25.1%)、「ヘルシークッキング」(23.5%)などの割合がそれぞれ高く、性差がみられる。

年代別にみると、すべての年代で「すべてのページ」が5割を超えている。中でも50歳代は66.1%と高い。なお、60~70歳以上は「太宰府館イベント情報」、30歳代は「おめでとう1さい」、70歳以上は他に「防犯だより」、「防災だより」が他の年代に比べて高くなっている。

小学校区別にみると、「すべてのページ」は件数が少ない太宰府東と太宰府南の2小学校区を除き、国分小学校区で6割を占めて高い。

(%)

	標本数	すべてのページ	太宰府館イベント情報	特集記事	まちのトピックス	なんでも情報コーナー	防犯だより	おめでとう1さい	太宰府の文化財	ヘルシークッキング	防災だより	こんにちは保健師です	みんなのとしよかん	消費者コーナー	地球にやさしいエコライフ	生け花・短歌・俳句のコーナー	太宰府の文華(資料室だより)	こここ通信	国際交流・韓国	手と手をつないで(人権のページ)	教育委員会だより「つながる」	さあ協働を進めよう	ルネサンスへの挑戦	無回答
全体	405 100.0	233 57.5	109 26.9	102 25.2	94 23.2	93 23.0	81 20.0	77 19.0	73 18.0	67 16.5	60 14.8	57 14.1	49 12.1	41 10.1	30 7.4	27 6.7	24 5.9	24 5.9	19 4.7	14 3.5	12 3.0	11 2.7	8 2.0	6 1.5
性別																								
男性	155	64.5	19.4	25.8	26.5	19.4	20.6	9.0	22.6	5.8	16.1	5.8	6.5	8.4	6.5	2.6	9.0	3.9	5.2	3.9	3.2	3.2	1.9	1.9
女性	243	53.9	31.3	24.3	21.0	24.3	18.5	25.1	15.2	23.5	12.8	19.3	16.0	10.3	7.8	9.5	3.3	7.0	4.5	2.9	2.9	2.5	2.1	1.2
無回答	7	28.6	42.9	42.9	28.6	57.1	57.1	28.6	14.3	14.3	57.1	14.3	-	42.9	14.3	-	28.6	14.3	-	14.3	-	-	-	-
年代別																								
20歳代	18	50.0	22.2	27.8	27.8	16.7	22.2	27.8	16.7	-	27.8	5.6	11.1	-	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6	-	-	5.6	-	-
30歳代	58	51.7	24.1	20.7	15.5	25.9	17.2	34.5	6.9	15.5	12.1	13.8	12.1	5.2	3.4	1.7	1.7	8.6	3.4	1.7	3.4	1.7	-	-
40歳代	63	57.1	14.3	19.0	20.6	19.0	15.9	14.3	9.5	14.3	11.1	12.7	17.5	4.8	1.6	1.6	3.2	3.2	4.8	-	3.2	-	-	-
50歳代	59	66.1	18.6	22.0	18.6	20.3	15.3	15.3	18.6	16.9	13.6	8.5	8.5	8.5	3.4	3.4	1.7	3.4	5.1	5.1	3.4	3.4	3.4	1.7
60歳代	124	57.3	33.1	29.0	25.8	21.8	16.9	19.4	23.4	18.5	9.7	18.5	15.3	10.5	12.9	11.3	9.7	6.5	5.6	4.0	2.4	1.6	4.0	1.6
70歳以上	80	58.8	36.3	28.8	28.8	26.3	31.3	10.0	25.0	18.8	23.8	13.8	6.3	20.0	10.0	10.0	7.5	5.0	3.8	3.8	3.8	6.3	1.3	3.8
無回答	3	33.3	33.3	33.3	33.3	100.0	66.7	66.7	-	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-
小学校区別																								
太宰府小学校区	73	56.2	24.7	21.9	19.2	24.7	11.0	15.1	16.4	11.0	11.0	11.0	15.1	2.7	1.4	2.7	2.7	5.5	4.1	-	-	1.4	-	2.7
太宰府東小学校区	29	48.3	41.4	31.0	24.1	27.6	13.8	24.1	17.2	20.7	20.7	17.2	6.9	10.3	6.9	10.3	10.3	6.9	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	-
太宰府南小学校区	28	67.9	14.3	10.7	14.3	10.7	17.9	14.3	3.6	10.7	14.3	7.1	7.1	3.6	14.3	3.6	3.6	3.6	3.6	-	-	3.6	-	-
水城小学校区	54	59.3	27.8	22.2	24.1	20.4	20.4	16.7	20.4	20.4	11.1	13.0	11.1	13.0	13.0	7.4	7.4	9.3	5.6	3.7	3.7	1.9	-	1.9
水城西小学校区	57	59.6	24.6	26.3	22.8	21.1	22.8	17.5	22.8	17.5	10.5	14.0	12.3	10.5	7.0	3.5	1.8	5.3	7.0	3.5	5.3	3.5	1.8	1.8
太宰府西小学校区	85	56.5	29.4	32.9	31.8	28.2	27.1	16.5	22.4	16.5	22.4	16.5	15.3	16.5	10.6	8.2	8.2	5.9	4.7	8.2	4.7	4.7	2.4	2.4
国分小学校区	57	61.4	24.6	22.8	22.8	19.3	21.1	29.8	10.5	22.8	12.3	15.8	7.0	10.5	8.8	8.8	7.0	5.3	5.3	-	3.5	3.5	5.3	-
わからない	16	43.8	31.3	25.0	12.5	18.8	12.5	18.8	18.8	6.3	12.5	6.3	25.0	-	6.3	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-
無回答	6	50.0	33.3	33.3	16.7	50.0	50.0	33.3	-	50.0	50.0	16.7	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-

(4) 情報公開・提供に対する意識 (問 57)

●市の情報公開について『肯定派』は49.6%、『否定派』は44.4%となっている。
 ●女性は男性に比べて『肯定派』の割合が高い。

市が積極的に情報公開をしているかという質問に対して、『肯定派』(「そう思う」(7.3%)と「どちらかといえばそう思う」(42.3%)の合計)は49.6%、一方、『否定派』(「そう思わない」(13.0%)と「どちらかといえばそう思わない」(31.4%)の合計)は44.4%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

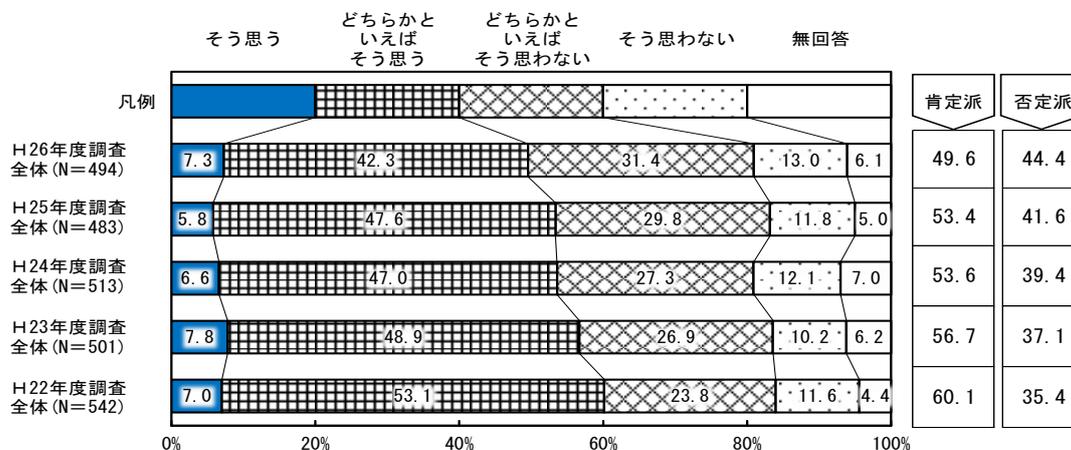
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回(53.4%)から3.8ポイント減少するなど、『肯定派』の減少傾向が続いており、『肯定派』と『否定派』の差が少なくなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性(52.9%)の方が男性(46.1%)よりも高くなっている。

年代別にみると、50歳代以上では『肯定派』と『否定派』との差が少なくなっている。件数の少ない20歳代を除き、50歳代のみ『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、国分小学校区を除いて『肯定派』が『否定派』よりも高くなっているのは、水城、水城西、太宰府西の3小学校区となっている(件数が少ない太宰府東と太宰府南を除く)。

問 57. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	36	209	155	64	30	245	219
		100.0	7.3	42.3	31.4	13.0	6.1	49.6	44.4
性別	男性	204	5.9	40.2	38.2	12.3	3.4	46.1	50.5
	女性	278	8.3	44.6	27.0	12.9	7.2	52.9	39.9
	無回答	12	8.3	25.0	16.7	25.0	25.0	33.3	41.7
年代別	20歳代	35	5.7	34.3	42.9	14.3	2.9	40.0	57.2
	30歳代	71	7.0	53.5	25.4	11.3	2.8	60.5	36.7
	40歳代	75	8.0	45.3	26.7	14.7	5.3	53.3	41.4
	50歳代	70	5.7	41.4	34.3	14.3	4.3	47.1	48.6
	60歳代	142	4.9	42.3	34.5	12.0	6.3	47.2	46.5
	70歳以上	95	11.6	37.9	28.4	11.6	10.5	49.5	40.0
	無回答	6	16.7	-	33.3	33.3	16.7	16.7	66.6
小学校区別	太宰府小学校区	83	2.4	44.6	32.5	14.5	6.0	47.0	47.0
	太宰府東小学校区	34	8.8	38.2	35.3	8.8	8.8	47.0	44.1
	太宰府南小学校区	31	6.5	38.7	35.5	12.9	6.5	45.2	48.4
	水城小学校区	70	5.7	41.4	30.0	15.7	7.1	47.1	45.7
	水城西小学校区	69	13.0	47.8	29.0	5.8	4.3	60.8	34.8
	太宰府西小学校区	100	6.0	51.0	27.0	12.0	4.0	57.0	39.0
	国分小学校区	70	8.6	32.9	32.9	17.1	8.6	41.5	50.0
	わからない	28	7.1	35.7	39.3	14.3	3.6	42.8	53.6
	無回答	9	22.2	11.1	33.3	22.2	11.1	33.3	55.5

(5) インターネット利用の有無 (問 58)

●インターネット利用率は61.9%となっている。

インターネットの利用について、「利用している」は61.9%、一方、「利用していない」は36.2%で、約2:1の割合である。

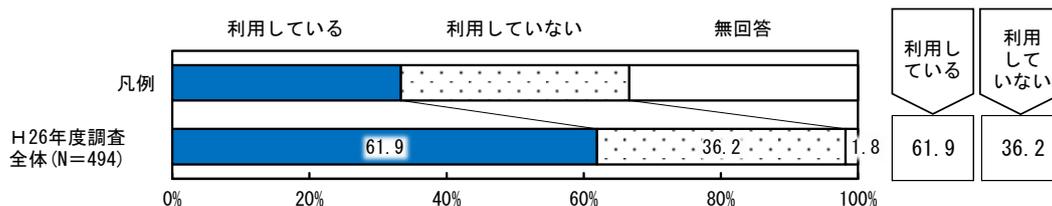
性別にみると、利用率は男性(71.6%)の方が女性(55.8%)よりも高くなっている。

年代別にみると、利用率が最も高いのは30歳代(84.5%)、一方、最も低いのは70歳以上(28.4%)となっている。

小学校区別にみると、利用率はいずれも6~7割となっている。

(注) 前回までパソコンの所有と、そのパソコンによるインターネットの利用についての設問であったが、今回の設問はパソコンの所有に無関係なこと、パソコンに限定していないことから、前回との比較を行っていない。

問 58. あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つ)



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		494	61.9	36.2	1.8
性別	男性	204	71.6	27.5	1.0
	女性	278	55.8	42.1	2.2
	無回答	12	41.7	50.0	8.3
年代別	20歳代	35	82.9	17.1	-
	30歳代	71	84.5	15.5	-
	40歳代	75	84.0	14.7	1.3
	50歳代	70	70.0	30.0	-
	60歳代	142	52.8	45.1	2.1
	70歳以上	95	28.4	67.4	4.2
	無回答	6	50.0	33.3	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	57.8	39.8	2.4
	太宰府東小学校区	34	58.8	38.2	2.9
	太宰府南小学校区	31	67.7	32.3	-
	水城小学校区	70	64.3	34.3	1.4
	水城西小学校区	69	62.3	36.2	1.4
	太宰府西小学校区	100	57.0	42.0	1.0
	国分小学校区	70	68.6	28.6	2.9
	わからない	28	75.0	25.0	-
	無回答	9	33.3	55.6	11.1

2. 市民のための行政運営

(1) 効果的な行政運営 (問 59)

●効果的な行政運営について『肯定派』は46.1%、『否定派』は47.8%となっている。

太宰府市が効果的に行政運営を行っているかについて、『肯定派』（「そう思う」（3.4%）と「どちらかといえばそう思う」（42.7%）の合計）は46.1%、一方、『否定派』（「そう思わない」（13.2%）と「どちらかといえばそう思わない」（34.6%）の合計）は47.8%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

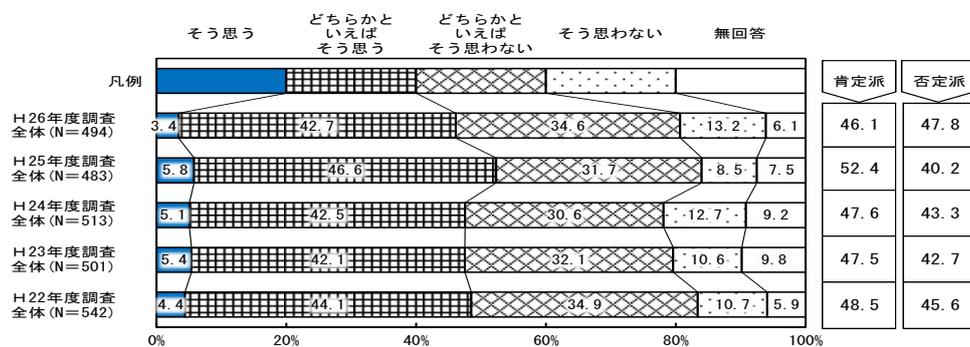
過去の調査結果と比べると、前回まで『肯定派』の方が『否定派』を上回っていたが、今回は前回（52.4%）よりも6.3ポイント減少したため、肯定派と否定派が逆転した。

性別にみると、男女ともに『肯定派』は4割台であるが、男性は『否定派』の方が高くなっている。

年代別にみると、50歳代のみ『否定派』が『肯定派』を上回っている。

小学校区別にみると、『肯定派』が高いのは水城西と太宰府西の2小学校区となっている。一方『否定派』が最も高いのは、太宰府南小学校区を除き、水城と国分の2小学校区（ともに55.7%）である。

問 59. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		494	3.4	42.7	34.6	13.2	6.1	46.1	47.8
性別	男性	204	2.5	42.2	37.7	14.7	2.9	44.7	52.4
	女性	278	4.0	43.9	32.0	12.2	7.9	47.9	44.2
	無回答	12	8.3	25.0	41.7	8.3	16.7	33.3	50.0
年代別	20歳代	35	2.9	48.6	28.6	20.0	-	51.5	48.6
	30歳代	71	1.4	47.9	32.4	15.5	2.8	49.3	47.9
	40歳代	75	2.7	48.0	34.7	10.7	4.0	50.7	45.4
	50歳代	70	5.7	34.3	45.7	11.4	2.9	40.0	57.1
	60歳代	142	2.1	44.4	33.1	12.7	7.7	46.5	45.8
	70歳以上	95	6.3	37.9	31.6	12.6	11.6	44.2	44.2
	無回答	6	-	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	1.2	43.4	38.6	13.3	3.6	44.6	51.9
	太宰府東小学校区	34	2.9	35.3	44.1	5.9	11.8	38.2	50.0
	太宰府南小学校区	31	9.7	29.0	48.4	9.7	3.2	38.7	58.1
	水城小学校区	70	2.9	35.7	34.3	21.4	5.7	38.6	55.7
	水城西小学校区	69	7.2	52.2	30.4	2.9	7.2	59.4	33.3
	太宰府西小学校区	100	2.0	55.0	28.0	11.0	4.0	57.0	39.0
	国分小学校区	70	4.3	32.9	34.3	21.4	7.1	37.2	55.7
	わからない	28	-	50.0	28.6	17.9	3.6	50.0	46.5
	無回答	9	-	11.1	44.4	11.1	33.3	11.1	55.5

(2) 市職員の応対や行動に対する満足度 (問 60)

●市職員の仕事への取り組みについて『満足派』は61.5%、『不満派』は33.6%となっている。

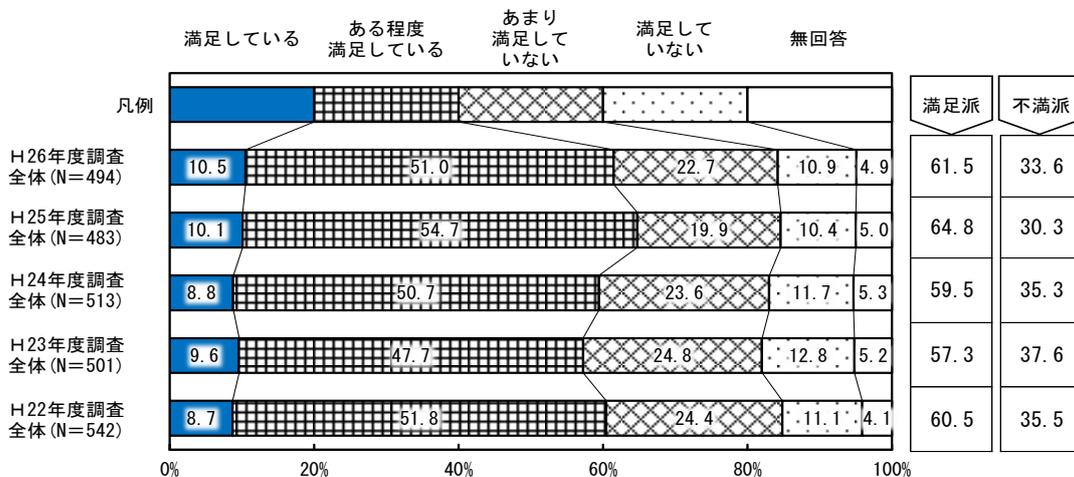
市職員の応対や行動などの仕事への取り組みについて、『満足派』（「満足している」(10.5%)と「ある程度満足している」(51.0%)の合計)は61.5%、一方、『不満派』（「満足していない」(10.9%)と「あまり満足していない」(22.7%)の合計)は33.6%で、『満足派』の方が『不満派』よりも高くなっている。

過去の調査結果を比べると、平成25年度まで『満足派』は増加傾向がみられたが、今回は減少となっている。

性別にみると、男女ともに『満足派』は6割を超えており、差はほとんどみられない。年代別にみると、件数が少ない20歳代を除き、いずれも『満足派』が6割を超えて、『不満派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、いずれも『満足派』の方が『不満派』よりも高くなっている。なお、『満足派』が最も高いのは太宰府西小学校区(72.0%)、一方『不満派』が最も高いのは国分小学校区(44.3%)となっている。

問 60. あなたは市職員の応対や行動などの仕事に対する取り組みについて、満足していますか。(○は1つ)



		標本数	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		494	52	252	112	54	24	304	166
		100.0	10.5	51.0	22.7	10.9	4.9	61.5	33.6
性別	男性	204	9.8	52.9	24.5	9.3	3.4	62.7	33.8
	女性	278	11.2	50.0	21.6	11.9	5.4	61.2	33.5
	無回答	12	8.3	41.7	16.7	16.7	16.7	50.0	33.4
年代別	20歳代	35	2.9	42.9	25.7	28.6	-	45.8	54.3
	30歳代	71	9.9	54.9	21.1	9.9	4.2	64.8	31.0
	40歳代	75	14.7	53.3	17.3	9.3	5.3	68.0	26.6
	50歳代	70	8.6	55.7	24.3	11.4	-	64.3	35.7
	60歳代	142	8.5	52.1	22.5	10.6	6.3	60.6	33.1
	70歳以上	95	14.7	46.3	26.3	5.3	7.4	61.0	31.6
無回答		6	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	33.4	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	6.0	59.0	20.5	12.0	2.4	65.0	32.5
	太宰府東小学校区	34	11.8	47.1	29.4	2.9	8.8	58.9	32.3
	太宰府南小学校区	31	12.9	41.9	22.6	16.1	6.5	54.8	38.7
	水城小学校区	70	5.7	55.7	24.3	11.4	2.9	61.4	35.7
	水城西小学校区	69	13.0	55.1	15.9	11.6	4.3	68.1	27.5
	太宰府西小学校区	100	15.0	57.0	19.0	8.0	1.0	72.0	27.0
	国分小学校区	70	11.4	35.7	30.0	14.3	8.6	47.1	44.3
	わからない	28	7.1	46.4	25.0	7.1	14.3	53.5	32.1
無回答		9	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	33.3	55.5

(3) 市役所窓口の利用の有無 (問 61)

●過去1年間の市役所窓口の利用率は8割近くとなっている。

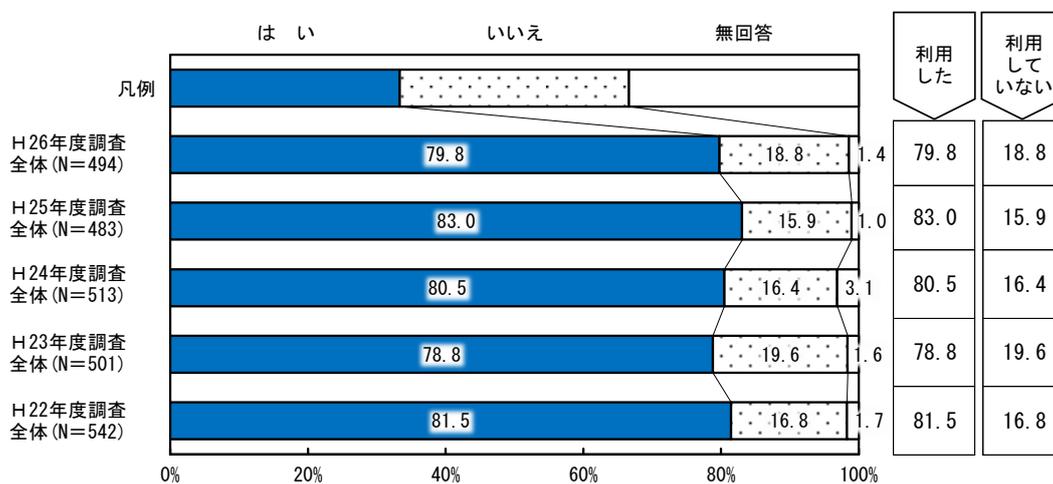
過去1年間での市役所の窓口の利用の有無については、「はい」(利用した)は79.8%、「いいえ」(利用していない)は18.8%となっている。利用率は8割である。

過去の調査結果を比べると、今まで利用率は増加傾向がみられたが、今回は減少となっている。

性別にみると、利用率は男性の80.9%に対して女性は78.8%で、差はみられない。

年代別にみると、いずれも利用率は7割を超えており、最も高いのは50歳代(87.1%)となっている。

問 61. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(○は1つ)



		標本数	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		494	79.8	18.8	1.4
性別	男性	204	80.9	18.1	1.0
	女性	278	78.8	19.8	1.4
	無回答	12	83.3	8.3	8.3
年代別	20歳代	35	80.0	20.0	-
	30歳代	71	71.8	28.2	-
	40歳代	75	77.3	21.3	1.3
	50歳代	70	87.1	12.9	-
	60歳代	142	83.1	15.5	1.4
	70歳以上	95	76.8	20.0	3.2
	無回答	6	83.3	-	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	83	86.7	12.0	1.2
	太宰府東小学校区	34	70.6	26.5	2.9
	太宰府南小学校区	31	83.9	16.1	-
	水城小学校区	70	77.1	21.4	1.4
	水城西小学校区	69	75.4	23.2	1.4
	太宰府西小学校区	100	80.0	20.0	-
	国分小学校区	70	82.9	14.3	2.9
	わからない	28	71.4	28.6	-
	無回答	9	88.9	-	11.1

(4) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 61 付問 1)

●窓口の事務処理について『満足派』は 86.5%、『不満派』は 10.9%となっている。

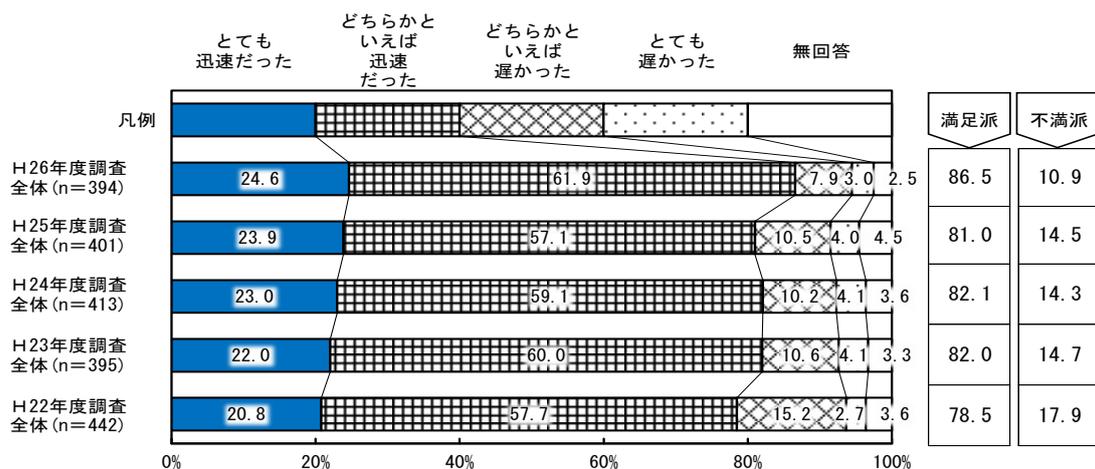
市役所を利用した 394 人に窓口の事務処理が迅速だったかをたずねたところ、『満足派』(「とても迅速だった」(24.6%)と「どちらかといえば迅速だった」(61.9%))の合計は 86.5%、一方、『不満派』(「とても遅かった」(3.0%)と「どちらかといえば遅かった」(7.9%))の合計は 10.9%で、『満足派』が約 9 割を占めて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『満足派』は平成 23 年度から 8 割で推移しており、大きな変化はみられない。

性別にみると、男女ともに『満足派』が 8 割以上を占めており、特に男性は 89.7%で約 9 割となっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が 8 割を超えており、特に 60 歳代では 90.6%と 9 割が満足と評価している。なお、『不満派』が最も高いのは 30 歳代 (15.7%) となっている。

問 61 付問 1. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。(○は 1 つ)



		標本数	とても迅速	どちらかといえば迅速	どちらかといえば遅	とても遅	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		394	97	244	31	12	10	86.5	10.9
性別	男性	165	24.2	65.5	7.9	0.6	1.8	89.7	8.5
	女性	219	26.0	58.4	7.8	4.6	3.2	84.4	12.4
	無回答	10	-	80.0	10.0	10.0	-	80.0	20.0
年代別	20歳代	28	21.4	60.7	10.7	3.6	3.6	82.1	14.3
	30歳代	51	25.5	58.8	9.8	5.9	-	84.3	15.7
	40歳代	58	27.6	62.1	5.2	-	5.2	89.7	5.2
	50歳代	61	24.6	59.0	8.2	4.9	3.3	83.6	13.1
	60歳代	118	23.7	66.9	4.2	2.5	2.5	90.6	6.7
	70歳以上	73	26.0	58.9	12.3	1.4	1.4	84.9	13.7
	無回答	5	-	60.0	20.0	20.0	-	60.0	40.0
小学校区別	太宰府小学校区	72	30.6	55.6	8.3	4.2	1.4	86.2	12.5
	太宰府東小学校区	24	20.8	75.0	4.2	-	-	95.8	4.2
	太宰府南小学校区	26	19.2	73.1	7.7	-	-	92.3	7.7
	水城小学校区	54	22.2	70.4	1.9	1.9	3.7	92.6	3.8
	水城西小学校区	52	36.5	55.8	3.8	1.9	1.9	92.3	5.7
	太宰府西小学校区	80	22.5	65.0	3.8	5.0	3.8	87.5	8.8
	国分小学校区	58	20.7	62.1	10.3	1.7	5.2	82.8	12.0
	わからない	20	20.0	40.0	35.0	5.0	-	60.0	40.0
	無回答	8	-	50.0	37.5	12.5	-	50.0	50.0

(5) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 61 付問 2)

●職員の対応・姿勢について『満足派』は 81.7%、『不満派』は 14.5%となっている。

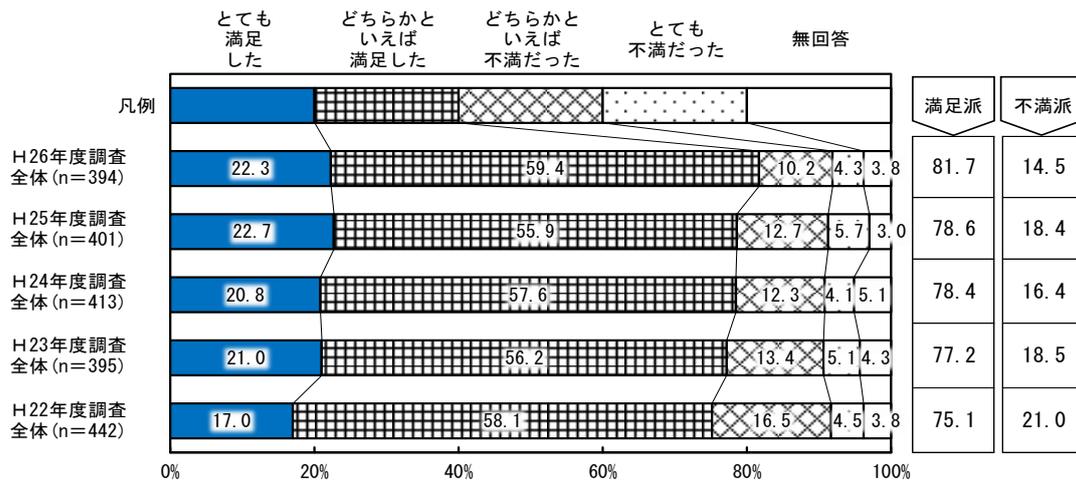
窓口での職員の対応や姿勢について、『満足派』(「とても満足した」(22.3%)と「どちらかといえば満足した」(59.4%)の合計)は 81.7%、一方、『不満派』(「とても不満だった」(4.3%)と「どちらかといえば不満だった」(10.2%)の合計)は 14.5%で、『満足派』が 8 割を超えて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『満足派』は過去 5 年間で最も高い割合となっている。

性別にみると、『満足派』は男女ともに約 8 割で差がないものの、最も肯定的な「とても満足した」の割合は女性 (25.6%)の方が男性 (18.8%)よりも高くなっている。

年代別にみると、40 歳以上は『満足派』が約 8 割を超えており、特に肯定的な「とても迅速だった」の割合は 40 歳代 (31.0%)が他の年代に比べて高くなっている。なお、『不満派』が最も高いのは、件数が少ない 20 歳代を除き、30 歳代 (23.6%)となっている。

問 61 付問 2. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は 1 つ)



		標本数	しとても満足	しいどちらかといえば満足	だいでちつえちたばら不満	だどつても不満	無回答	満足派	不満派
全体		394	88	234	40	17	15	322	57
		100.0	22.3	59.4	10.2	4.3	3.8	81.7	14.5
性別	男性	165	18.8	64.8	10.3	3.0	3.0	83.6	13.3
	女性	219	25.6	54.8	9.6	5.5	4.6	80.4	15.1
	無回答	10	10.0	70.0	20.0	-	-	80.0	20.0
年代別	20歳代	28	14.3	53.6	10.7	14.3	7.1	67.9	25.0
	30歳代	51	11.8	54.9	11.8	11.8	9.8	66.7	23.6
	40歳代	58	31.0	60.3	5.2	1.7	1.7	91.3	6.9
	50歳代	61	24.6	55.7	14.8	-	4.9	80.3	14.8
	60歳代	118	22.9	64.4	5.9	3.4	3.4	87.3	9.3
	70歳以上	73	24.7	57.5	15.1	2.7	-	82.2	17.8
	無回答	5	-	80.0	20.0	-	-	80.0	20.0
小学校区別	太宰府小学校区	72	20.8	58.3	6.9	6.9	6.9	79.1	13.8
	太宰府東小学校区	24	29.2	62.5	8.3	-	-	91.7	8.3
	太宰府南小学校区	26	11.5	69.2	15.4	-	3.8	80.7	15.4
	水城小学校区	54	16.7	72.2	-	7.4	3.7	88.9	7.4
	水城西小学校区	52	28.8	59.6	7.7	1.9	1.9	88.4	9.6
	太宰府西小学校区	80	22.5	61.3	8.8	3.8	3.8	83.8	12.6
	国分小学校区	58	29.3	44.8	17.2	5.2	3.4	74.1	22.4
	わからない	20	15.0	45.0	30.0	5.0	5.0	60.0	35.0
	無回答	8	12.5	62.5	25.0	-	-	75.0	25.0

3. 広域連携の推進（問 62）

●住民サービスの向上について『肯定派』は 37.0%、『否定派』は 24.7%となっている。

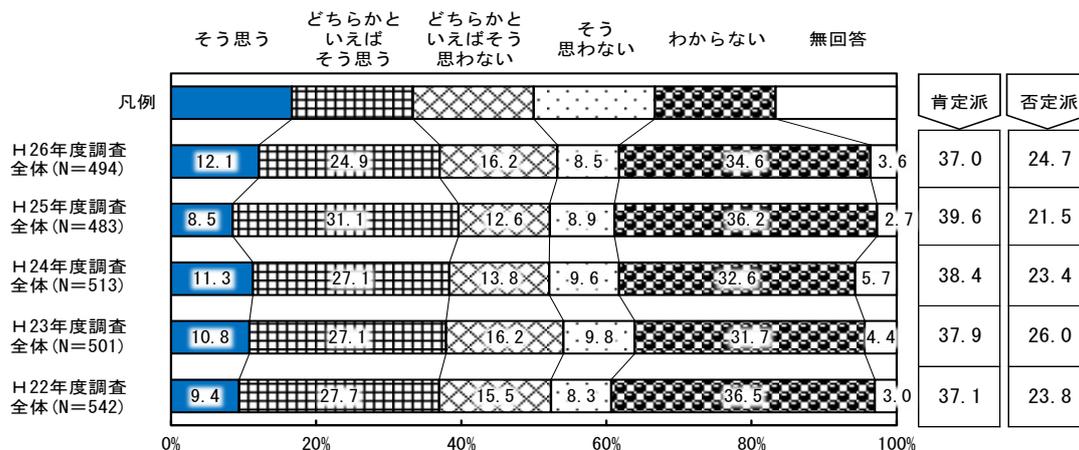
広域的な取り組みによる住民サービスの向上については、『肯定派』（「そう思う」（12.1%）と「どちらかといえばそう思う」（24.9%）の合計）は 37.0%、一方、『否定派』（「そう思わない」（8.5%）と「どちらかといえばそう思わない」（16.2%）の合計）は 24.7%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、「わからない」は 34.6%となっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は微増傾向だったが、今回は減少している。

性別にみると、『肯定派』は男性（39.7%）の方が女性（35.2%）よりも高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは 40 歳代（41.3%）となっている

問 62. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取組を進めています。あなたは福岡都市圏の広域的な取組によって住民サービスが向上したと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	思いど うえち らばそ うと	思いど えちら ばそか と	いそ う思 わな	わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		494	60	123	80	42	171	18	183	122
		100.0	12.1	24.9	16.2	8.5	34.6	3.6	37.0	24.7
性別	男性	204	10.8	28.9	15.7	10.8	31.4	2.5	39.7	26.5
	女性	278	13.3	21.9	16.2	7.2	37.4	4.0	35.2	23.4
	無回答	12	8.3	25.0	25.0	-	25.0	16.7	33.3	25.0
年代別	20歳代	35	8.6	22.9	20.0	5.7	42.9	-	31.5	25.7
	30歳代	71	15.5	22.5	16.9	7.0	38.0	-	38.0	23.9
	40歳代	75	17.3	24.0	9.3	10.7	37.3	1.3	41.3	20.0
	50歳代	70	14.3	25.7	17.1	12.9	30.0	-	40.0	30.0
	60歳代	142	8.5	25.4	15.5	8.5	38.0	4.2	33.9	24.0
	70歳以上	95	10.5	27.4	18.9	6.3	26.3	10.5	37.9	25.2
	無回答	6	16.7	16.7	33.3	-	16.7	16.7	33.4	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	83	8.4	21.7	16.9	7.2	42.2	3.6	30.1	24.1
	太宰府東小学校区	34	8.8	17.6	26.5	2.9	38.2	5.9	26.4	29.4
	太宰府南小学校区	31	6.5	22.6	16.1	12.9	41.9	-	29.1	29.0
	水城小学校区	70	12.9	28.6	21.4	8.6	25.7	2.9	41.5	30.0
	水城西小学校区	69	14.5	26.1	13.0	7.2	34.8	4.3	40.6	20.2
	太宰府西小学校区	100	16.0	36.0	12.0	9.0	27.0	-	52.0	21.0
	国分小学校区	70	12.9	21.4	12.9	12.9	32.9	7.1	34.3	25.8
	わからない	28	10.7	7.1	14.3	7.1	60.7	-	17.8	21.4
	無回答	9	11.1	11.1	33.3	-	11.1	33.3	22.2	33.3

第5節 まちづくりに対する自由意見

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
【施策1 子育て支援の推進:4件】			
太宰府	女性	40歳代	福岡市は医療費などの子供に対する補助が充実していらっしゃるやましい。税収が少なくないならば、少なくないで、市役所外の電光掲示板や、通路のやり替えなど、大金を使う必要があるのか疑問である。節約してもっと市民が喜ぶことに使ってほしい。
水城西	女性	30歳代	もっと保育園、幼稚園を増やして欲しい。子供の医療費も、小学校入学までは無料とか…、もっと優しくなれば良いと思う。
水城西	女性	30歳代	太宰府市には子どもが2人、3人いる家庭がたくさんあり、大変住みやすい子育てしやすいまちなのだと思います。日本全体では少子化が進んでいるのに、太宰府市には子どもがたくさんいますよね。もっともっと子育てしやすいまちにしていくとよいのではないのでしょうか。幼稚園の補助金の所得制限をなくしていただきたいし、インフルエンザの予防接種を少しでも安くしていただきたい。また、働く女性を支援する保育施設などは充実してきていますが、働かない人が子どもを預けられる一時保育などはまったく足りていないように思います。働かず子どもを2人、3人がんばって育てている女性も応援してください。所得が低い人ばかり補助があるのではなく、子ども一人に対し平等に子育て支援をしていただきたいです。若い世代が増えれば、まちはさらに活気にあふれていくと思います。中学校は完全給食にして下さい。育ち盛りにパン給食や牛乳級力なんてあり得ません。選択制だと手間がかかったりパンがよく見えたり・よくないと思います。
国分	男性	30歳代	子どもが暮らしやすいまちづくりをお願いします。公園を増やしてほしい。外灯を増やしてほしい。
【施策2 高齢者福祉の推進:2件】			
水城西	男性	60歳代	元気な高齢者がたくさんいます。そうした人たちが、活躍できるシステムの構築を考えてください。前期の高齢者が、もっと高齢の人達の介護をするようなシステムはいかがですか。
国分	女性	60歳代	これからの老後が不安です。年金があまりにもないので、それなりの生活ができるように、生きがいのある町づくりをお願い申し上げます。
【施策5 生涯健康づくりの推進:1件】			
水城	女性	60歳代	健診を毎年受けておりました。多額の税金が注ぎ込まれていると聞き、私は税金の無駄遣いをしているのではと思い今年はやめました。健診を受けての効果がどの位あるのだろうか？生活習慣予防のためだとしたらその後の結果に応じ、例えば受けた人への健診の結果により段階的にアドバイスし、スポーツ・体操とかの講習をし、もう少し関心を持たせる様な取り組みをして翌年の健診の結果に反映され、健康状態が計れたらと思います。目に見える市民への税金の使い方にもう少し考慮して頂きたい。
【施策7 防災・消防体制の整備充実:4件】			
太宰府	男性	60歳代	防災の施策をもっと進めてほしい。
太宰府	女性	40歳代	災害についてですが、防災の放送が市役所から流れますが、雨が降り、かみなりがなりの時には全く聞こえません。老人はいつも、耳が遠いわけですが、夜になっては寝ている訳で、全く聞こえません。命に係わることには、十分な検討をお願いしたいと思います。大宰府は生まれ育ったところではないのですが、とても気に入った街です。子育てもしました。子どもは学校ではいじめがあり、私自身も親からのいじめにあいました。若さからも知れませんが、そんなことがあった街ではありますが、やはり歴史にひかれています。ますます良い街、住みやすい街にするため、改善を考えられる市役所の取り組みには応援致します。これからの子供たちが、ここにいたいと思える街であって欲しいと思います。いろいろな意見があるかと思いますが、どうぞよろしくお願いします。
水城西	男性	40歳代	御笠川(通古賀及び、幸都付近)に土砂が堆積しているのが以前から気になっています。数年に1度、河川の氾濫の観点から除去をしなくてもいいのだろうか？と思っています。今後とも、住みよい町づくりのため、お仕事に励んで下さい。
国分	男性	50歳代	災害危険時の避難放送が聞こえない。他の方法で各家庭へ伝える手段はないのか？市内の道路で崖がくずれそうな所がある。小学校の登校路でもあり、心配である。早めの対応が良いと思う。(国分住宅地へ上がっていく所の左側の崖、現在下の方は路幅を広げ、排水工事をして上へあがった所)よろしくお願いします。
【施策13 生涯学習の推進:7件】			
太宰府南	女性	40歳代	図書館が古くて、小さくて本も少ないのが不満です。隣の筑紫野市の図書館は広くてきれいで、新しく、本もたくさんあります。太宰府市にも広くてきれいな図書館があったらいいのと思います。武雄市に個性的な図書館が出来て、話題になっていますが、観光客を増やす為にも、もっと魅力的な図書館があるといいのと思っています。
水城西	女性	40歳代	周りの市よりも文化的施設(ホールなど)が少なく利用しづらい。観光やスポーツだけでなく、音楽家の育成や質の向上を目指してほしい。
水城西	女性	70歳代	太宰府の図書館はあまり好きじゃありません。
太宰府西	女性	60歳代	現在3才と1才の孫が頻りに遊びに来ます。市民図書館やすくすく号でたくさんの本を借りて読み聞かせしております。とても便利で孫と子どもも利用させていただいて大変喜んでおります。ありがとうございます。
太宰府西	女性	70歳代	地区の活動(ボランティア)等、お手伝いをしたいのですが、公民館が遠いので、老人は大変です。今は、公民館まで車でっていますが、車が駐車できない時は大変です。区の中に公民館があればと思います。
国分	男性	70歳代	太宰府市のまちづくりはなかなか良いと思っています。ただ図書館がもう少し明るくきれいになってほしいと思います。置かれている図書についても市民の希望を聞いてほしいと思います。
不明	男性	30歳代	移動式図書館が水城駅前前の広場の所に来てほしい。子供に本を読ませたいので、近くだと、毎回利用したいです。

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
----	----	----	---------------

【施策14 社会教育の推進:1件】

太宰府	女性	50歳代	太宰府小学校区の子供が、夏だけでなく、冬も子供だけで「ばく竹」をしています。火を使っていますが、学校でもう一度、話をしてください。道路でサッカー、バッティングをしています。注意しましたが、ダメでした。親も何も言わないので、この件も学校の方でもう一度話をしてください。
-----	----	------	---

【施策15 学校教育の推進:4件】

水城	男性	30歳代	中学校の「給食化」を強く希望致します。
国分	男性	40歳代	公立学校に問題があると思います。教育行政に力を入れてほしい。
国分	男性	40歳代	小・中学校での教室にエアコン設置、給食の実施、道路拡張と歩道の設置。
国分	女性	30歳代	体育館を作る予算があるのであれば、中学校の給食を優先させるべき。市はランチサービス対応できていると言っているが利用率も低く、満足度も低い。義務教育なのに、家庭それぞれで栄養格差が出て学習にも影響しているのに、市は今後もランチサービスを推し進めるといことは、中学生の現状を全く理解していないとしか思えない。体育館より大切なことがもっとあるのではないかと。市長は考えを変えるべきだ。子どもたちを無視しないでください。

【施策16 文化芸術の振興:1件】

水城	女性	30歳代	政庁祭で行われたゴスペルコンサートがもう一度見たいです。
----	----	------	------------------------------

【施策17 生活環境の向上:8件】

太宰府	男性	60歳代	環境の良い場所で全体的に満足していますが散歩していて犬のフンが散乱しているのは非常に不愉快な気持ちになるので、何とかしてほしい。
太宰府	女性	20歳代	野良猫の避妊、去勢手術に対する助成金の検討をしてほしい。
太宰府東	男性	20歳代	・犬、猫のフンが庭によくある。駆除してほしい。また、放し飼いを認める必要ないと考えるので室内で飼われていない場合も同様駆除してほしい。・外国人観光客はマナーが悪すぎる。信号を守るとか小さな子どもに体当たりしない等、最低限のマナーを守れないなら来てほしくない。
太宰府東	男性	30歳代	昔、妻がこのアンケートを書いて、危険な所を(お金がないなりに)出来る範囲で整備してもらい嬉しかったです。これからもアンケートの意見を取り入れて充実させていって下さい。あと、猫を放し飼いでいる(ゴミ荒らし、庭荒らし)方は、広報や回覧板に小さく書いても(自分の家だけに関係ない、許される)意識があるからか、見ていないようなので、もっと大きく強調して書いてほしいです。
水城	男性	40歳代	私は散歩していますので、犬のフンがそのままになって処理していない。夜は暗いので踏んでしまいます。又、夜の犬の散歩をしている方は、袋など持っていない人が多いと思う。
水城	女性	50歳代	御笠川(白川地区、天満宮駐車場付近)のゴミが目立ちます。風で飛んできているのですが、もう少し、清掃回数を増やして欲しいです。外国の方がよく歩いているのを見かけるので…。
水城西	男性	20歳代	毎回要望していますが…、都府楼南5丁目にある、九州協同食肉の臭さに迷惑しています。窓が開けられない。洗濯物を外に干せない。道路も臭くて歩けない。近年、住宅地になっており、公害です。移転を希望します。出来なければ、ドーム形にしてにおいを外に出さない。至急、市、県の対応をお願いします。
水城西	女性	70歳代	環境美化について、犬も散歩で一時は守られていましたが、最近目立ってきて、道汚く感じます。犬の落し物持って帰ってもらいたいです。

【施策18 自然共生社会の構築:1件】

国分	男性	70歳代	私は市民の森、或は自分の地域等をウォーキングしていますが、各地域にある砂防ダムがほとんど清掃されてなく、いつ災害が起きても不思議ではないとも思う。先般、市民の森に行ったら道路横の側溝はきれいに清掃されていて少々は安心しました。
----	----	------	---

【施策19 循環型社会の構築:2件】

水城	男性	20歳代	ゴミ処理料金を下げて欲しい。(一般ごみ袋料金が高く感じる)→低所得世帯には、今の料金は厳しいものがあるので。同和行政に関して。→確かに大事な問題ではありますが、表立って言う事でかえって事を難しくしているような気がします。実際に被害を受けられた方々の為にも、そっとしてあげることも大事なのではないでしょうか？
太宰府西	女性	70歳代	紙、プラスチック、トレイ等のゴミ箱の設置をお願いします。遠くまで、持っていかねばなりません。特に、紙、プラスチックの廃棄場所がありません。

【施策22 未来に伝える景観づくり:2件】

水城西	男性	70歳代	市内を御笠川、鷺田川が流れていますが、堤防を歩いていて感じますのは、もっと工夫をしてこれからの歴史文化の都市として美化できないだろうかと思っています。
水城西	女性	60歳代	市内において天満宮に通じる道路は観光を目的としてか景観に配慮されているが、都府楼前駅近くにはパチンコ店が3店もあり、太宰府市民としてがっかりである。市には産業財源がなく、文化観光都市を目指すのであれば都市計画として規制できないのか考えてもらいたい。住宅地の街灯を増やしてほしい。

【施策23 計画的なまちづくり:14件】

太宰府	女性	50歳代	観光産業ばかり潤うのではなく、市民の生活の利便性が向上するように考えてほしい。天満宮の周りは外食産業やスーパーなどの商店が育たない。体育館などの大きな施設もあればいいけど、その予算は子ども達への大きなつげとなって来るのではないですか。法律で住宅地には公園を作るように決まっているはず。子どもを安全に遊ばせられる公園を近くに作ってほしい。春日市などは子ども達が芸術に触れられるよう。劇の上演等に補助があるそうですね。太宰府は子育てしにくい所です。市長さんも分かっている対話会でも言ってありました。
太宰府東	女性	30歳代	公園がもっとたくさん設置してほしい。道も狭いのでベビーカーが押しにくい所があります。子どもが住みやすい地域にしてほしい。

第2章 調査結果の分析

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
【施策23 計画的なまちづくり(つづき)】			
水城	男性	30歳代	東京から2年前に転動できましたが、日本ではないと思うほど普すぎる位遅れています。東南アジアみたい。町の電灯をLEDに全てしてほしい。駅も。コンビニが全くない。東京は交差点ごとにコンビニがある。特に西鉄都府楼駅前にコンビニ、スーパーが必要。あまりにも昭和の時代すぎます。西鉄は春日原駅か大橋駅から博多駅へ乗り入れるべき。JR二日市と西鉄二日市は外を歩くのではなくつなげるべき。踏切はすべてなくす(不便)。特に都府楼駅前(ロータリー側)を降りて、道路の下をくぐるトンネルの中をLEDにしてほしい。その周辺が暗いから危ない。トンネル内のらくがき、ごみ、酔っ払いが戻した物汚いです。
水城西	男性	50歳代	1.将来の高齢者向けの施設に関しては修学児童数との推移をみて、小学校・中学校施設を利用した老・幼同居型をぜひ一考を。先日、テレビで観ました。特に太宰府市は市役所所在地域とその他の地域で、機能分散が顕著です。2.市民生活面では商業施設が少ない地域です。太宰府天満宮中心地でもその他でも、個人生活の減、大型施設も少ない。高齢者の買い物問題は北九州並みの問題が将来出て来ると思います。企業との協力で個人宅への配達と安否確認、更に大型商業施設は防災上の避難拠点としても機能できます。協定等は必要ですが。
水城西	女性	60歳代	JR太宰府駅ができれば、もっと町が活性化するのではと思います。
水城西	女性	70歳代	住民の一部反対により、整備されていない、道路区画が不満です。
水城西	女性	70歳代	JR水城駅-JR都府楼駅間に駅が出来るとの事ですが、早急に新設して欲しいです。
太宰府西	男性	60歳代	太宰府市中央だけでなく、全般を考えた町づくり、行政をお願いしたい。
太宰府西	男性	60歳代	水城と都府楼駅の間にJR駅が欲しい。以前、駅が出来るとの話もあったが。
太宰府西	男性	70歳代	太宰府市は天満宮中心のまちづくりやイベントが多い。若者の活動場面づくりが少なく、ゆえにまち全体が活性化していない。要するに無難にコツコツと生活をしている感じで、市民の自由闊達な活動がみられない。
太宰府西	女性	60歳代	住居地域内の高齢化が進んでいて、10年後を不安に感じています。老後も安心して住めるまちづくりをお願いします。
国分	男性	60歳代	高齢化が進行していく中で、その対策(交通、病院、商店、介護施設等)の充実を促進して欲しい。
国分	女性	60歳代	JRの太宰府駅は作らないでほしい。
不明	不明	不明	家の近く、または太宰府市には公園が少なく感じます。小さい子どもが遊べる公園(滑り台、ブランコ、砂場、鉄棒)がそろそろ公園がなかなかないかなあ・
【施策24 地域交通体系の整備:32件】			
太宰府	男性	40歳代	まほろば号の最終をもう少し遅くまで延ばしてもらいたいです。(金、土、日、祝日のみでもいいので)
太宰府	男性	60歳代	私はまだまだ現役で頑張ろうと考えてますが、天満宮では道路渋滞する位の日もありますが、解消できる道路作りが出来る案がないのか(出来ないか)検討計画していただきたい。よろしくお願いします。
太宰府	男性	60歳代	道路の渋滞には大変困っています。国土館跡地(購入再整備)に7億円超も使って、どのくらいの利用者がいるのでしょうか?「総合体育館」40億以上もの大金を使うのですか?すでに松川運動公園、梅林アスレチック公園とか他にもあるのではないですか?維持管理にもお金がかかります。太宰府館は駐車スペースもなく寄り付きもされません。利用者いるのですか?太宰府は税金が高いと聞きますが、ふるさと納税とか何か頭使って住みやすい太宰府にして下さい。
太宰府	男性	60歳代	五条の交差点の改良が出来ぬか考えてほしい。右折に対して信号無視が多く、へたすると一台、二台右折がやっとの状況です。矢印の信号に変更するか考えてほしい。信号無視して直進が多いのは変わらないでしょうけど?
太宰府	女性	20歳代	問21の付問でも書いたように、街灯をもう少し明るい色にしてもらえたらいい。決して街灯の数が多いとは言えない上に、あの色では近くしか照らしていないし不気味さがある夜の間帯はとて怖い。街灯を増やしてほしいとは言わないが、せめて色を変えてもらえたらと思う。ご検討よろしくお願いします。
太宰府	女性	30歳代	日頃まほろばバスを利用しています。大野城などにも足を運べ、便利だと思うんですが、バスの時刻に偏りがあるように感じます。内山、北谷行きなどをよく乗りますが、都府楼駅から10、40、55分・・・10分のバスを乗り遅れると30分も待つのに、その後15分待てば次の便がすぐに出る。偏りがありすぎなのか・・・五条駅でも都府楼行きのバスがよく2台並ぶ光景を見ます。もっと時間にバラつきがほしい所です。
太宰府	女性	50歳代	太宰府は知名度もあり観光の為とても車の渋滞が悩みの種です。駐車場の環境税等でコミュニティの場所として温泉施設など(市営の)作って、地域住民の方の癒しの場ができれば良いと思います。
太宰府	女性	50歳代	観光客の車、バスが多いのに歩道が整備されていないので、歩くのが怖い道がまだまだあると思います。子ども達はいつ事故にあってもおかしくないと思います。
太宰府	女性	50歳代	日頃からの道路の渋滞を緩和してほしい。(天満宮周辺)
太宰府	女性	70歳代	まほろば号を連歌屋3丁目、及び三条1丁目あたりにも通してほしい。
太宰府東	男性	50歳代	道路整備、街灯整備、まほろば号の路線、時間帯拡大。
太宰府東	女性	60歳代	体育総合施設が建設されているが、洗出近くは現在でも信号、踏切が続いているため平日でも渋滞している。このままでは益々渋滞するのではないかと。対策を考えてほしい。
太宰府南	女性	50歳代	高齢で一人暮らしの方が投票場所に行く時、交通機関もなく不自由されている。期日前投票で市役所の方に出向く時も、まほろば号を使うのも便数が少なく、なかなか利用しづらいようです。
水城	男性	60歳代	政庁通りの車の交通量が多すぎて、徒歩で横断するのが大変です。御笠川沿いの遊歩道が道路で遮断されているのが残念です。
水城	女性	60歳代	日常的に交通渋滞がある。六反交差点から君畑の信号、君畑から五条交差点、五条交差点より市役所方面・梅大路あたりまで常に混雑していて通過しにくい。
水城	女性	70歳代	まほろば号のバスを利用して頂いていますが、内山行き、20時10分が最終ですが、20時30分頃まで運転して欲しいとつくづく思います。仕事の帰りが遅いので!

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
【施策24 地域交通体系の整備(つづき)】			
水城西	男性	70歳代	住民からの要望をくみ取り、その実現性への回答、その態勢が今一つスッキリしていない。経験的な事を申せば、私の家の北側の溝のふたの設置要望を昨年7月頃、建設課に出したが、いつか時期を見てとの回答であったが、いつ実現できるものか、出来ないものかの明確な回答、いまだなしという状況です。このような場合、いかが処置されているものなのか？
水城西	男性	70歳代	市内と他の市との交流バス等の運行(例:西鉄下大利→JR水城、太宰府市内地(吉松大佐野))
水城西	女性	30歳代	私は特に太宰府天満宮と戒壇院が好きです。史跡と緑あふれる太宰府に住んでいて良かったと思っていますので、これからも環境と歴史を守りつつ、すてきなまちづくりが市民全体でできればいいと思います。しかし、観光バスが増え、渋滞も多いため、子供が病気で病院へ向かう際、とても時間がかかるようになった気がします。
水城西	女性	30歳代	コミュニティバスまほろば号の本数をもう少し増やしてほしい。1時間に1本は少ないです。交通事故が起こりやすいところに看板などを設置してほしいです。
水城西	女性	40歳代	・県道31号線の渋滞緩和。・総合体育館建設による周辺地域の交通渋滞対策。・広域連携型のコミュニティバス。・歩道、自転車専用道の整備。・上下水道を安くできるような対策。
水城西	女性	50歳代	1. 道路について。私はシルバー人材センターの近くに住んでおりますが、踏切周辺の道路は狭く、交通量も多く、とても危険です。踏切も大きな車の時は線路の上を歩くような事もあります。乳母車も押しにくいです。拡張を希望します。2. まほろば号について。以前は市役所近くまで1本で行けましたが、今は都府楼前で乗り換えが必要で不便になったように思います。3. 公民館について。通古賀に属しておりますが、公民館が遠く不燃物を持っていこうと思っても、催しに参加しようと思ってもなかなか足が向きません。通古賀に2000世帯もあるそうで細かい対応はむりかと思えます。
太宰府西	男性	30歳代	・線路付近の渋滞がひどい ・産婦人科の数が少ない(有名な所は他市) ・大野城駅や太宰府駅までのバスの充実(西鉄バスがないから) ・小中学校付近の子ども注意案内が少ない ・小中学生が路地の真ん中を歩いて危ない
太宰府西	男性	50歳代	春日市方面から筑紫野市方面への道路は県レベルでの対応となるため、県議会への上申が必要を思われる。
太宰府西	男性	60歳代	私の居住地は太宰府市の西の外れ、人口920名程度、350世帯位です。丘陵地に建てられ、33年くらいになります。頂上までは30数度あり、頂上から中腹の住民は一旦ふもとに下りると、上りが大変です。高齢者(車の運転ができない)は休憩を何度もとりながらやっとの事で帰宅しています。それもできなくなったら、他地区に引越してしまいます。コミュニティバス「まほろば号」はふもとの「つづじヶ丘第一公園前」に一箇所だけです。隣接のH台は西鉄バス停が二箇所、まほろば号バス停が二箇所と便利が良いのです。5年位前にまほろば号が頂上付近までの延伸計画があり、住民は期待致しました。(特に中腹からは頂上の住民)しかし何故か、実現しませんでした。楽しみにしていた高齢者は落胆し、数名の住民は他地区に行きました。このままだと、高齢化と共に益々寂れていきます。是非まほろば号を頂上まで運行して頂きたいと思っております。
太宰府西	女性	60歳代	住宅の外灯が暗すぎて怖い所があります。
太宰府西	女性	70歳代	太宰府市に移し住んで40年になりますが、政庁跡前の幹線道路が狭く拡張出来ないものかと思えます。
国分	男性	30歳代	家の前の道路は大野城市への抜け道となっており、交通量が多いです。道が狭いので、事故も多いです。一方通行など対策を検討して頂きたいです。
国分	女性	20歳代	市民プール前の施設ができて、渋滞がよりひどくなるのでは…と心配しています。洗出交差点への配慮、をお願いします。
国分	女性	30歳代	まほろば号の時刻表をスマホで見られるようにしてほしい。街灯の数を増やし、定期点検して欲しい。はかた⇔だざいふ号を都府楼前駅にも停めて欲しい。洗出バス停に時刻表が暗くても読めるようにライトを灯して欲しい。
国分	女性	40歳代	専用返信封筒が小さすぎるのではないのでしょうか？小さな道路が多く、ショートカットする車両がスピードを出せないような道路「ハンプ」を設置してはどうでしょうか？
国分	女性	60歳代	コミュニティバスが近隣市と相互乗り入れを希望
【施策25 良質な水道水の安定供給:3件】			
太宰府	女性	30歳代	快適に生活ができるようにいち早く上水道を通して欲しい。井戸水が合わない方も沢山います。早く上水道を太宰府市を通して欲しい。どちらも使えるようにしていれば良いと思うし、上水道のみで良いところは沢山あるはず。快適に生活出来ない原因に上水道が来ていない事！！不調です！下水のみ通っています…。
太宰府東	男性	60歳代	水道代が高すぎる。
太宰府西	女性	60歳代	水道料金が太宰府はとても高いです。もう少し料金を下げて欲しい。
【施策26 下水道の整備と普及促進:2件】			
太宰府	男性	60歳代	水圧が少し弱いように感じる。トイレがよくつまる。住宅街の電柱の地下への埋設化、交通安全上、景観上、効果的と思う。
太宰府西	女性	60歳代	下水道工事後のアスファルト舗装の痛みと宅地の陥没、ヒビ割れが最近目立ってきたのが気になります。
【施策27 産業の振興:2件】			
太宰府南	男性	60歳代	1.市職員、市議会議員「定数の削減」2.農耕作地を減らさない。3.地産地消の積極的推進方策を具体的に策定し、実施する。(現在ゆめ畑のみ)
太宰府西	男性	50歳代	高齢化が進んでいるのに歩いて行ける所に買い物ができる店がないので、団地内にあると良いと思う。本アンケートが長い。だんだんいい加減な回答になると思う。

第2章 調査結果の分析

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
----	----	----	---------------

【施策28 文化遺産の保存と活用:3件】

太宰府	男性	60歳代	太宰府天満宮、史跡を核とした10年後20年後のビジョンを立て、地道な整備に努めてほしい。(ニュージーランドのクライストチャーチを参考に)。
太宰府東	女性	60歳代	一昨年、某小学校の社会科見学に参加し、政庁跡で仲間が歴史を解説し、次に何う道すがら、一人の女児から「私はお母さんとよく太宰府天満宮にお参りに行きます。政庁跡に初めて来ましたが、天満宮とどちらが凄いのですか」と問われ、ちょっとその比較には戸惑いましたが、「天満宮は道真個人を祀っているが、政庁跡は国の行政を司った所である」と返答しましたが、ずーっと心にかかっております。この子もまた一緒ではないかと思われます。君主南面です。政庁跡一帯から西鉄二日市東口まで条坊跡を再成して頂きたい。100年、200年かかろうとも。
水城	男性	40歳代	太宰府に住んでいる理由は史跡や文化財が身近にある。歴史、文化に触れられるところで、他の福岡都市圏と違った魅力があるからである。この点が太宰府の特徴だし、他にないマネが出来ない有利な点のはずである。なのにどうして、本市の歴史を学べる、歴史博物館がないのか？太宰府の歴史を伝える博物館は観光客にとっても魅力のはずだし、PRIにもなる。九博では、太宰府市の歴史は扱わない。国の博物館がある事で、そこに頼るのは分権の時代に時代錯誤だと思う。

【施策29 観光基盤の整備充実:3件】

太宰府	男性	60歳代	観光を中心とした経済活動をしていると思いますが、静かで住みやすい町づくりを期待します。
水城西	男性	70歳代	太宰府万葉歌碑があちこちあるが、字が読めないもの、意味が分からないものあり、一部、説明書きがあるように全部お願いしたい。
不明	女性	60歳代	多くの観光客の一部の人々がキャリーのスーツケースをガラガラ引いて歩いているのは、他の人々の邪魔にもなるし危ないし音も気になる。太宰府駅近くに荷物を預ける場所があると良い。

【施策31 市民参画の推進:8件】

太宰府	女性	60歳代	1人1人が支え合う地域社会とは何かを考え、行動に移し、市政もまた地域社会の声に耳を傾け、みんなが太宰府市の一員と自覚し気軽に意見が言い合える場があればと思います。
太宰府	女性	60歳代	家(自宅)で、最後まで暮らしたいと願う人はかなりいると思います。それで、あちこちの自治体(町、行政区)の公民館がもっと活用されないかいつも思っています。サロンや食事処として、開放されないかと。居場所づくりです。居場所があり、1人で食事ではなく、守られて食事ができれば、孤独や栄養不足からも、ずいぶん解放されます。そして、1人暮らし予備軍、地域のお年寄り予備軍の人達が希望者が順番で多少の報酬で食事づくり等をします。色んなリスクを恐れたり、責任を恐れたりしたら、いいことも何も出来ないのではと感じます。それと、そこに引きこもっている若者でも(登校拒否の子)誰でも来れるような血の通った場所づくりが出来たらと思います。
水城西	男性	70歳代	転勤族で、関東、関西、中部と住み替えて、九州(福岡)に30年余りになる。いずれの町も良い処で、良い人に恵まれてきた。近年付き合いも特に面倒なこともない生活であったが、この数年、地区の役員の年齢の問題からか、世話係となる人材が少なくなってきた。高齢化のせいと思うが、この先が心配している。隣組脱退など起きなければよいが…。
太宰府西	女性	30歳代	大野城の〇コミュニティのように、子供が室内で安全に遊べる場が、数か所あっても良いのではと思う。学習室etc.
太宰府西	女性	60歳代	私の町は店が少なく、バス通りは樹木が枯れて歩道は歩きにくい。年寄りみんな家にこもっていて、あいさつ位しかしていない人が多い。ほとんど元気で公民館にも行かない人が多い。
太宰府西	女性	70歳代	安全で自然豊かな歴史の町、太宰府を終の棲家と選択しH元年に福岡より移住してきました。まちづくりも長期、短期戦でこれからも計画的に住民の意見を取り入れながら実行して頂きたいです。27年間で感じた事は「人」作り、ボランティア活動はしていますが、良きリーダー(リーダーシップをとって何のためにやっているか目的意識を持っている方)に出会えませんでした。長期に栄える太宰府を見た時に特色ある町教育の町人材育成が必須だと思います。結婚して子どもをたくさん預り、生まれてくる子ども達が一生太宰府に住み続けられるまちづくりを望みます。
国分	男性	30歳代	行政区の運営や区費の運用が不適切だと感じる事が多く、問題があると思います。監査や見直しを定期的に行い、適正化をはかる必要があると思います。
国分	女性	60歳代	自分たちの町、大宰府を好きになるような活動をもう少し、積極的に住民がやっていたらと思うが、コミュニケーション不足かもしれません。

【施策32 情報の共有化と活用:3件】

水城西	男性	70歳代	市民からの市職員への問い合わせや説明を求めた際に、納得できない応対に対し、苦情処理機関等(第三者的組織等)を、各部門別に市政だより等で紹介して欲しい。(監査請求等具体的に)
太宰府西	男性	20歳代	正直、市がどういう施策をしているか、分らないし、実感する事がないので分かりません。住んでいる所は静かで住みやすい所だと思っています。
太宰府西	女性	60歳代	以前、市長宛への苦言を市のホームページで出したが、何の反応もなかった！！

【施策33 市民のための行政運営:20件】

太宰府	男性	70歳代	「まちづくり」についての提言。まちづくりにおいては「自己のまちの現況」をよく把握し、計画を作成、事業をすすめていただきたい。他都市、地域の計画を参考にすることは結構であるが、あくまで自己都市の現況の分析に立脚した計画でなければならない。なぜなら十分現況を把握して作成した計画であれば成果もそれなりに得られるであろうし、また成果の積み重ねも可能であるからである。(※そのようにされていると考えていますが、他市と合一した計画を見る事もあるので念のために提言。)
太宰府	女性	20歳代	詳しい政策について知る機会もなければ、知る努力をしなかった自分にも非はあるけど、外国に対しての政策を進めるよりも今いる市民に対しての政策をより良くしていく必要があるのではないかと思います。(国も県も市も)

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
【施策33 市民のための行政運営(つづき)】			
太宰府	女性	40歳代	水城の体育館の建設には反対しています。この人口数で立派な体育館を建てるのは、税金の無駄遣いで、この先財政破たんになるのではないかと心配です。スポーツをしない人、高齢者にとっては、必要のない施設だと思います。利用料も高くなるのでは…。子供を遊ばせる、又は子供だけで遊べる場所が少なく自由にボール投げやサッカー、友だちと遊べる児童館の様な所を作って欲しいです。子供が小さい時は、春日市の児童館をよく利用していました。遊ぶ所がない子供達は道路でゲームまたは家の中でゲームとなってしまいます。安全に遊べる場所を作ってあげてください。西鉄の取り組みですが、旅人の運行、太宰府駅⇄博多間のバスの運行は成功していると思います。市民としては、通勤、通学の時間にもバスを出してもらえるとありがたいです。近くに太宰府館がありますが、この施設も無駄ではないかと思えます。観光案内はジオラマと、チラシしかないし、なぜ、フリマBOXを置くのかも？です。観光客のためにも市民のためにもあまり役に立っているとは思えません。立派なホールもほとんど利用されていないし、せめて、車を乗り入れOKにするとか、図書館の予約本の受け取り、住民票の受け取りなど、行政サービスを取り入れたり、物産展など、観光客の方も利用できるように何か工夫は出来ないものかと考えます。小学校のトイレも古くて汚いです。体育館を作るお金があれば、全ての小中学校のトイレをきれいに出来るのではないですか？
太宰府	女性	50歳代	太宰府市体育複合施設は、必要なんでしょうか。お金は、別の事に使ってほしい。作った事で、活用するのは皆ではない。一部の方だけなのでは？
太宰府東	男性	40歳代	市の財政赤字は計画的に減らす努力をしてほしい。
太宰府東	男性	70歳代	①総合体育館施設は建設されていますが、これからの収入と運営費などのランニングコストが見えてきません。総合体育館の運営は大丈夫でしょうか？(他自治体では施設による運営負担が自治体の財政を圧迫しています)周辺のインフラ設備は大丈夫でしょうか？ ②庁舎玄関の渡廊下上屋は無駄ではないでしょうか？もっと他に使う所があるのでは？
太宰府南	女性	60歳代	やっと体育館が着工されたとか、20数年前から今年は今とは、その折々の市長さんの言葉でしたが、どうしてこんなに延びたんでしょうか。反対？財政？それにしても長すぎませんか。
水城	男性	50歳代	利権のある人間にお金が行っているような気がする。このようなアンケートもムダの様な気がする。ハコモノを作るのは管理運営費が莫大であり、市民に均一に行き届く福祉面を充実させるべきと考える。封書と同時に政治チラシ(内容を知り、賛同、意識)無作為に抽出したとは考えにくく、不思議だ。全てに万遍なく住みよさを、大宰府らしさを作っていけばいいと思う。私のアンケートは何の参考にもならない。回答も答えづらいものばかり、市役所に訪れる人にアンケートを依頼すればいい事であり、郵送代、委託代がムダの様な気がしてならない。
水城	女性	30歳代	市役所はプロ意識が欠如していると思う。市役所自体が、県やその他の公的機関の取次店でしかなく、また制度内容を全く理解、把握していない。一人一人がプロ意識を持ち業務に取り組むべき。一般企業であれば、クレームものだし、いつ倒産してもおかしくないレベルだと思う。まずはお客様相談的な窓口を設け、市民の意見を聞いてみてはどうでしょうか？太宰府市役所の対応の悪さは本当によく耳にします。
水城西	男性	40歳代	地域はとても住みやすいと思います(都府楼南)。ただ太宰府市の取り組みや市議会・行政等への関心が薄いので反省しております。お疲れ様でした。
水城西	男性	40歳代	問10の回答のとり方には、少々疑問が残ります。回答の書き方が明確になりにくいのではないのでしょうか。
水城西	女性	40歳代	封筒が小さいと思います。(返信用)
水城西	女性	40歳代	今建設中の体育館の前の道路は、JRと西鉄、洗出交差点の信号に挟まれて、普段から車が長く連なり渋滞しやすいのに、体育館が出来て大会や催しがあるとこれが更にひどくなり、生活道路として利用している住民からすると今から大変心配です。ちょっと外出するのも、毎日のようにイライラしなくては行けなくなるのではと思うと憂鬱です。まず道路を整備してからにしてほしい。体育館に何十億もの費用をかける余裕があるならば、子どもの医療費の助成を、せめて小学生までにするとかもっと有効な税金の使いみちがあると思います。切実に。
水城西	女性	50歳代	太宰府市の財政も決して潤沢とは言えないように聞いています。外から見える派手な所ばかりではなく市民が本当に困っている生活に密着した所にお金を使ってほしいと思います。
太宰府西	男性	30歳代	1番に(みなさん)住民税高すぎて言ってます。借金か何か知らんけど、よろしく願います。
太宰府西	男性	70歳代	行政改革を引き続き取り組んでほしい。例えば行政が絡む〇〇会等と称して補助、助成？団体に対する年度毎の評価を実施し、真に適正に運営(設立の目的に沿った)されているのか点検すべきである。単なる補助、助成を行ってあげばそれで可とする意識があれば整理すべきである。
太宰府西	女性	30歳代	大きな体育館を建てるよりも必要な事はたくさん残っていて、話は進まない。体育館がなくても困らないが、小・中学校にエアコンはないと困るのではないのでしょうか。予算がないとの事ですが、暑い夏、PM2.5などで窓も開けられずに勉強どころではないと思います。誰のための体育館計画なのですか？
国分	男性	20歳代	市民プール前に作っている体育館は本当に必要なんでしょうか？大抵の人は使用しないだろうし、夏場になったらプールの使用客で渋滞するだろうから駐車場にした方が良かったんじゃないでしょうか？体育館工事で市民税が増えたりしたら、生活にも支障が出ます。僕自身、体育館なんて使用する事はないと思います。それよりダムを造って水を安くして下さい。

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
----	----	----	---------------

【施策33 市民のための行政運営(つづき)】

国分	男性	70歳代	私は自宅から少し離れた所にある大野城市の体育館とグラウンドを時々利用しています。太宰府市にもこんな施設があったら良いのと思っていました。ですから今回「総合体育館」が出来る事になった事を心待ちに楽しみにしています。しかし、もうすでに決定している事に対して色々と言っている人、また同封のチラシ等配っている人を見ました。少々いやな気持ちになります。決まった事に対して、後になって色々意見を言うのはやめた方がいいと思います。反対意見はあっていいと思いますが、一度決まった事はその方向に協力すべきと思いますが残念です。又、市長始め賛成派の議員さんの方々は、今からでもきっちり機会あるごとに説明してほしい。40億の場合(29280世帯の時136,610円)(71929人口の時55,610円)、10年では20年では、また国・県からの補助金もあるので。又体育館の使用料収入もあるはずだし、体育館建設が太宰府市民の待ちに待った体育館になるために、今からでも機会あるごとに太宰府市からの明るい説明をお願いしたい。
国分	女性	20歳代	市の職員方々は民間サービス法を学んだらいいかがでしょうか。様々なことがタイムリーに動いていません。笑顔がない。電話の対応であれっと思う。若者は見えています。

【複数の施策に関するご意見:39件】

太宰府	男性	20歳代	・太宰府に住んでまだ間もないのですが、天満宮が税金がかかってなく、住民が負担していると聞きました。事実でしょうか。・医療制度で小学校に上がる前まで負担を減らしてほしい。27年度より変るとあるが、そちらも…。・家の裏の山の木の根っ子が見えて土砂崩れにならないか不安。市の山と聞いているが点検に来た事がない。・家の曲がり角から外灯がなく危険を感じるのほしいです。逆になぜ外灯がないのでしょうか。
太宰府	男性	60歳代	・五条交差点への信号機の改善 ・市内で老朽化した公民館のコミセンへの切り替え(団塊世代の高齢化により老人数が増えます。家に引きこもり老人が多くなる対策として集まる場所の提供) ・中央公民館に変わる大型文化会館の検討 ・太宰府駅構内にある観光案内所がわかりづらい ・小鳥居通りの(太宰府館)混雑緩和 ・市内の遊歩道、小径、自転車道の整備 ・市内の通りに名称をつけ表示する ・紙オムツの再利用の検討 ・正月、休日等の交通規制は一般市民にとって迷惑です。一部市民、一部宗教法人の利益のために多くの市民が迷惑を被る事に疑問を持ちます。もし、いろんな形で市民の利益の還元があった場合には、市民広報誌等でお知らせください。 ・まほろば号運転手のサービス教育 事例)太宰府駅から夕方乗車、いきいき情報センター下車の予定でしたが、五条交差点を左折せず直進し、当方は市役所前で下車する。通常と違うルートでした。手前の五条バス停に停車中に一言アナウンスしていただければ助かります。
太宰府	女性	20歳代	市内のバスを増やして下さい。学生の頃から(10年以上変わらず)変化がありません。高齢者や待ってる方の身になって対応して下さい。(松川地区)住宅ではなく、薬局やコンビニを出して下さい。不便です。・総合体育館が今後第2の九州国立博物館にならないか心配です。集客の見通しが十分されているかが疑問で、大きなハコモノは維持コスト=集客率。代価をしっかりと支払わないと景観、サービスの質の低下になるので…維持コストに見合う収益が毎年確実に捻出されるか？まず、九州国立博物館の景観、展示内容、サービスの質を整備してほしいです。税金を使った多店舗経営はリスクが高いので、事業計画をしっかりと立て、民間のコンサルタント専門の方に見せてから行って頂きたいと思います。
太宰府	女性	20歳代	市民プールの所にできる総合体育館が必要なのか、分からない。税金がそのような所に使われているのかと思うと、あまり納得は出来ません。天満宮の近くに、コインパーキングなどが多くできているが、自転車や歩行者が危険な事があります。どうにかできませんか。大原団地あたりは、外灯が少ないので夜はとても暗くて怖い。もう少し、外灯を増やして欲しいです。(大きな道だけでも)
太宰府	女性	30歳代	観光を重視していくならば、交通の不便は改善していくべきだと思います！特に市役所前などは、役所の前なのにつかりします。【交通について】☆太宰府市役所前の横断歩道に、押しボタン式の信号をつけて欲しい。西鉄ストア⇄新生堂の信号無しの横断歩道は車が止まってくれるが、本当にここ(市役所前)はベビーカーを押しても止まってくれない！！☆観世音寺前の交差点に、車用の信号がない。スピードを出してくるので、中々行けない。車用の信号変更のセンサーをつけて欲しい。☆太宰府天満宮の西鉄駅前の交差点は、車と歩行者分離になっており、信号横に標示がある(日本語)ものの、行き慣れていない観光の方や、海外の方は、分らず、もしくは見落として、車と一緒に渡ろうとして危ない場面が度々見られる。熊本の市街地のように時間が目盛りで分かる表示を取り入れて欲しい。【子育てについて】医療費、小学校まで無料にしてほしい！！無理なら、600円でも！！☆小学校に入ると急に3割負担になり、家計が辛い！福岡市は小学校も無料と聞いて、子育てしやすいなあと思った。せめて、小学校までは600円をつづけてほしい。歯医者に連れて行きたいが、これから中々家計が厳しくなりそうなのと、そういうこともあって、子育ては福岡市の方がやりやすいと思うよ！と正直そう思う。のんびりしてるところは好きですが、しかし、背に腹は変えられないかもしれない。【図書館のこと】☆図書館のトイレが汚い！特に障害者用トイレが本当に、輪ジミとか、オムツ替えもためらうので、本当にどうかしてください。お願いします。
太宰府南	男性	40歳代	小学校通学路の見直し。車がスピードを出しすぎて非常に危ない。文化面の交流(特に音楽)。正月から1月末までの天満宮周辺はどうかならないか。交通規制で家にも帰れない。地元である証明書を発行してほしい。必ず止められ説明をしなければならないし、場合によっては通してもらえない。この件で議員に話をしたが、全く動きなし。子どもの保険に関して周囲の市町村と格差を感じる。若い世代の引越が多いと思う。周りに聞くと子育て環境への不満が多い様子。観光客を増やしたり、体育館を作るのもいいが、もっと市民が思っていることを真剣に聞いてもらいたい。体育館を作ることは市民に説明をしたのでしょうか。周辺住民は交通渋滞の心配をされている。市民は優先的に使えるのでしょうか。全て疑問だらけです。

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
【複数の施策に関するご意見(つづき)】			
太宰府南	男性	70歳代	1. 平和年(不戦への誓い)宣言→広域に強力発信して下さい。未来の子ども達のために。2. 脱原発(節エネ、省エネ、再生エネルギー開発、実用化等環境対策の強力な推進)3. 徹底した経費削減。「当面20%削減を目標に」(市長、副市長、市議員、市職員の給与、人数、経費の削減)副市長職の廃止。4. 諸点・(1)福岡市との連携強化、合併推進(地下鉄・空港-太宰府間施設)。(2)市内所在大学よりの学際的知識の活用(知識群がありながら全く活用されていない)。(3)高齢者医療広域連合(事務所、福岡市)の業務の太宰府への移管。(4)天満宮の市民、地域への貢献度向上を促す(現状では非常に低い、全く感じられない)。広報紙「だざいふ」をもっと工夫して下さい。ページ多すぎ中身ダメ。
太宰府南	女性	40歳代	平日、出勤の時間帯にバスの本数がもう少しあったらと思う時があり、朝の時間、夕方の時間の本数をあと2〜3本でも増やしてもらえると助かります。市役所の利用が第2だけの土曜日だけではなく、第4土曜日の午前中か午後1時まで開けてもらえると、平日は働いていて、なかなか時間がない人もいると思うので便利だと思います。
水城	男性	30歳代	洗出の交差点・五条の交差点に、右折信号を追加して欲しい。高齢者が多いため、利用する人が多い信号を中心に歩行者信号の青信号の時間を長くして音声をつけて欲しい。認可保育園で建物が老朽化している所を(五条保育所の様に)新しくして欲しい。市民図書館の案内表示が分かり辛いので、分かりやすくしてほしい。道路看板又、建物の看板。「高雄」や「君畑」交差点の事故。市内にある商業施設に身障者トイレを設置、義務付けて欲しい。市内バスのJRから西鉄駅間の発着回数を増やして欲しい。又、下大利駅までの運行ルートを作って欲しい。水道料金を安くして欲しい。
水城	男性	40歳代	・福岡県一番の観光名所としての周辺の環境整備 ・高齢者が多く住みやすく安心して暮らせる街づくり ・子どもが育てやすい環境づくり ・スーパーなど大きな企業を誘致し雇用などにもつなげてほしい
水城	女性	30歳代	南北に行く道(3号線etc.)はいいが、東西に行く道が良くない。せまい、渋滞する。図書館で子供の絵本を借りていたが、本が古いし、並べ方が悪いのか、見つけにくいので、まどかぴあに行くようにした。体育館を建設中ですが、今までなかったのに必要なのですか？今までどうしていたのですか？太宰府市にそんなお金あったのですか？子どもが遊べる公園には満足しています。ほとんどの公園にはトイレがありますが、太宰府市はそういう決まりなのですか？(北九州市から来た者です)宝満山、かまど神社の駐車場が無料になるとうれしい。子どもでも遊べる「森」太宰府市民の森、四王寺あたりをもう少しPRしてほしい。この自由意見も公開して欲しい。他の意見も聞きたいので。
水城	女性	30歳代	この様なアンケートに何度か参加させて頂いてますが、意見が取り入れられ、改善されているのでしょうか？かなり昔から、多くの母親が望んでいる中学校給食はなぜ実現しないのでしょうか？ランチサービスではダメだという話も多く聞きます。正直、体育館よりも給食センターを建設して欲しかったです。あと、太宰府市立の総合病院があれば、福大筑紫や徳洲会で長時間待たされることもなく、受診できるのでは？あと、水道代が値下げされたら嬉しいです！！
水城	女性	30歳代	以前仕事に復帰したくて、太宰府市の保育園の状況を聞いたが、とても厳しいものだった。市は職がないと保育園に入るのは難しいと言うが、職を得るためには、まず子供を預ける場所がないと仕事が見つけれないという現実について市はどう思っているのか。市の中学校には給食がない。義務教育期間は、市が責任を持って給食の対応をしてほしい。アパート住まいの友人何人かは、太宰府市は中学校で給食がないという理由で他の市に引越した。(それだけが理由ではないが、給食の事もかなり重要視していました。)本当に何とかしてほしい。莫大な税金を使って体育館を建設する前に。
水城	女性	50歳代	・自転車やシニアカーで気軽に出かけられるように道路の整備をしてほしい ・利用率の低い箱物施設は作らないでほしいし、作ってしまったものは利用しやすいものにしてほしい ・生活保護は大切ですが、お金の使い方など生活スキルの指導も併せて行ってほしい ・市の管轄かどうかかわからないけれど、すぐ枯れるような街路樹をなぜ植えるのでしょうか。大きな木の下でツゲやツツジなど半分も残らなくて悲しくなる。 ・シルバー人材などでちょこちょこ仕事をしたい。働きやすい手続きにしてほしい。
水城西	男性	30歳代	各自自治体の活動が時代に合っていない事が多いし、活動が煩わしい。本当に必要な事柄は残しつつ自治会の活動は縮小すべき。(本当に必要な事ではないと思われる。)近隣の自治体に比べ水道料金、各種税金が非常に高い。(現在はやむを得ず住んでいるがいずれは転居したい)まほろば号の本数の少なさ(本数増を望む)都府楼駅⇄内山方面の便は遅れが多いので改善を。・太宰府市内にJR駅の新設を。最寄りの駅が遠くて不便。福大病院や久留米大病院etcの大型病院の誘致。・西鉄バス「旅人ライナー」の停車バス停増加。(都府楼前駅。洗出etc)・天満宮周辺の渋滞で正月やお盆の次期、大変困っています。出掛ける際に困ります。・太宰府市内から福岡市内方面へのバス路線誘致(行先番号400番、旅人ライナーの線路変更も含む)・大野城まどかぴあのような施設。今の中央公民館、市民図書館では手狭と思われる。・イオンのような総合商業施設。・市内にある史跡、重要文化財の有効活用。
水城西	男性	30歳代	太宰府市は全国的に知られている市だと思います。だからこそ、より住み良い町づくりにして観光客だけではなく、定住する人を増やす取り組みを考えてみたらどうですか？財政も厳しいのはわかりますが、子育て世帯にここに住みたいと思わせる町づくり、医療費、給食、施設の充実、良い環境で生活できると思える太宰府市になってほしい。居住スペースの充実、自然環境、公園の遊具の充実、駅にはエスカレーター、エレベーターの設置、自然・景観も大切ですが、人口を増やし企業を増やし、税収を見込める市になってほしい。
水城西	男性	40歳代	JR都府楼南駅にエレベーターを設置してほしい。大変不便を感じます。
水城西	女性	30歳代	太宰府市以外に住んでいる方々に、大宰府のまちがきれいだと思ってもらいたいです。クリーンデー以外にも、住民の方に意識してもらいたいです。子供達が安全に安心して遊べる児童館を作ってください。
水城西	女性	50歳代	市議会議員の活動がちゃんとしているのか不安。

第2章 調査結果の分析

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
【複数の施策に関するご意見(つづき)】			
水城西	女性	50歳代	各地域で道路が行き止まりになったり、住宅地域の雨水路工事ができていない所がかなり多いです。
水城西	女性	70歳代	鉄道を週3回以上利用しています。西鉄は利用しやすいですが、JR都府楼南駅は是らず階段の昇降をしなければならず、体調が悪い時には大変苦しいです。エレベーターかエスカレーターの敷設はできないでしょうか。近いのに残念です。
太宰府西	男性	50歳代	①上下水道課がなぜ市役所内にないのか？ 国土館大学跡地にまでわざわざ足を運べない。やはり市民にとって重要な課は、市役所内にあるべきではないのか？ ②いつのまにか総合体育館の工事が発注になり進捗している。反対者もかなりいたはずだったと思うが、せめて地元の土建業者に仕事を分けてやれば良いと思ったが、大手の建設業者が受注していた。地元ではできない仕事か？ それ程技術力が必要な箱物と思われないか？ ③水城跡より50m？ (はっきりした数字は忘れた)の範囲内では、建築物は建てられないと市条例で何年前かに決まったはずと思ったが、つくられているのは何故か？ 詳しい事はわからないが、水城跡を景観・観光面で重要と考えたからそうした条例が出来たのではないのか？ どうもわからない。
太宰府西	男性	60歳代	太宰府市は色々環境が良く住みやすいと聞き、永住を決めました福岡都市圏に比べて水道料金や市民税等高いように思います。歩道の点字ブロックの上にバス(まほろば号)停のベンチが置かれていたり、各家庭の車庫の前に道路との段差をなくすためにコンクリートが置かれたりで、自転車(小型バイク)等で通る時、道路の中央側を通らなければならない場所が多数ヶ所あったりで、住民でいながら本当に良い町なのだろうと思う。市役所内での職員の方々の対応等は良いと思いますが、市内を回ったりした時、危険な場所等ないかもう少し目を光らせてもらいたいと思っています。また、これからくる少子化時代に「総合体育館」本当に必要なのかと思う。約40億円位の費用が必要らしいが、ハコモノはできれば終わりでなく後々の管理費などでかなりの金が必要では…。すべて税金ですか？
太宰府西	男性	60歳代	まほろば号のJR水城駅まで延伸。歴史スポーツ公園の整備。梅園、梅の木がだんだん少なくなっている。しょうぶ園一雑草になっている。地元のお元氣な年配の方に整備を委託してはどうか。学生、市、生産者との連携で何か作る。ごみ分別をもう少し、分けて再利用するものは分別する。ごみ消却量が減れば、その分、分別につながる費用にまわせる。
太宰府西	女性	40歳代	道路環境の整備。観光地がありながら渋滞等の改善が10年以上もされていない。義務教育時代の給食を実現させてほしい。一部利用しているランチサービスを月5000円程度の家庭負担で全員に出してもらえないか。多くの保護者が口をそろえて言っている。若い世帯が増えなければ悪循環です。
太宰府西	女性	40歳代	長浦台区は電波の入りが悪い。電話(携帯)が突然切れたり何度も電話をしているのに、通じないと言われます。平田台バス停の信号から長浦台方面に行くと繋がらなくなります。
太宰府西	女性	50歳代	太宰府に住んで40年になります。1.環境マナー、犬のフンの看板が老化して使用できなくなった時、自分で看板を作り替えを2回程実施しました。役所環境課に行ったらミネーター加工したファイルを2枚もらって材料を2個分仕入れ、新しく作り替えました。2.外灯が不足して防犯上問題があります。暗くて不自由しています。夜間に市の方から、不備箇所の点検が必要かと思えます。以上です。
太宰府西	女性	60歳代	太宰府は大きく分けて、太宰府天満宮周辺と5号線上(青葉台、長浦台、大佐野…)にわかれています。全て、大きな催し物は天満宮周辺である為、参加しずらいです。(駐車場も狭いため)もう少し、催し物など、5号線上の住民も参加しやすいよう、場所を考えて欲しいと思っています。
太宰府西	女性	60歳代	・性別を書くところに、その他をいれたらどうでしょうか。・水城駅と下大利駅をつなぐバス路線をつくってほしい。「広域」と言いながらバス路線すらできないじゃありませんか。・まほろば号が都府楼で乗り換えになるのが不便。・まほろば号や他のバス停に屋根がほしい。市役所前の回廊づくりより先にしてほしい。・太宰府市の上空を低空で飛行機が飛ぶことに反対です。相当うるさい危ない。そもそも市街地に飛行場があるのが間違っている。・水害のあった、また活断層のある市営プール近くに体育館を建設していることには反対です。・自転車道路を真剣に考えてつくってほしい。
太宰府西	女性	60歳代	・まほろば号で市役所へ行く際の乗り換えが必要だし、南小でのイベントに参加したいが、2回乗り換えが必要なため時間に間に合わず参加できない。・土曜日に近くの公民館で、窓口までいなくても手続きが出来るとの事ですが、何が出来るのか知らない人が多いのでは。・自治会役員(会長等)の市からの補助が大野城市から見て少額すぎるため、なりてがない。又、公民館も大野城市は常に開いている。
国分	男性	60歳代	私はまだ在住して短いのであまりわかりません。申し訳ございません。
国分	男性	60歳代	まほろば号で一番利用する下大利方面等に行くのには大野城のバスを交流すれば、天神まで行かずとも用足し出来る事が多い。迂回が多く、ついタクシー(市役所、図書館等)を使う。近所の、犬、猫及び、植木が庭を覆い、不愉快になるので交流を避ける。借家の大家の管理不足、自治会の監視が行き届かない。取り組みは良いが末端までに伝わらないので残念です。
国分	男性	70歳代	・図書館の充実を行ってほしい。・全国区並の歴史と文化遺産があるので、もっと活用してほしい。・「はこ」だけ作って中身が何もない。
国分	女性	30歳代	・問10の施策についての設問は、どれも市としては当然行うべきものであるため、重要かどうかを問うことは必要ないのではないかと思います。・資源ごみ(紙・プラスチックなど)の回収場所を駅や公民館など増やしてほしい。・駅に駐輪場はありますが駐車がなく、とても不便です。有料でも良いので駅を利用しやすいように駐車場をつくってほしい(都府楼前駅、都府楼南駅)。・太宰府という地名は有名で観光地としても訪れる人は少なくないはずであるのに、税金がおちるような商業システムなどが無いように思います。太宰府天満宮、博物館だけでなく、もっと人が立ち寄れるような場所があればと思います。・体育館が必要なのはわかりますが、公民館や図書館など老朽化しているところも多いので改修してほしい。図書館は特に広くしてもらいたいです。

校区	性別	年代	まちづくりについてのご意見
【複数の施策に関するご意見(つづき)】			
国分	女性	60歳代	・水道代が高い・国分から下大利には遠回りしなければ行けない。電車の路線横に橋をかけてほしい。・これからの子ども、老人のために税金を使ってほしい・箱物はいらない
国分	女性	60歳代	あまりにも内容が多く、答えられないのが多かった。子どもが元気に安全に育てるまちづくり。高齢者が地域で支え合えるようなまちづくりができるようによろしくお願い致します。
国分	女性	70歳代	中学校の完全給食をやってほしい。子どもの医療費を中卒まで無料にしてほしい。不公平な同和事業をやめて下さい。
不明	男性	40歳代	市役所が暗い。LEDにかえる事！外灯を増やす事！天満宮から税金をもらわないとおかしい。
不明	不明	不明	・水道代が高い。・太宰府市役所に行く為に吉松からだとまほろば号を利用すると西鉄都府楼駅で乗り換えないといけないのが面倒。そのままバスに乗って行けるようにしてほしい。・JR水城駅にバス停をつくと便利。・太宰府歴史スポーツ公園でのペットの散歩が禁止なのが残念。散歩してもいいようにして下さい。

附属資料 使用した調査票

太宰府まちづくり市民意識調査

アンケートご協力をお願い

太宰府市では、「歴史とみどり豊かな文化のまち」を将来像として掲げた第五次太宰府市総合計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）を平成23年3月に策定し、まちづくりに取り組んでいます。その実施にあたり、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きして、これを今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

そこでお忙しい中恐縮ですが、調査票の質問に○印でご回答いただき、2月20日（金）までに同封の返信用封筒によりポストに投函してください。（切手は不要です）

設問数が多くお手数をおかけしますが、これからのまちづくりにとって非常に重要なものですので、ぜひご協力をお願いいたします。

※このアンケートは、太宰府市にお住まいの20歳以上の方1,000人を無作為に抽出し、お願いしています。

※アンケート結果は数字で統計処理いたします。回答結果をそのまま公表することはありませんので個人情報観点でご迷惑をおかけすることはありません。

※返信用封筒の郵便番号の下に印刷している『〇〇〇』という数字は、郵便局が整理するために必要な番号で、バーコードは、郵便局の住所をバーコード化したものです。よって、すべての封筒に同じ番号、バーコードを印刷していますので、個人を特定するものではありません。

※氏名や住所などの記入の必要はありません。

※この調査は、株式会社西日本リサーチ・センターに委託して実施しています。

平成27年2月

太宰府市長 井上保廣

ご記入にあたって

① あて名のご本人がお答えください。

※ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

② お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。

③ たとえば、「1つ選んで」や「3つまで」と回答の数が指定されている質問がありますので、それぞれ指定の数を選んでください。

④ ご記入は鉛筆またはボールペンでお願いします。

◎この調査に関してのお問い合わせは、次のところをお願いします。

(まず、あなた自身についておたずねします)

問1. あなたの性別についてお選びください。

1. 男
2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(平成27年3月末時点で)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 20～24 歳 | 6. 45～49 歳 | 11. 70～74 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 7. 50～54 歳 | 12. 75～79 歳 |
| 3. 30～34 歳 | 8. 55～59 歳 | 13. 80 歳以上 |
| 4. 35～39 歳 | 9. 60～64 歳 | |
| 5. 40～44 歳 | 10. 65～69 歳 | |

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代世帯(親と子)
4. 3世代世帯(親と子と孫)
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他()

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会社員 | 6. パート・アルバイトなど |
| 2. 農林水産業 | 7. 学生 |
| 3. 自営業(農林水産業以外) | 8. 無職 |
| 4. 団体職員・公務員 | 9. その他() |
| 5. 家事専業 | |

付問1. 【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。

- | | |
|---------|-------------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川町 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 1から6以外の福岡県内市町村 |
| 4. 春日市 | 8. 福岡県外 |

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。

1. 太宰府小学校区
2. 太宰府東小学校区
3. 太宰府南小学校区
4. 水城小学校区
5. 水城西小学校区
6. 太宰府西小学校区
7. 国分小学校区
8. わからない

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(平成27年3月末時点で)
次の中からお選びください。

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上

問7. あなたのお住まいを次の中からお選びください。

1. 持ち家・分譲マンション
2. 賃貸住宅・アパート
3. 社宅・寮
4. 間借り・下宿
5. その他()

(まちの住みやすさについておたずねします)

問8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 2. 住み続けたくない | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

付問1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 友人・知人が多い | 10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん |
| 2. 自宅周辺の環境がよい | 11. 高齢者施設が充実している |
| 3. サークル活動が盛ん | 12. 子育てしやすい制度や環境が整っている |
| 4. まちづくりに参加しやすい | 13. 医療機関が多い |
| 5. 史跡や文化財が身近にある | 14. 教育・文化施設の整備が進んでいる |
| 6. まちの知名度が高い | 15. 健康づくりのための事業が充実している |
| 7. 大学・短大が多い | 16. 道路や上下水道の整備が進んでいる |
| 8. 通勤通学の交通の便がよい | 17. 公園や街路樹などの緑が多い |
| 9. 商店が多く買い物が便利 | 18. その他 () |

付問2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 近所づきあいが苦手 | 10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない |
| 2. 自宅周辺の環境が悪い | 11. 高齢者や障がい者福祉施策が遅れている |
| 3. サークル活動が少ない | 12. 子育て支援の制度や環境が不十分 |
| 4. まちづくりに参加しにくい | 13. 大型総合病院がない |
| 5. 保険料や公共料金が高い | 14. 教育・文化施設の整備が不十分 |
| 6. 災害対策に不安がある | 15. 健診や健康づくり事業などが不十分 |
| 7. 通勤通学の交通の便が悪い | 16. 道路や上下水道の整備が遅れている |
| 8. 近所に商店が少ない | 17. 公園や街路樹などの緑が少ない |
| 9. 就職先が少ない | 18. その他 () |

(あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします)

問 10. 太宰府市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで太宰府市が行っている次の1~34の施策についてお尋ねします。

(A) あなたは、この施策がどの程度重要だと思いますか。

(B) あなたは、この施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
(A) 重要度、(B) 満足度のそれぞれに、○印を1ずつつけてください										
記入例	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策01 子育て支援の推進 (子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策02 高齢者福祉の推進 (高齢者の介護予防や在宅支援の充実、生きがいづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策03 障がい福祉の推進 (障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策04 地域福祉の推進 (地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策05 生涯健康づくりの推進 (健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策06 社会保障の適正な運営 (国民健康保険の健全運営、後期高齢者医療・介護保険適正運営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策07 防災・消防体制の整備充実 (防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策08 防犯・暴力追放運動の推進 (防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策09 交通安全対策の推進 (交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策10 安全な消費生活の推進 (消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進 (人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策12 男女共同参画の推進 (男女共同参画の啓発や女性の支援・相談・参画など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策13 生涯学習の推進 (生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策14 社会教育の推進 (社会教育の充実や関係団体の育成、青少年の健全育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策15 学校教育の充実 (学校教育の内容や教育環境の向上、生徒指導の拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策16 文化芸術の振興 (文化芸術活動の育成・支援や市史の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策17 生活環境の向上 (生活環境の保全や環境マナーの向上、環境美化の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策18 自然共生社会の構築 (みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策19 循環型社会の構築 (ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策20 低炭素社会の構築 (省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策21 環境教育・学習の推進 (環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策22 未来に伝える景観づくり (景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策23 計画的なまちづくり (秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策24 地域交通体系の整備 (幹線道路や生活道路の整備や公共交通の利便性の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策25 良質な水道水の安定供給 (水道施設の整備・維持や水道事業の健全経営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策26 下水道の整備と普及促進 (下水道施設の整備・維持や下水道事業の健全経営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策27 産業の振興 (商工業の振興や都市近郊農業の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策28 文化遺産の保存と活用 (史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策29 観光基盤の整備充実 (観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策30 国際交流・友好都市交流の推進 (国際交流活動の推進や友好都市交流の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策31 市民参画の推進 (自治基本条例の制定や地域コミュニティ活動、NPO・ボランティア支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策32 情報の共有化と活用 (行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策33 市民のための行政運営 (行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策34 広域連携の推進 (広域行政の推進や道州制・市町村合併の調査・研究など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

各施策について
具体的におたずねします

子育て支援の推進

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 11. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかといえば子育てがしやすい
3. どちらかといえば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

高齢者福祉の推進

【65歳以上の方だけにおたずねします】

問 12. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. とても感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 全く感じていない

問 13. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

障がい福祉の推進

問 14. あなたは太宰府市の障がい者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 障がい者福祉サービスの内容を知らない

問 15. あなたは市内の公共施設(駅、市役所等)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

地域福祉の推進

問 16. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

生涯健康づくりの推進

問 17. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とても健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 18. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

問 19. あなたはこの一年間に、「健康診査」(がん検診、人間ドッグを含む)を受けましたか。(○は1つ)

1. 受けた
2. 受けなかった

防災・消防体制の整備充実

問 20. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

- ① 2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。
1. はい 2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。
1. はい 2. いいえ
- ③ 避難勧告などの災害情報がどこから来るかを知っている。
1. はい 2. いいえ
- ④ 家具の転落防止策をとっている。
1. はい 2. いいえ
- ⑤ 避難時に身近に手助けできる方がいる。
1. はい 2. いいえ

防犯・暴力追放運動の推進

問 21. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していただけますか。(○は1つ)

1. とても安心してている
2. どちらかといえば安心してている
3. どちらかといえば不安である
4. とても不安である

付問 1. あなたの家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありましたら、具体的に記述してください。

()

安全な消費生活の推進

問 22. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為(点検商法やキャッチセールス等)の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。(○は1つ)

1. 被害を受けた
2. 直接の被害はないが不安を感じた
3. 特になかった

付問 1. 【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安ですか。(○はいくつでも)

1. 架空請求・不当請求
2. 点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)
3. キャッチセールス・催眠商法による被害
4. 振り込め詐欺
5. その他(具体的に)

人権を尊重するまちづくりの推進

問 23. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。

(○は1つ)

1. ある
2. ない

付問 1. 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。

(○はいくつでも)

1. 同和問題
2. 性別(男女)に関する人権
3. 子どもの人権
4. 障がい者の人権
5. 高齢者の人権
6. 外国人の人権
7. HIV感染者などの人権
8. その他(具体的に)

- 問 24. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)
1. 尊重されている
 2. どちらかといえば尊重されている
 3. どちらかといえば尊重されていない
 4. 尊重されていない

男女共同参画の推進

- 問 25. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は1つ)
1. 同感する
 2. ある程度同感する
 3. あまり同感しない
 4. 同感しない

- 問 26. あなたは社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○は1つ)
1. 女性の方が優位である
 2. どちらかといえば、女性の方が優位である
 3. 平等である
 4. どちらかといえば、男性の方が優位である
 5. 男性の方が優位である
 6. わからない

生涯学習の推進

- 問 27. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。(○は1つ)
1. ほぼ毎日取り組んでいる
 2. 週に1回程度取り組んでいる
 3. 月に数回程度取り組んでいる
 4. 年に数回程度取り組んでいる
 5. ほとんど取り組んでいない

- 問 28. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)
1. ほぼ毎日行っている
 2. 週に3回程度行っている
 3. 週に1回程度行っている
 4. 月に数回程度行っている
 5. 年に数回程度行っている
 6. ほとんど行っていない

文化芸術の振興

問 29. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

生活環境の向上

問 30. あなたは自宅周辺的环境は清潔で衛生的だと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 31. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。

（○は1つ）

1. かなり守られている
2. ある程度守られている
3. あまり守られていない
4. ほとんど守られていない

問 32. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（○は1つ）

1. いつも参加している
2. たまに参加している
3. 参加していない

自然共生社会の構築

問 33. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 34. あなたは市内で、野鳥や昆虫等を観察したり、ふれあう場所がありますか。

（○は1つ）

1. 観察したり、ふれあう場所があり、満足している
2. 観察したり、ふれあう場所がわからない
3. 観察したり、ふれあう場所がなく不満に思う

循環型社会の構築

問 35. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(○は1つ)

1. 取り組んでいる
2. ときどき取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. 取り組んでいない

低炭素社会の構築

問 36. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。(○は1つ)

1. 行っている
2. ある程度行っている
3. あまり行っていない
4. ほとんど行っていない

環境教育・学習の推進

問 37. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。(○は1つ)

1. 年に2回以上参加している
2. 年に1回程度は参加している
3. 参加したことはない

未来に伝える景観づくり

問 38. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 39. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 40. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思えますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

計画的なまちづくりの推進

問 41. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思えますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 42. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思えますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

付問 1. あなたの家の近くにあると便利だと思う施設がありましたら、具体的に記述してください。

()

地域交通体系の整備

問 43. あなたは市内のバスは便利だと思えますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. バスを利用しないのでわからない

付問 1. 市内のバスの中でコミュニティバスまほろば号についてお尋ねします。まほろば号は便利だと思えますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 「まほろば号」を利用しないのでわからない

問 44. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 45. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。
(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 46. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|--------------------|
| 1. 徒歩 | 5. コミュニティバス(まほろば号) |
| 2. 自転車 | 6. 路線バス |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー |
| 4. 鉄道 | 8. その他() |

産業の振興

問 47. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川町 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町 |
| 4. 春日市 | 8. 1から7以外の市町村 |

文化遺産の保存と活用

問 48. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

観光基盤の整備充実

問 49. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。
(○は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかといえば好ましいと思う
3. どちらかといえば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う
5. その他 ()

国際交流・友好都市交流の推進

問 50. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

問 51. あなたは太宰府市が大韓民国の扶餘郡フヨケンと姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。
(○はいくつでも)

1. 扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた
2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
4. 中津市との友好都市締結は知っていた
5. どれも知らなかった

問 52. あなたは外国人や留学生とどのような交流をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 意見交換会
2. スポーツ交流
3. 語学講座
4. ホームステイ
5. その他 ()

市民参画の推進

問 53. あなたは自治会活動(クリーンデー、夏祭りなど)に参加していますか(○は1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 54. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

情報の共有化と活用

問 55. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 56. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。(○はそれぞれ1つ)

広報だざいふ	議会だより	太宰府市ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 読まない	4. 見ていない
		5. 見るができない

付問 1. 「広報だざいふ」を【いつも読んでいる・たまに読んでいる】と答えた方にお尋ねします。どのページを読みますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. すべてのページ | 12. 防犯だより |
| 2. 特集記事 | 13. 防災だより |
| 3. まちのトピックス | 14. おめでとう1さい |
| 4. 消費者コーナー | 15. にこにこ通信 |
| 5. 地球にやさしいエコライフ | 16. こんにちは保健師です |
| 6. 手と手をつないで(人権のページ) | 17. ヘルシークッキング |
| 7. 教育委員会だより「つながる」 | 18. 生け花・短歌・俳句のコーナー |
| 8. ルネサンスへの挑戦 | 19. 国際交流・韓国 |
| 9. みんなのとしょかん | 20. 太宰府館イベント情報 |
| 10. 太宰府の文華(資料室だより) | 21. なんでも情報コーナー |
| 11. さあ協働を進めよう | 22. 太宰府の文化財 |

問 57. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 58. あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

市民のための行政運営

問 59. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 60. あなたは市職員の対応や行動などの仕事に対する取組について、満足していますか。
(○は1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 61. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

→付問 1. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での事務処理は迅速でしたか。

1. とても迅速だった (○は1つ)
2. どちらかといえば迅速だった
3. どちらかといえば遅かった
4. とても遅かった

→付問 2. 【はいと答えた方】におたずねします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は1つ)

1. とても満足した
2. どちらかといえば満足した
3. どちらかといえば不満だった
4. とても不満だった

広域連携の推進

問 62. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取組を進めています。

あなたは福岡都市圏の広域的な取組によって住民サービスが向上したと思いますか。(○は1つ)

【福岡都市圏の概要】

福岡都市圏は福岡市とその周辺 16市町（筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川町・古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町・宗像市・福津市・糸島市）を圏域とし、これら 17市町で構成する福岡都市圏広域行政推進協議会を設置しています。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

(最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください)

《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。
今後も、市政へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



◎ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒(切手は不要です)
に入れて、2月20日(金)までに投函してください。

太宰府まちづくり市民意識調査 報告書

発行年月日 平成 27 年 3 月
編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目 1 番 1 号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601